

「食肉に関する意識調査」 報告書

令和2年度

公益財団法人 日本食肉消費総合センター

食肉に関する意識調査

目次

1. 調査の目的と分析の基本方針	1
1.1 調査の目的.....	2
1.2 分析の基本方針	2
1.3 調査対象期間	2
1.4 調査手法	2
1.5 調査手順	2
1.6 対象者条件.....	2
1.7 集計対象	3
1.8 回答者属性.....	3
1.9 過年度の調査対象と継続設問	5
2. 考察	8
2.1 家畜疫病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する消費者意識の考察.....	8
1)家畜疫病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q23）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度別(Q21)分析.....	9
2)家畜疫病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への不安（Q24）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q21)別分析.....	14
3)家畜疫病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への認知・理解（Q25～Q28）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度別(Q21)分析.....	18
4)食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）の安全性への不安を感じる背景・理由（Q22）： テキストマイニング（共起ネットワーク分析）	30
2.2 「代替肉<植物肉>」に関する消費者意識の考察.....	33
1)「代替肉<植物肉>」の認知度（Q41）のエリア・性・年代別分析、カロリー意識（Q46）別分析	34
2)「代替肉<植物肉>」の喫食経験（Q42）のエリア・性・年代別分析、 カロリー意識（Q46）別分析	36
3)「代替肉<植物肉>」の購入意向（Q43）のエリア・性・年代別分析、 カロリー意識（Q46）別分析	38
4)「代替肉<植物肉>」についての考え（Q45）のエリア・性・年代別分析、 カロリー意識（Q46）別分析、コレスポンデンス分析、因子分析	40
5)「代替肉<植物肉>」の認知度（Q41）・喫食経験（Q42）・購入意向（Q43）・考え（Q45）と カロリー意識（Q46）との相関分析.....	53
6)「代替肉<植物肉>」についてのイメージ（Q44）： テキストマイニング（共起ネットワーク分析・対応分析）	55

2.3 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化に関する考察	58
1) 「新型コロナウイルス感染症」についての不安（Q50）のエリア・性・年代別分析	59
2) 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化（Q51）のエリア・性・年代別分析、 「新型コロナウイルス感染症」の不安度(Q50)別分析	61
3) 購買実態からみた「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化	66
2.4 「ブランド肉（銘柄肉）」に関する消費者のイメージに関する考察	68
1) 「ブランド肉（銘柄肉）」についてのイメージ（Q9）のエリア・性・年代別分析	69
2) 「ブランド肉（銘柄肉）」の購入・喫食意向（Q10）のエリア・性・年代別分析	73
2.5 食肉中の栄養・成分に関する消費者意識に関する考察	77
1) 食肉の喫食により得られるカロリーについての意識(Q46)のエリア・性・年代別分析、時系列分析	78
2) 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）中の「コレステロール」についての考え（Q47）の エリア・性・年代別分析	79
3) 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）中の「脂肪」についての考え（Q48）のエリア・性・年代別分析	80
4) 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）中の「タンパク質」についての考え（Q49）のエリア・性・年代別分析	82
3. 食肉の購買実態に関する調査	84
1) 食肉の種類別機会別の喫食頻度（Q4）	84
2) 食肉に対する種類別イメージ（Q5）	89
3) 食肉の種類別購入頻度（Q6）	94
4) 食肉の種類別の主な購入先（Q7）	96
5) 食肉購入時に重視する点（Q8）	101
6) 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（Q11）	106
7) 食品の購入回数の変化（Q12）	109
8) 各種牛肉の購入意向（Q13）	113
9) 各種牛肉の購入頻度（Q14）	114
10) 各種牛肉のイメージ（Q15）	117
11) 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q16）	122
12) 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q17）	124
13) 国産和牛肉／和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q16・Q17）： 順序プロビット回帰分析	126
14) 産地別牛肉の購入意向（Q18）	131
15) 産地別豚肉の購入意向（Q19）	133
16) 産地別鶏肉の購入意向（Q20）	134

4. 食肉の安全性に関する意識調査	135
4.1 食品の安全性に関する意識	135
1)食品の安全性の不安感 (Q21)	135
2)食肉の安全性に関する項目別関心度 (Q23)	140
4.2 食肉の安全性に対する社会的な意識	145
1)社会全体における食肉の安全性の認識 (Q29)	145
2)社会全体における食肉の安全性の認識の理由 (Q30) :	
テキストマイニング (共起ネットワーク分析・対応分析)	146
3)食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源	
①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q31)	149
4)各機関の取り組みに対する信頼性 (Q33)	153
5)食肉の情報提供に対する行政への期待 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q34)	156
5. ジビエに関する意識調査	159
1)「ジビエ」の定義の認知度 (Q37)	159
2)「ジビエ」の喫食頻度 (Q38)	162
3)「ジビエ」について知っている事柄と魅力に感じる事柄 (Q39)	164
4)「ジビエ」の認証マークの認知度 (Q40)	171
6. 食肉の第三者認証に関する意識調査	174
1)「J G A P畜産物使用ロゴマーク」の認証と	
「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準の認知度 (Q35)	174
2)「J G A P畜産物使用ロゴマーク」製品の購入意向 (Q36)	177
7. 集計表	180

調査の目的と分析の基本方針

1. 調査の目的と分析の基本方針

1.1 調査の目的

消費者の食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）の「購買状況、食肉に対する意識等」を調べ、国産食肉の安全・安心につながる要因を明らかにし、食肉に対する正しい理解・風評被害の防止等に資することを目的とする。

1.2 分析の基本方針

分析を行う上では、過年度調査との比較を試みることによって示唆を得るよう心掛けた。

1.3 調査対象期間

令和2年10月下旬に実施

1.4 調査手法

インターネット調査を実施した。対象者はモニター群から抽出した。

1.5 調査手順

調査の参加意向者募集
実調査の実施

1.6 対象者条件

アンケートの対象者は「20歳以上、かつ本調査時点までの間に食肉(牛肉／豚肉／鶏肉)を自身で購入し食した方」とした。また、「1.2 分析の基本方針」でも示した通り、過年度調査との比較を分析の基本方針としていることに鑑み、エリア・世代・性別の分布については昨年度調査の構成比と近づけるよう調整を行った。

1.7 集計対象

1,800人からアンケートの回答を得た。そのうち、以下の2エリア、6世代を掛け合わせた12セルについて1セル150人、計1,800人を抽出し、集計対象とした。

1.7.1 エリア・世代分布

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
首都圏	150	150	150	150	150	150	900
京阪神圏	150	150	150	150	150	150	900
合計	300	300	300	300	300	300	1,800

図表 1 集計対象のエリア・世代分布

1.7.2 エリア区分

エリア名	都道府県名
首都圏	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
京阪神圏	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県

図表 2 エリア区分（回答者所在都道府県）

1.8 回答者属性

1.8.1 性別

合計	男性	女性
1,800	900	900

図表 3 回答者属性（性別）

1.8.2 世帯年収構成

合計	300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上	答えたくない/わからない
1,800	330	408	303	264	111	48	336

図表 4 回答者属性（世帯年収構成）

1.8.3 世帯構成人数

合計	単身	2人	3人	4人	5人	6人以上
1,800	360	602	444	287	68	39

図表 5 回答者属性（世帯構成人数）

1.8.4 回答者の学歴

合計	中学	高校	専門学校	短大・高専	大学	大学院
1,800	49	488	200	211	789	63

図表 6 回答者属性（学歴）

1.8.5 回答者の所在都府県

合計	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
1,800	175	164	351	210	41	108	423	238	58	32

図表 7 回答者属性（所在都府県）

1.8.6 家族構成員の状況

合計	妊娠されている方	小学校入学前の子ども(乳児・幼児を含む)	小学生の子ども	中高生の子ども	お年寄り(65歳以上、ご自身を含める)
1,800	45	190	150	143	642

図表 8 回答者属性（家族構成員）

1.8.7 世帯内に食物アレルギー保有者、食中毒経験者のいる回答者

合計	食物アレルギー保有者	食中毒経験者
1,800	202	140

図表 9 回答者属性（食物アレルギー保有者、食中毒経験者）

1.8.8 食肉の喫食によるカロリーに対する意識

合計	食肉の喫食により カロリー過剰にならないよう 気をつけている	食肉を喫食する際に カロリーを意識していない	食肉を喫食して カロリー不足にならないよう 気を付けている
1,800	600	909	291

図表 10 回答者属性（食肉の喫食によるカロリーに対する意識）

1.9 過年度の調査対象と継続設問

1.9.1 調査対象

平成 24 年～平成 30 年度、令和元年度調査の調査対象は以下のとおりである。今年度調査では、平成 26 年度・平成 27 年度・平成 28 年度・平成 29 年度・平成 30 年度、令和元年度と同様、年代を 20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代以上の 6 区分とし、首都圏、京阪神圏と合わせて、12 セルで 1 セル 150 名とし、1,800 名を調査対象とした。

年度	対象者数	エリア・世代分布
令和元年度 平成 30 年度 平成 29 年度 平成 28 年度 平成 27 年度 平成 26 年度	1,800 名	20 代、30 代、40 代、50 代、 60 代、70 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 12 セルで 1 セル 150 名
平成 25 年度	1,240 名	20 代、30 代、40 代、50 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 8 セルで 1 セル 155 名
平成 24 年度	1,238 名	20 代、30 代、40 代、50 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 8 セルで 1 セル 155 名前後

図表 11 過年度調査の対象

※平成 26 年度より年代については 60 代、70 代の区分を設けているため、年代の構成比が異なる。経年比較での調査結果を閲覧する際はこの点に留意する必要がある。

1.9.2 過年度からの継続設問・新規設問

平成24年～平成30年度、令和元年度調査からの継続設問は以下に示すとおりである。*令和2年度からの新規設問は以下に示すとおりである。

令和2年度設問	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
Q4 食肉の種類別機会別の喫食頻度	Q4	Q4	Q4	Q4	Q3	Q1	Q1	Q1
Q5 食肉に対する種類別イメージ	Q5	Q5	Q5	Q5	Q4	Q2	Q2	Q2
Q6 食肉の種類別購入頻度	Q6	Q6	Q6	Q6	Q5	Q3	Q3	Q3
Q7 食肉の種類別の主な購入先	Q7	Q7	Q7	Q7	Q6	Q4	Q4	Q4
Q8 食肉購入時に重視する項目	Q8	Q8	Q8	Q8	Q7	Q5	Q5	Q5
Q9*「ブランド肉（銘柄肉）」についてのイメージ	—	—	—	—	—	—	—	—
Q10*「ブランド肉（銘柄肉）」の購入・喫食意向	—	—	—	—	—	—	—	—
Q11 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化	Q9	Q9	Q9	Q9	Q8	Q6	Q6	Q6
Q12 昨年同期と比べた最近1か月の食品購入回数の変化	Q10	—	—	—	—	—	—	—
Q13 各種牛肉の購入意向	Q11	Q10	Q10	Q10	Q10	—	—	—
Q14 各種牛肉の購入頻度	Q12	—	—	—	—	—	—	—
Q15 各種牛肉のイメージ	Q16	Q11	Q11	Q11	Q11	—	—	—
Q16 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度	Q20	Q14	Q14	Q14	Q16	—	—	—
Q17 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度	Q21	Q15	Q15	Q15	Q17	—	—	—
Q18 産地別牛肉の購入意向	Q22	Q16	Q16	Q16	Q18	Q7	Q7	Q7
Q19 産地別豚肉の購入意向	Q23	Q17	Q17	Q17	Q19	Q8	Q8	Q8
Q20 産地別鶏肉の購入意向	Q24	Q18	Q18	Q18	Q20	Q9	Q9	Q9
Q21 食品の安全性の不安感	Q25	Q22	Q19	Q19	Q21	Q10	Q10	Q10
Q22 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）の安全性について感じている不安	Q26	Q23~Q25	Q20~Q22	Q20~Q22	—	—	—	—
Q23 食肉の安全性に関する項目別関心度	Q27	Q26	Q23	Q23	Q25	Q14	Q14	Q14
Q24*食肉の安全性の問題への不安度	—	—	—	—	—	—	—	—
Q25 鳥インフルエンザについて知っている知識	Q28	Q27	Q24	Q24	Q26	Q15	Q15	—
Q26 豚熱について知っている知識	Q29	Q28	—	—	—	—	—	—
Q27 アフリカ豚熱について知っている知識	Q30	—	—	—	—	—	—	—
Q28*口蹄疫について知っている知識	—	—	—	—	—	—	—	—
Q29 社会全体における食肉の安全性の認識	Q32	Q33	Q34	Q43	Q42	Q40	Q22	Q21
Q30*社会全体における食肉の安全性の認識の理由	—	—	—	—	—	—	—	—

令和2年度設問	令和 元 年度	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 24 年度
Q31 食肉の情報を得るために用いている 主な情報源①食肉の安全性 *②食肉の栄養や機能	Q34	Q35	Q36	Q45	Q44	Q42	—	—
Q32 食肉の情報について信頼できる情報源 ①食肉の安全性 *②食肉の栄養や機能	Q35	Q36	Q37	Q46	Q45	Q43	Q23	Q22
Q33 各機関の取り組みに対する信頼性	Q36	Q37	Q38	Q47	Q46	Q44	Q27	Q23
Q34 食肉の情報提供に対する行政への期待 ①食肉の安全性 *②食肉の栄養や機能	Q37	Q38	Q39	Q48	Q47	Q45	Q28	Q24
Q35 「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」の 認証と「東京2020オリンピック・パラ リンピック」の畜産食材の調達基準の 認知度	Q39	Q40	Q42	—	—	—	—	—
Q36 「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」製品 の購入意向	Q40	Q41	Q43	—	—	—	—	—
Q37 「ジビエ」の定義の認知度	Q41	Q50	Q45	—	—	—	—	—
Q38 「ジビエ」の喫食頻度	Q42	Q51	Q46	—	—	—	—	—
Q39 「ジビエ」について知っている事柄と 魅力に感じる事柄	Q43	Q54	Q49	—	—	—	—	—
Q40 「ジビエ」の認証マークの認知度	Q44	Q55	Q50	—	—	—	—	—
Q41* 「代替肉<植物肉>」の認知度	(Q45)	—	—	—	—	—	—	—
Q42* 「代替肉<植物肉>」の喫食経験	—	—	—	—	—	—	—	—
Q43* 「代替肉<植物肉>」の購入意向	—	—	—	—	—	—	—	—
Q44* 「代替肉<植物肉>」についての イメージ	—	—	—	—	—	—	—	—
Q45* 「代替肉<植物肉>」についての考え	—	—	—	—	—	—	—	—
Q46 食肉の喫食により得られるカロリーに ついての意識	Q53	Q61	Q56	Q53	—	—	—	—
Q47* 食肉中の「コレステロール」に ついての考え	—	—	—	—	—	—	—	—
Q48* 食肉中の「脂肪」についての考え	—	—	—	—	—	—	—	—
Q49* 食肉中の「タンパク質」についての 考え	—	—	—	—	—	—	—	—
Q50* 「新型コロナウイルス感染症」に ついての不安	—	—	—	—	—	—	—	—
Q51* 「新型コロナウイルス感染症」の流行 に伴う食肉に係わる食生活・購買行動 の変化	—	—	—	—	—	—	—	—

図表 12 過年度からの継続設問・本年度からの新規設問

2. 考察

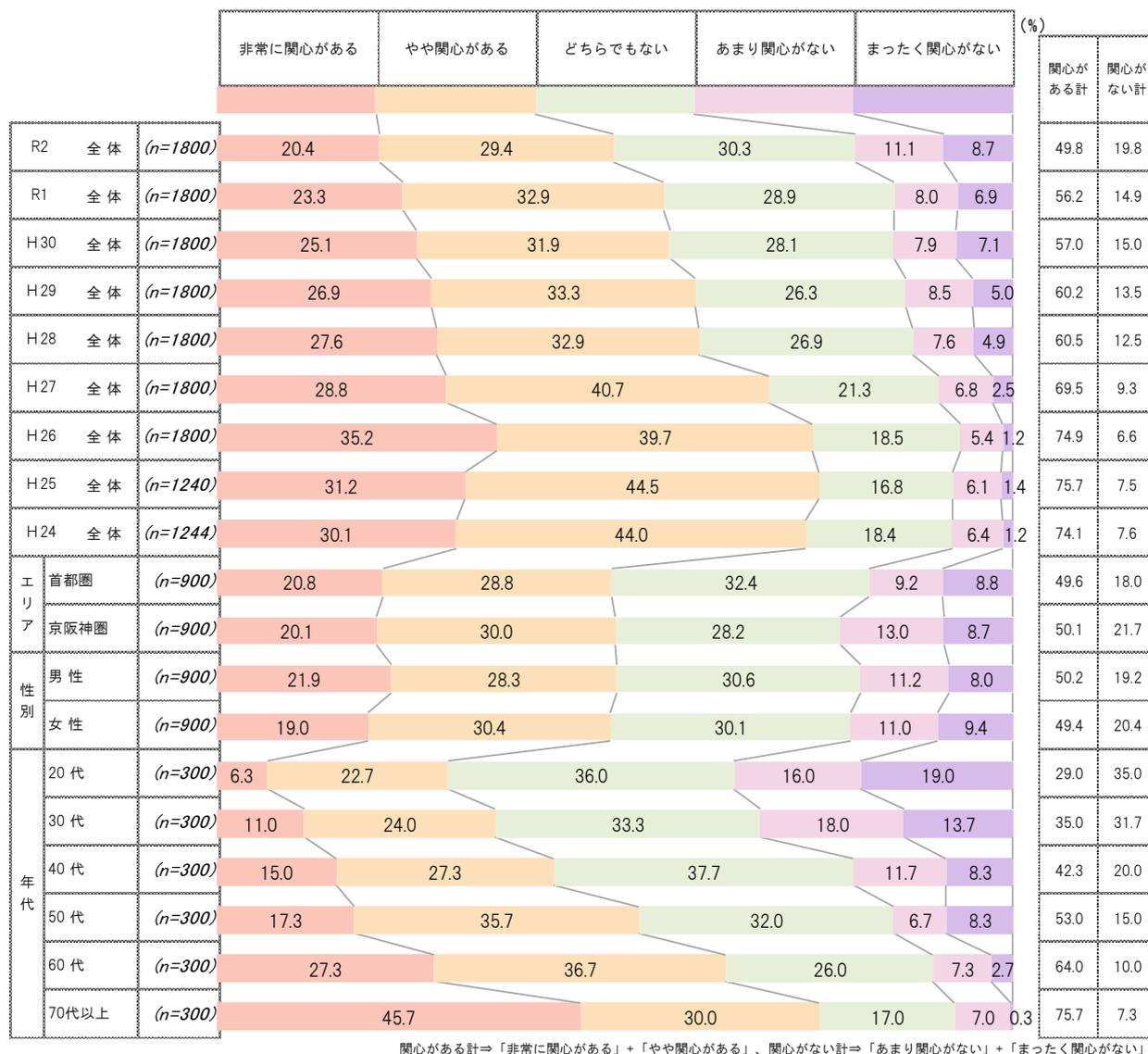
2.1 家畜疫病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する消費者意識の考察

- ・ 調査対象とした家畜疫病の関心度は、「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」で見ると、「鳥インフルエンザ」59.1%、「口蹄疫」が49.8%、「アフリカ豚熱」が46.5%、「豚熱」が46.1%の順。いずれの家畜疫病についても、食肉の安全性に「不安を感じる層」ほど関心が高い。
- ・ 食肉の安全性の問題についての不安は、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」「牛のBSE（牛海綿状脳症）」がいずれも22.4%で最も高く、「食肉中の残留抗生物質」20.6%、「鳥インフルエンザ」19.8%の順。「牛・豚の口蹄疫」は7.9%、「アフリカ豚熱」は2.9%、「豚熱」は2.3%と不安度は高くない。
- ・ 食肉の安全性に「不安を感じる層」が、不安を感じている食肉の安全性の問題は、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」「食肉中の残留抗生物質」「遺伝子組換え飼料を用いた食肉」「食肉中の残留動物薬」であり、牛のBSEを除くと家畜疫病への不安度はそれに比べ高くない。
- ・ 口蹄疫への認知・理解は、「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、感染することはない」19.4%、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」16.7%、「日本では、この10年間は、口蹄疫が発生していない」12.7%の順。「知っているものはない」は、61.1%。
- ・ 豚熱への認知・理解は、「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」20.1%、「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」16.1%、「仮に豚熱に罹った豚の肉等を食べても人体に影響はない」11.6%の順。「知っているものはない」は、63.4%。
- ・ アフリカ豚熱への認知・理解は「アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない」11.9%、「アフリカ豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」11.4%の順。「知っているものはない」は74.4%。
- ・ 鳥インフルエンザへの認知・理解は、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」29.7%、「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」23.3%、「市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている」21.3%の順。「知っているものはない」が48.8%。
- ・ 食肉の安全性への不安を感じる背景・理由をテキストマイニングを用いた共起ネットワーク分析で見ると、『飼料』が食肉の不安に関してキーワードであり、『安全』『育てる』『食べる』と結びつきが強く、「飼料が安全か」また「どのような飼料を給与して育てているか」が食肉の安全性に関係していることが分かる。次いで、出現頻度の高かった『不安』は『外国産』と結びつきが強い。

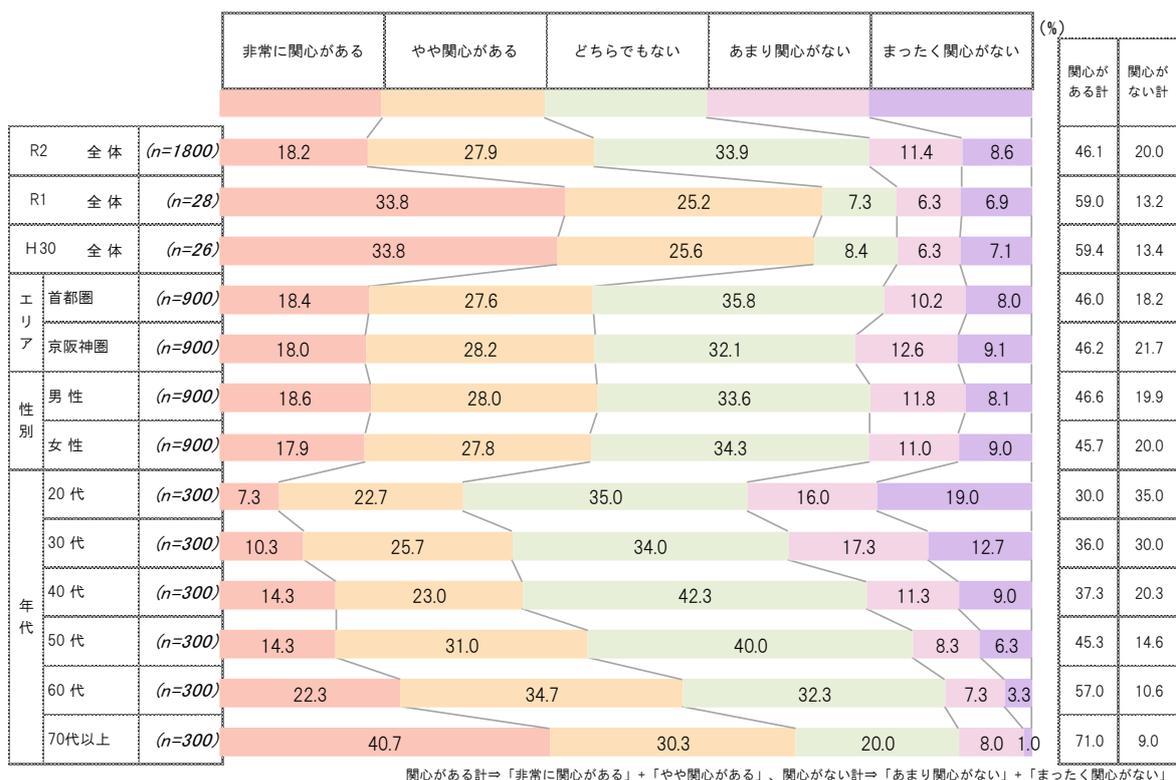
この2.1では、家畜疫病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に関する知識と食肉の喫食による感染への不安状況の把握と要因の分析を目的とした。

1) 家畜疫病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q23）：
エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度別(Q21)分析

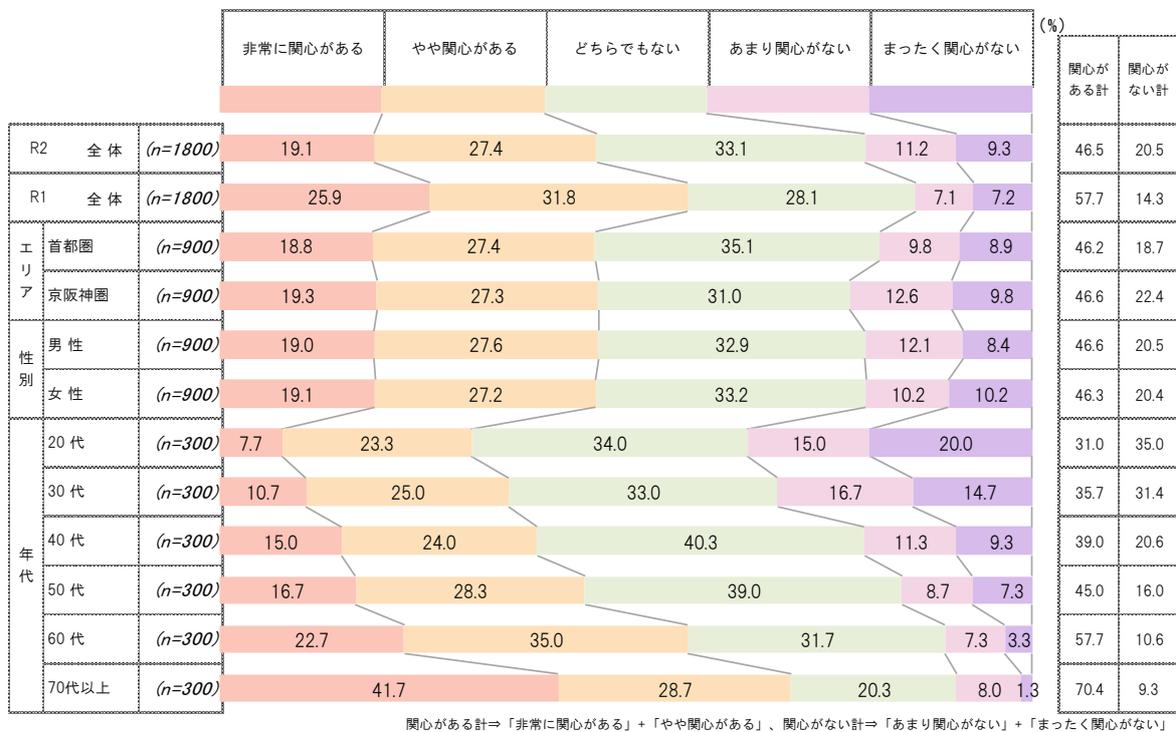
調査対象とした家畜疫病の関心度（Q23）は、「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」で見ると、「鳥インフルエンザ」59.1%、「口蹄疫」が49.8%、「アフリカ豚熱」が46.5%、「豚熱」が46.1%の順で高い。
過年度調査で見ると、いずれの家畜疫病の関心度も、減少傾向にある。



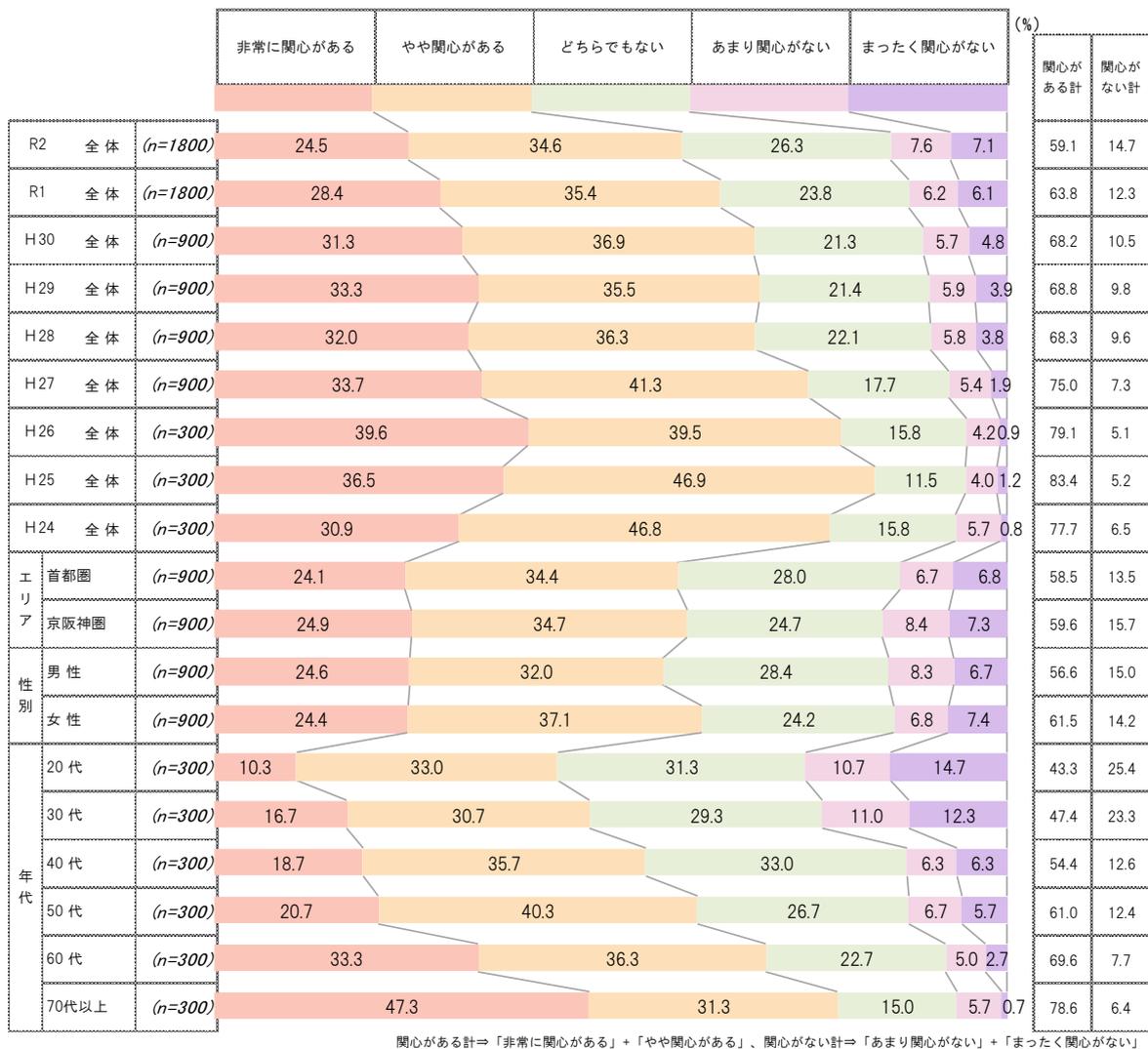
図表 13 エリア・性・年代別 口蹄疫への関心度



図表 14 エリア・性・年代別 豚熱への関心度

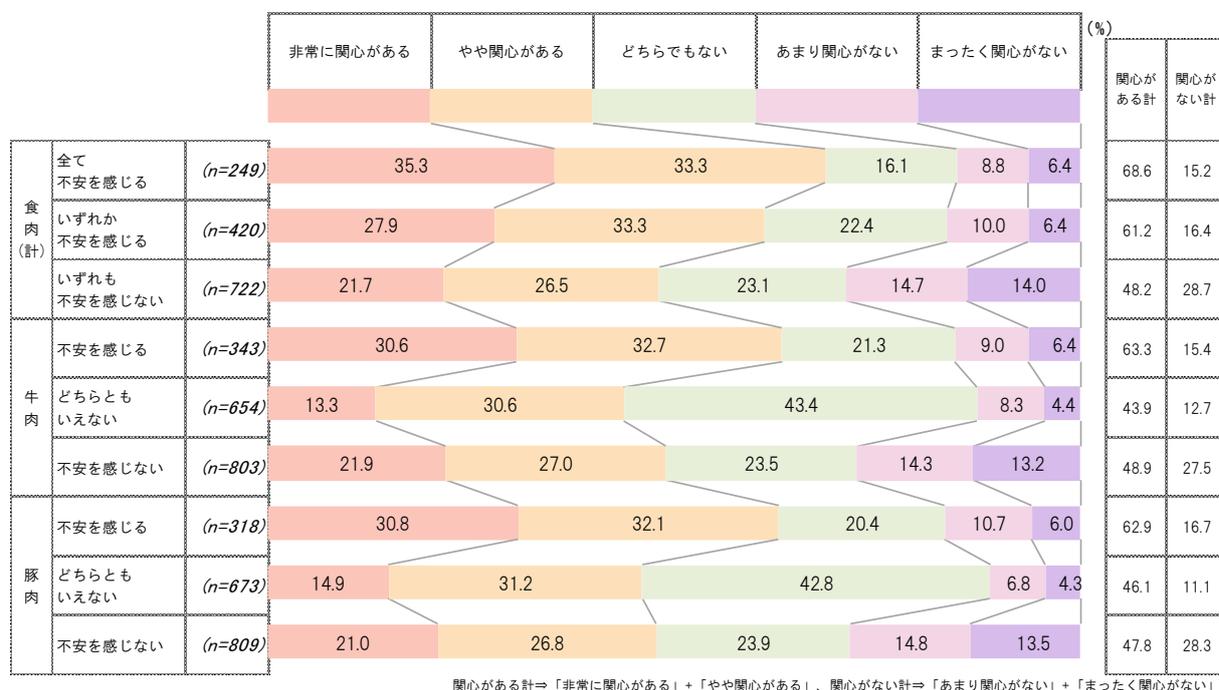


図表 15 エリア・性・年代別 アフリカ豚熱への関心度

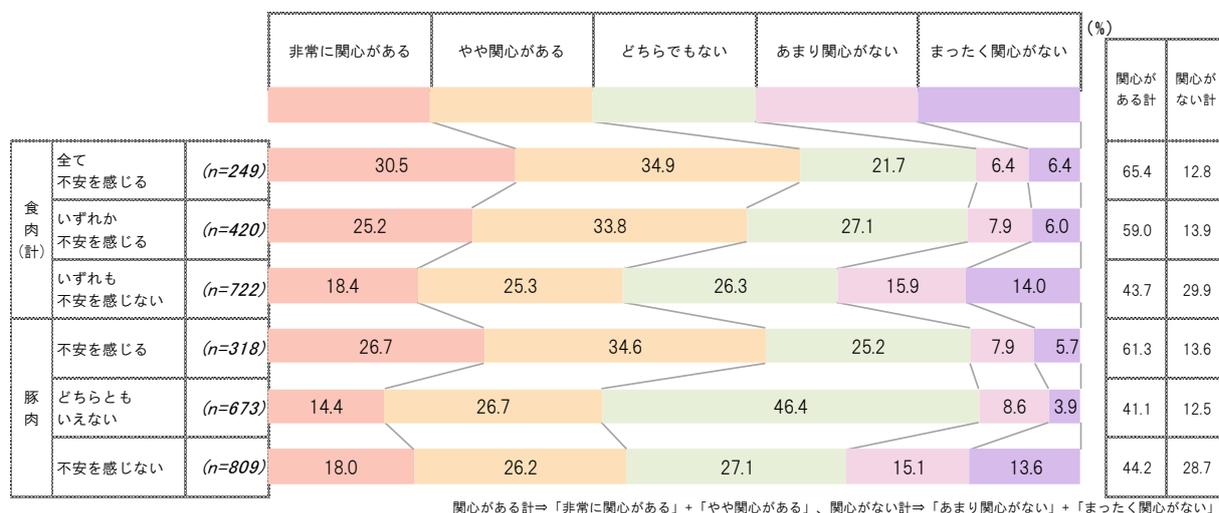


図表 16 エリア・性・年代別 鳥インフルエンザへの関心度

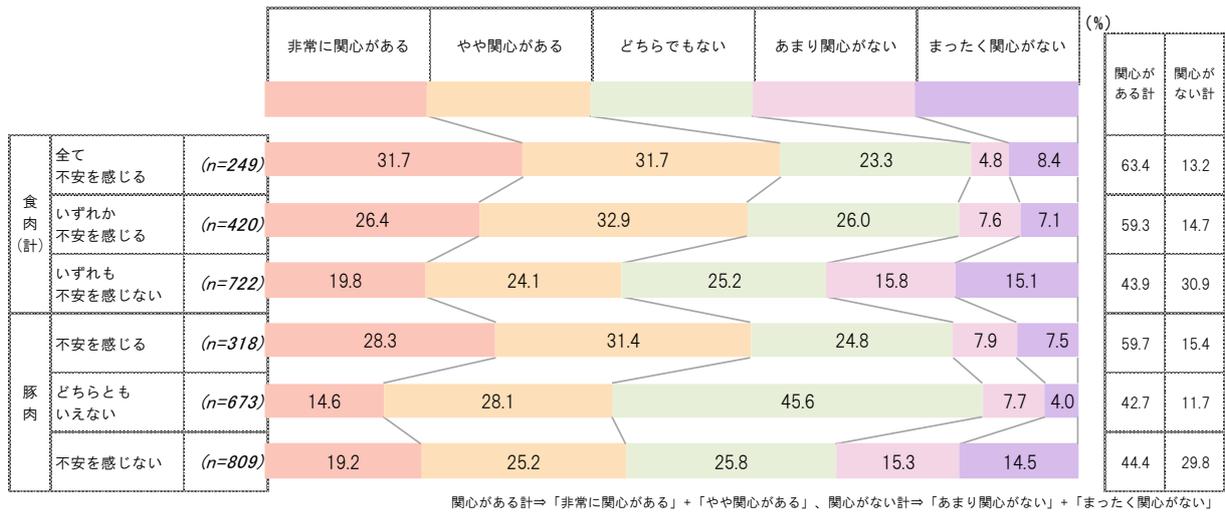
食肉に感じる不安度（Q21）別に、家畜疫病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q23）を見ると、いずれの家畜疫病に関しても「不安を感じる層」ほど関心が高い。



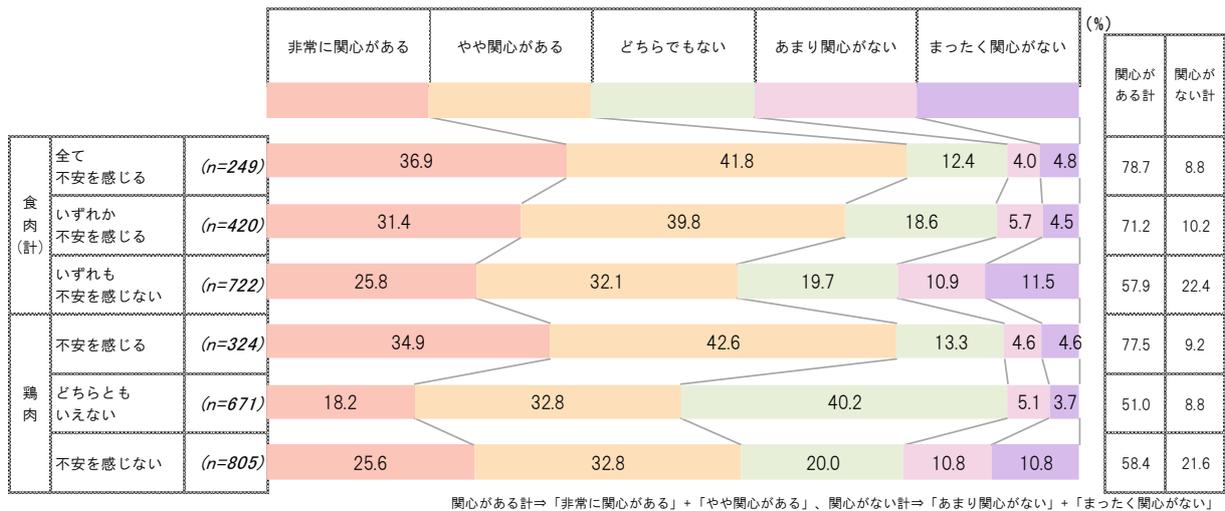
図表 17 食肉・牛肉・豚肉への不安度別 口蹄疫への関心度



図表 18 食肉・豚肉への不安度別 豚熱への関心度



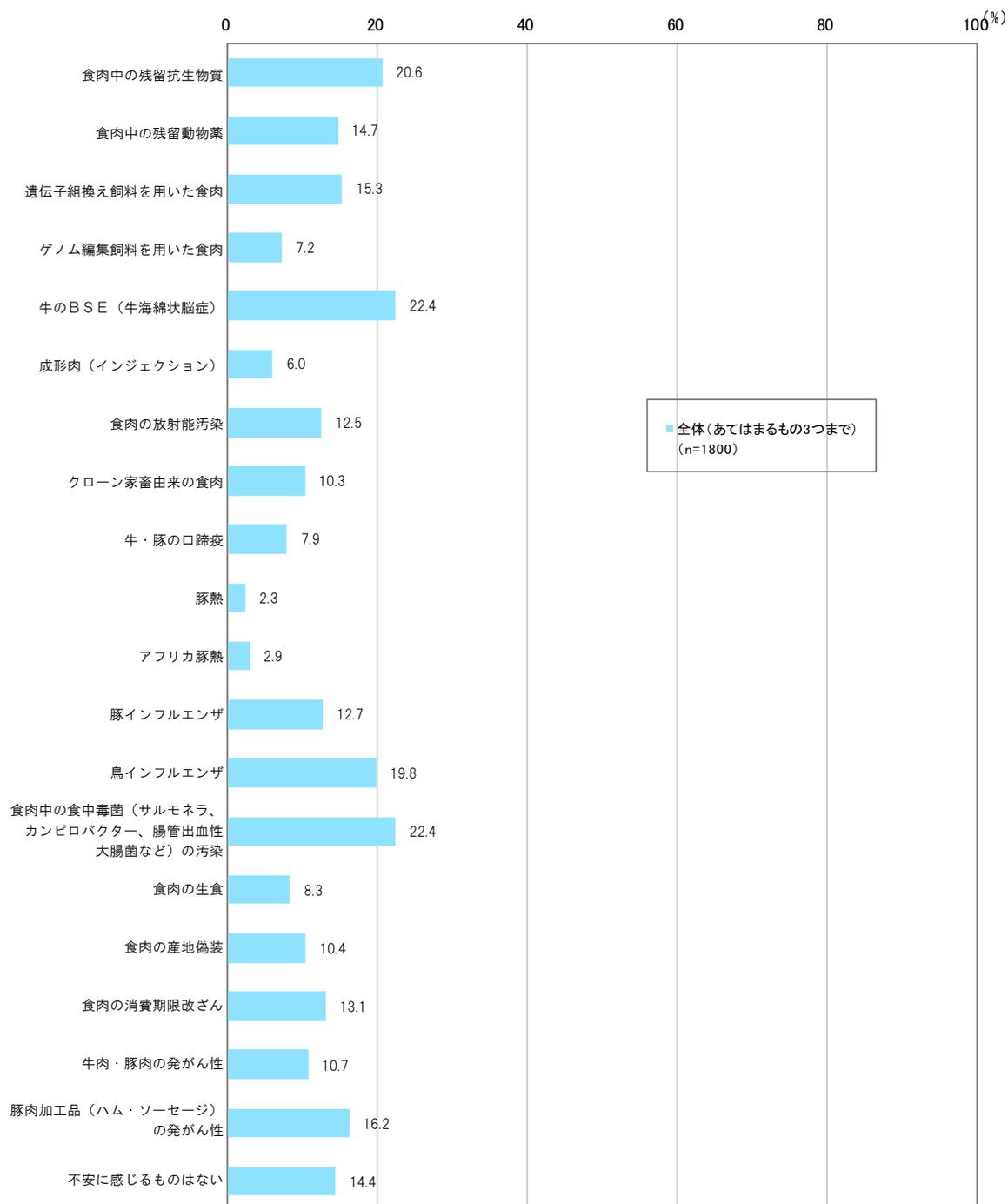
図表 19 食肉・豚肉への不安度別 アフリカ豚熱への関心度



図表 20 食肉・鶏肉への不安度別 鳥インフルエンザへの関心度

2) 家畜疫病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への不安（Q24）：
エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度別（Q21）分析

食肉の安全性の問題について不安を感じるもの（Q24／3つまで複数回答）を尋ねたところ、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」「牛のBSE（牛海綿状脳症）」がいずれも22.4%で最も高く、次いで「食肉中の残留抗生物質」が20.6%、「鳥インフルエンザ」が19.8%の順で高い。「牛・豚の口蹄疫」は7.9%、「アフリカ豚熱」は2.9%、「豚熱」は2.3%と不安度は高くない。

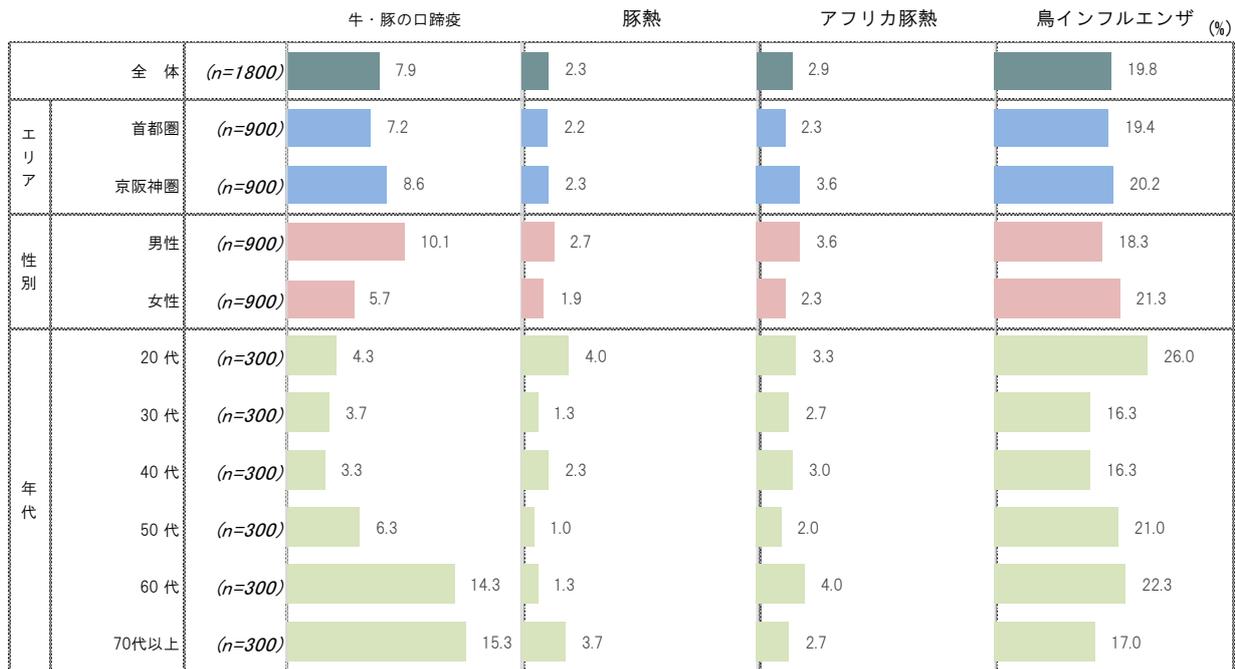


図表 21 食肉の安全性について不安を感じる事柄

家畜疫病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）の不安度をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「牛・豚の口蹄疫」は、男性が10.1%、女性が5.7%と、女性より男性の方が高い。「鳥インフルエンザ」は、女性21.3%、男性18.3%と、男性より女性の方がやや高い。

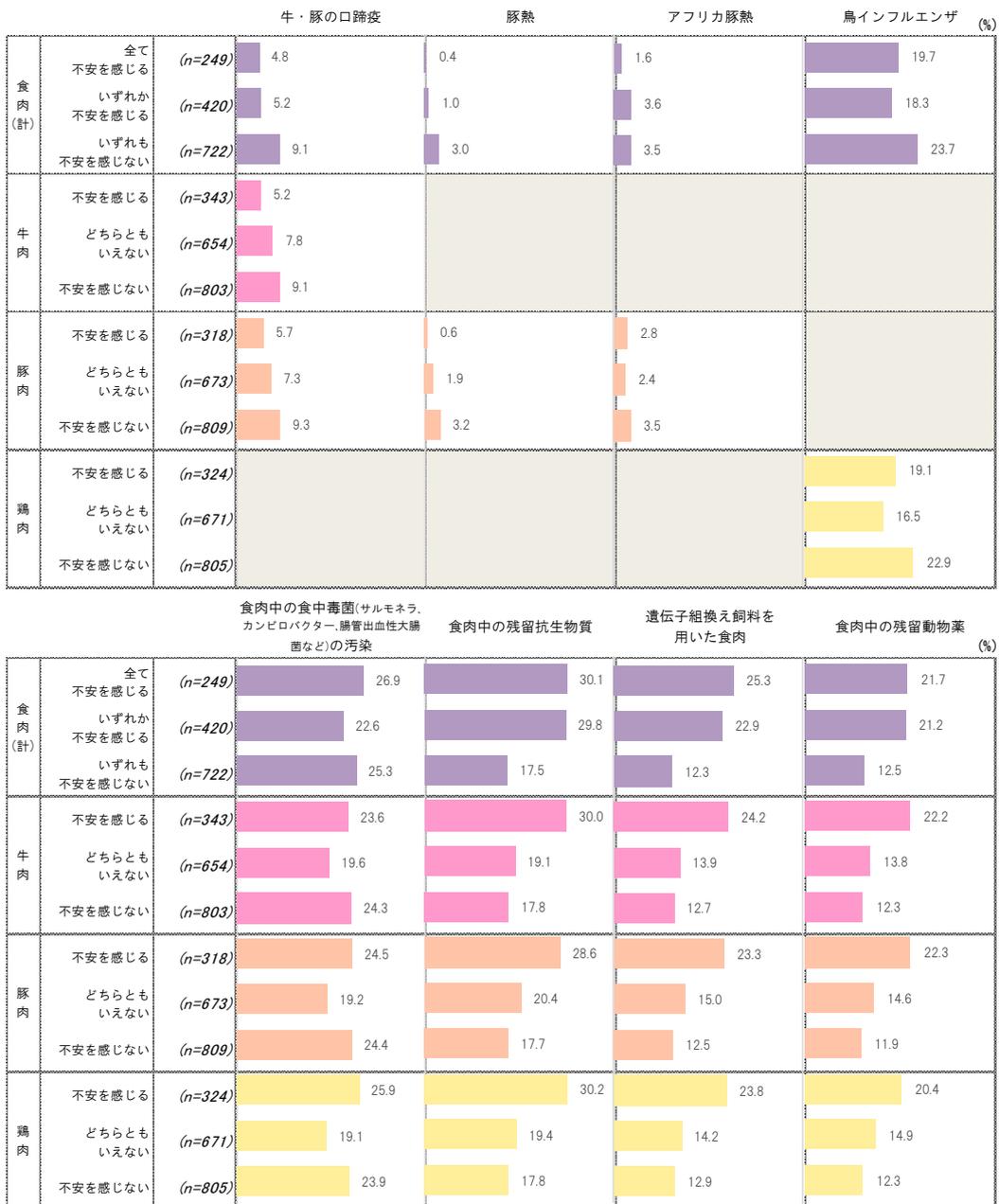
年代別に見ると、「牛・豚の口蹄疫」は70代以上が15.3%、60代が14.3%と高い。「鳥インフルエンザ」は、20代で26.0%と高くなっている。



図表 22 エリア・性・年代別 家畜疫病に「不安を感じる」回答者割合

食肉の不安度別に、家畜疫病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）の不安度を見ると、食肉（計）、該当の食肉に対して「不安を感じない層」の方が、いずれの家畜疫病に対しても不安度が高い傾向が見られた。

食肉（計）で「全て不安を感じる層」、「いずれか不安を感じる層」が不安を感じている食肉の安全性の問題は、「食肉中の残留動物薬」、「食肉中の食中毒菌の汚染」、「食肉中の残留抗生物質」、「遺伝子組換え飼料を用いた食肉」であり、鳥インフルエンザを除き、家畜疫病への不安度はこれらに比べそれほど高くない。食肉の種類別の鶏肉についてみると「鳥インフルエンザ」について、「不安を感じない層」が「不安を感じる層」、「どちらともいえない層」に比べ高くなっており、「口蹄疫」についても同様の傾向にあった。これら家畜疫病が食肉の安全性に係わる問題としながらも調査時点での「不安度」とは、直接的な関連性を把握できなかった。



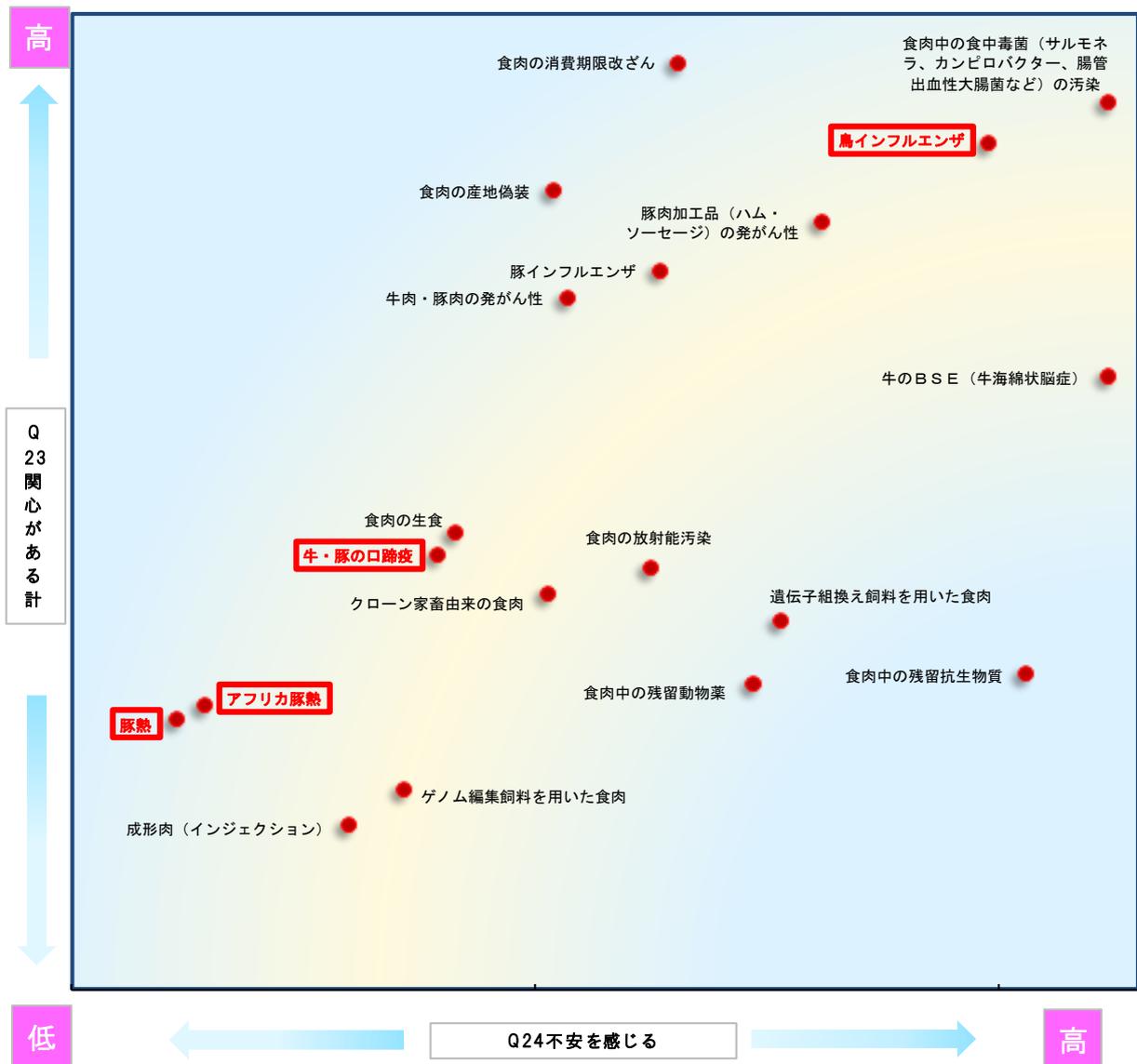
図表 23 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安セグメント別 家畜疫病への不安度

食肉の安全性の問題についての関心度（非常に関心がある＋やや関心があるの比率）を縦軸、不安度（3つまで複数回答）を横軸に、プロット図にまとめ、食肉の安全性の問題における家畜疫病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）のポジションを見た。

「鳥インフルエンザ」は、関心度・不安度ともに非常に高い問題であり、関心度・不安度ともに最も高い「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」に次ぐ位置にある。

「牛・豚肉の口蹄疫」は、「食肉の生食」と近い関心度・不安度の位置にある。

「豚熱」「アフリカ豚熱」は、関心度・不安度ともに、低い位置にある。



図表 24 食肉の安全性の問題における家畜疫病の関心度×不安度

3) 家畜疫病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への認知・理解
（Q25～Q28）：エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への
不安度別(Q21)分析

口蹄疫への認知・理解

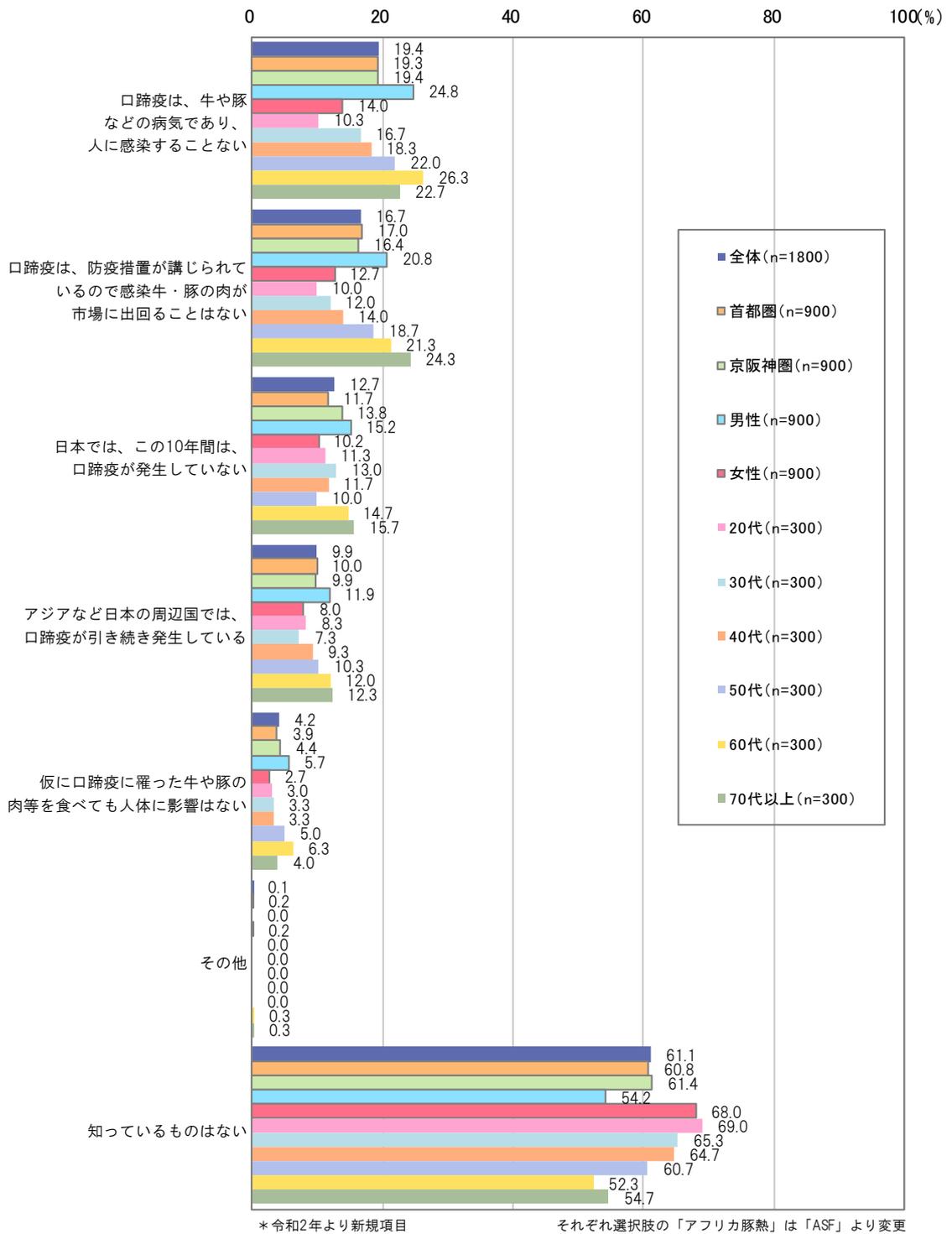
口蹄疫への認知・理解（Q26／複数回答）は、全体で見ると、「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、感染することはない」19.4%、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」16.7%、「日本では、この10年間は、口蹄疫が発生していない」12.7%の順に多い。

「知っているものはない」は、61.1%を占める。

エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、感染することはない」は、男性が24.8%、女性が14.0%と、女性より男性の方が多い。女性は「知っているものはない」が68.0%と多い。

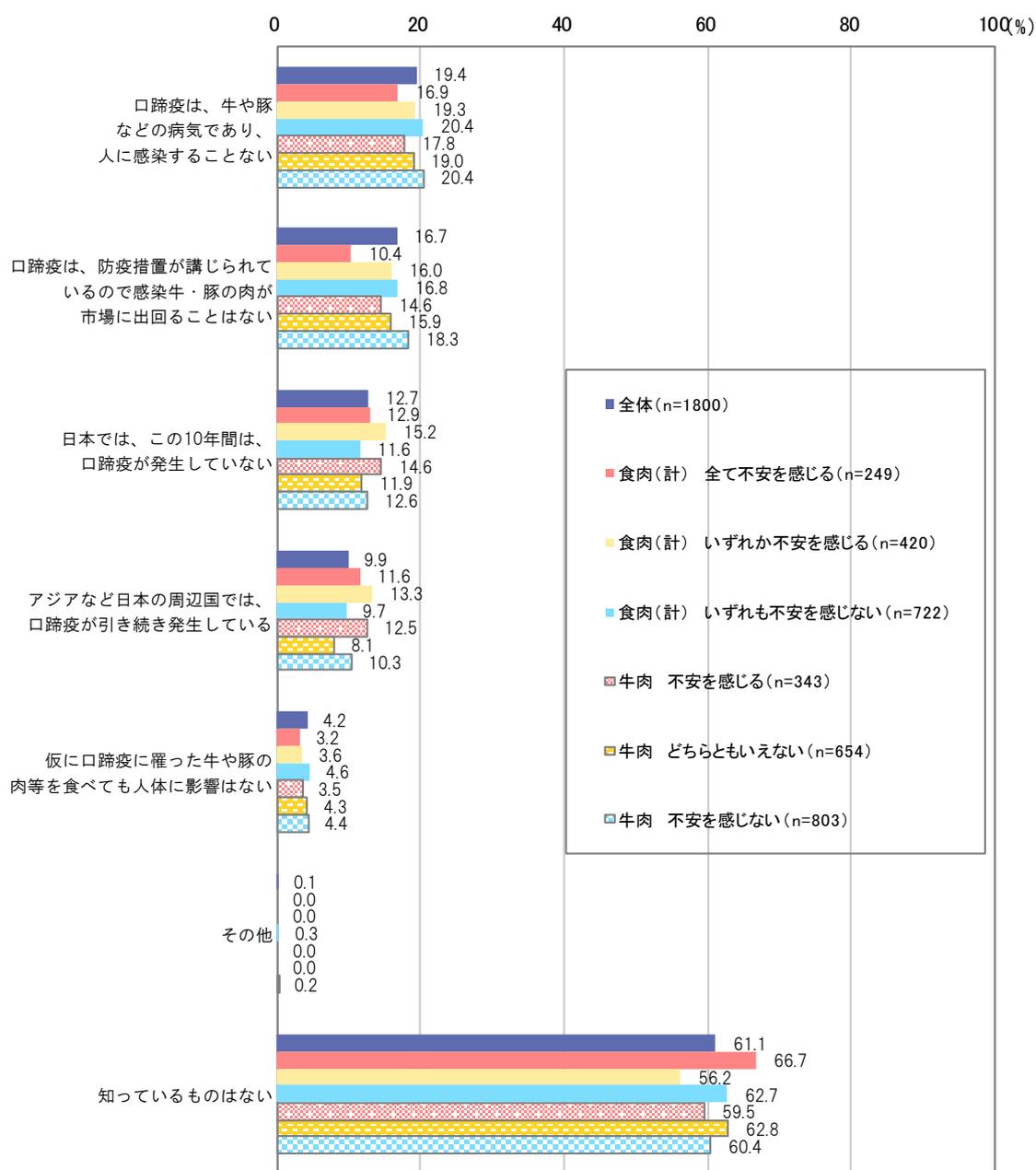
年代別に見ると、20代で「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、感染することはない」が10.3%、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」10.0%と少なく、「知っているものはない」が69.0%と多い。



図表 25 エリア・性・年代別 口蹄疫への認知・理解

牛肉への不安度別に見ると、「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、感染することはない」は、「不安を感じる層」17.8%より「不安を感じない層」20.4%の方が多く、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」も「不安を感じる層」14.6%より「不安を感じない層」18.3%の方が多い。

「知っているものはない」は、牛肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない」層で62.8%と多い。2010年に宮崎県で口蹄疫が発生してから10年が経過し、口蹄疫に関する認知度は、牛肉に対する不安感に影響を及ぼしていないと推察される。



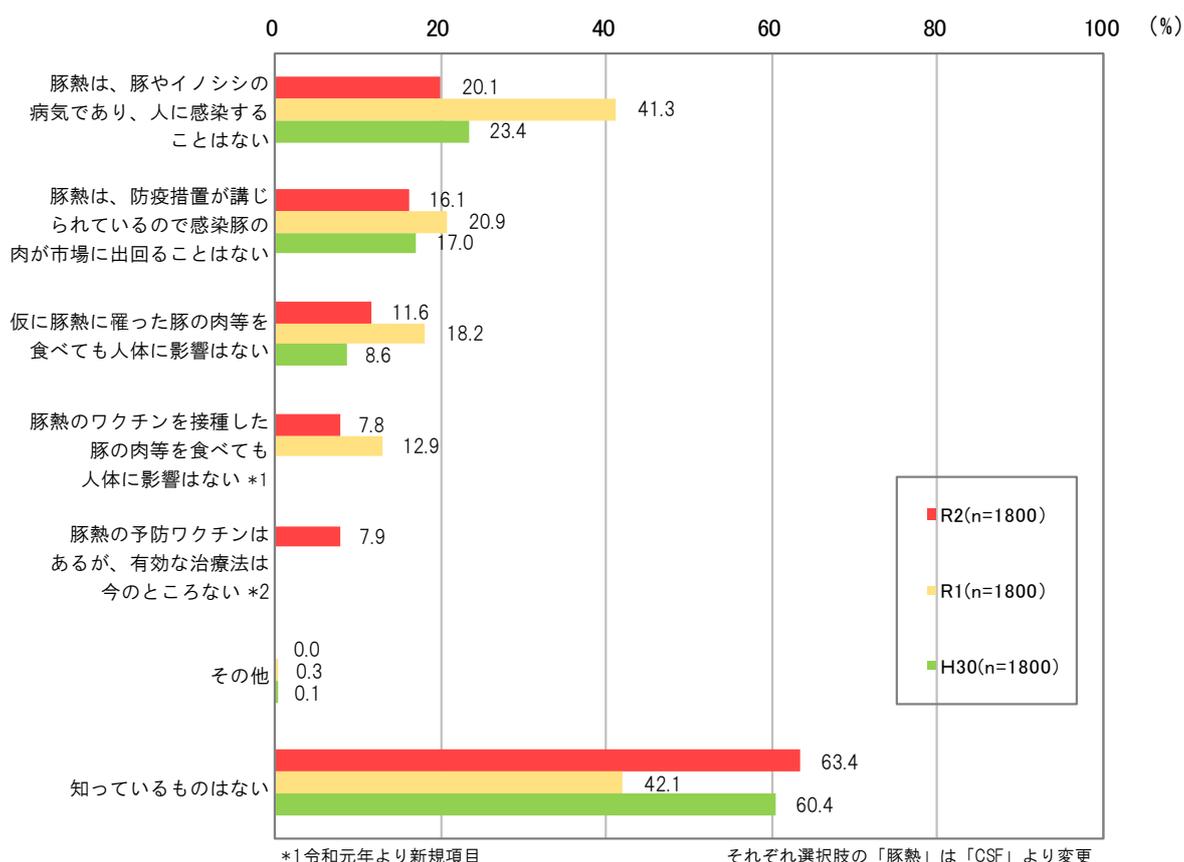
図表 26 食肉・牛肉への不安度別 口蹄疫への認知・理解

豚熱への認知・理解

豚熱への認知・理解（Q26／複数回答）は、全体で見ると、「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」20.1%、「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」16.1%、「仮に豚熱に罹った豚の肉等を食べても人体に影響はない」11.6%の順に多い。

「知っているものはない」が、昨年度42.1%から、今年度63.4%と21.3ポイント増加している。

過年度調査で見ると、順位は変わらないが、今年度はその比率が大幅に減少している。これは、平成30年度・令和元年度は「豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、令和2年2月5日に公布・施行された「家畜伝染病予防法の一部を改正する法律（令和2年法律第2号）」により「豚熱」に名称が変更されたことによるものと推察される。

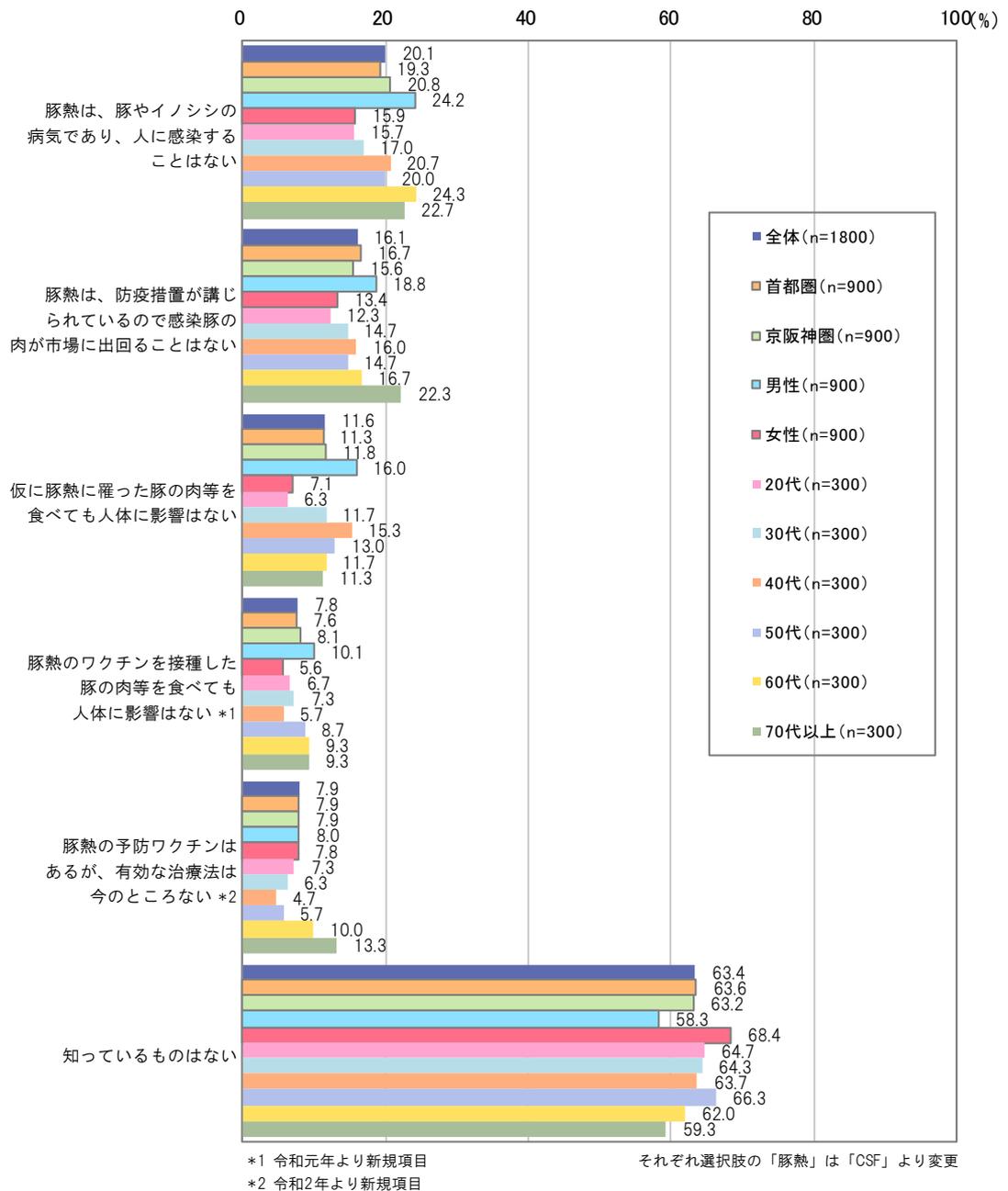


図表 27 豚熱への認知・理解（経年変化）

豚熱への認知・理解（Q26／複数回答）をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、いずれの認知・理解も女性より男性の方が多く、女性は「知っているものはない」が68.4%と多い。

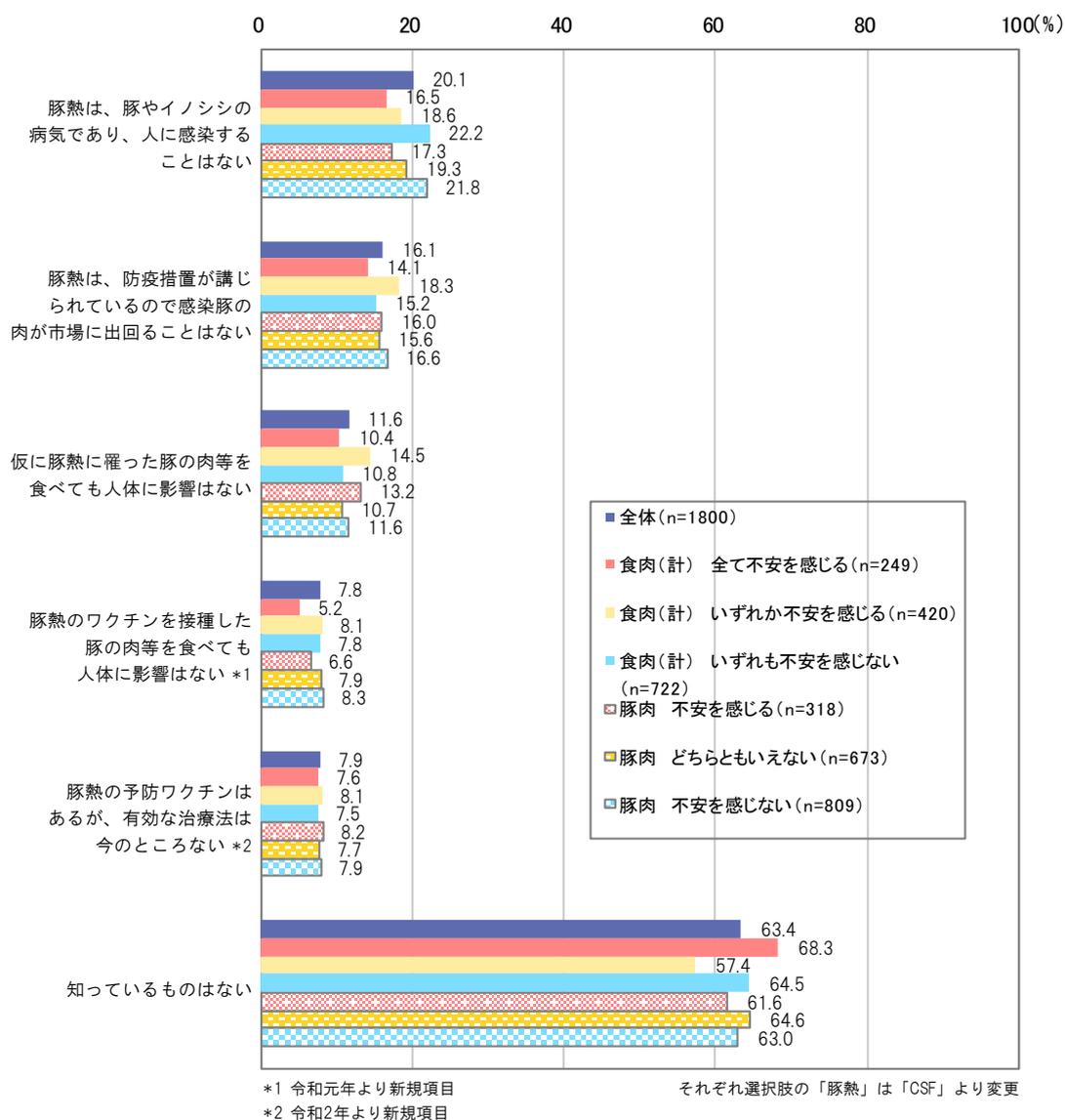
年代別に見ると、70代以上で「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」が22.3%、「豚熱の予防ワクチンはあるが、有効な治療法は今のところない」が13.3%と多く、他の年代に比べ認知・理解度が高い。一方、20代は、「仮に豚熱に罹った豚の肉等を食べても人体に影響はない」が6.3%と少ない。



図表 28 エリア・性・年代別 豚熱への認知・理解

豚熱の認知度を豚肉に対する不安度別に見ると、「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」を認知している者は、「豚肉に不安を感じる層」の17.3%、「豚肉に不安を感じない層」で21.8%であり、「他の項目の認知度」についても豚肉への不安の感じ方に大きな差は認められなかった。

「知っているものはない」は、豚肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で64.6%とやや高い。



図表 29 食肉・豚肉への不安度別 豚熱への認知・理解

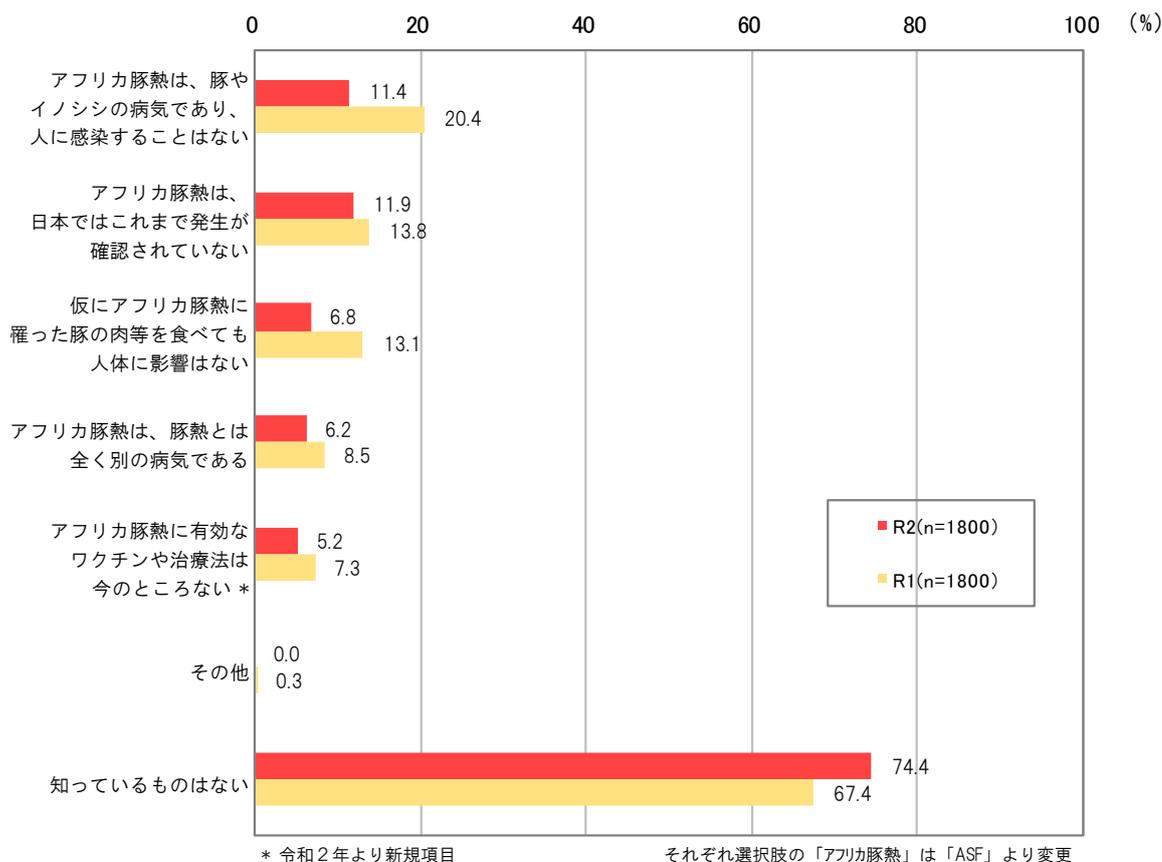
アフリカ豚熱への認知・理解

アフリカ豚熱への認知・理解（Q27／複数回答）は、全体で見ると、「アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない」11.9%、「アフリカ豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」11.4%の順に多い。

「知っているものはない」が、昨年度67.4%から、今年度74.4%と7ポイント増加している。

「アフリカ豚熱」は、日本での発生がなく、消費者にとっては、「豚熱」と比べると、認知・理解度が低い。

また、過年度調査でみると、順位は変わらないが、今年度はその比率が大幅に減少している。これは、令和元年度は「アフリカ豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、「豚熱」と同様に、「アフリカ豚熱」に名称が変更されたことによるものと推察される。

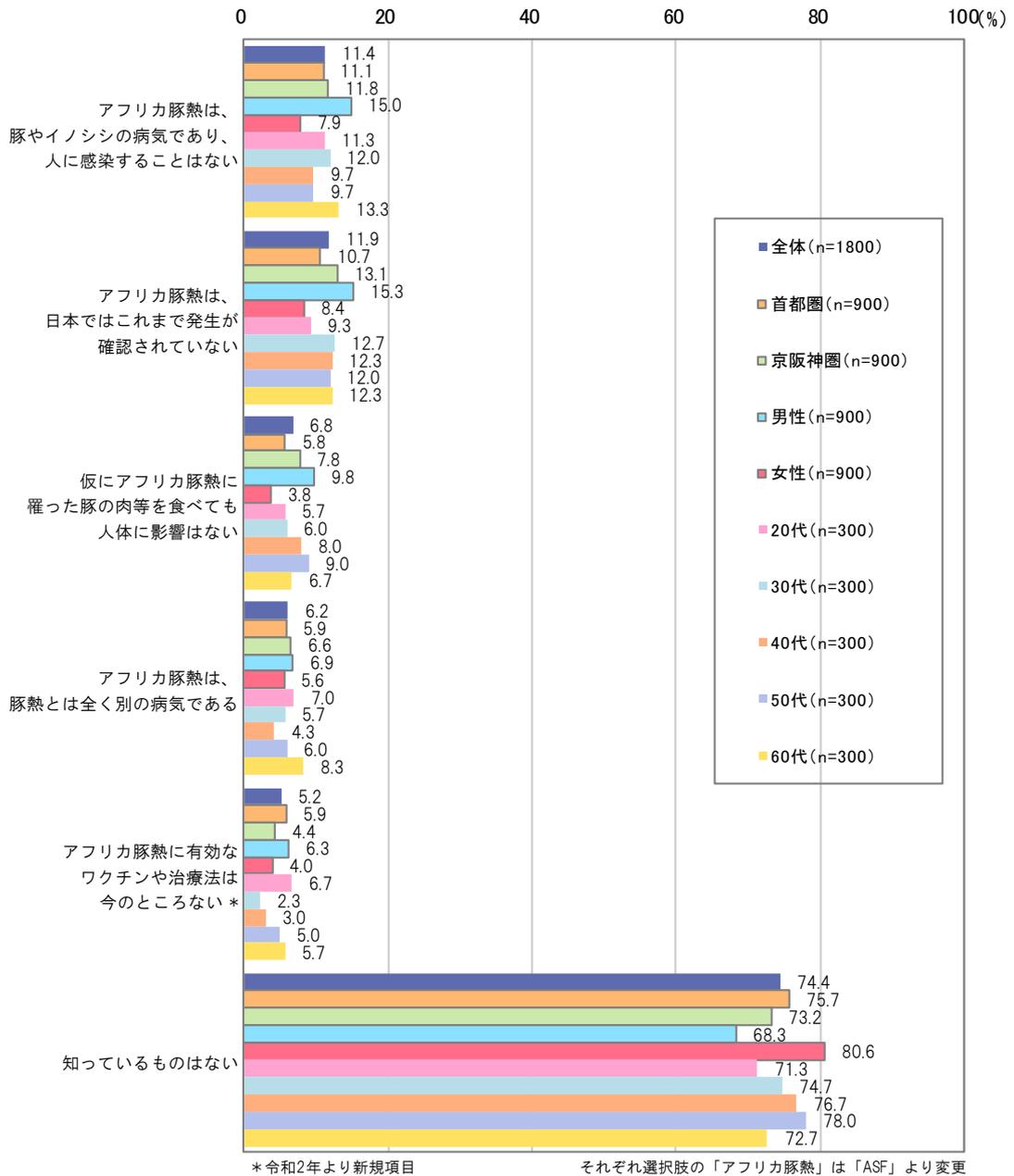


図表 30 アフリカ豚熱への認知・理解（経年変化）

アフリカ豚熱への認知・理解（Q27／複数回答）をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、いずれの認知・理解も女性より男性の方が多く、女性は「知っているものはない」が80.6%と多い。

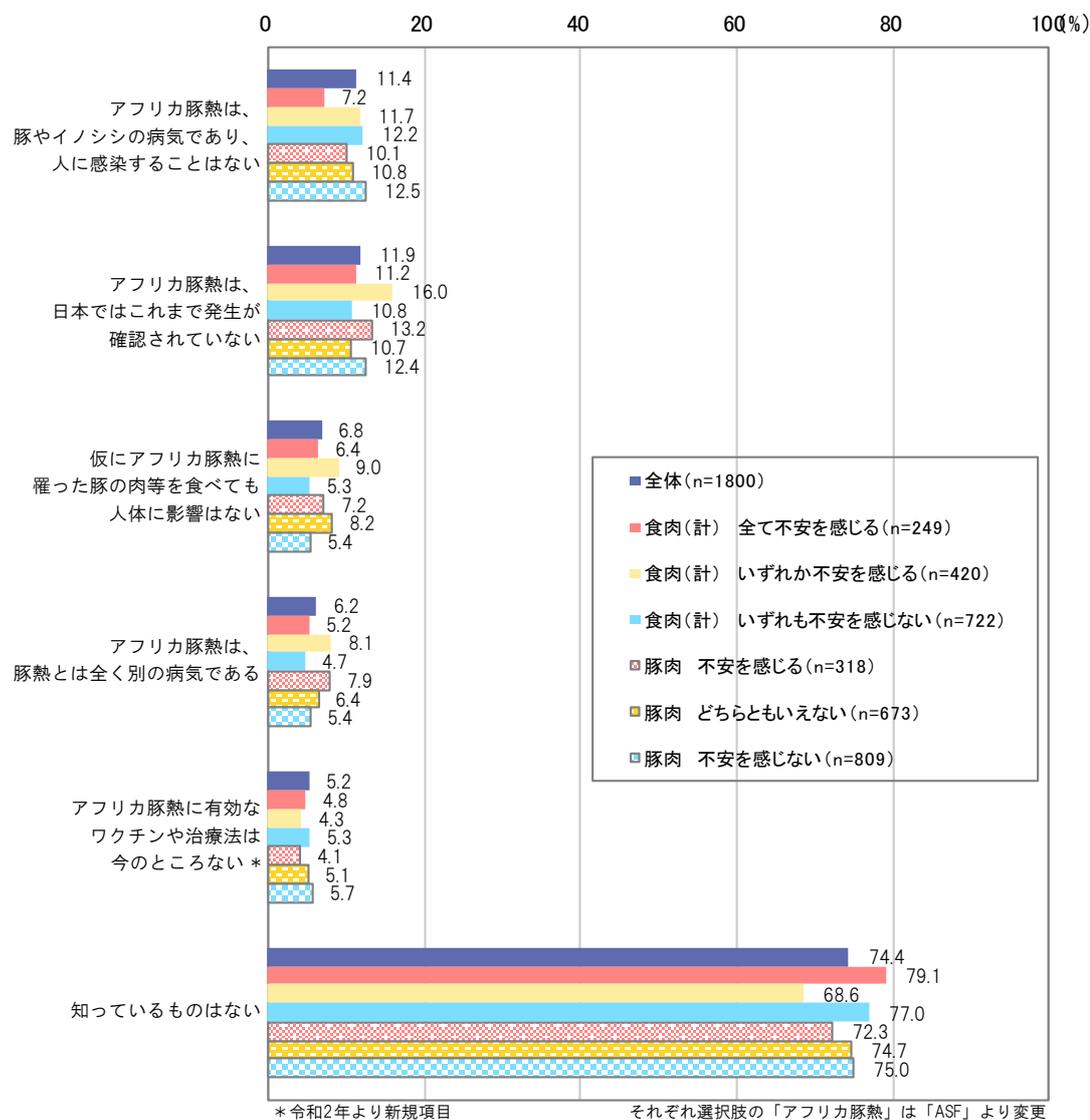
年代別に見ると、大きな違いは見られない。



図表 31 エリア・性・年代別 アフリカ豚熱への認知・理解

豚肉への不安度別に見ると、「アフリカ豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」は、「不安を感じる層」10.1%より「不安を感じない層」12.5%の方がやや多い。一方、「アフリカ豚熱は、豚熱とは全く別の病気である」は、「不安を感じない層」5.4%より「不安を感じる層」7.9%の方がやや多い。

「知っているものはない」は、いずれの層でも約7割である。

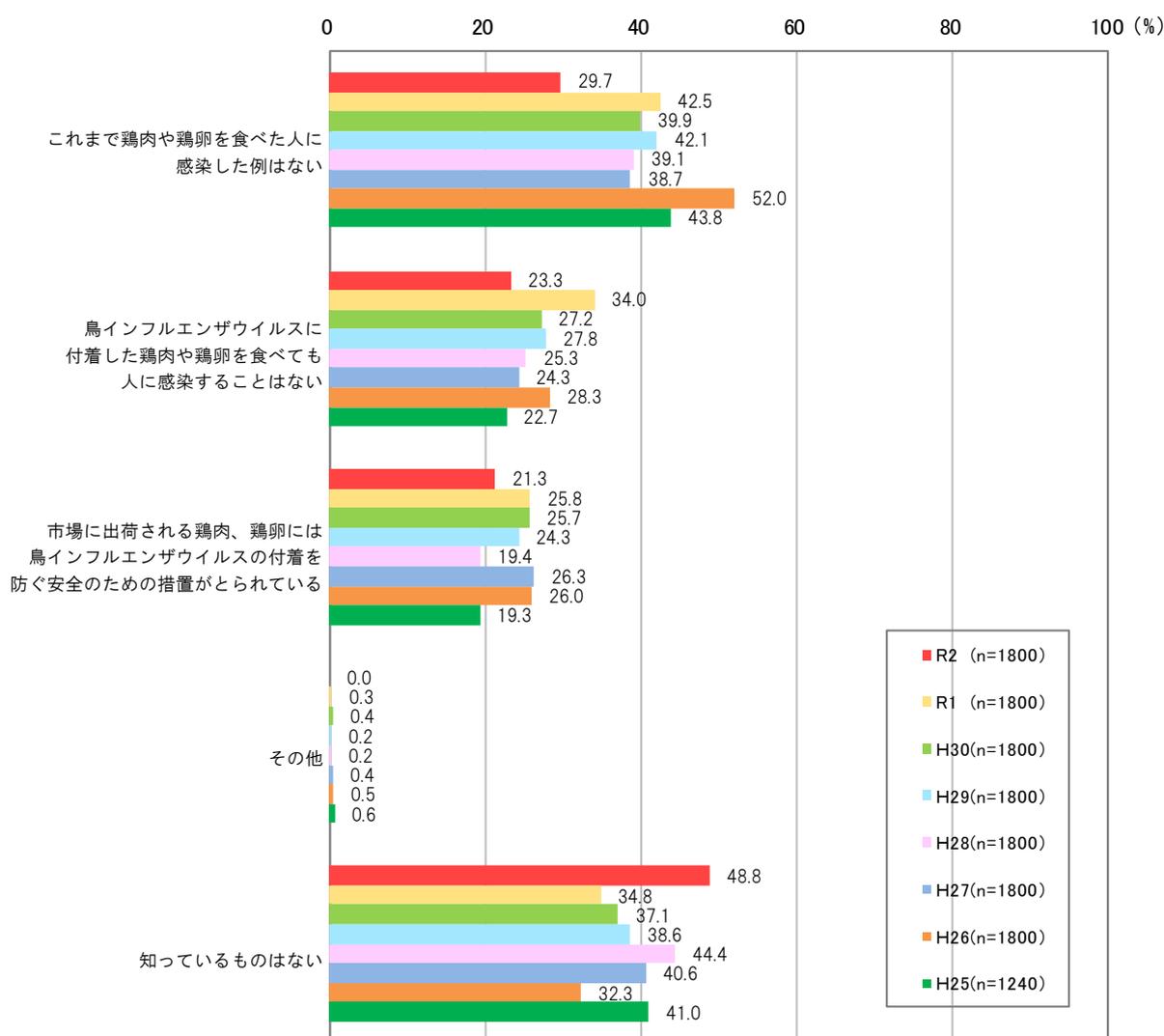


図表 32 食肉・豚肉への不安度 アフリカ豚熱への認知・理解

鳥インフルエンザへの認知・理解

鳥インフルエンザへの認知・理解（Q25／複数回答）は、全体で見ると、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」29.7%、「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」23.3%、「市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている」21.3%の順に多い。

過年度調査で見ると、順位は変わらないが、その比率が大幅に減少している。また、「知っているものはない」が、昨年度 34.8%から、今年度 48.8%と14ポイント増加している。

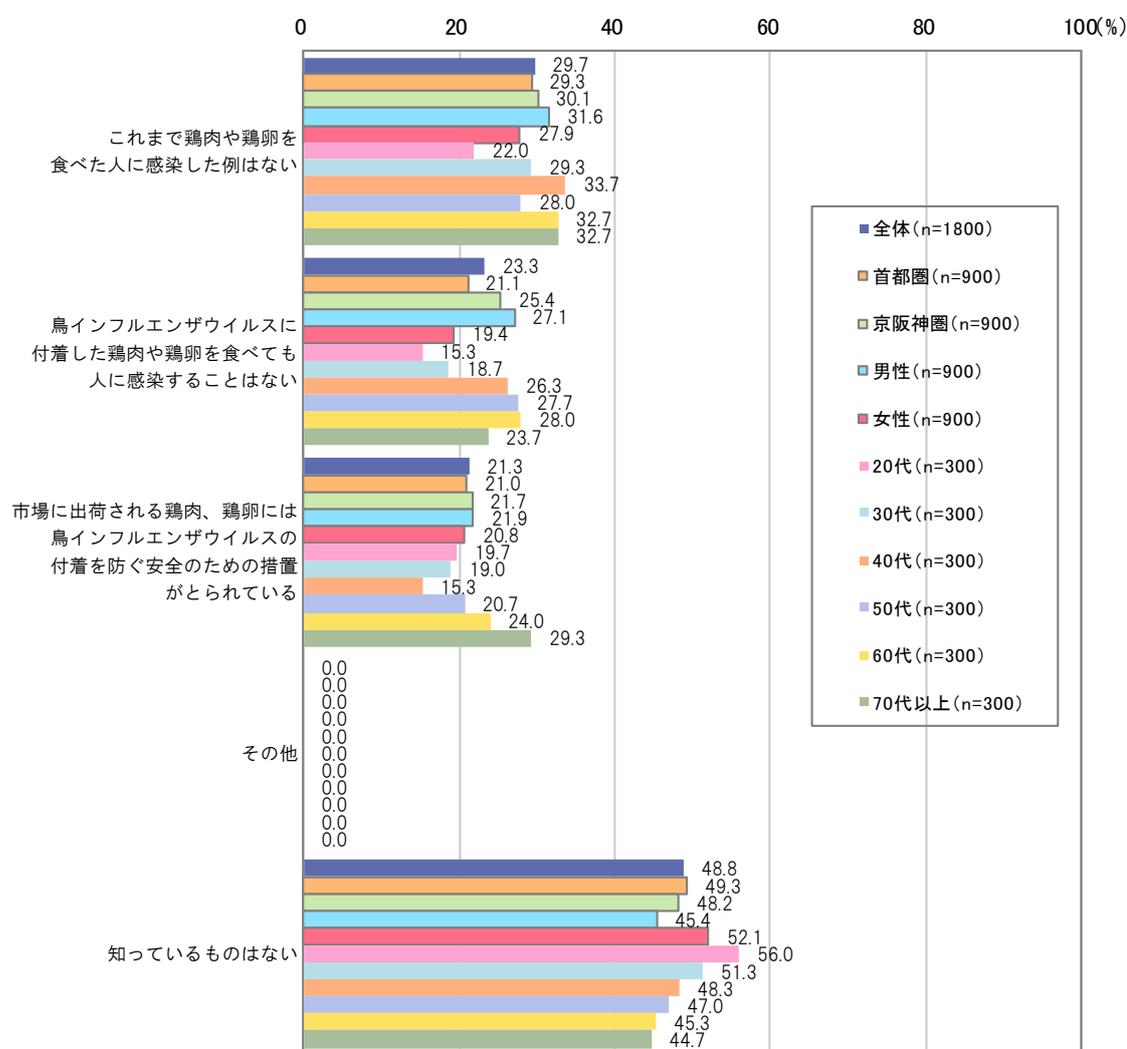


図表 33 鳥インフルエンザへの認知・理解（経年変化）

鳥インフルエンザへの認知・理解 (Q25/複数回答) をエリア別に見ると、「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」は、首都圏が 21.1%、京阪神圏が 25.4%と、首都圏より京阪神圏の方が多い。

性別に見ると、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」は男性が 31.6%、女性が 27.9%と女性より男性の方が多く、「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」も、男性が 27.1%、女性が 19.4%と、女性より男性の方が多い。女性は「知っているものはない」が 52.1%と半数以上を占める。

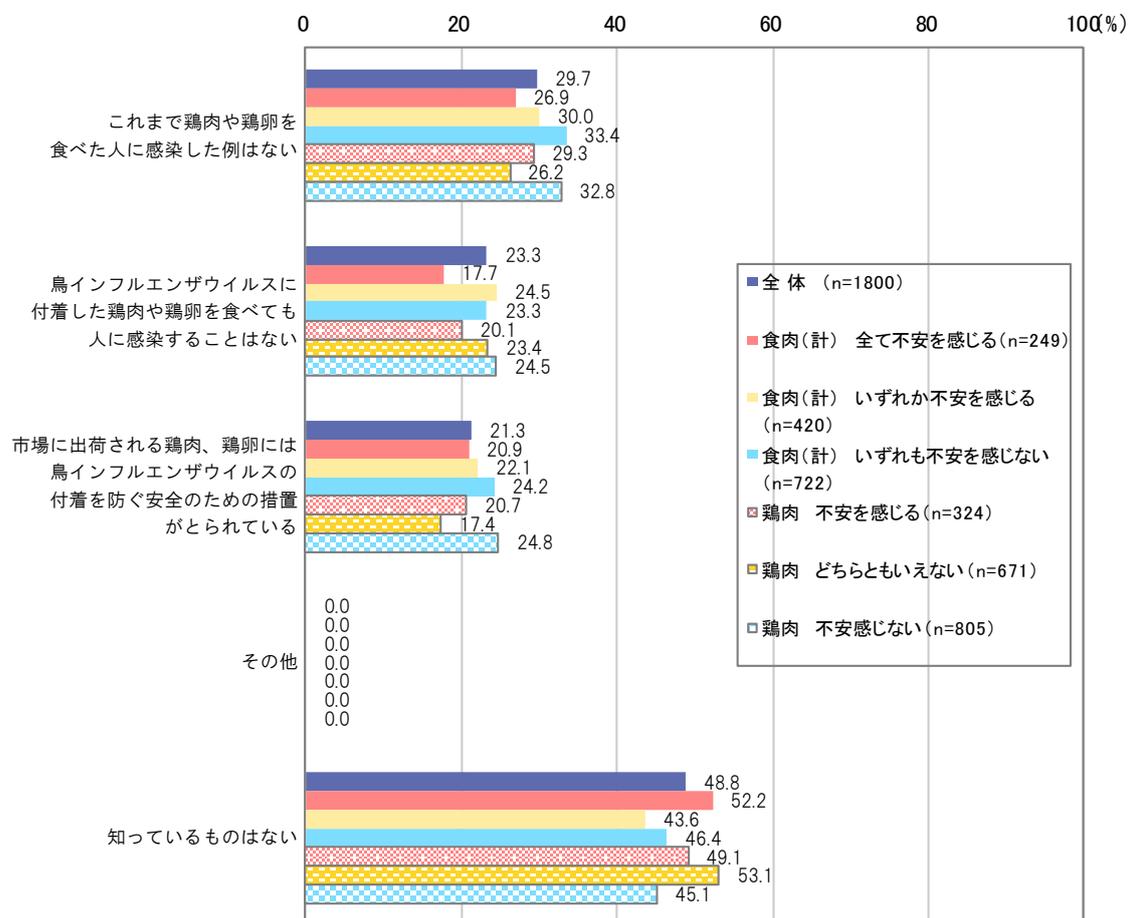
年代別に見ると、「知っているものはない」と回答した者の割合は、年代が高くなるにつれて減少し、20代で 56.0%、70代以上で 44.7%であった。



図表 34 エリア・性・年代別 鳥インフルエンザへの認知・理解

鶏肉への不安度別に見ると、いずれの項目に関しても「不安を感じる層」より「不安に感じない層」の方が認知度・理解が高く、「不安に感じない層」の方が鳥インフルエンザへの認知・理解度が高い。

「知っているものはない」は、鶏肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない」層で53.1%と多い。



図表 35 食肉・鶏肉への不安度別 鳥インフルエンザへの認知・理解

4) 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）の安全性への不安を感じる背景・理由（Q22）： テキストマイニング（共起ネットワーク分析・対応分析）

食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）の安全性への不安を感じる背景・理由（Q22 自由回答）について、テキストマイニングを用いた共起ネットワーク分析で、消費者意識の探索・把握を行った。

共起ネットワークとは、自由記述の文章を単語に分解して、同一文章内の共起関係から単語間の距離を計算し図示したものである。そのことによって自由記述の全体の特徴を知ることができる。ここでは、テキストマイニングのソフトとして、KH コーダーを利用している。単語間の距離については、Jaccard 係数を利用し、一般的に出現頻度が高く解釈の際に、文章の特徴とならない品詞である助詞・助動詞（「は」、「を」、「ます」、「らしい」など）や、名詞・動詞・形容詞・副詞（「する」、「すごい」、「そもそも」など）については計算の対象外としている。また単語は、頻度が5回以上出現しているものを対象としている。

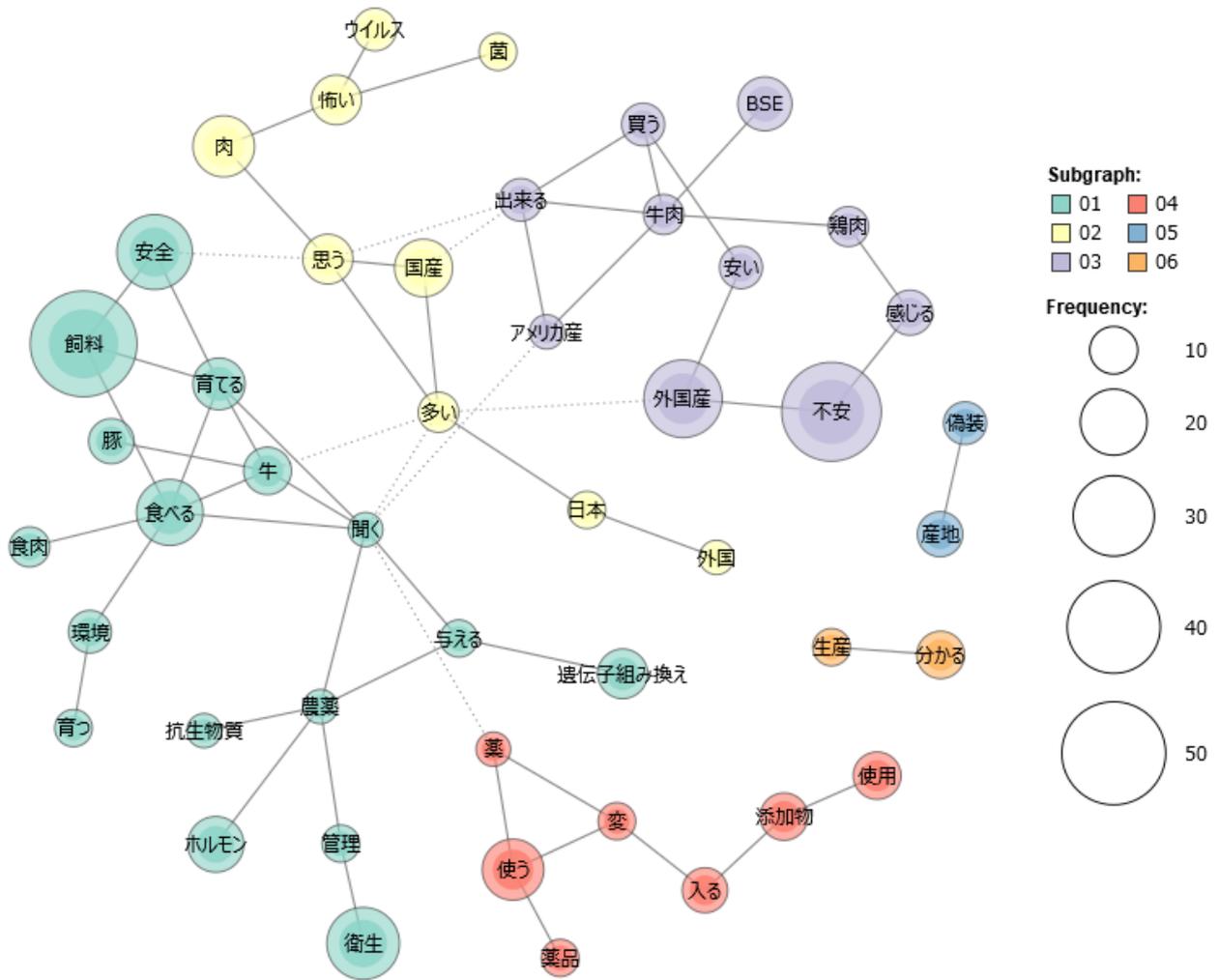
分析の手順として、文書を単語に分解する形態素解析では、『遺伝子組み換え』や『外国産』などの複合語は、一般的なコーパスによって「遺伝子」＋「組み換え」や「外国」＋「産」などに分解されるので、それらを事前に一つにまとめるように事前に登録を行う前処理を行っている。

<食肉の安全性についてのテキストマイニング>

Q21 において、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれかへの安全性について、「不安を感じる」または「どちらかといえば不安を感じる」と回答した人の対象者に対して、Q22 にて自由記述でその理由を聞いた。該当する 420 人中 262 人(62.4%)の自由記述の回答があり、その中で平均の文字列の長さは 19.4 文字であった。これらの自由記述のデータに対して、単語間の関係性などを把握するためにテキストマイニングを行った。

また『飼料』『餌』『エサ』などの同義語は、1つの語（ここでは『飼料』）にまとめるなどの前処理を行っている。他には、「外国産」、「国産以外」、「輸入肉」を「外国産」、「国産」、「国内産」、「日本産」を「国産」にまとめている。

自由記述の概観と単語間の関係性を見るために、単語間の共起ネットワークを下図に示す。



図表 36 食肉への不安に関する自由記述の共起ネットワーク

共起ネットワーク中の円の大きさは、出現頻度が高い単語であり、線があるのは、1つの自由記述文章の中に同時に出現する（共起）頻度が高く、結びつきが強いと解釈できる。1つの文章の中に出現する頻度が高い組み合わせであり、それらの単語のグループ（Subgraph）をみることで、文書全体でどのような話題（トピック）がでてくるかをビジュアル的に解釈できる。

左上部分の『飼料』は円が大きく出現頻度が高い単語であり、食肉の不安に関してキーワードであることが分かる。『飼料』が含まれる単語のグループには、『安全』『育てる』『食べる』などの単語が含まれている。このグループでは、例えば、「安全な飼料を食べているか」や「どんな飼料で育てられているか、その飼料は安全かどうか」などの自由記述が含まれ、どのような飼料を給与して育てられているかが安全性に関係していることが分かる。このことから安全性をアピールする際には、給与飼料の情報公開が重要であると推察できる。

また右上部分の『不安』と『外国産』はともに頻度が高く結びつきが強い。例えば「国産は安心感があるが、外国産のものは不安だ。」や「外国産の肉は安全面で不安、堅い、美味しくない。」など自由記述の回答から、外国産の食肉への不安があり、裏返しとして国産肉への信頼につながっていることが推察される。なおこのグループにある『出来る』(動詞)は、「以前狂牛病がニュースになって以来、アメリカ産牛肉については、抵抗がある。自分では購入しない。豚肉、鶏肉については出来れば国産を購入したい。」や、「身体に悪影響のものを食べさせて育てたものではないかと思って、安心して食べることは出来ない。」などの文脈で使われている。

右下部分の『使う』の頻度が大きいグループは、『変』(形容動詞)、『薬品』や『添加物』を包含して、例えば「変な薬や栄養剤を使って飼育されてないか？」「変な薬や添加物を使われていないか不安です」など自由記述から、薬品や添加物に対する不安が読み取れる。これらに対する不安解消も信頼構築に寄与すると考えられる。

他のグループを見ると、『ホルモン』『農薬』『抗生物質』など「薬品投与」に関する不安、『菌』と『ウイルス』に『怖い』が結びついているなど「ウイルス」に関する不安や、『産地』と『偽装』から「産地の偽装」についての不安が読み取れる。

2.2 「代替肉<植物肉>」に関する消費者意識の考察

- ・ 「代替肉<植物肉>」の認知度は、「詳しく知っている」2.4%、「ある程度知っている」16.3%、「何となく知っている」27.7%で、認知度計は46.4%。
- ・ 「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層では、認知度計が60.4%と全体より14.0ポイント高く、「ある程度知っている」が25.8%と高い。
- ・ 「代替肉<植物肉>」の喫食経験は、「店頭で見たことはあるが、食べたことはない」20.1%、「店頭で見たこともなく、食べたこともない」51.4%で、「食べたことない計」は71.5%を占め、喫食経験はまだ多くない。「1年以内に食べたことがある」は合わせて、17.1%。
- ・ 「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層では、39.6%と全体より11.1ポイント高く、「3カ月以内に食べたことがある」が10.0%と高い。
- ・ 「代替肉<植物肉>」の購入意向は、「わからない」が33.4%と最も多く、「食肉より<植物肉>が安ければ、購入したい・食べたい」31.0%、「食肉と<植物肉>が同程度の価格なら、購入したい・食べたい」14.0%であり、「食肉より<植物肉>が割高でも、購入したい・食べたい」が3.0%と少ない。「購入したい・食べたい計」は48.0%と半数弱で、「<植物肉>を購入したくない・食べたくない」は18.6%。
- ・ 「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層では、「<植物肉>を購入したい・食べたい」は62.4%と全体より14.4ポイント高く、「食肉より<植物肉>が割高でも、購入したい・食べたい」が6.5%。
- ・ 「代替肉<植物肉>」についての考え（イメージ）は、「健康に良い」が61.2%で最も多く、次いで、「環境に良い」46.1%、「人、社会、環境、地域、動物に配慮している」45.1%、「長期的な食料供給源として持続可能である」44.2%、「新規性・新しさを感じる」44.0%、「安全である」39.0%の順で、ポジティブなイメージでとらえられている。
- ・ ネガティブなイメージでは、「人工的」が29.5%、「美味しくない」が26.4%と多く、この2つのイメージの払拭が「代替肉<植物肉>」の課題。
- ・ 「代替肉（植物肉）」のイメージをテキストマイニングを用いた共起ネットワーク分析で見ると、『良い』『健康』『思う』『食べる』など健康に良いイメージがある。『味』を中心に『劣る』『食感』『変わる』に結びつきが強いグループでは今までの肉と変わることを心配する声が見られる。また『たんぱく質』と『低カロリー』の結びつきが強い。
- ・ 対応分析で見ると、女性20~39歳は『ダイエット』や『ヘルシー』の効果への期待、男性60~79歳は『違う』が近く、今までの肉と違うことを心配している様子が伺える。

2.2 では、「代替肉<植物肉>」の認知度を把握すること、及び 消費者の意識の違いを探ることを目的とした。

1) 「代替肉<植物肉>」の認知度 (Q41) のエリア・性・年代別分析、
 カロリー意識 (Q46) 別分析

「代替肉<植物肉>」の説明文を提示して聞いた認知度 (Q45) は、「詳しく知っている」が 2.4%、「ある程度知っている」が 16.3%、「何となく知っている」が 27.7%で、認知度計は全体の 46.4%である。一方、非認知は、「あまりよく知らない」が 18.8%、「知らない」が 11.5%、「全く知らない」が最も多く 23.2%で、非認知度計は全体の 53.5%と半数以上を占める。

エリア別に認知度計を見ると、首都圏が 50.5%、京阪神圏が 42.4%と、京阪神圏より首都圏の方が認知度が高い。

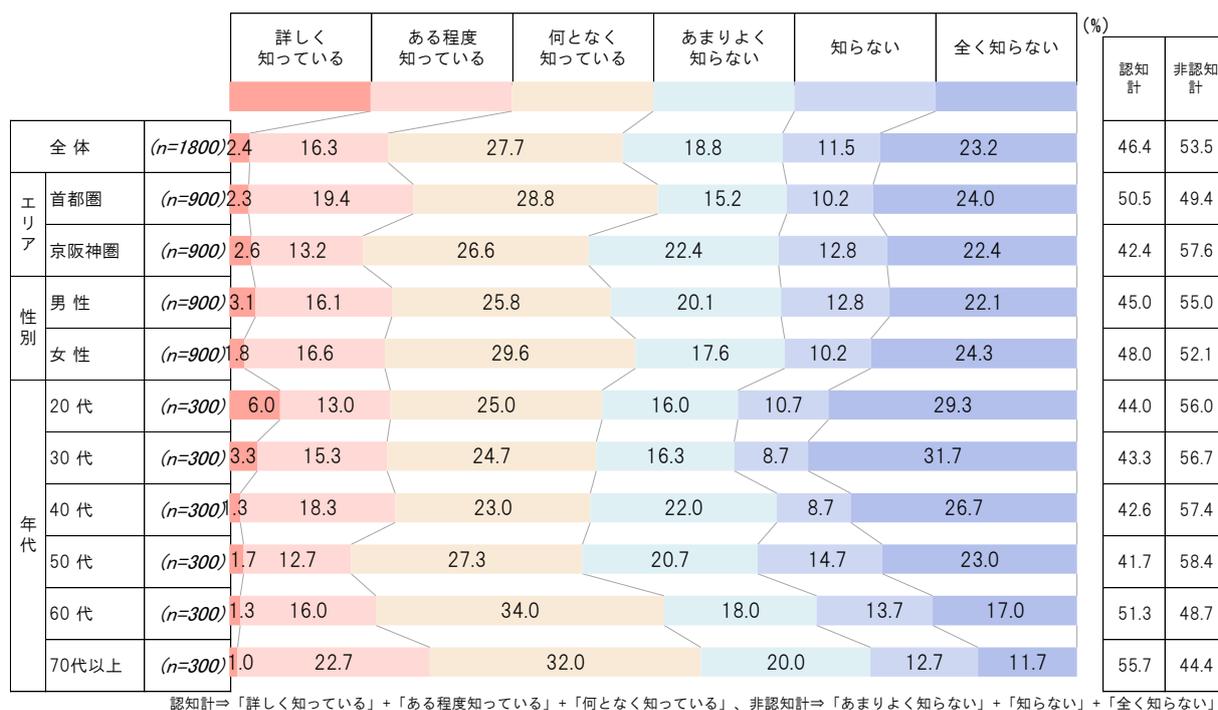
男女別に見ると、「なんとなく知っている」が女性の方が高く、認知度計を見ると女性が 48.0%、男性が 45.0%と、男性より女性の方が認知度が高い。

年代別に認知度計を見ると、70代以上が 55.7%、60代が 51.3%と高く、特に、若い年代ほど「詳しく知っている」回答者割合が高い。

「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」は、大豆などの植物タンパク質由来の原料を使って、食肉の風味と食感を持たせた製品(大豆ハンバーグ、大豆ソーセージ、大豆バーガー、大豆ミートなど)で、国内外で製造・販売され、小売店頭で見かけることが増えてきています。「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」が世界的に急速に拡大している背景には、以下のようなことがあります。

- ・世界的な人口増加により、食肉需要が急増しています。それに伴う家畜の飼育による環境負荷(肉食増大に伴う土地・水の利用増大、温暖化ガスの排出増加)、動物肉を媒介とする感染症リスクが高まっています。また、環境問題意識や動物愛護の高まりもあります。
- ・人々の健康志向(肥満の軽減、生活習慣病の抑制)、持続可能な食糧生産への配慮などもあります。また、代替肉の味が改良されて食味が向上しています。

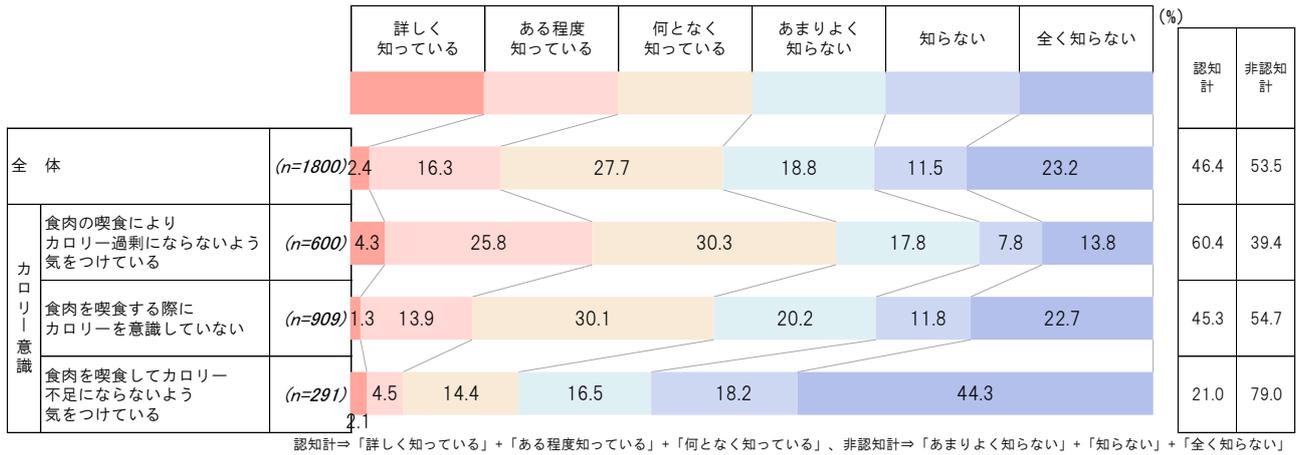
図表 37 提示説明文



図表 38 「代替肉<植物肉>」の認知度

「代替肉<植物肉>」の認知度を「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」(Q46)別に認知度計で見ると、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層では、認知度計が60.4%と全体より14.0ポイント高く、「ある程度知っている」が25.8%と高い。

一方、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」層では認知度計が45.3%で、「食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている」層では認知度計が21.0%と非常に低くなっている。



図表 39 食肉の喫食によるカロリーに対する意識別 「代替肉<植物肉>」の認知度

2) 「代替肉<植物肉>」の喫食経験 (Q42) のエリア・性・年代別分析、 カロリー意識 (Q46) 別分析

「代替肉<植物肉>」の説明文を提示して喫食経験 (Q42) を聞いたところ、「店頭で見たことはあるが、食べたことがない」が 20.1%、「店頭で見たこともなく、食べたこともない」が 51.4%で、「食べたことない計」は 71.5%を占め、喫食経験はまだ多くない。「1年以内に食べたことがある」は合わせて、17.1%である。

エリア別に「食べたことがある計」を見ると、首都圏が 31.2%、京阪神圏が 25.8%と、京阪神圏より首都圏の方が多い。

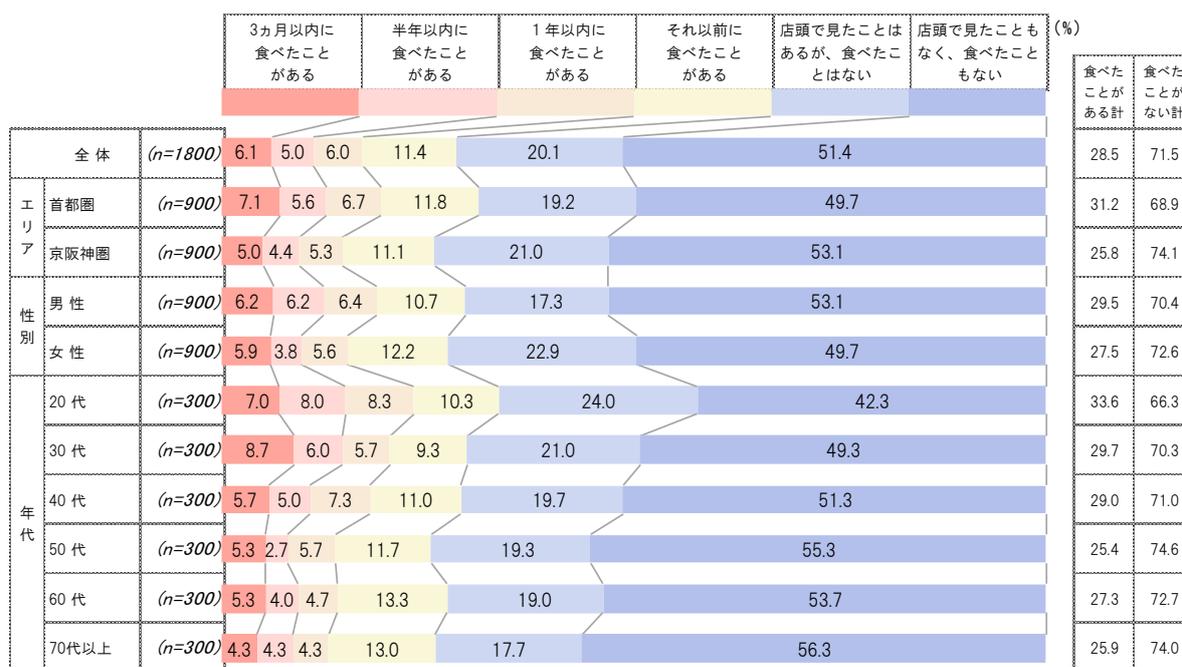
男女別に見ると、男女で大きな違いは見られないが、女性は「店頭で見たことはあるが、食べたことがない」が 22.9%と男性より多い。

年代別に「食べたことがある計」を見ると、若い年代の方が喫食経験が多い、20代では 33.6%と多い。

「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」は、大豆などの植物タンパク質由来の原料を使って、食肉の風味と食感を持たせた製品(大豆ハンバーグ、大豆ソーセージ、大豆バーガー、大豆ミートなど)で、国内外で製造・販売され、小売店頭で見かけることが増えてきています。「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」が世界的に急速に拡大している背景には、以下のようなことがあります。

- ・世界的な人口増加により、食肉需要が急増しています。それに伴う家畜の飼育による環境負荷(肉食増大に伴う土地・水の利用増大、温暖化ガスの排出増加)、動物肉を媒介とする感染症リスクが高まっています。また、環境問題意識や動物愛護の高まりもあります。
- ・人々の健康志向(肥満の軽減、生活習慣病の抑制)、持続可能な食糧生産への配慮などもあります。また、代替肉の味が改良されて食味が向上しています。

図表 40 提示説明文

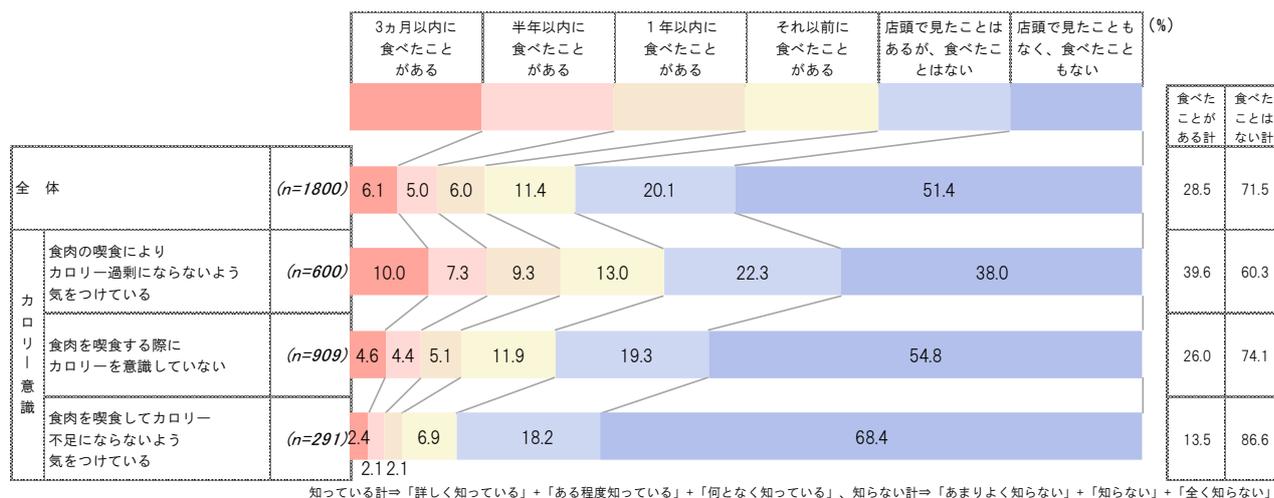


知っている計⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「何となく知っている」、知らない計⇒「あまりよく知らない」+「知らない」+「全く知らない」

図表 41 「代替肉<植物肉>」の喫食経験

「代替肉<植物肉>」の喫食経験を「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」(Q46)別に「食べたことがある計」で見ると、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層では、39.6%と全体より11.1ポイント高く、「3カ月以内に食べたことがある」が10.0%と高い。

一方、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」層では「食べたことがある計」が26.0%、「食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている」層では「食べたことがある計」が13.5%と低くなっている。



図表 42 食肉の喫食によるカロリーに対する意識別 「代替肉<植物肉>」の喫食経験

3) 「代替肉<植物肉>」の購入意向 (Q43) のエリア・性・年代別分析、 カロリー意識 (Q46) 別分析

「代替肉<植物肉>」の説明文を提示して聞いた購入意向 (Q43) は、「わからない」が 33.4%と最も多く、「食肉より<植物肉>が安ければ、購入したい・食べたい」が 31.0%、「食肉と<植物肉>が同程度の価格なら、購入したい・食べたい」が 14.0%であり、「食肉より<植物肉>が割高でも、購入したい・食べたい」が 3.0%と少ない。「購入したい・食べたい計」は 48.0%と半数弱で、「<植物肉>を購入したくない・食べたくない」は 18.6%である。

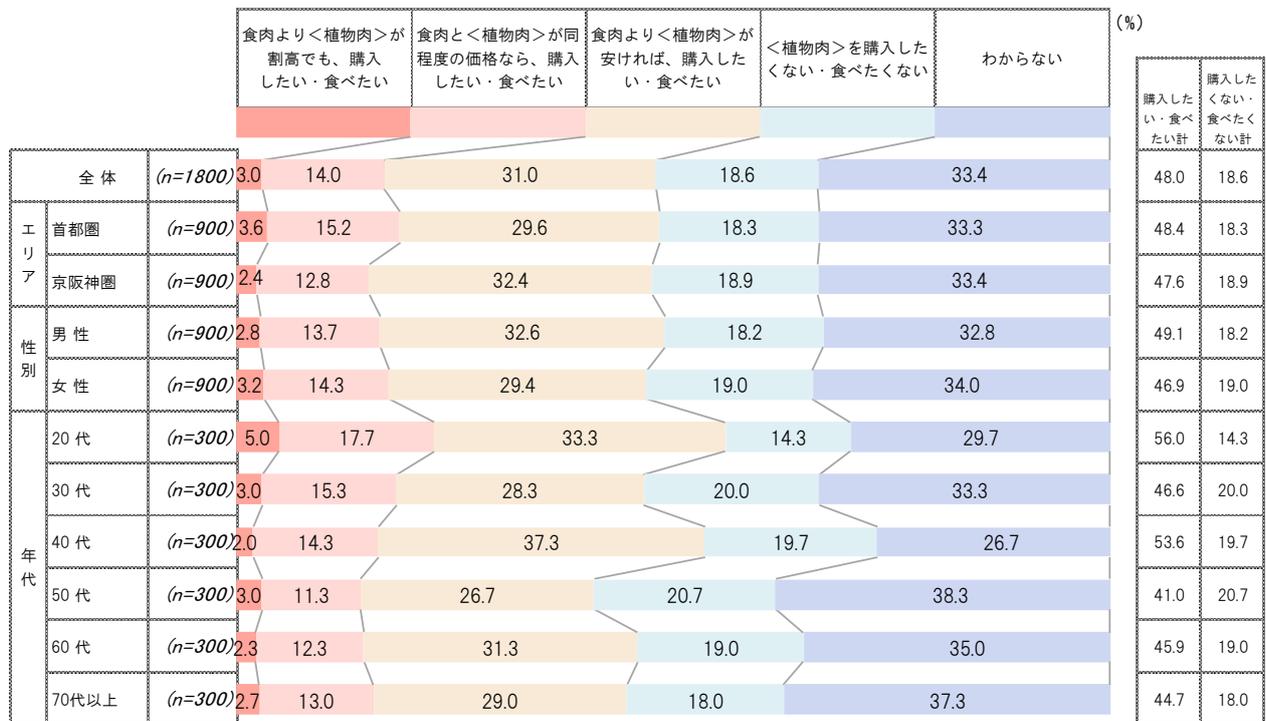
エリア別、男女別に「購入したい・食べたい計」を見ても、大きな違いは見られない。

年代別に「購入したい・食べたい計」を見ると、20代が 56.0%と高く、「食肉より<植物肉>が割高でも、購入したい・食べたい」が 5.0%とやや高い。

「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」は、大豆などの植物タンパク質由来の原料を使って、食肉の風味と食感を持たせた製品(大豆ハンバーグ、大豆ソーセージ、大豆バーガー、大豆ミートなど)で、国内外で製造・販売され、小売店頭で見かけることが増えてきています。「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」が世界的に急速に拡大している背景には、以下のようなことがあります。

- ・世界的な人口増加により、食肉需要が急増しています。それに伴う家畜の飼育による環境負荷(肉食増大に伴う土地・水の利用増大、温暖化ガスの排出増加)、動物肉を媒介とする感染症リスクが高まっています。また、環境問題意識や動物愛護の高まりもあります。
- ・人々の健康志向(肥満の軽減、生活習慣病の抑制)、持続可能な食糧生産への配慮などもあります。また、代替肉の味が改良されて食味が向上しています。

図表 43 提示説明文

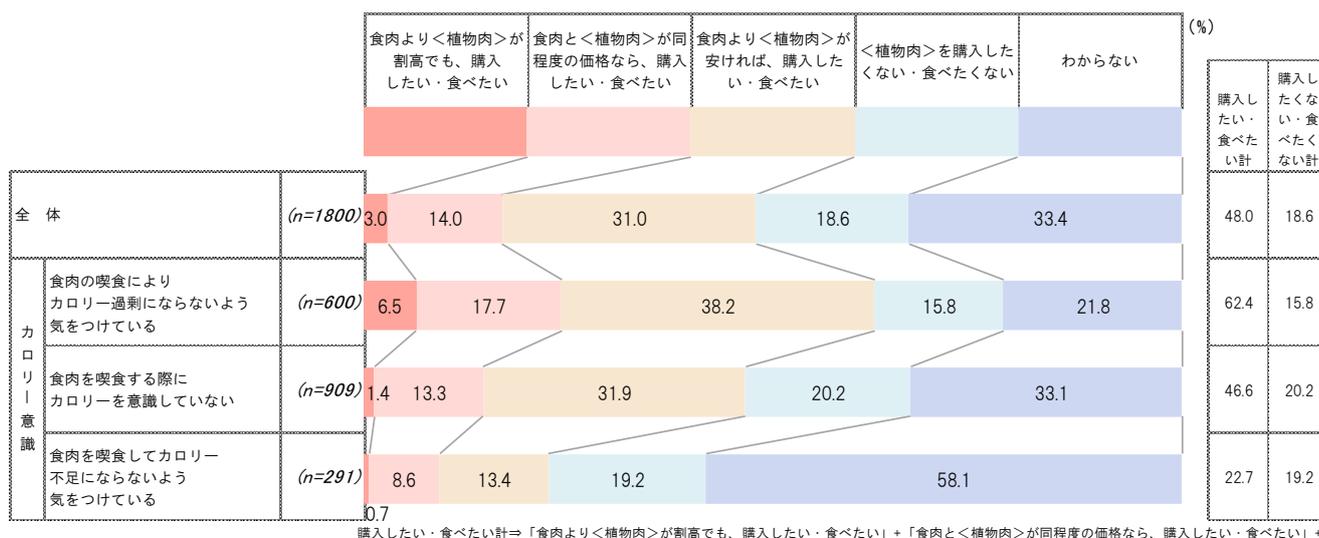


知っている計⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「何となく知っている」、知らない計⇒「あまりよく知らない」+「知らない」+「全く知らない」

図表 44 エリア・性・年代別 「代替肉<植物肉>」の購入意向

「代替肉<植物肉>」の購入意向を「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」(Q46)別に「購入したい・食べたい計」で見ると、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層では、62.4%と全体より14.4ポイント高く、「食肉より<植物肉>が割高でも、購入したい・食べたい」が6.5%と高い。

一方、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」層では「購入したい・食べたい計」が46.6%、「食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている」層では「購入したい・食べたい計」が22.7%と非常に低くなっている。



図表 45 食肉の喫食によるカロリーに対する意識別 「代替肉<植物肉>」の購入意向

4) 「代替肉<植物肉>」についての考え (Q45) のエリア・性・年代別分析、カロリー意識 (Q46) 別分析、コレスポンデンス分析、因子分析

「代替肉<植物肉>」の説明文を提示して、「代替肉<植物肉>」についての16項目の考え (イメージ) についてA・Bのどちらに近い (Q45) を聞いた。

「近い+やや近い計」で見ると、「健康に良い」が61.2%で最も多く、次いで、「環境に良い」46.1%、「人、社会、環境、地域、動物に配慮している」45.1%、「長期的な食料供給源として持続可能である」44.2%、「新規性・新しさを感じる」44.0%、「安全である」39.0%の順に多く、ポジティブなイメージでとらえられている。

一方、ネガティブなイメージでは、「人工的」が29.5%、「美味しくない」が26.4%と多く、この2つのイメージの払拭が「代替肉<植物肉>」の課題である。

「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」は、大豆などの植物タンパク質由来の原料を使って、食肉の風味と食感を持たせた製品(大豆ハンバーグ、大豆ソーセージ、大豆バーガー、大豆ミートなど)で、国内外で製造・販売され、小売店頭で見かけるが増えてきています。「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」が世界的に急速に拡大している背景には、以下のようなことがあります。

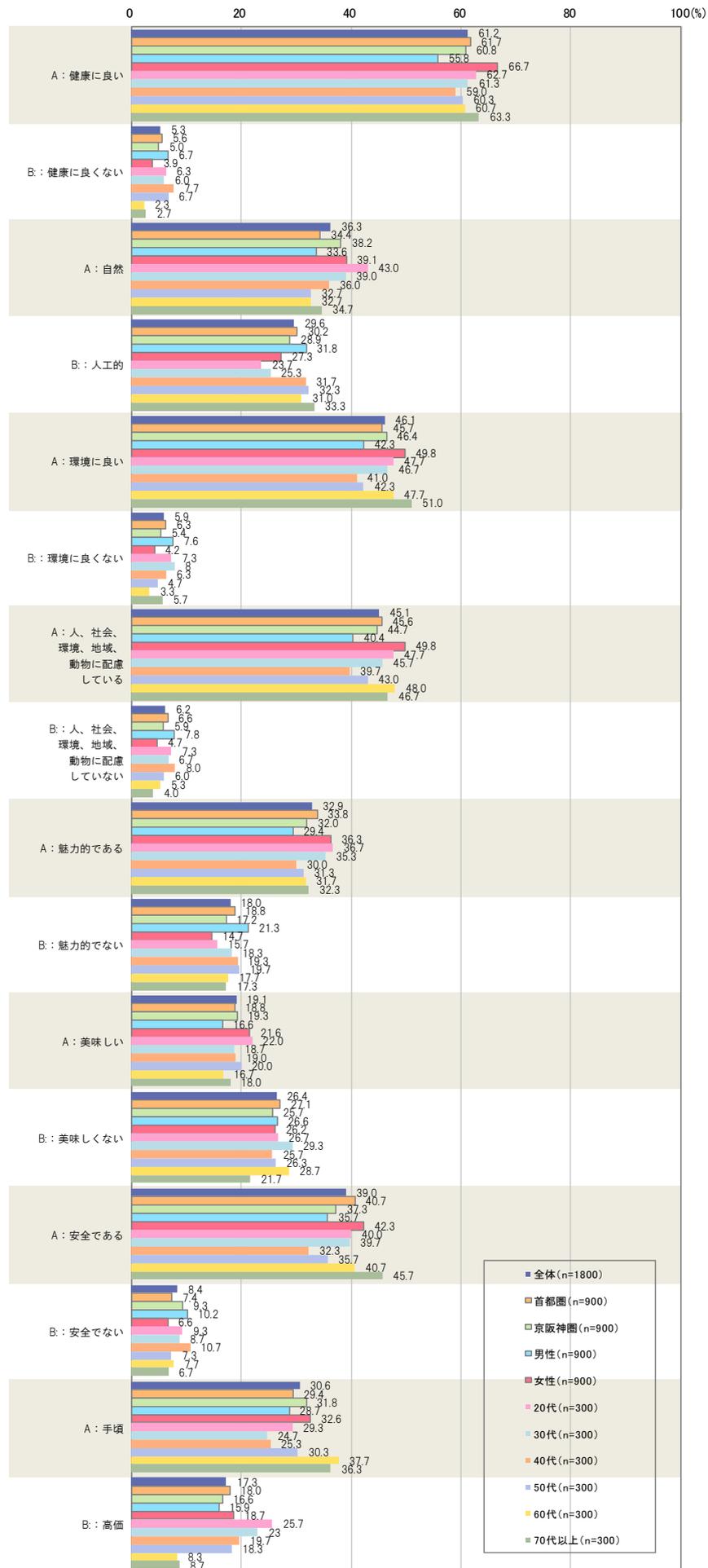
- ・世界的な人口増加により、食肉需要が急増しています。それに伴う家畜の飼育による環境負荷(肉食増大に伴う土地・水の利用増大、温暖化ガスの排出増加)、動物肉を媒介とする感染症リスクが高まっています。また、環境問題意識や動物愛護の高まりもあります。
- ・人々の健康志向(肥満の軽減、生活習慣病の抑制)、持続可能な食糧生産への配慮などもあります。また、代替肉の味が改良されて食味が向上しています。

図表 46 提示説明文

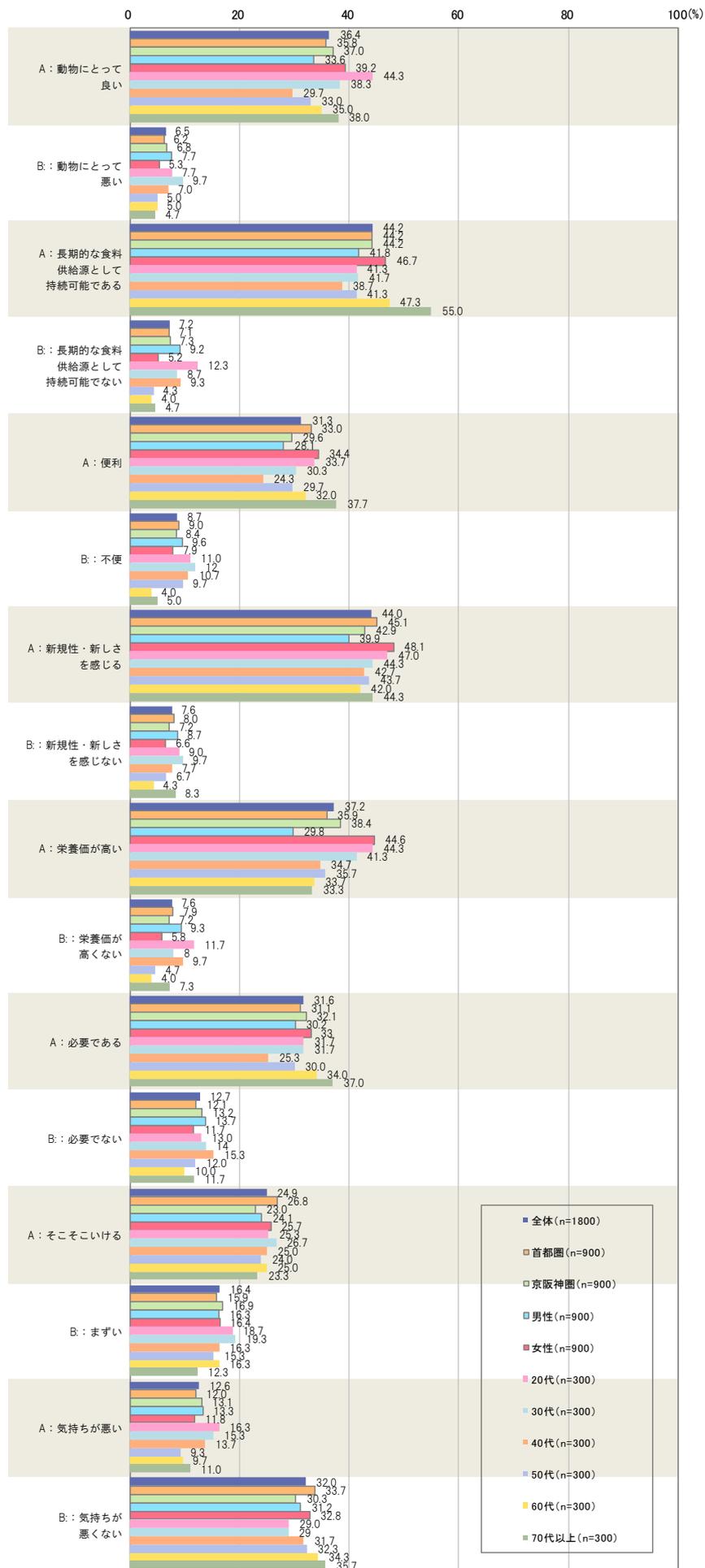
【A】	【A】に近い計	Aに近い					【B】に近い計	【B】
		Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い		
健康に良い	61.2	22.4	38.8	33.5	3.6	5.3	健康に良くない	
自然	36.3	11.1	25.2	34.1	19.7	9.8	人工的	
環境に良い	46.1	12.9	33.2	48.1	4.8	5.9	環境に良くない	
人、社会、環境、地域、動物に配慮している	45.1	12.2	32.9	48.7	5.2	6.3	人、社会、環境、地域、動物に配慮していない	
魅力的である	32.9	8.2	24.7	49.1	12.7	5.3	魅力的でない	
美味しい	19.1	4.9	14.2	54.6	19.1	7.3	美味しくない	
安全である	39.0	10.4	28.6	52.6	7.1	8.4	安全でない	
手順	30.6	5.7	24.9	52.1	13.1	4.2	高価	
動物にとって良い	36.4	10.6	25.8	57.1	5.4	6.5	動物にとって悪い	
長期的な食料供給源として持続可能である	44.2	11.4	32.8	48.6	5.5	7.2	長期的な食料供給源として持続可能でない	
便利	31.3	7.1	24.2	60.0	6.9	8.7	不便	
新規性・新しさを感じる	44.0	11.6	32.4	48.4	5.9	7.6	新規性・新しさを感じない	
栄養価が高い	37.2	9.2	28.0	55.3	5.8	7.5	栄養価が高くない	
必要である	31.6	7.4	24.2	55.7	8.9	12.7	必要でない	
そこそこいける	24.8	4.9	19.9	58.7	12.4	16.4	まずい	
気持ちが悪い	12.5	2.9	9.6	55.4	17.9	14.1	気持ちが悪くない	

【A】に近い計⇒「Aに近い」+「Aにやや近い」、【B】に近い計⇒「Bに近い」+「Bにやや近い」

図表 47 「代替肉<植物肉>」についての考え



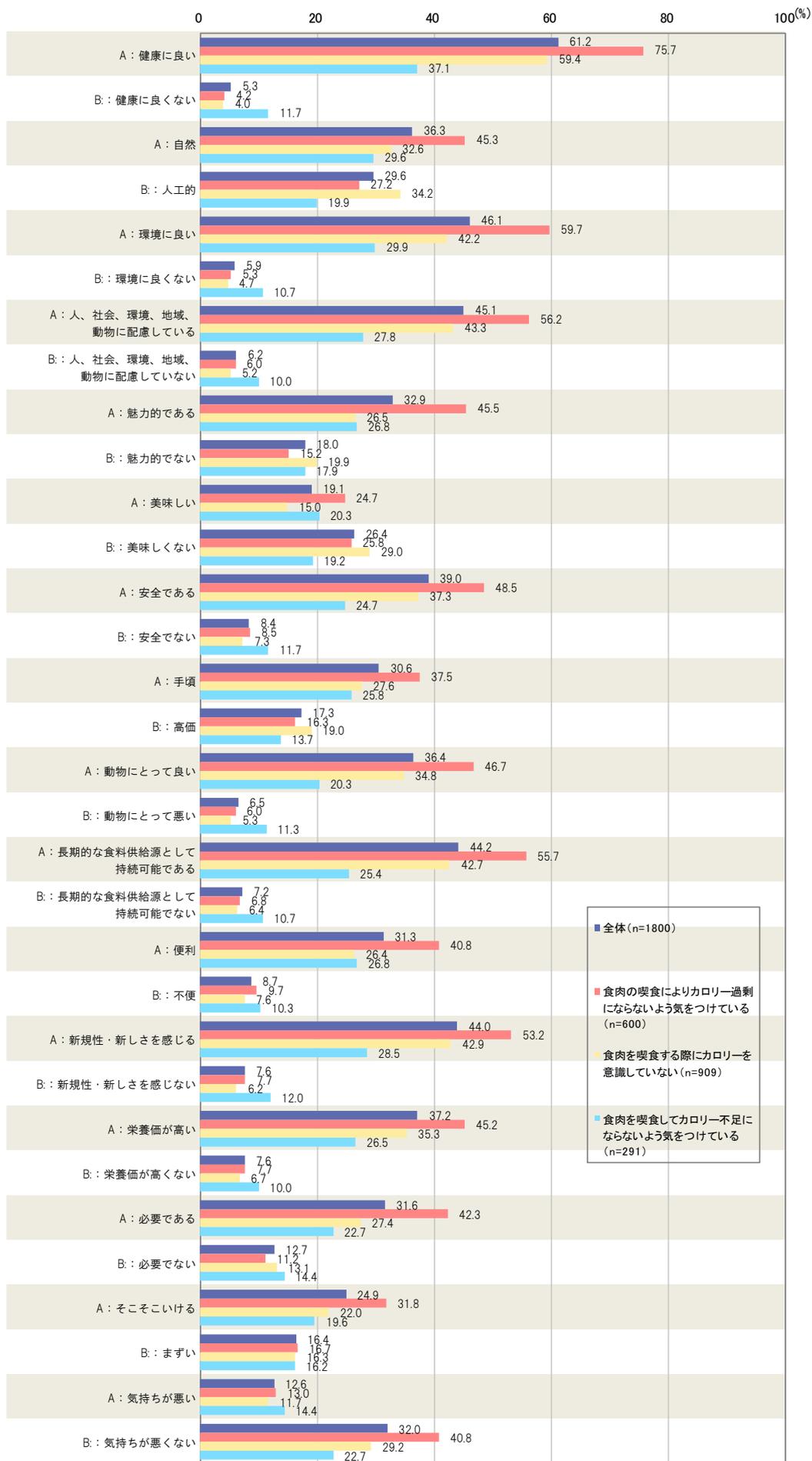
図表 48 (その1) エリア・性・年代別 「代替肉<植物肉>」についての考え



図表 48 (その2) エリア・性・年代別 「代替肉<植物肉>」についての考え

「代替肉<植物肉>」についての考えを「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」(Q46)別に「近い+やや近い」計で見ると、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層では、総じていずれの考えも高く、特に「健康に良い」は75.7%と全体より14.5ポイント高い。

一方、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」層では、「美味しくないと高い」が29.0%と高い。「食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている」層ではネガティブなイメージが他の層より高く、「健康に良くない」11.7%、「環境に良くない」10.7%、「人、社会、環境、地域、動物に配慮していない」10.0%、「安全でない」11.7%、「動物にとって悪い」11.3%、「長期的な食料供給源として持続可能でない」10.7%となっている。

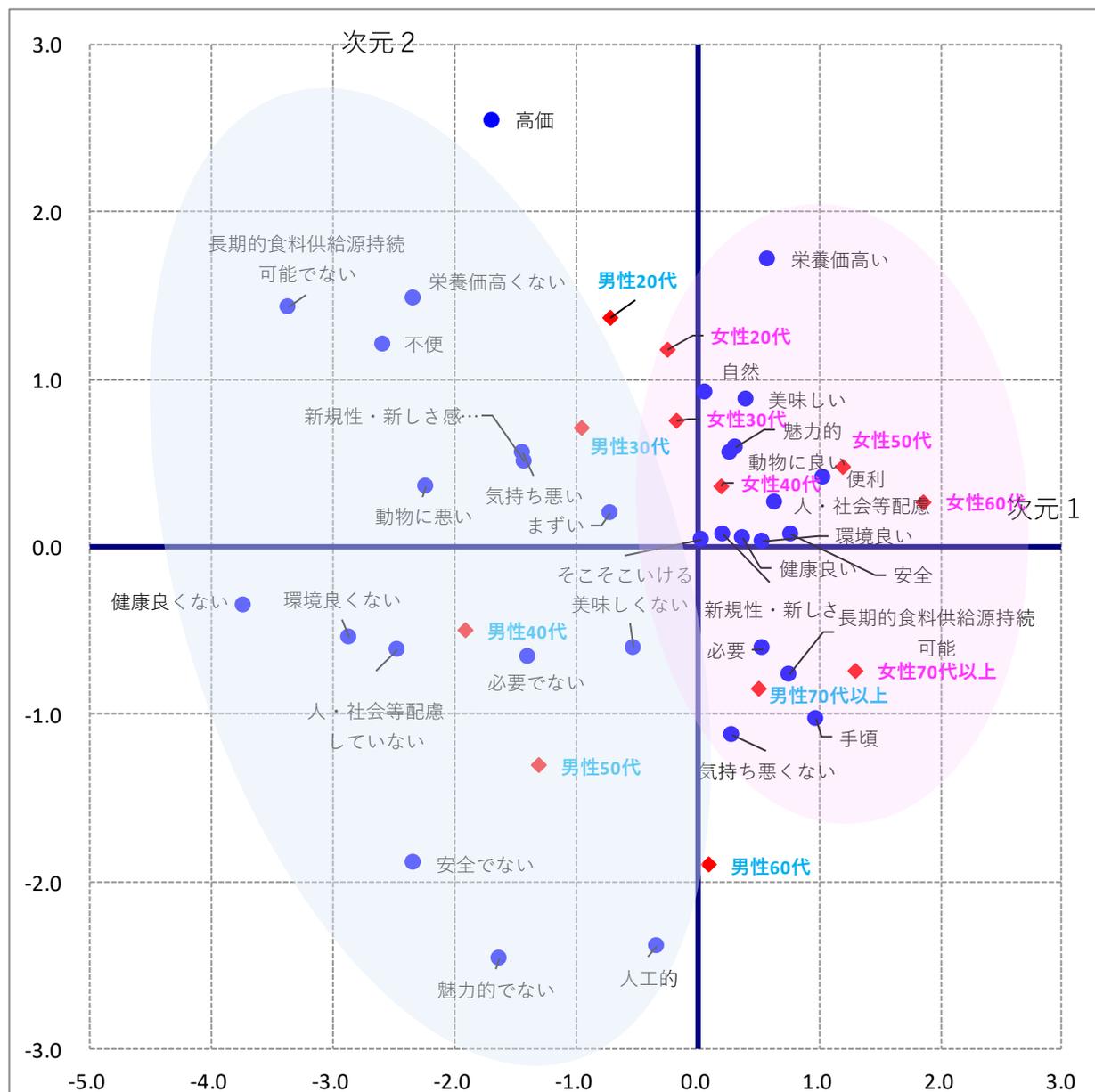


図表 49 食肉の喫食によるカロリーに対する意識別 「代替肉<植物肉>」についての考え

「代替肉<植物肉>」についての考えについて、性・年代別で、コレスポネンデンス分析を行った。

男性 20代~50代は、ネガティブイメージに近い左側の象限に位置している。

一方、女性 40代~70代以上と男性 70代以上は、ポジティブイメージに近い右側の象限に位置している。

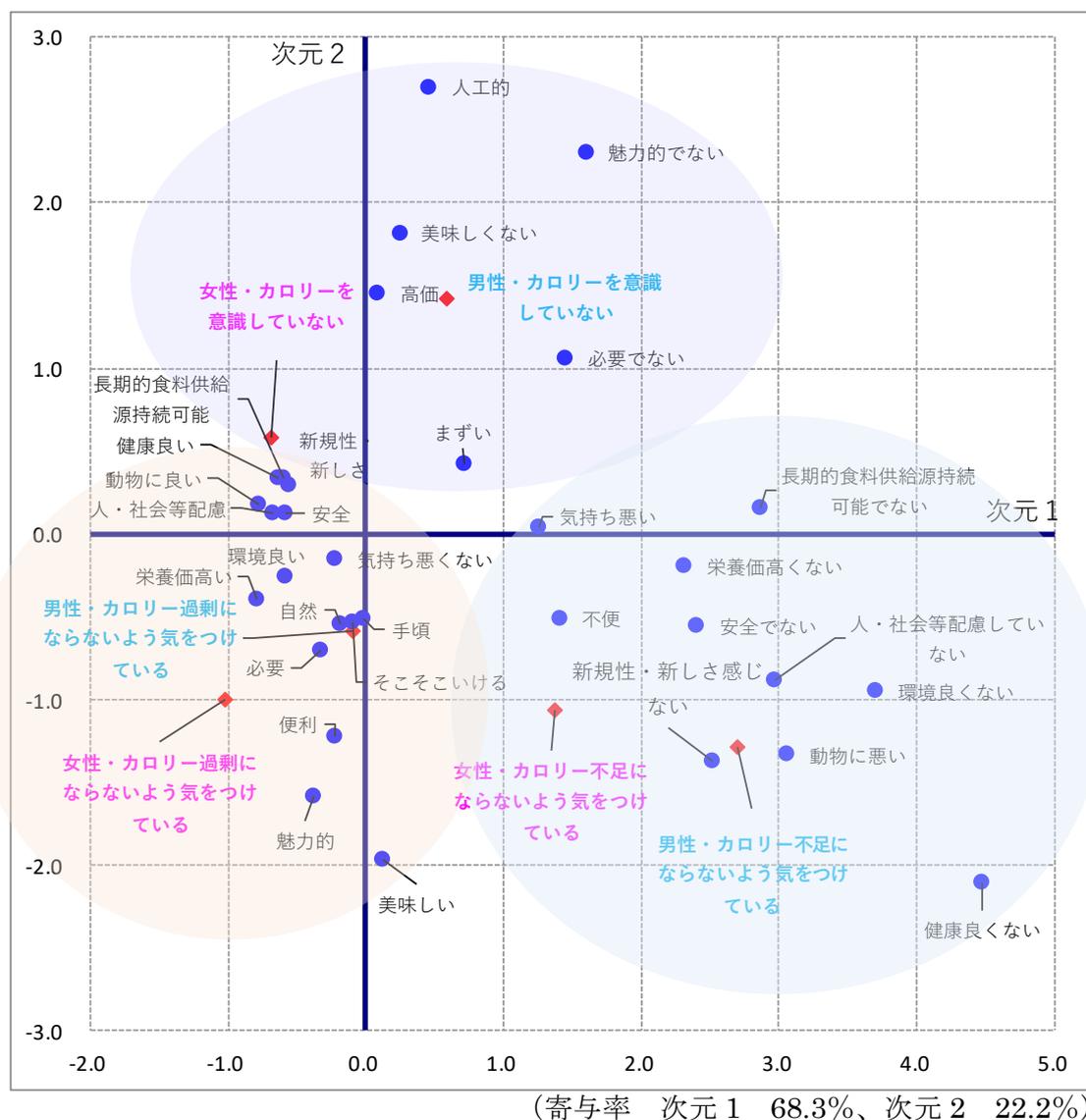


図表 50 「代替肉<植物肉>」についての考えの
性・年代別 コレスポネンデンス分析結果

「代替肉<植物肉>」についての考えについて、食肉の喫食によるカロリーに対する意識×性別で、コレスポンデンス分析を行った。

「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層では、ポジティブなイメージに近い位置にあり、女性の方が「代替肉<植物肉>」についてよりポジティブな考えを持っていることがわかる。また、「便利」「魅力的」「必要」「自然」「そこそこいける」「手軽」「栄養価が高い」「環境に良い」「気持ち悪くない」などのイメージが相対的に強い。

一方、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」層では、「美味しくないと」「まずい」「人工的」「魅力的でない」「必要でない」「高価」といったネガティブイメージに近い位置にある。また、「食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている」層では、「健康に良くない」「安全でない」「環境に良くない」「人、社会、環境、地域、動物に配慮していない」「動物にとって悪い」「長期的な食料供給源として持続可能でない」「新規性・新しさを感じない」「不便」「気持ち悪い」といったネガティブイメージに近い位置にある。



図表 51 「代替肉<植物肉>」についての考えの
食肉の喫食によるカロリーに対する意識別 コレスポンデンス分析結果

＜代替肉＜植物肉＞」の考え（イメージ項目）の因子分析＞

代替肉（植物肉）に関する消費者意識の構造を把握するために、代替肉（植物肉）のイメージを5段階のSD法で聞いたQ45（16項目）について、カテゴリカル因子分析を行った。なお分析の際には、図表47における左側のイメージ項目値が高いほど正の因子負荷量になるようにしている。

サンプルサイズは1,800で、因子数は、ガットマン基準（ポリコリック相関係数行列の固有値が1以上の数）により3個とした。また、推定法には最尤法、因子の回転法にはオブリミン法を利用した。その結果を下図に示す。

項目	因子1			因子2			因子3		
	環境・健康			おいしさ			持続可能性		
環境に良い ⇔ 環境に良くない	0.892			-0.053			-0.020		
健康に良い ⇔ 健康に良くない	0.825			-0.047			-0.044		
人、社会、環境、地域、動物に配慮している ⇔ 人、社会、環境、地域、動物に配慮していない	0.784			-0.029			-0.175		
自然 ⇔ 人工的	0.680			0.238			0.355		
安全である ⇔ 安全でない	0.627			0.240			-0.026		
動物にとって良い ⇔ 動物にとって悪い	0.471			0.013			-0.416		
栄養価が高い ⇔ 栄養価が低い	0.422			0.300			-0.132		
気持ちが悪い ⇔ 気持ちが悪くない	-0.282			-0.120			0.176		
美味しい ⇔ 美味しくない	-0.078			0.924			0.112		
そこそこいける ⇔ まずい	-0.012			0.752			-0.122		
魅力的である ⇔ 魅力的でない	0.360			0.574			0.013		
必要である ⇔ 必要でない	0.232			0.549			-0.215		
便利 ⇔ 不便	0.074			0.481			-0.449		
手頃 ⇔ 高価	0.034			0.470			-0.179		
長期的な食料供給源として持続可能である ⇔ 長期的な食料供給源として持続可能でない	0.357			0.153			0.529		
新規性・新しさを感じる ⇔ 新規性・新しさを感じない	0.323			0.130			0.449		

因子間相関			
	因子1	因子2	因子3
因子1	1.000	0.579	0.452
因子2	0.579	1.000	0.235
因子3	0.452	0.235	1.000

* 因子負荷量は、絶対値が0.4以上のものを太字にしている。

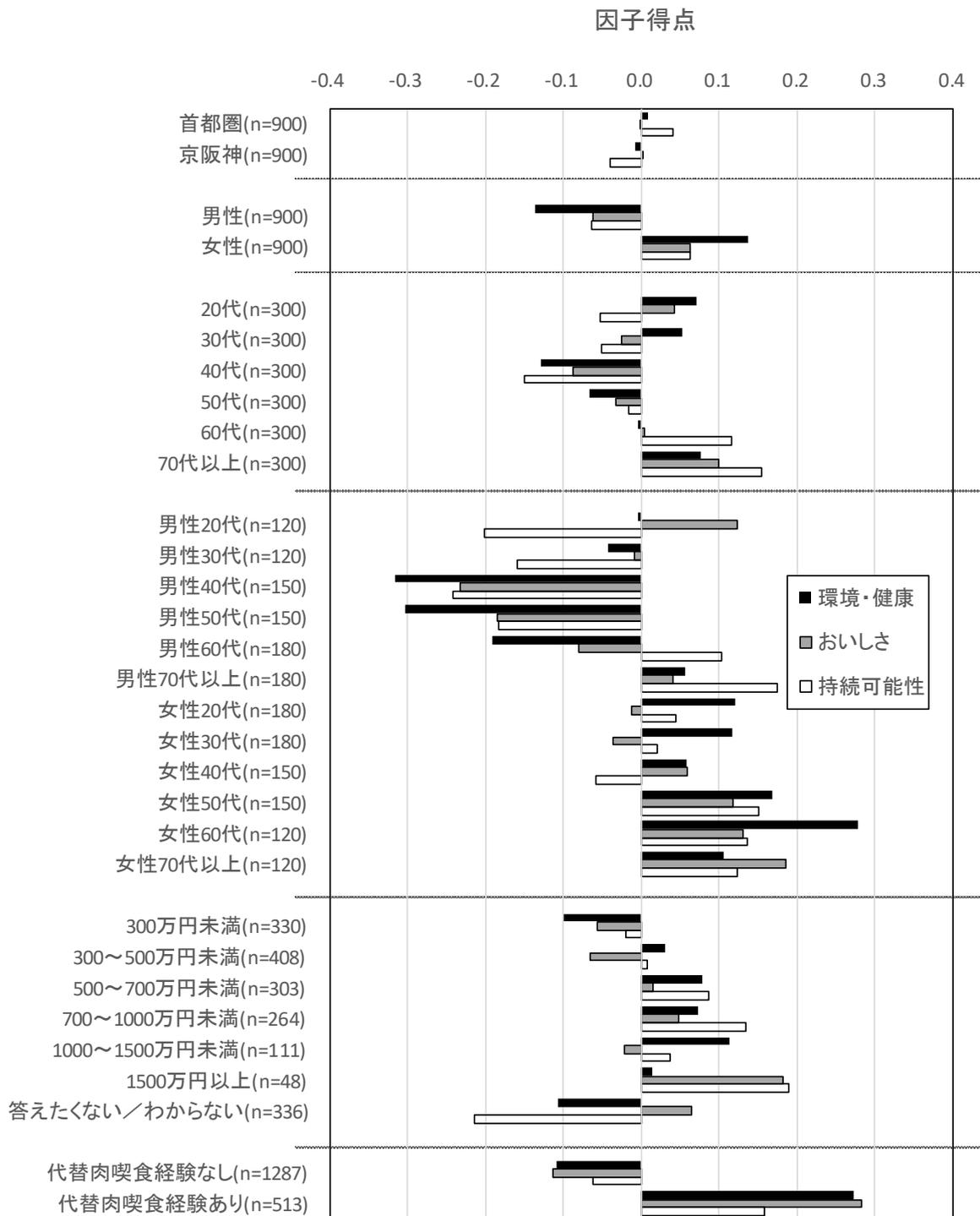
図表 52 「代替肉＜植物肉＞」のイメージ項目の因子分析の結果

第1因子は「環境に良い⇔環境に良くない」、「健康に良い⇔健康に良くない」、「人、社会、環境、地域、動物に配慮している⇔人、社会、環境、地域、動物に配慮していない」などの項目の因子負荷量が高く、「環境・健康」因子と解釈した。

第2因子は「美味しい⇔美味しくなくない」、「そこそこいける⇔まずい」「魅力的である⇔魅力的でない」などの項目の因子負荷量が高く、「おいしさ」因子と解釈した。第3因子は「長期的な食料供給源として持続可能である⇔長期的な食料供給源として持続可能でない」、「新規性・新しさを感じる⇔新規性・新しさを感じない」などの項目の因子負荷量が高く、「持続可能性」因子と解釈した。この結果、消費者は、代替肉へのイメージとして、これらの3つの因子を軸に知覚していることになる。

また因子間相関として、第1因子は、第2因子との相関が **0.579** あり、大きい正の相関がある。よって環境・健康の因子得点が高い消費者は、同時においしさと因子得点が高い傾向にある。また第2因子と第3因子との相関が **0.235** で中程度の相関がある。イメージ項目の左側は、概して代替肉についてのポジティブなイメージであり、それらの因子に正の相関があることが確認された。

次に、因子分析の結果から、調査対象者の因子得点を EAP (expected a posteriori) で推定を行い、属性別の因子得点の平均を下図に示す。なお全体の平均 0、標準偏差 1 の基準化を行っている。



図表 53 属性別の因子得点の平均

居住地区別では、大きな違いはなかった。

性別では、女性の方が3因子とも高い傾向にある。特に「環境・健康」因子は、男性より女性の方が0.273高い（偏差値で考えれば2.73の差）。

年代別では、70代以上が3因子とも最も高く、40代が最も低かった。「持続可能性」因子については、60代も高かった。

また「環境・健康」因子は、20代と30代も高い傾向が見られた。

次に、性別・年代別では、男性60代と男性70代は3因子とも低い傾向にあった。

また女性の60代と女性の70代以上は3因子とも低い傾向にあった。50代は、男女3因子とも差があった。特に「環境・健康」因子は男性50代より女性50代の方が0.471高かった（偏差値で考えれば4.71の差）。

年収別では、300万未満が若干低く、1500万円以上が若干高い傾向にあった。

最後に代替肉の喫食経験別（Q42）では、経験なしより経験ありの方が、3因子ともに高い傾向にあった。

次に代替肉（植物肉）に関する消費者意識のパターンの類型化を行うために、平方ユークリッド距離を距離行列として使うWard法を用いた階層型クラスター分析を行った。その重心（因子得点の平均）を下図に示す。

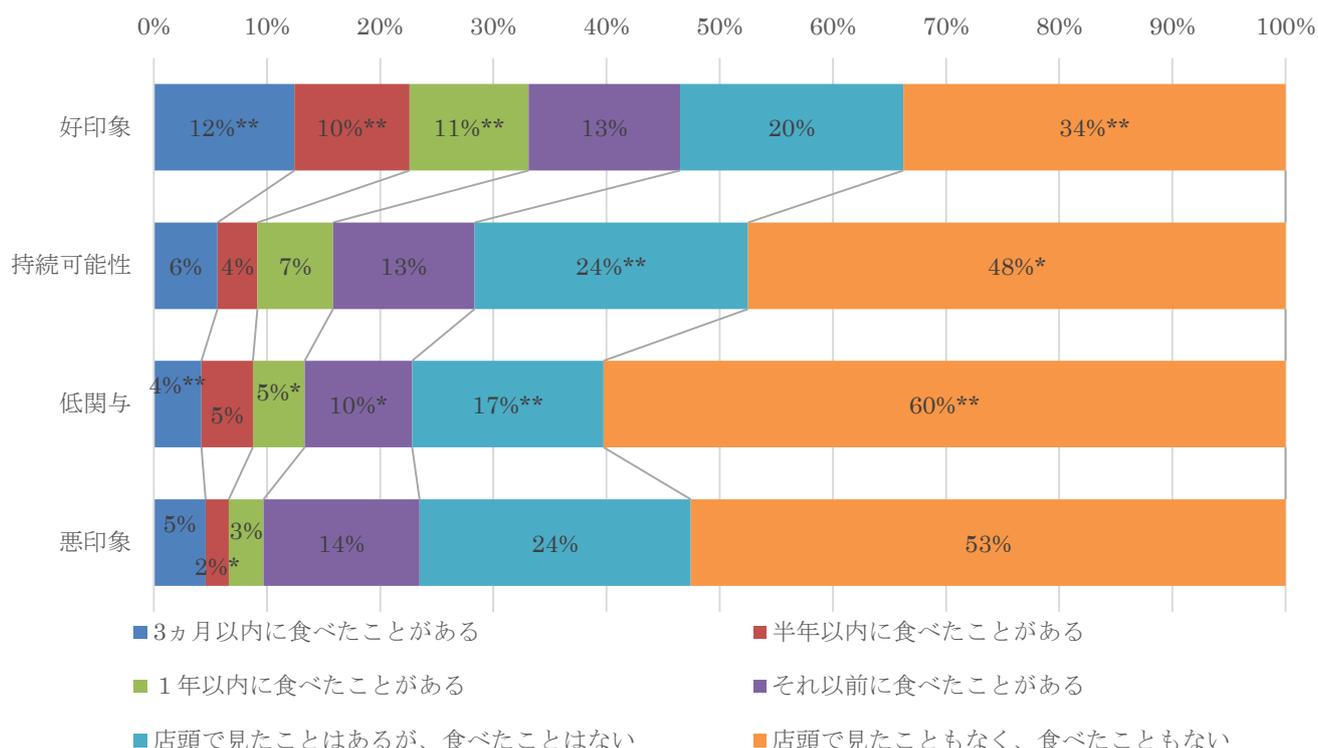
クラスター	n	%	因子		
			環境・健康	おいしさ	持続可能性
1 好印象	314	17.4%	1.279	1.490	0.581
2 持続可能性	480	26.7%	0.329	-0.062	0.972
3 低関与	810	45.0%	-0.486	-0.177	-0.703
4 悪印象	196	10.9%	-0.850	-1.505	-0.407

図表 54 各クラスターの重心

1番目のクラスターは、3因子とも高く、代替肉に関して好印象を持っていることが読み取れ「好印象」クラスターとした。2番目のクラスターは、持続可能性の因子が最も高く「持続可能性」クラスターとした。3番目のクラスターは、持続可能性が低い傾向にあり、「低関与」クラスターとした。4番目のクラスターは、3因子とも低い、特ににおいしさの因子が低く、代替肉に関して好印象を持っていることが読み取れ「悪印象」クラスターとした。

次にクラスター分析の妥当性の検証のため、クラスカル・ウォリス検定を用いて行った。3因子とも有意水準1%で有意差が認められた。これによりクラスター分析の結果の妥当性を示せた。

次に Q42 の代替肉の喫食経験について、クラスターとの関係性を見た。その結果を下図に示す。



独立性の検定 カイ二乗値=113.2、自由度=15、p 値=0.000
 グラフ数字横で、**はクロス表の残差分析で 1%有意、*は 5%有意

図表 55 クラスター別の「代替肉<植物肉>」の喫食経験

「好印象」クラスターは、代替肉の喫食経験が高く、「低関与」クラスターや「悪印象」クラスターは代替肉の喫食経験が低い傾向にある。したがって、「代替肉<植物肉>」に関する回答者の意識は、その喫食経験と相互に関連があることが確かめられた。

5) 「代替肉<植物肉>」の認知度 (Q41)・喫食経験 (Q42)・購入意向 (Q43)・ 考え (Q45) とカロリー意識 (Q46) との相関分析

「食肉の喫食によるカロリーに対する意識 (Q46・食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている:1、食肉を喫食する際にカロリーを意識していない:2、食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている:3)」と、「代替肉<植物肉>の認知 (Q41・詳しく知っている:1~全く知らない:6)」、「代替肉<植物肉>の喫食経験 (Q42・3カ月以内に食べたことがある:1~店頭で見たこともなく、食べたこともない:6)」、「代替肉<植物肉>の購入意向 (Q42・割高でも購入したい・食べたい:1~わからない:5)」、「代替肉<植物肉>についての考え (Q45・Aに近い:1~Bに近い:5)」との関連性を見た。

「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」と「代替肉<植物肉>の認知」は、相関係数 0.304 で、1%水準で有意な正の相関が認められた。

また、「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」と「代替肉<植物肉>の喫食経験」は相関係数 0.227、「代替肉<植物肉>の購入意向」は相関係数 0.276 で、1%水準で有意な正の相関が認められた。

「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」と「代替肉<植物肉>の考え」については、「健康に良い」は相関係数 0.230 で、1%水準で有意な正の相関が認められた。「環境に良い」「人、社会、環境、地域、動物に配慮している」「魅力的である」「美味しい」「安全である」「手頃」「動物にとって良い」「長期的な食料供給源として持続可能である」「便利」「新規性・新しさを感じる」「栄養価が高い」「必要である」といったポジティブな考えについても相関係数+0.1以上、1%水準で有意な正の相関が認められた。

		相関係数	有意確率
認知	「代替肉<植物肉>」の認知	0.304	0.000
喫食	「代替肉<植物肉>」喫食経験	0.227	0.000
購入	「代替肉<植物肉>」購入意向	0.276	0.000
「代替肉<植物肉>」についての考え	健康に良い ⇔ 健康に良くない	0.230	0.000
	自然 ⇔ 人工的	0.065	0.006
	環境に良い ⇔ 環境に良くない	0.191	0.000
	人、社会、環境、地域、動物に配慮している ⇔ 人、社会、環境、地域、動物に配慮していない	0.171	0.000
	魅力的である ⇔ 魅力的でない	0.124	0.000
	美味しい ⇔ 美味しくない	0.013	0.590
	安全である ⇔ 安全でない	0.139	0.000
	手頃 ⇔ 高価	0.059	0.012
	動物にとって良い ⇔ 動物にとって悪い	0.149	0.000
	長期的な食料供給源として持続可能である ⇔ 長期的な食料供給源として持続可能でない	0.167	0.000
	便利 ⇔ 不便	0.093	0.000
	新規性・新しさを感じる ⇔ 新規性・新しさを感じない	0.139	0.000
	栄養価が高い ⇔ 栄養価が高くない	0.108	0.000
	必要である ⇔ 必要でない	0.120	0.000
	そこそこいける ⇔ まずい	0.062	0.008
気持ちが悪い ⇔ 気持ちが悪くない	-0.095	0.000	

相関係数

0.1 ≤

1%

水準で有意

0.2 ≤

5%

水準で有意

図表 56 食肉の喫食によるカロリーに対する意識 (Q46) と「代替肉<植物肉>」の認知 (Q41)・喫食経験 (Q42)・購入意向 (Q43)・考え (Q46) の相関係数

6) 「代替肉<植物肉>」についてのイメージ (Q44) :テキストマイニング
(共起ネットワーク分析・対応分析)

「代替肉<植物肉>」についてのイメージ (Q44 自由回答) について、テキストマイニングを用いた共起ネットワーク分析、対応分析で、消費者意識の探索・把握を行った。

「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」は、大豆などの植物タンパク質由来の原料を使って、食肉の風味と食感を持たせた製品(大豆ハンバーグ、大豆ソーセージ、大豆バーガー、大豆ミートなど)で、国内外で製造・販売され、小売店頭で見かけることが増えてきています。「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」が世界的に急速に拡大している背景には、以下のようなことがあります。

- ・世界的な人口増加により、食肉需要が急増しています。それに伴う家畜の飼育による環境負荷(肉食増大に伴う土地・水の利用増大、温暖化ガスの排出増加)、動物肉を媒介とする感染症リスクが高まっています。また、環境問題意識や動物愛護の高まりもあります。
- ・人々の健康志向(肥満の軽減、生活習慣病の抑制)、持続可能な食糧生産への配慮などもあります。また、代替肉の味が改良されて食味が向上しています。

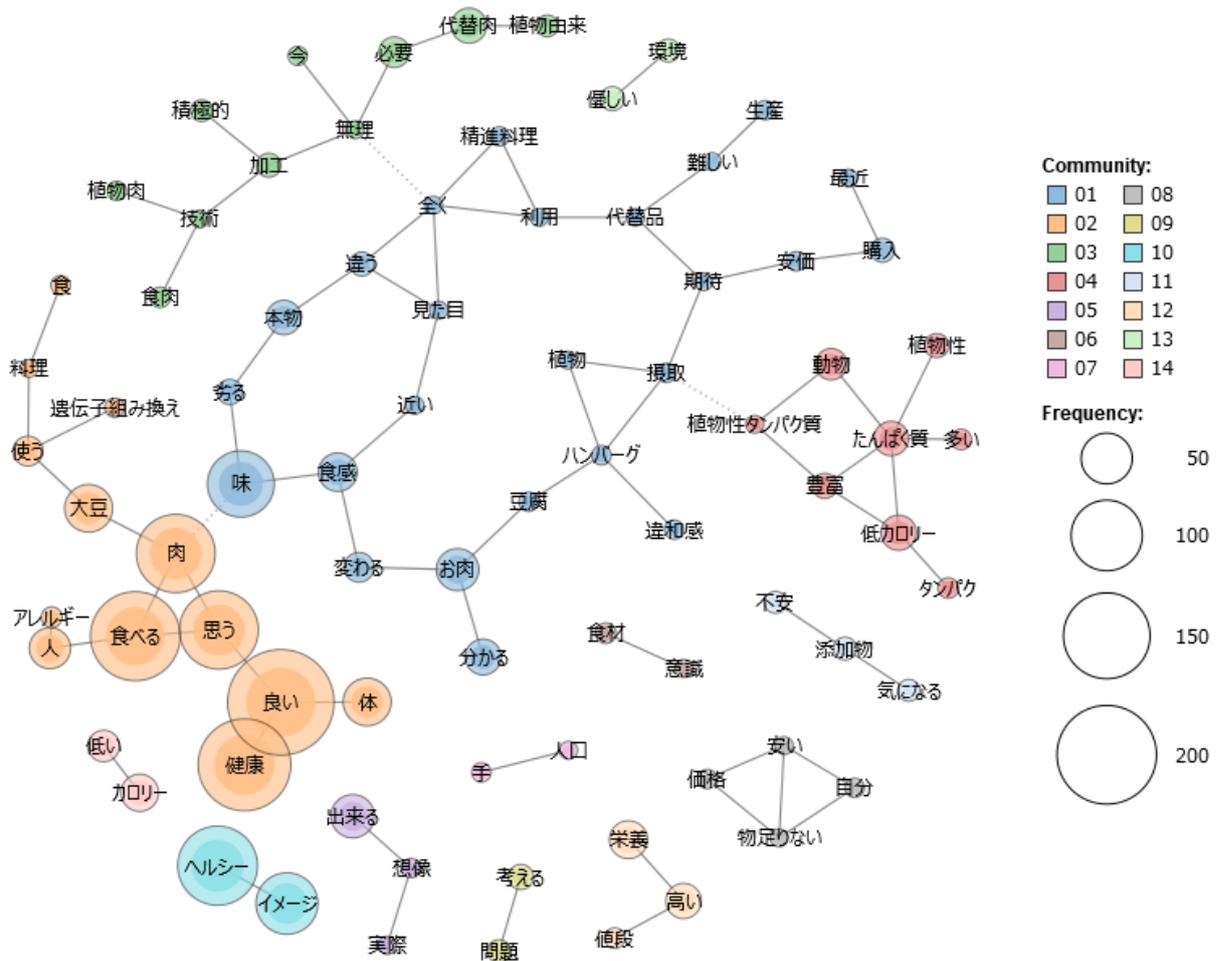
図表 57 提示説明文

<代替肉（植物肉）のイメージについてのテキストマイニング>

Q44で代替肉（植物肉）のイメージについての自由記述でその理由を聞いた1800人中932人（51.8%）の自由記述の回答があり、その中での平均の文字列の長さは16.9文字であった。これらの自由記述のデータに対して、単語間の関係性などを把握するためにテキストマイニングを行った。

分析の手順として、『植物性タンパク質』や『遺伝子組み換え』などの複合語や、『良い』『いい』『よい』などの同義語は、1つの語（ここでは『良い』）にまとめるなどの前処理を行っている。

自由記述の概観と単語間の関係性を見るために、単語間の共起ネットワークを下図に示す。



図表 58 代替肉（植物肉）のイメージについての共起ネットワーク

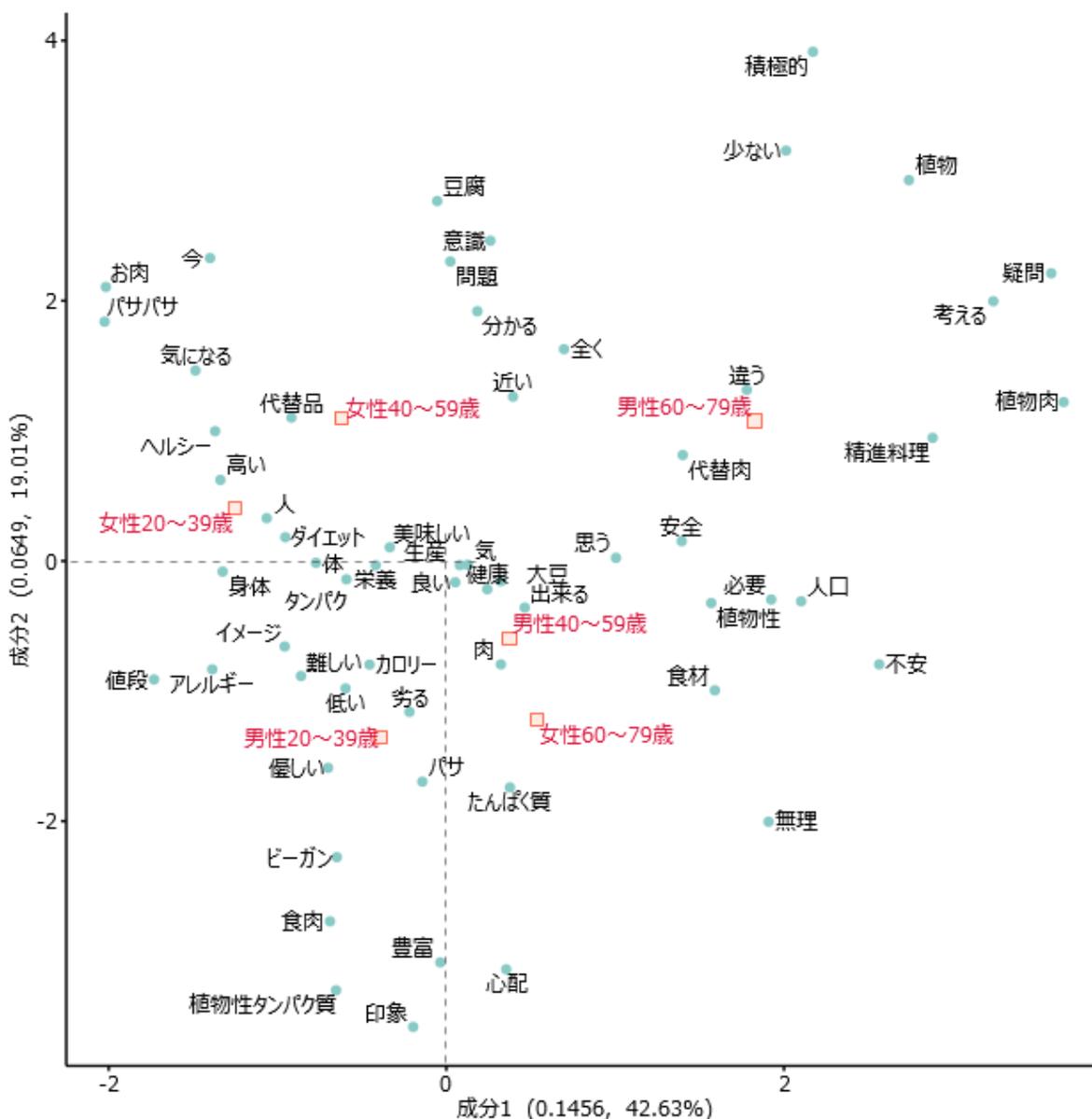
共起ネットワークを見ると、左下側に『良い』『健康』『思う』『食べる』などの頻度の高いグループがあり、例えば「健康に良さそう」、「身体に良さそう」などの自由記述から代替肉が健康に良いイメージがあることが分かる。

他には、真ん中の『味』を中心に『劣る』『食感』『変わる』の結びつきが強いグループでは、例えば、「食感や味で本物に劣る」、「ヘルシーなイメージだが、食肉同等の満腹感を得られそうなイメージ。ただ味や食感などはまだ食肉に満

たない気がする。」などの自由記述から、今までの肉と変わることを心配する声が見られる。

また、『たんぱく質』と『低カロリー』の結びつきが強いが、例えば「低カロリーで高たんぱく、ヘルシーなイメージ」、「タンパク質豊富で低カロリー。」などの自由記述から、たんぱく質が豊富かつ低カロリーであることを期待する意見が見られる。

次に性別年代別で 6 グループと、Q44 の単語頻度の対応分析を行った。その結果を下図に示す。



図表 59 性別年代別グループと Q44 の出現単語の対応分析

女性 20～39 歳は、『ダイエット』や『ヘルシー』などの単語が近く、それらの効果に期待している様子が伺える。

また男性 60～79 歳は、『変わる』が近く、「今までの肉と違うことを心配している」様子が伺える。

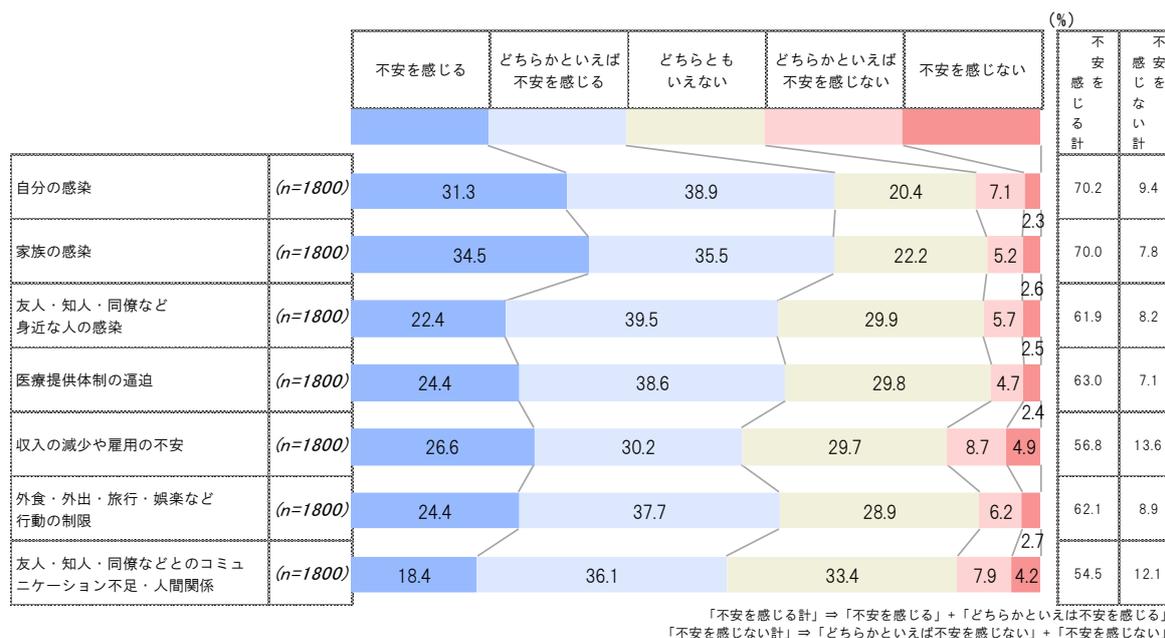
2.3 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化に関する考察

- ・ 「新型コロナウイルス感染症」についての不安を「不安を感じる計」で見ると、「自分の感染」70.2%、「家族の感染」70.0%が7割が多い。次いで、「医療提供体制の逼迫」63.0%、「外食・外出・旅行・娯楽など行動の制限」62.1%、「友人・知人・同僚など身近な人の感染」61.9%、「収入の減少や雇用の不安」56.8%、「友人・知人・同僚などとのコミュニケーション不足・人間関係」54.5%の順。
- ・ 「新型コロナウイルス感染症」の流行による食生活・購買行動の変化は、「外食の機会が減った」43.2%が最も多く、次いで「自宅で食事する機会が増えた」35.4%、「食肉の購入回数を減らして、まとめて購入するようになった」27.5%、「家族そろって食事する機会が増えた」15.0%、「簡単・時短の肉料理を作るようになった」11.9%、「持ち帰り・テイクアウトの利用が増えた」11.5%の順。食生活・購買行動の変化に関し、「特にない」が31.1%いる。

2.3 では、「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化を把握し、消費者意識の変化を探ることを目的とした。

1) 「新型コロナウイルス感染症」についての不安 (Q50) のエリア・性・年代別分析

「新型コロナウイルス感染症」やそれに伴うことがらについての不安 (Q50) を「不安を感じる計」で見ると、「自分の感染」70.2%、「家族の感染」70.0%が7割で多く、次いで、「医療提供体制の逼迫」63.0%、「外食・外出・旅行・娯楽など行動の制限」62.1%、「友人・知人・同僚など身近な人の感染」61.9%、「収入の減少や雇用の不安」56.8%、「友人・知人・同僚などとのコミュニケーション不足・人間関係」54.5%の順である。

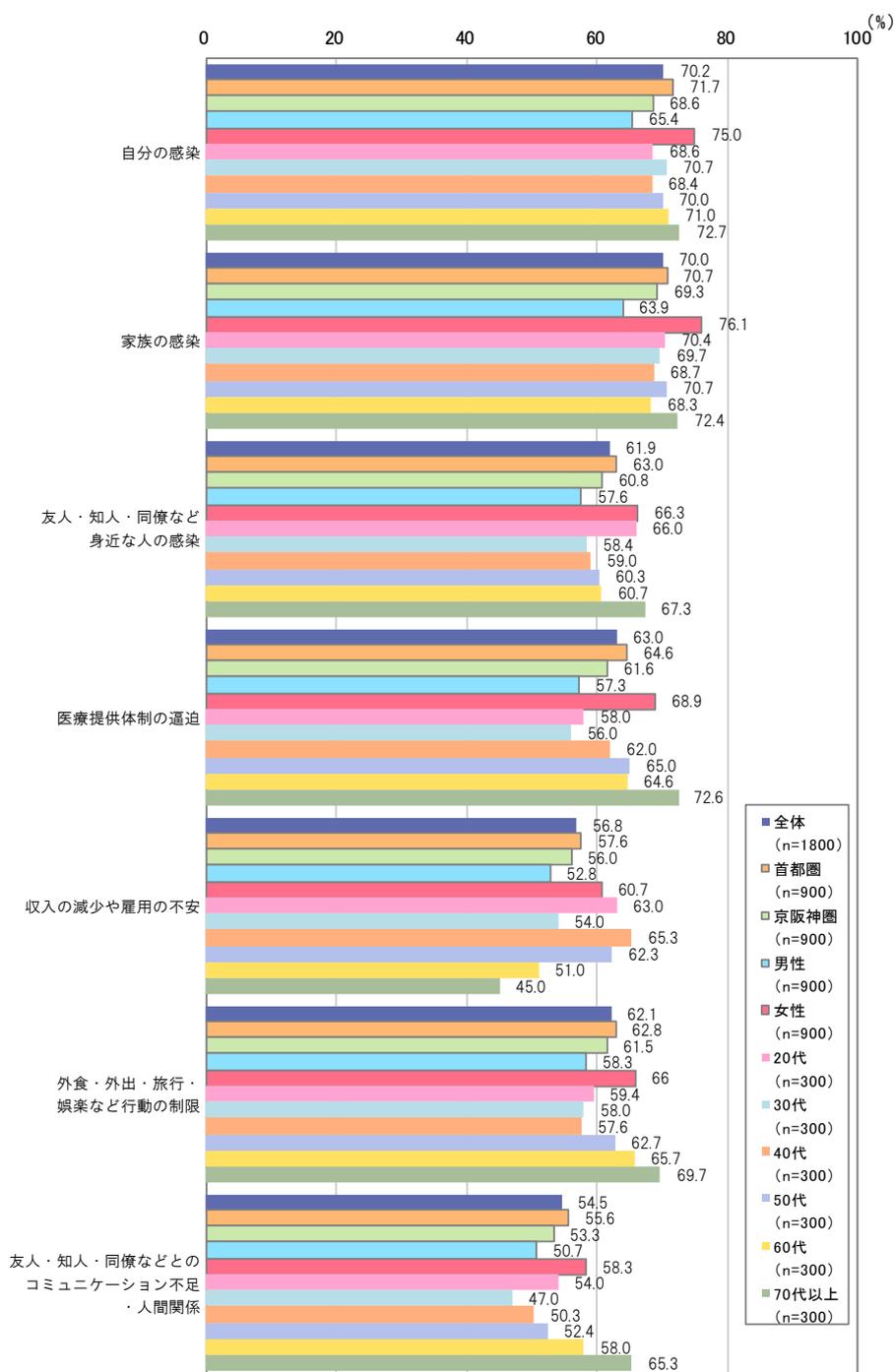


図表 60 「新型コロナウイルス感染症」についての不安 (全体)

エリア別に「不安を感じる計」を見ると、大きな違いは見られない。

男女別に「不安を感じる計」を見ると、いずれのことからも、男性より女性の方が不安度が高い。

年代別に「不安を感じる計」を見ると、「自分の感染」「家族の感染」では大きな違いは見られないが、「医療提供体制の逼迫」「友人・知人・同僚などとのコミュニケーション不足・人間関係」「外食・外出・旅行・娯楽など行動の制限」は、70代以上の層で最も高い。これを「外食・外出・旅行・娯楽などの行動の制限」についてみると、40代で57.6%、50代で62.7%、60代で65.7%、70代以上で69.7%であった。「収入の減少や雇用の不安」は20代と40～50代で高くなっている。



図表 61 エリア・性・年代別 「新型コロナウイルス感染症」についての不安

2) 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化（Q51）のエリア・性・年代別分析、 「新型コロナウイルス感染症」の不安度（Q50）別分析

「新型コロナウイルス感染症」の流行により、昨年の今頃と比べ、食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）の購入や調理、中食や外食など食生活の変化（Q51）を尋ねたところ、「外食の機会が減った」が43.2%で最も多く、次いで「自宅で食事する機会が増えた」35.4%、「食肉の購入回数を減らして、まとめて購入するようになった」27.5%、「家族そろって食事する機会が増えた」15.0%、「簡単・時短の肉料理を作るようになった」11.9%、「持ち帰り・テイクアウトの利用が増えた」11.5%の順が多い。

「特にない」が31.1%おり、食生活や購買行動に変化がない人が3分の1いる。

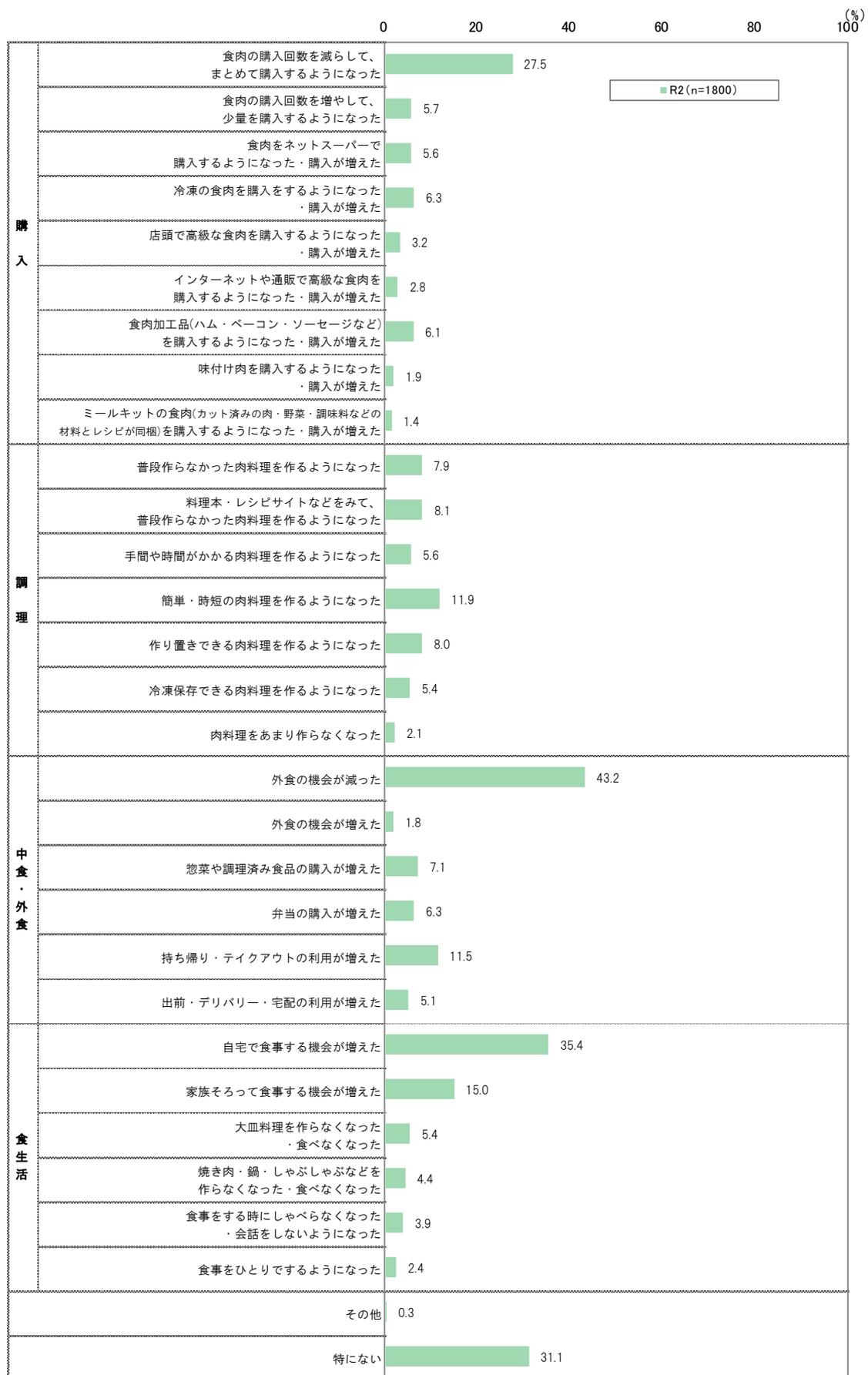
エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

男女別に見ると、「食肉の購入回数を減らして、まとめて購入するようになった」は、女性が34.3%、男性が20.7%と、男性より女性の方が多い。一方、「特にない」は、男性が36.4%、女性が25.8%と10.6ポイントの開きがあり、女性の方が、「新型コロナウイルス感染症」の流行により食生活に何らかの変化があった人が多い。

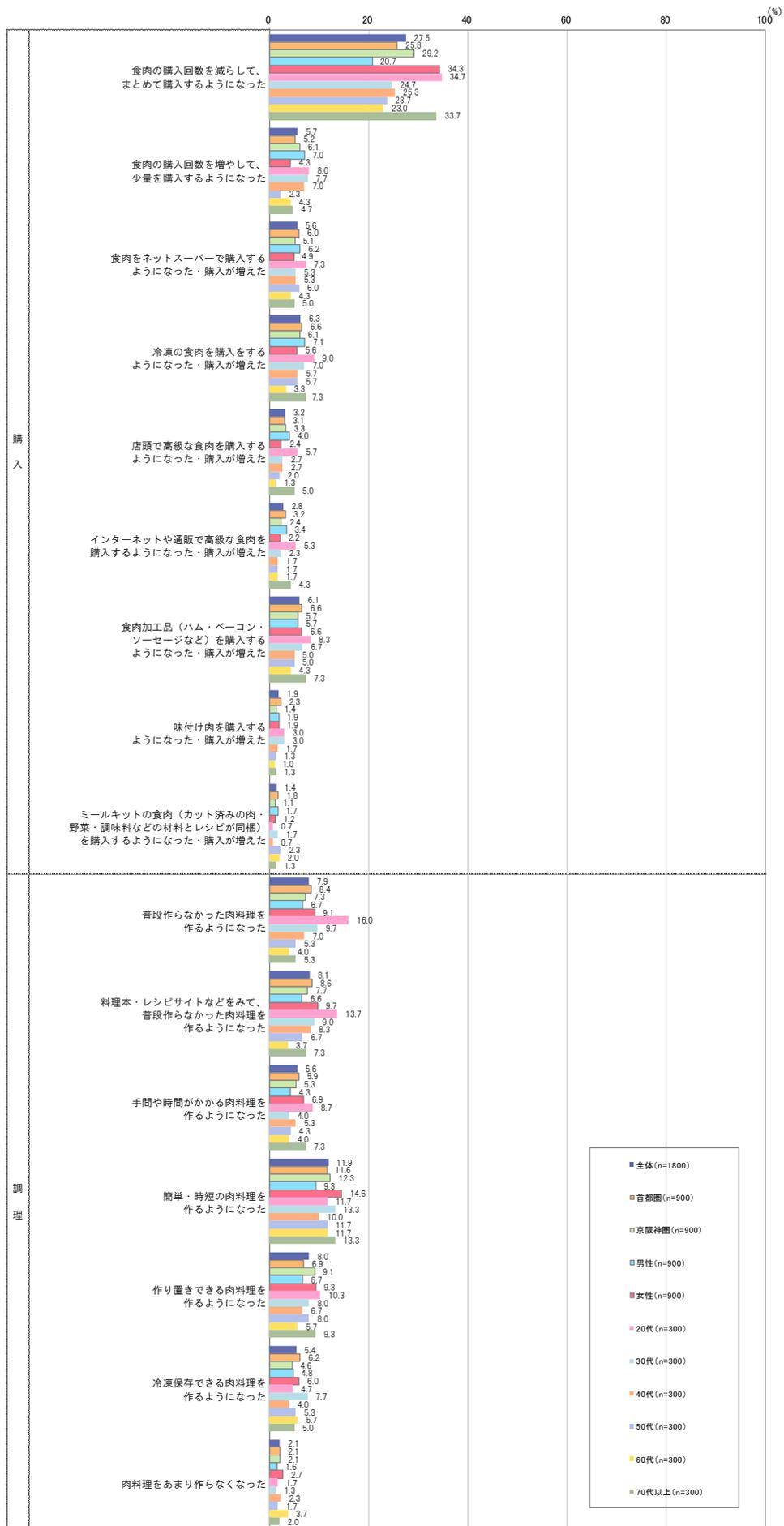
年代別に見ると、「食肉の購入回数を減らして、まとめて購入するようになった」は、20代と70代以上で3割以上と多い。「外食の機会が減った」は、70代以上では49.7%と半数を占めるが、20代は37.3%と他の年代に比べて最も少ない。70代以上では、「自宅で食事する機会が増えた」も43.3%と多い。

20代では、「普段作らなかった肉料理を作るようになった」16.0%、「料理本・レシピサイトなどをみて、普段作らなかった肉料理を作るようになった」13.7%と、自宅での料理機会が増えた一方、「出前・デリバリー・宅配の利用が増えた」11.0%も他の年代に比べて多い。

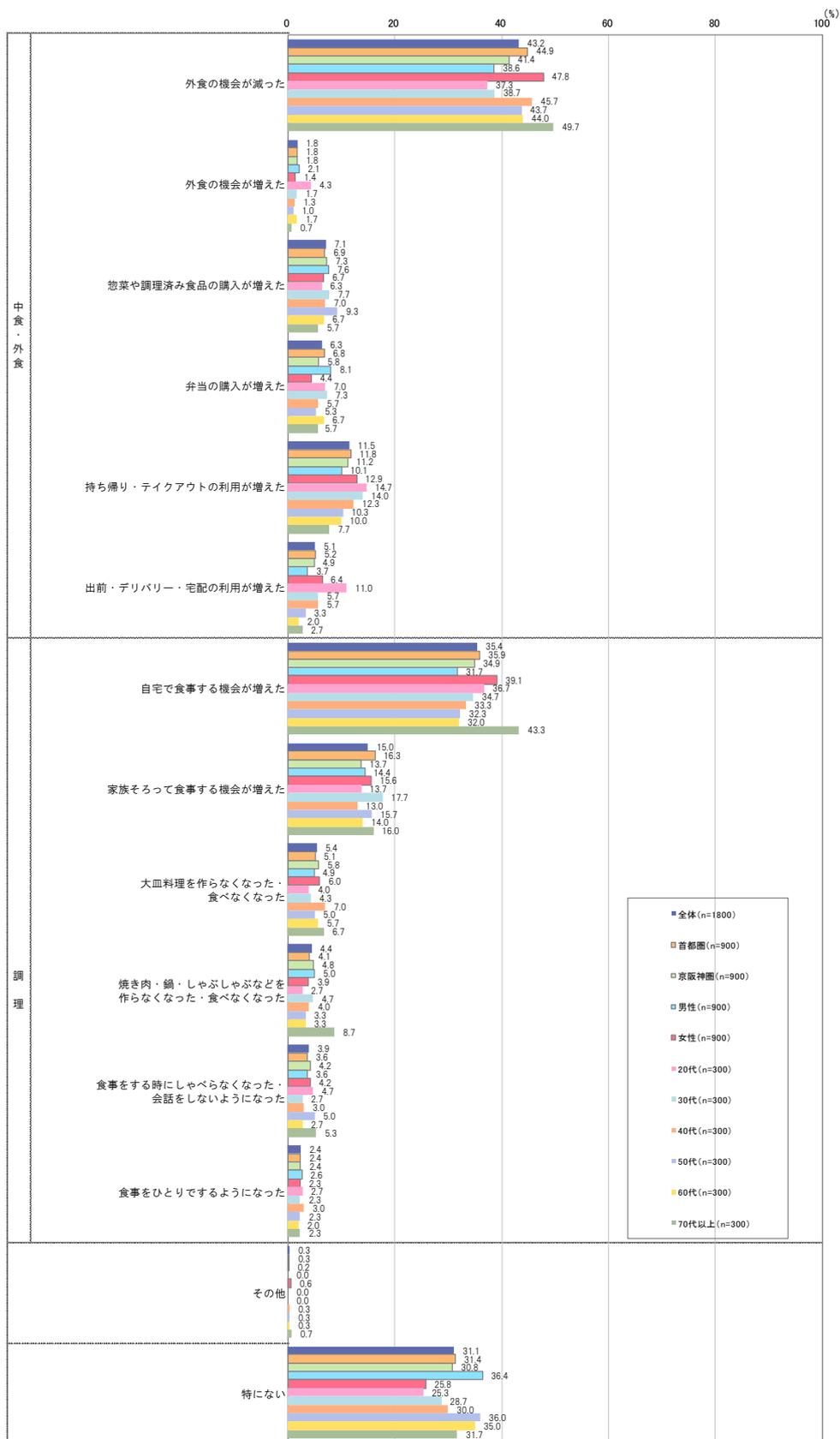
「新型コロナウイルス」への不安度別（図表64）に見ると、「全てのことがらに不安を感じる層」は、食肉や購買行動の変化が多岐に渡っている。一方、「いずれも不安を感じない層」は、「特にない」が70.3%と、食生活や購買行動に変化がない人が非常に多い。



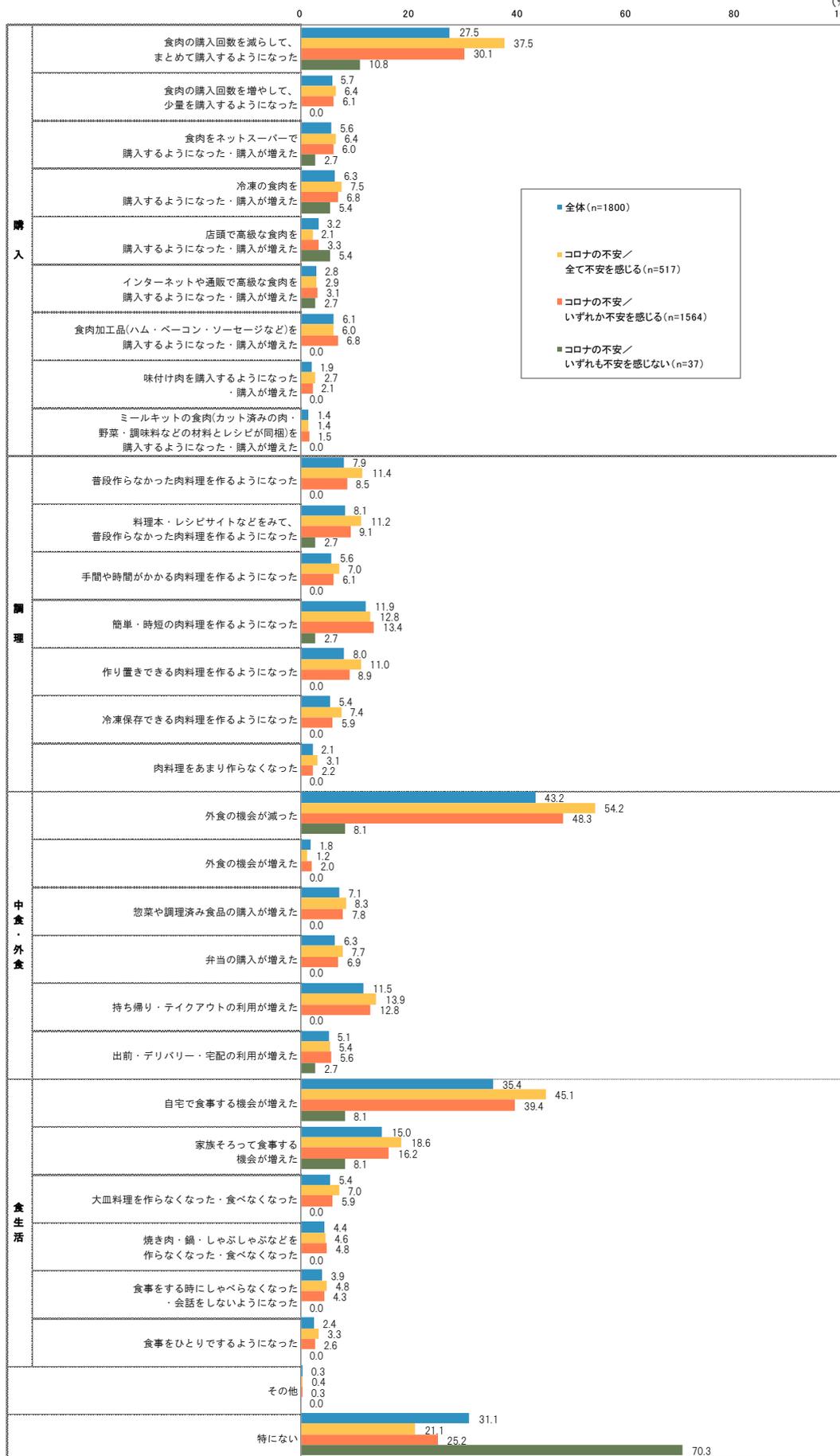
図表 62 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化



図表 63 (その1) エリア・性・年代別「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化



図表 63 (その2) エリア・性・年代別「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉(牛肉、豚肉、鶏肉)に係る食生活・購買行動の変化(続き)



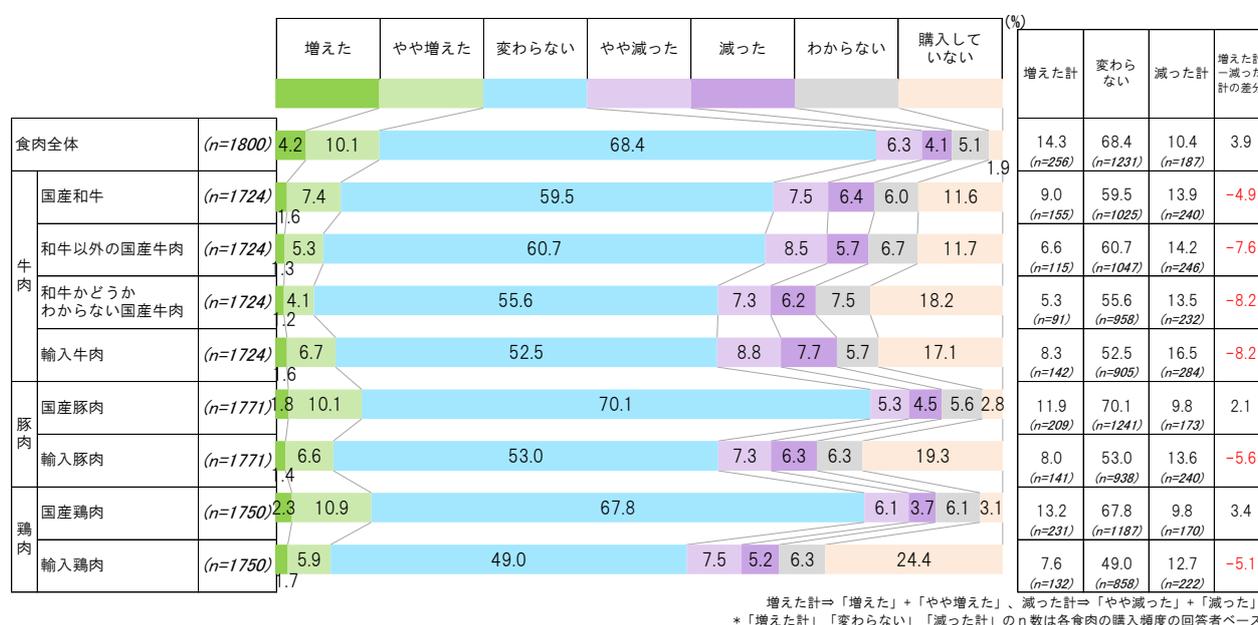
図表 64 「新型コロナウイルス感染症」の不安度別 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化

3) 購買実態からみた「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化

「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化を、食肉の購買行動の実態（Q11）の時系列分析から見た。

昨年同期と比べた最近1か月間の食肉購入回数の変化を見ると、食肉全体では、「変わらない」は68.4%と7割を占めるが、「増えた計（増えた+やや増えた）」は14.3%、「減った計（減った+やや減った）」は10.4%で、【増えた計－減った計の差分】は3.9%で「増えた計」の方が多い。

【増えた計－減った計の差分】で見ると、牛肉は、国産・輸入牛肉ともに「減った計」の方が多いが、国産豚肉と国産鶏肉は「増えた計」の方が多い。



図表 65 購買実態からみた「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化 <食肉購入回数の変化>

食肉全体の【増えた計－減った計の差分】をエリア別、男女別に見ると、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、20代、30代、40代では、「増えた計」の方が多くなっている。



図表 66 エリア・性・年代別 購買実態からみた「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化
 <食肉購入回数の変化：食肉全体>

2.4 「ブランド肉（銘柄肉）」に関する消費者のイメージに関する考察

- ・ 国産の「ブランド肉（銘柄肉）」のイメージは、「特定地域内で特別の飼育法（飼料、品種、飼育期間など）で生産された食肉」（牛肉 48.9%、豚肉 44.3%、鶏肉 42.6%）が最も多く、「一般の食肉より品質が優れているが価格も高い食肉」（牛肉 34.9%、豚肉 31.1%、鶏肉 29.4%）、「特定品種を用いて生産された食肉」（牛肉 23.1%、豚肉 21.8%、鶏肉 19.6%）の順。
- ・ 国産の「ブランド肉（銘柄肉）」の購入・喫食意向は、「品質のよいブランド肉（銘柄肉）であれば、割高でも購入したい・食べたい」（牛肉 26.4%、豚肉 22.2%、鶏肉 20.6%）が最も多い。

一方、「品質のよいブランド肉（銘柄肉）でも、割高なら購入しない・食べない」（牛肉 20.6%、豚肉 21.4%、鶏肉 20.1%）も約2割と多く、意見が拮抗。

「ブランド肉（銘柄肉）は、特別なハレの日（誕生日・記念日・盆・正月・クリスマス等）に購入したい・食べたい」は、牛肉が 21.7%、豚肉が 15.1%、鶏肉が 14.4%と、「国産牛肉のブランド肉（銘柄肉）」のハレの日ニーズが強い。

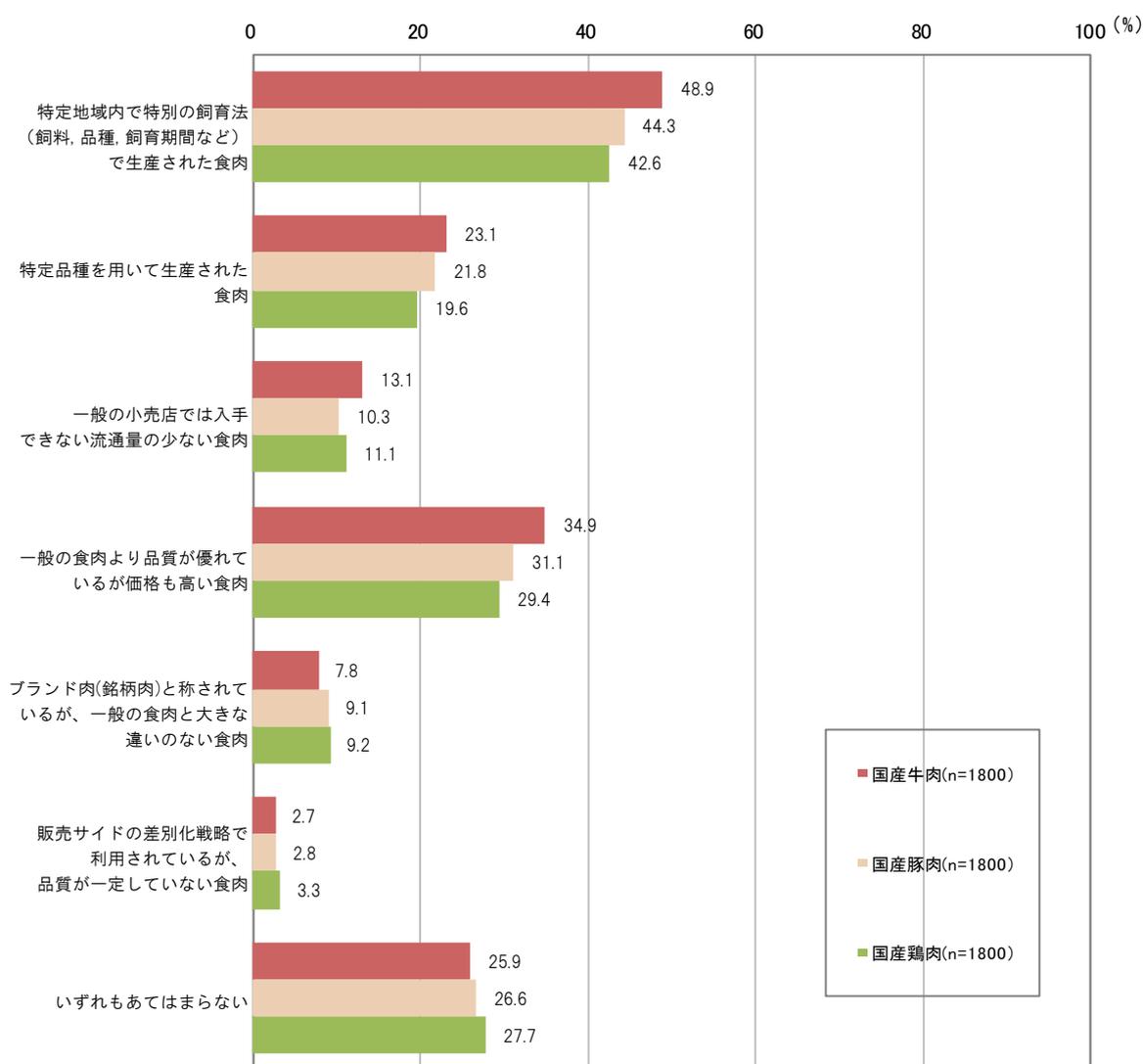
2.4 では、「ブランド肉（銘柄肉）」に関する消費者のイメージ、購入・喫食意向を把握すること、及び 消費者意識を探ることを目的とした。

1) 「ブランド肉（銘柄肉）」についてのイメージ（Q9）のエリア・性・年代別分析

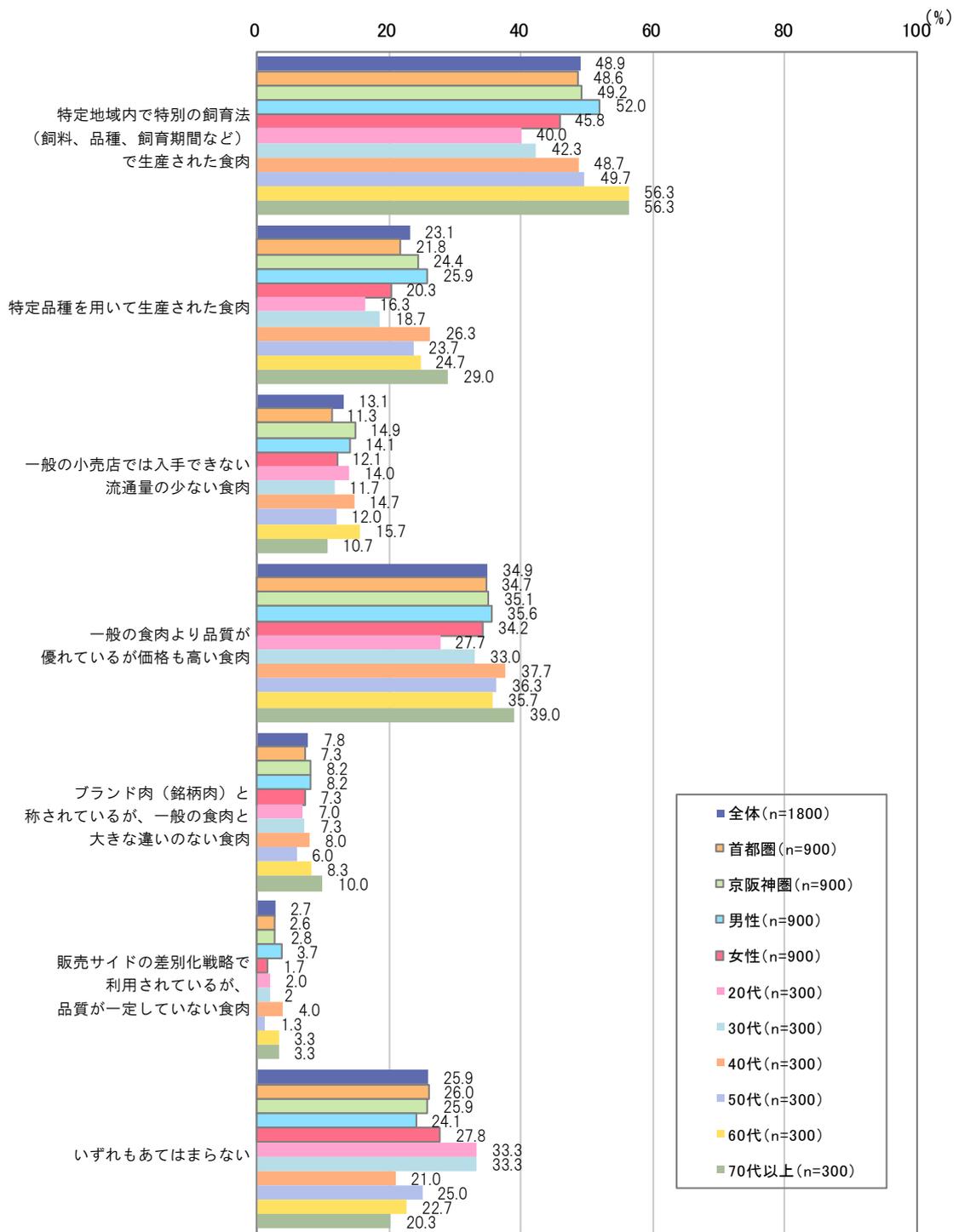
牛肉・豚肉・鶏肉の国産の「ブランド肉（銘柄肉）」についてのイメージ（Q9）は、「特定地域内で特別な飼育法（飼料、品種、飼育期間など）で生産された食肉」（牛肉 48.9%、豚肉 44.3%、鶏肉 42.6%）が最も多い。

次いで、「一般の食肉より品質が優れているが価格も高い食肉」（牛肉 34.9%、豚肉 31.1%、鶏肉 29.4%）、「特定品種を用いて生産された食肉」（牛肉 23.1%、豚肉 21.8%、鶏肉 19.6%）の順に多い。

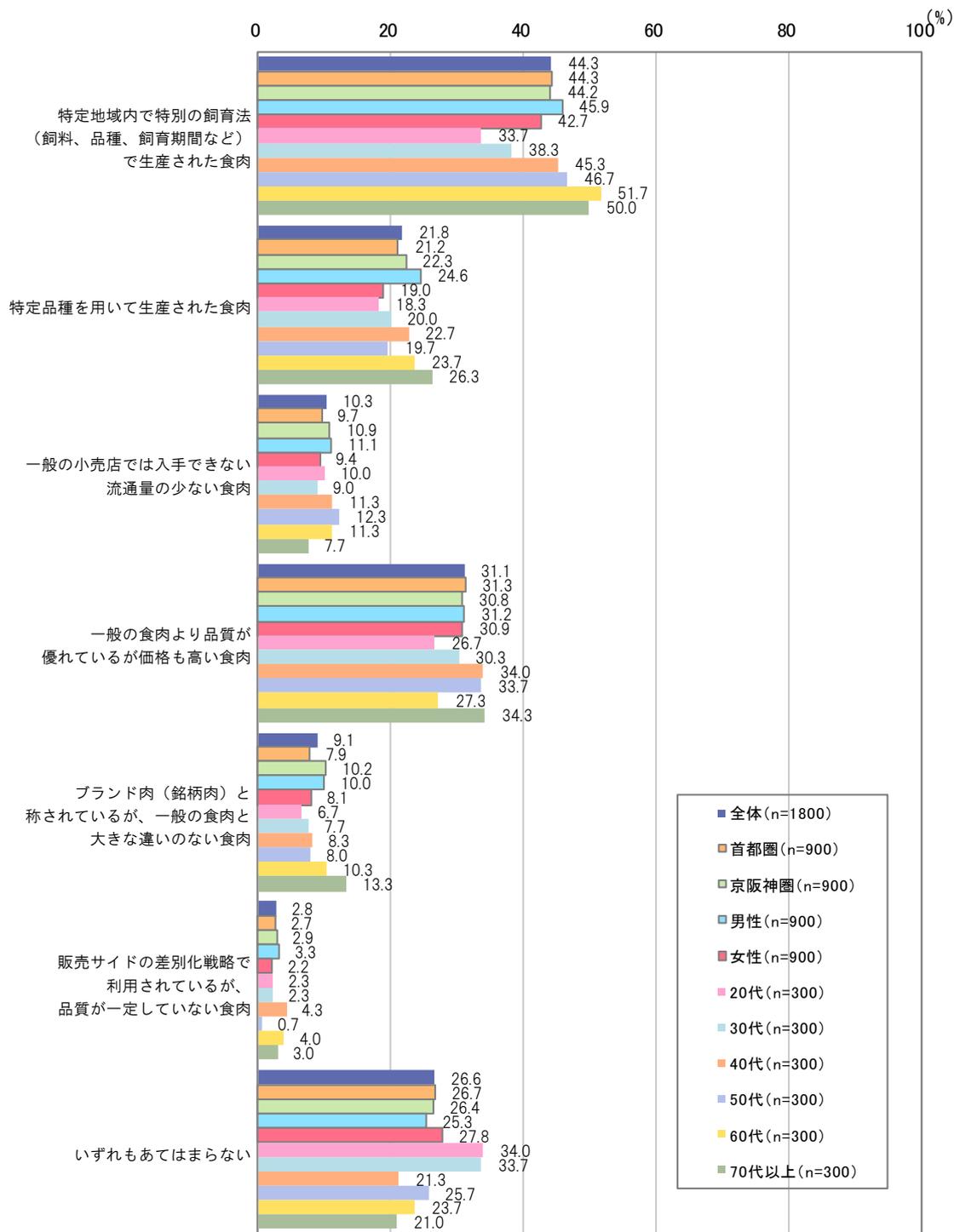
牛肉・豚肉・鶏肉の国産の「ブランド肉（銘柄肉）」についてのイメージは、総じて、エリア別では大きな違いは見られないが、男女別では女性より男性の方が高く、年代別では年代が高いほど当該選択肢に示したイメージを持つ割合が高い。



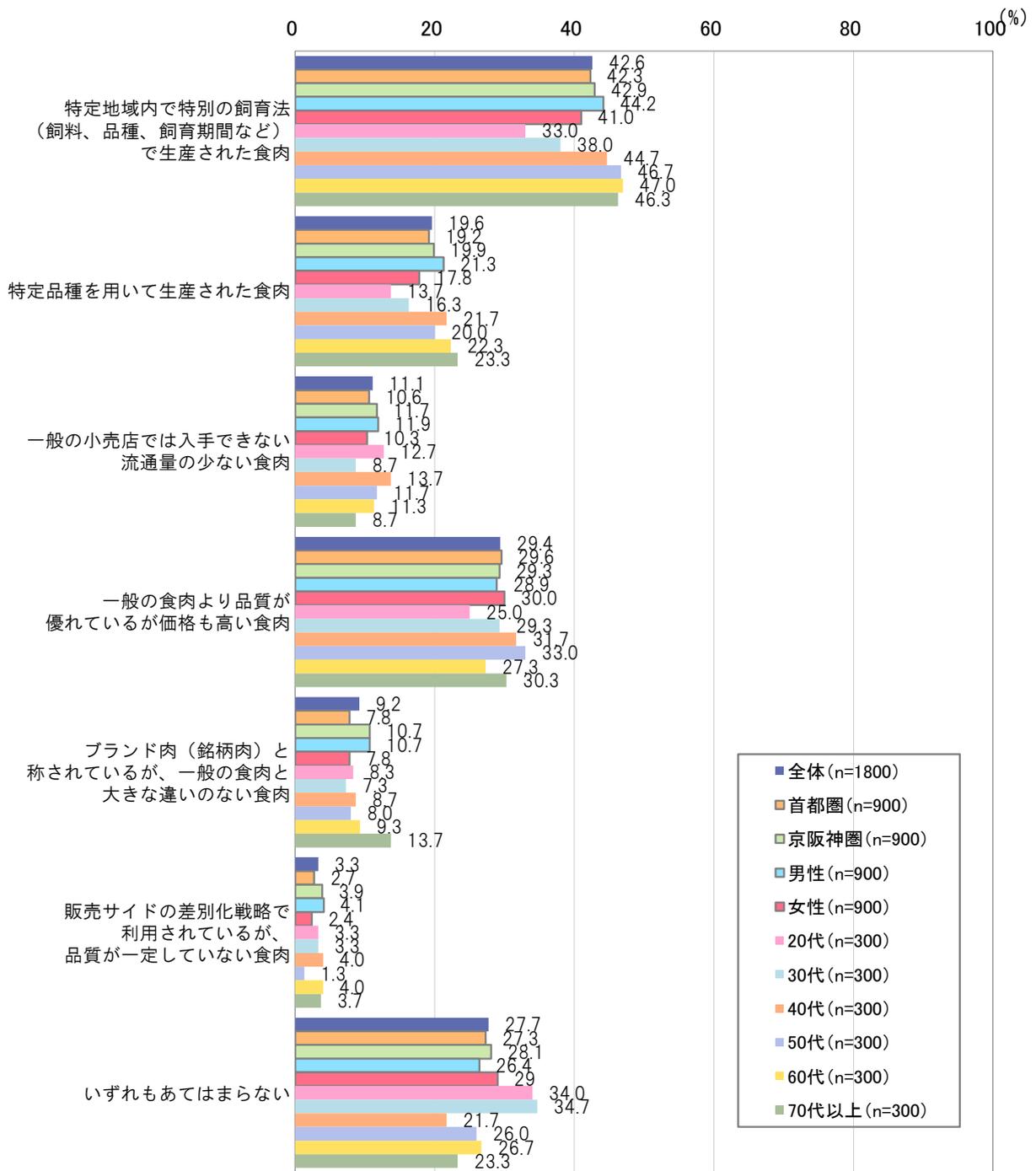
図表 67 牛肉・豚肉・鶏肉の国産の「ブランド肉（銘柄肉）」についてのイメージ



図表 68 エリア・性・年代別 国産牛肉の「ブランド肉 (銘柄肉)」についてのイメージ



図表 69 エリア・性・年代別 国産豚肉の「ブランド肉 (銘柄肉)」についてのイメージ



図表 70 エリア・性・年代別 国産鶏肉の「ブランド肉 (銘柄肉)」についてのイメージ

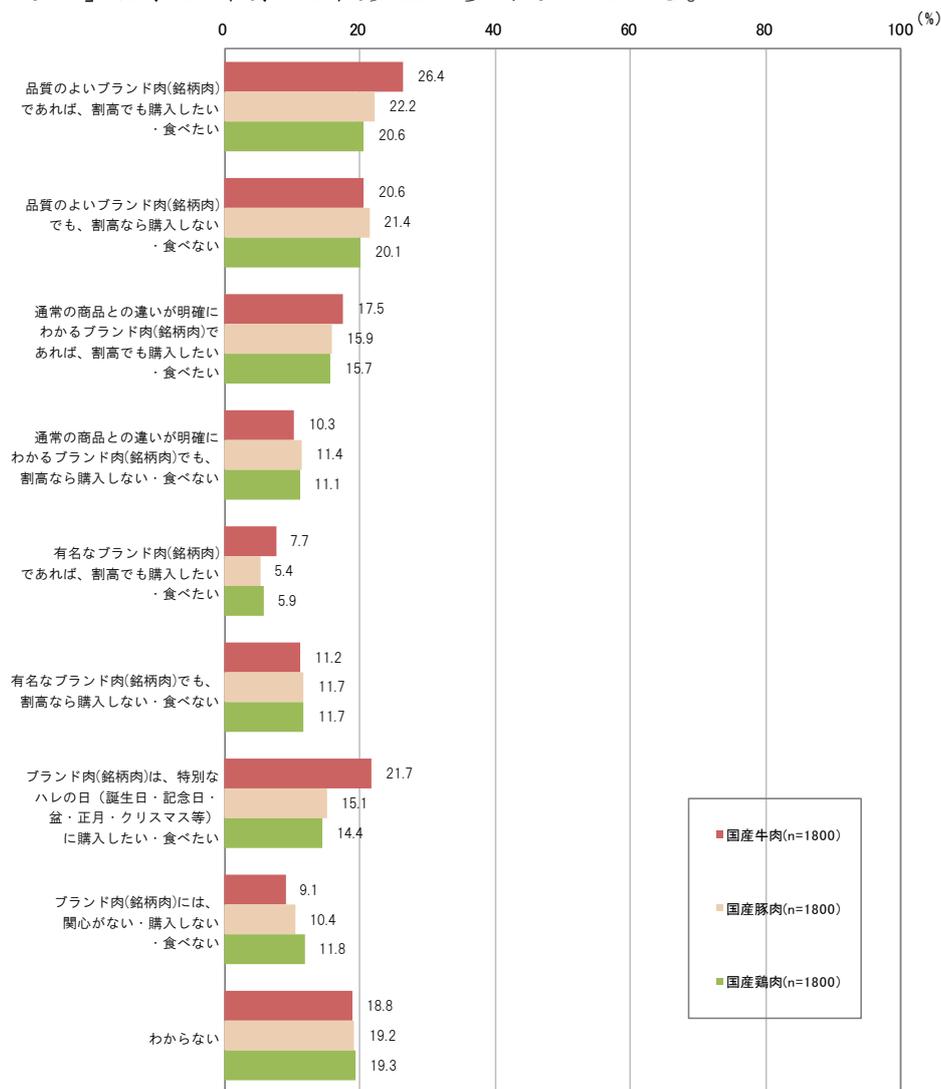
2) 「ブランド肉（銘柄肉）」の購入・喫食意向（Q10）のエリア・性・年代別分析

牛肉・豚肉・鶏肉の国産の「ブランド肉（銘柄肉）」の購入・喫食意向（Q10）は、「品質のよいブランド肉（銘柄肉）であれば、割高でも購入したい・食べたい」（牛肉 26.4%、豚肉 22.2%、鶏肉 20.6%）が最も多い。一方、「品質のよいブランド肉（銘柄肉）でも、割高なら購入しない・食べない」（牛肉 20.6%、豚肉 21.4%、鶏肉 20.1%）も約2割と多く、購入・喫食意向は拮抗している。

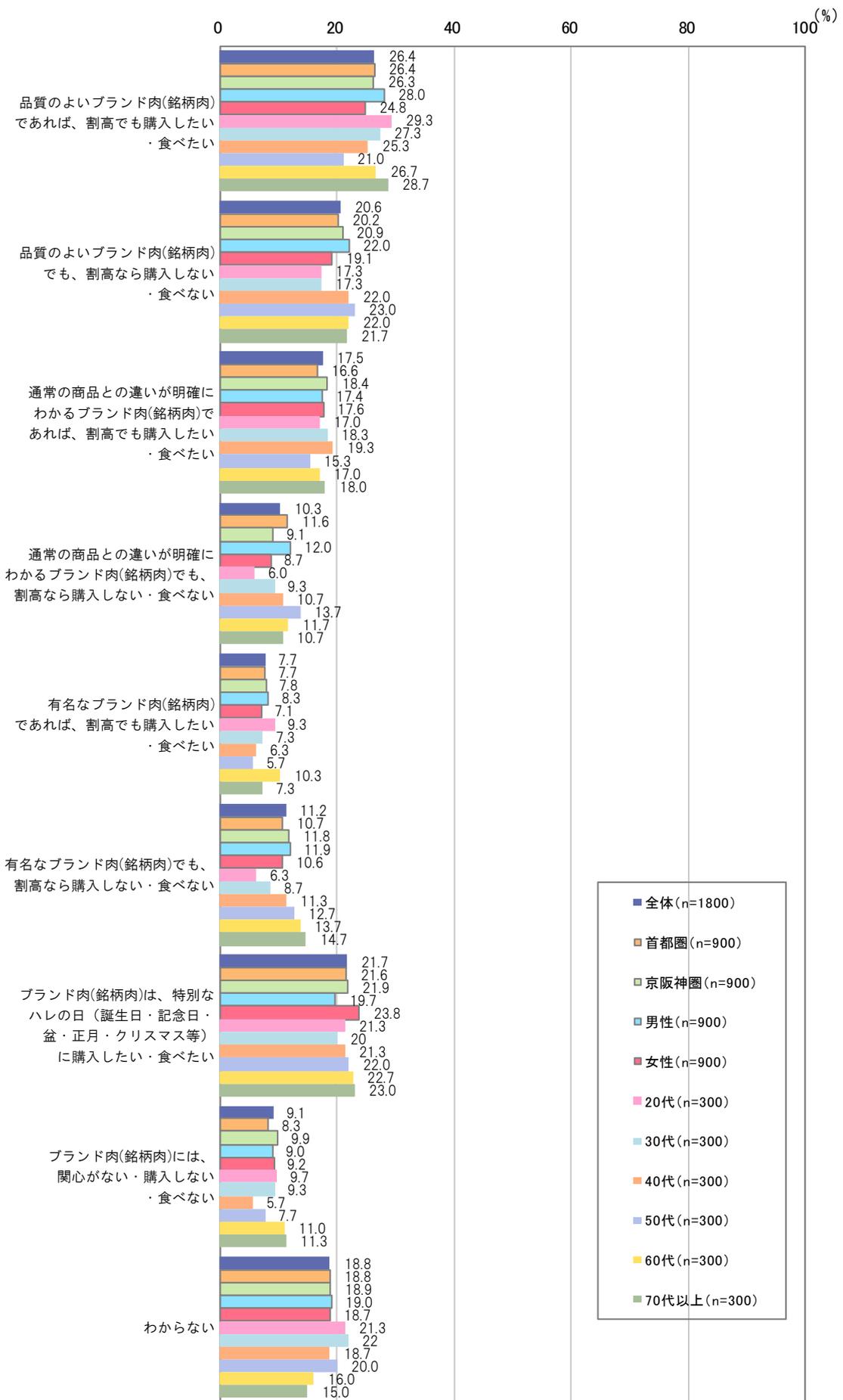
また、「ブランド肉（銘柄肉）は、特別なハレの日（誕生日・記念日・盆・正月・クリスマス等）に購入したい・食べたい」は、牛肉が 21.7%、豚肉が 15.1%、鶏肉が 14.4%と、「国産牛肉のブランド肉（銘柄肉）」のハレの日ニーズが強い。

エリア別に見ると、大きな違いは見られない。男女別に見ると、「品質のよいブランド肉（銘柄肉）であれば、割高でも購入したい・食べたい」は男性の方がやや多く、「ブランド肉（銘柄肉）は、特別なハレの日（誕生日・記念日・盆・正月・クリスマス等）に購入したい・食べたい」は女性の方が多くなっている。

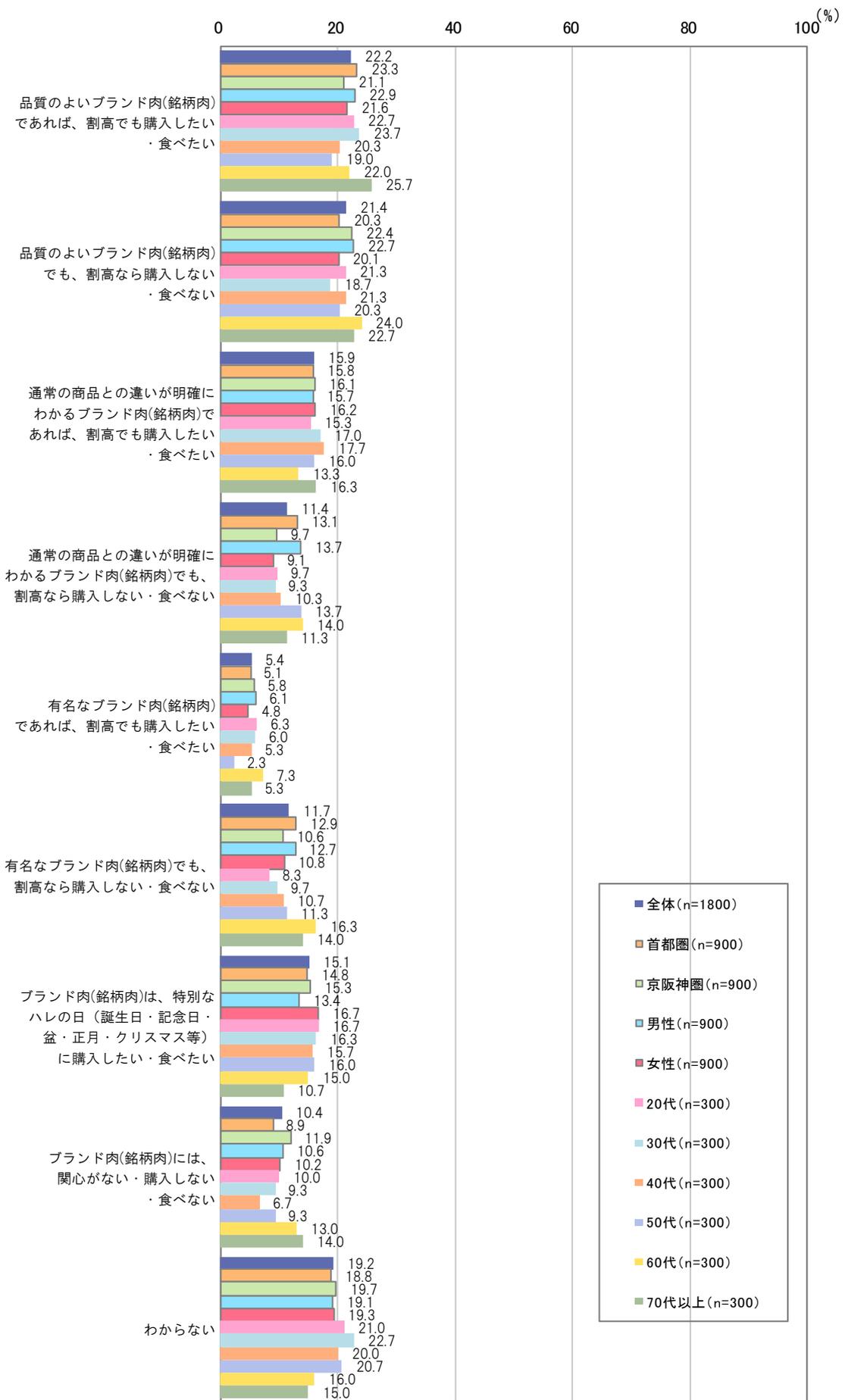
年代別に見ると、「品質のよいブランド肉（銘柄肉）でも、割高なら購入しない・食べない」は、60代、70代以上で多くなっている。



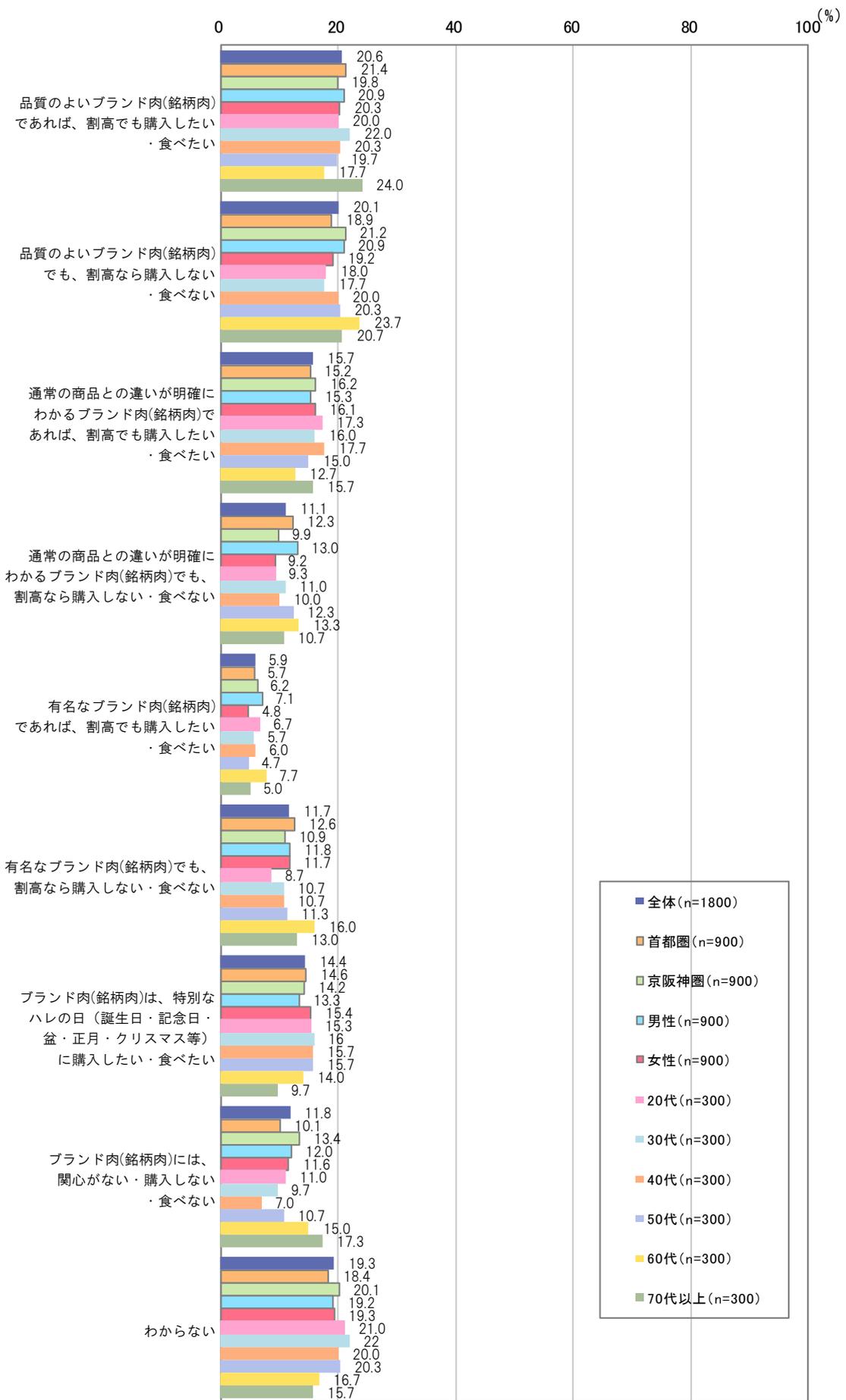
図表 71 牛肉・豚肉・鶏肉の国産の「ブランド肉（銘柄肉）」の購入・喫食意向



図表 72 エリア・性・年代別 国産牛肉の「ブランド肉（銘柄肉）」の購入・喫食意向



図表 73 エリア・性・年代別 国産豚肉の「ブランド肉（銘柄肉）」の購入・喫食意向



図表 74 エリア・性・年代別 国産鶏肉の「ブランド肉（銘柄肉）」の購入・喫食意向

2.5 食肉中の栄養・成分に関する消費者意識に関する考察

- 食肉の喫食により得られるカロリーについての意識は、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」が 50.5%と最も多く、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」が 33.3%、「食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている」が 16.2%。
- 食肉中の「コレステロール」についての考えは、「いずれもあてはまらない」が 36.4%と最も多く、「コレステロールを気にして、食肉摂取を控えるということはない」が 36.3%と続く。「コレステロールが気がかかりで、食肉の摂取を控えている」が 10.9%、「コレステロール値の高低と食肉摂取量とは無関係である」が 10.4%、「コレステロールは、細胞膜の構成物質となるなど重要な働きをしており、食肉を積極的に摂取している」が 7.4%といずれも 1 割程度で、食肉中の「コレステロール」に対する意識は相対的に低い。
- 食肉中の「脂肪」についての考えは、「いずれもあてはまらない」が 35.9%と最も多い。次いで、「脂肪分の少ない赤身肉を食べるようにしている」21.6%、「食肉中の脂肪は、食肉のおいしさに影響を及ぼす重要な成分である」17.1%が続く。一方、「肥満を含め健康面から食肉による脂肪摂取の増減を考えたことはない」が 16.5%いるが、「食肉中の脂肪は、肥満や生活習慣病の原因となりかねないので、摂取を控えている」も 14.2%いる。
- 食肉中の「タンパク質」についての考えは、「いずれもあてはまらない」が 34.9%と最も多い。「タンパク質不足とならないよう、食肉を積極的に摂取している」22.7%、「タンパク質摂取には、食肉より魚肉の方が健康的である」20.4%と、食肉摂取派と魚肉摂取派が約 2 割ずつで拮抗。次いで、「タンパク質を構成するアミノ酸の種類とバランスに優れた食肉は、栄養的価値の高い食品である」19.5%、「老化を予防するため、タンパク質の豊富な食肉摂取を心がけている」16.6%、「タンパク質摂取には、動物性より植物性の方が健康的である」15.0%の順。

2.5 では、食肉中の栄養・成分に関する消費者意識を探ることを目的とした。

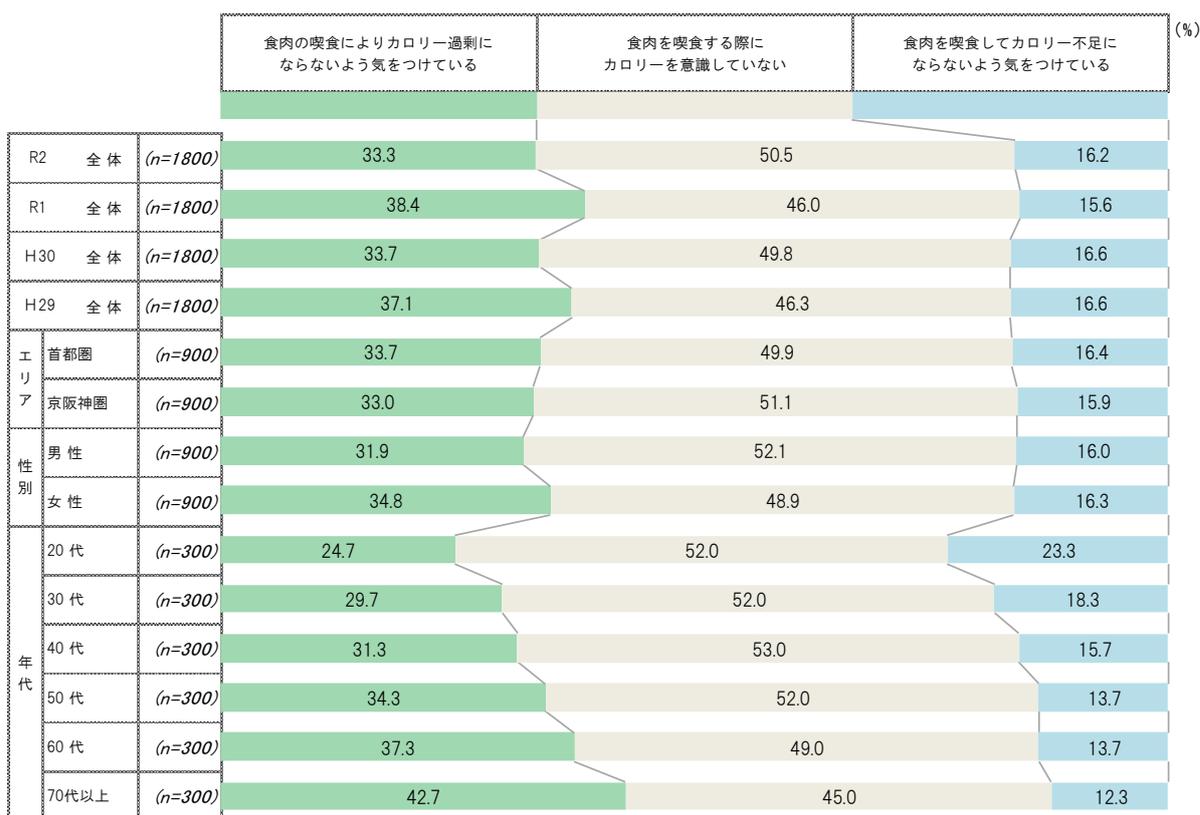
1) 食肉の喫食により得られるカロリーについての意識(Q46)のエリア・性・年代別分析、時系列分析

食肉の喫食により得られるカロリーについての意識（Q46）は、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」が50.5%と最も多く半数を占め、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」が33.3%、「食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている」が16.2%である。

エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

男女別に見ると、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」は女性が34.8%、男性が31.9%と女性の方が多く、一方、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」は男性が52.1%、女性が48.9%と女性より男性の方が多い。

年代別に見ると、年代が上がるにつれ「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」が多くなり、若い世代の方が「食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている」が多くなっている。



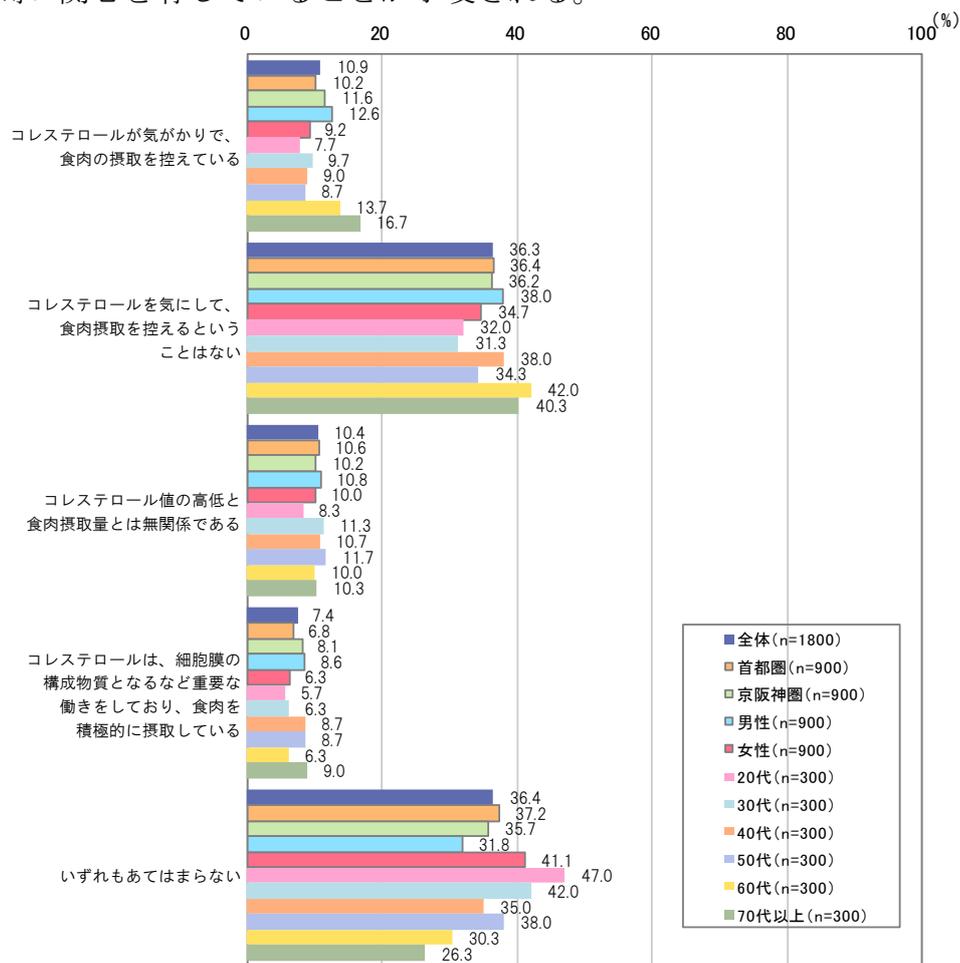
図表 75 エリア・性・年代別 食肉の喫食により得られるカロリーについての意識

2) 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）中の「コレステロール」についての考え（Q47）のエリア・性・年代別分析

食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）中の「コレステロール」についての考え（Q47）は、「いずれもあてはまらない」が36.4%と最も多く、「コレステロールを気にして、食肉摂取を控えるということはない」が36.3%と続き食肉中の「コレステロール」に対する意識は相対的に低い。「コレステロールが気になりで、食肉の摂取を控えている」が10.9%、「コレステロール値の高低と食肉摂取量とは無関係である」が10.4%、「コレステロールは、細胞膜の構成物質となるなど重要な働きをしており、食肉を積極的に摂取している」が7.4%といずれも1割程度である。エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

男女別に見ると、「コレステロールが気になりで、食肉の摂取を控えている」は男性が12.6%、女性が9.2%と女性より男性の方がやや多い。

年代別に見ると「コレステロールを気にして、食肉摂取を控えるということはない」とする者は、60代、70代以上で40%を超えたが、一方で「コレステロールが気になりで食肉摂取を控えている」とする者が60代、70代以上で10%を超えて、他の年代層より高くなっている。年代が高まるにつれ、「いずれもあてはまらない」とする者の割合が少なくなる傾向にあり、年齢の高い層は、コレステロールに高い関心を有していることが示唆される。



図表 76 エリア・性・年代別 食肉中の「コレステロール」についての考え

3) 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）中の「脂肪」についての考え（Q48）の エリア・性・年代別分析

食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）中の「脂肪」についての考え（Q48）は、「いずれもあてはまらない」が 35.9%と最も多い。次いで、「脂肪分の少ない赤身肉を食べるようにしている」21.6%、「食肉中の脂肪は、食肉のおいしさに影響を及ぼす重要な成分である」17.1%が続く。

一方、「肥満を含め健康面から食肉による脂肪摂取の増減を考えたことはない」が 16.5%いるが、「食肉中の脂肪は、肥満や生活習慣病の原因となりかねないので、摂取を控えている」も 14.2%いる。

エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

男女別に見ると、「肥満を含め健康面から食肉による脂肪摂取の増減を考えたことはない」は男性が 22.0%、女性が 11.0%と女性より男性の方が多い。

年代別に見ると、「食肉中の脂肪は、肥満や生活習慣病の原因となりかねないので、摂取を控えている」及び「脂肪分の少ない赤身肉を食べるようにしている」は、年齢を重ねるにつれて高くなり、60代では、それぞれ 17.3%、23.7%で、70代以上では、それぞれ 23.7%、34.0%となった。

一方で 60代以上は、「食肉中の脂肪は、食肉のおいしさに影響を及ぼす重要な成分である」と回答した者の割合も高い結果となった。

このことは、年代が高くなるにつれ、食肉中の脂肪に対する関心が高まることを示唆していると思われる。

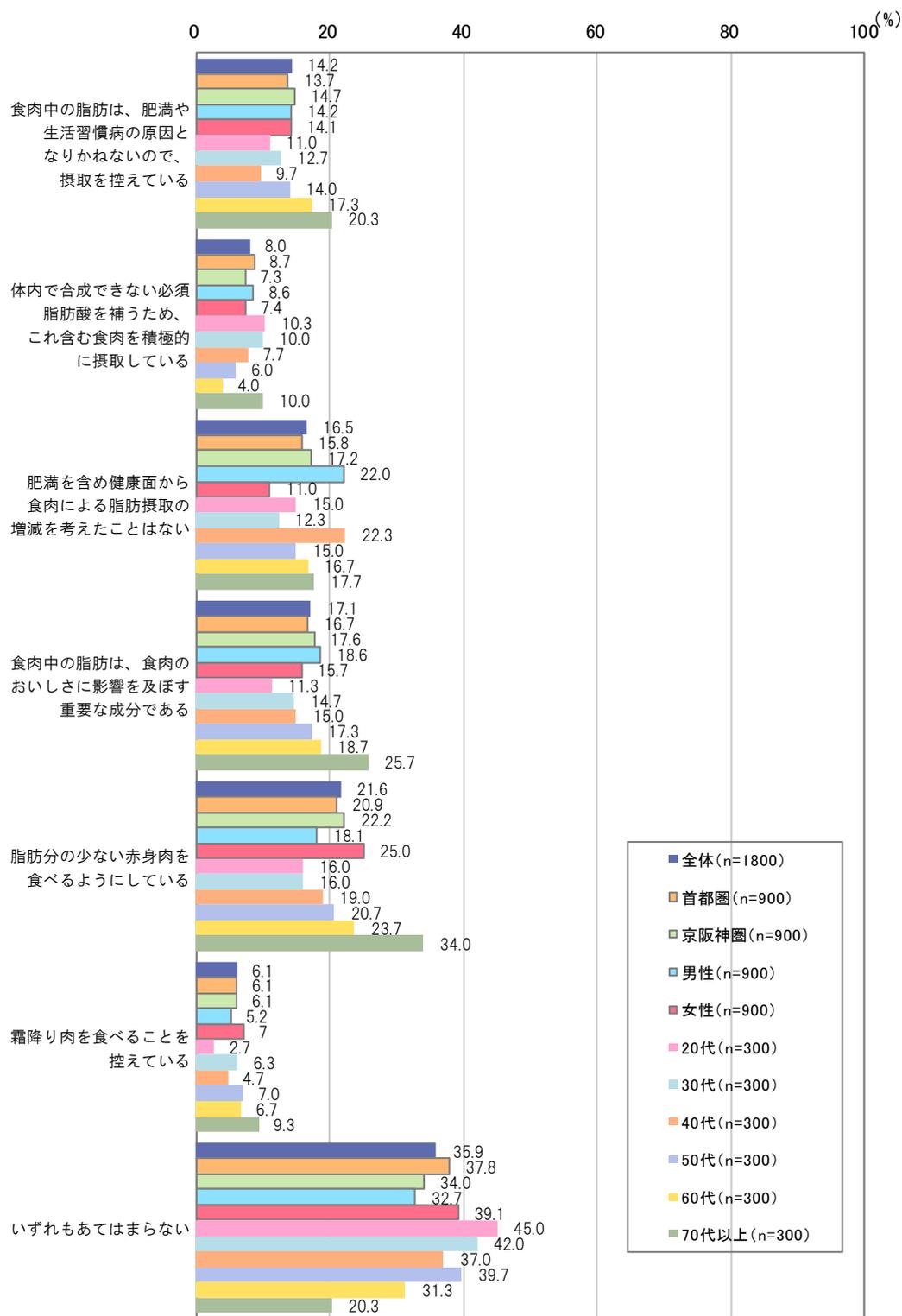


表 77 エリア・性・年代別 食肉中の「脂肪」についての考え

4) 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）中の「タンパク質」についての考え（Q49）の エリア・性・年代別分析

食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）中の「タンパク質」についての考え（Q49）は、「いずれもあてはまらない」が34.9%と最も多い。

「タンパク質不足とならないよう、食肉を積極的に摂取している」22.7%、「タンパク質摂取には、食肉より魚肉の方が健康的である」20.4%と、食肉摂取派と魚肉摂取派が約2割ずつで拮抗している。

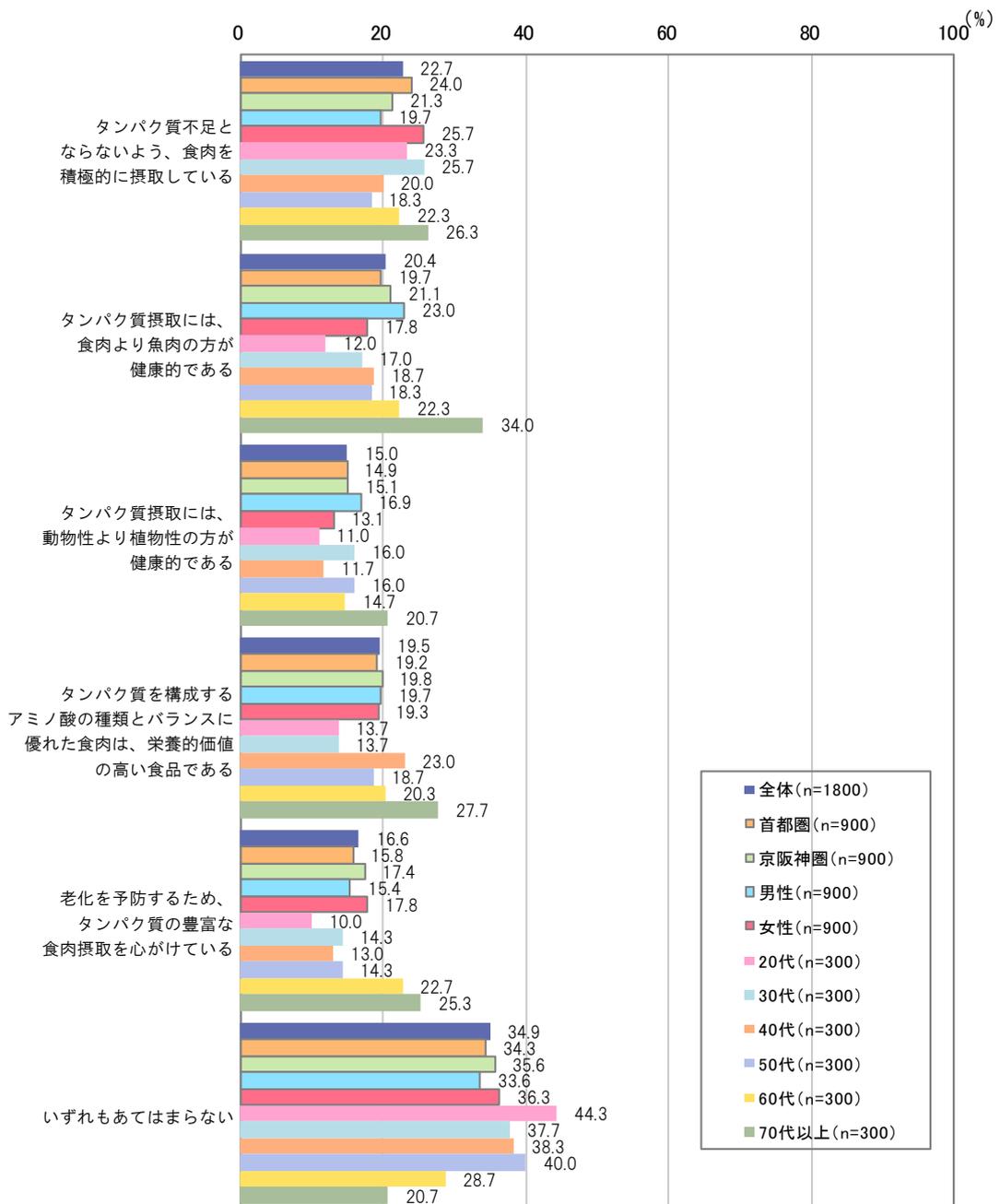
次いで、「タンパク質を構成するアミノ酸の種類とバランスに優れた食肉は、栄養的価値の高い食品である」19.5%、「老化を予防するため、タンパク質の豊富な食肉摂取を心がけている」16.6%の順となる。

「タンパク質摂取には、動物性より植物性の方が健康的である」は15.0%と多くない。

エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

男女別に見ると、男性の方が「タンパク質摂取には、食肉より魚肉の方が健康的である」「タンパク質摂取には、動物性より植物性の方が健康的である」が多く、女性の方が「タンパク質不足とならないよう、食肉を積極的に摂取している」が多くなっている。

年代別に見ると、「タンパク質摂取には、食肉より魚肉の方が健康的である」は70代以上で34.0%と非常に多く、「老化を予防するため、タンパク質の豊富な食肉摂取を心がけている」は、60代、70代以上で多くなっている。「いずれもあてはまらない」は20代、50代で4割以上と多い



図表 78 エリア・性・年代別 食肉中の「タンパク質」についての考え

3. 食肉の購買実態に関する調査

1) 食肉の種類別機会別の喫食頻度 (Q4)

- 牛肉料理の内食は「週に1日程度」、中食、外食では「それ以下（月に1日以下）」とする割合が高い。
- 豚肉料理と鶏肉料理、魚介料理の傾向は似ており、内食では「週に2～3日程度」、中食、外食では「それ以下（月に1日未満）」とする割合が最も高い。

【今年度調査】

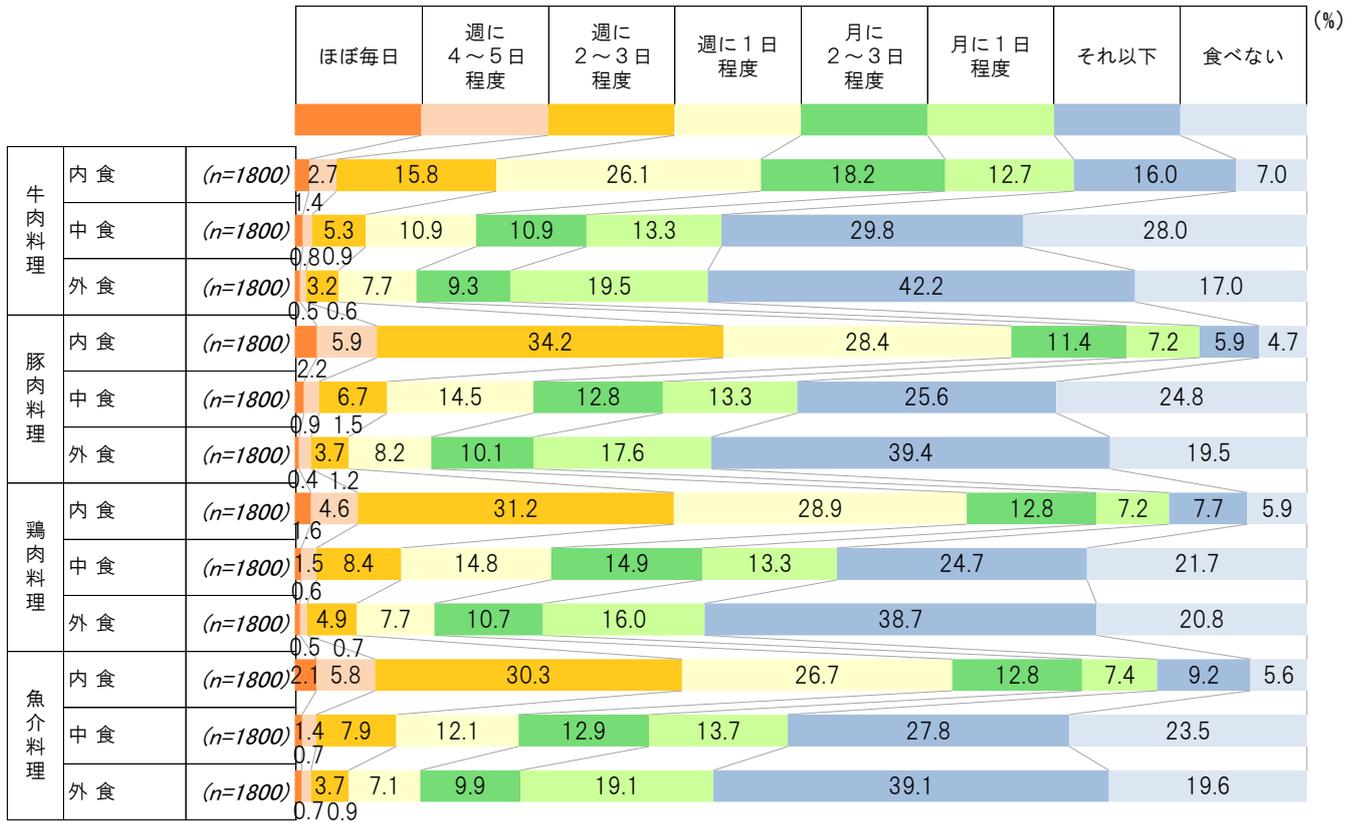
牛肉料理の喫食頻度は、内食では「週に1日程度」26.1%、「月に2～3日程度」18.2%、「それ以下（月に1日未満）」16.0%、「週に2～3日程度」15.8%の順で高い。中食では、「それ以下（月に1日未満）」29.8%、「食べない」28.0%、「月に1日程度」13.3%の順で高い。外食では、「それ以下（月に1日未満）」42.2%、「月に1日程度」19.5%、「食べない」17.0%の順で高い。牛肉の内食は「週に1日程度」が最も高く、他の食肉に比べ頻度が低い傾向にある。

豚肉料理の喫食頻度は、内食では「週に2～3日程度」34.2%、「週に1日程度」28.4%、「月に2～3日程度」11.4%の順で高い。中食では、「それ以下（月に1日未満）」25.6%、「食べない」24.8%、「月に1日程度」13.3%の順で高い。外食では、「それ以下（月に1日未満）」39.4%、「食べない」19.5%、「月に1日程度」17.6%の順で高い。

鶏肉料理の喫食頻度は、内食では「週に2～3日程度」31.2%、「週に1日程度」28.9%、「月に2～3日程度」12.8%の順で高い。中食では、「それ以下（月に1日未満）」24.7%、「食べない」21.7%、「月に2～3日程度」14.9%の順で高い。外食では、「それ以下（月に1日未満）」38.7%、「食べない」20.8%、「月に1日程度」16.0%の順で高い。

魚介料理の喫食頻度は、内食では「週に2～3日程度」30.3%、「週に1日程度」26.7%、「月に2～3日程度」12.8%の順で高い。中食では、「それ以下（月に1日未満）」27.8%、「食べない」23.5%、「月に1日程度」13.7%の順で高い。外食では、「それ以下（月に1日未満）」39.1%、「食べない」19.6%、「月に1日程度」19.1%の順で高い。

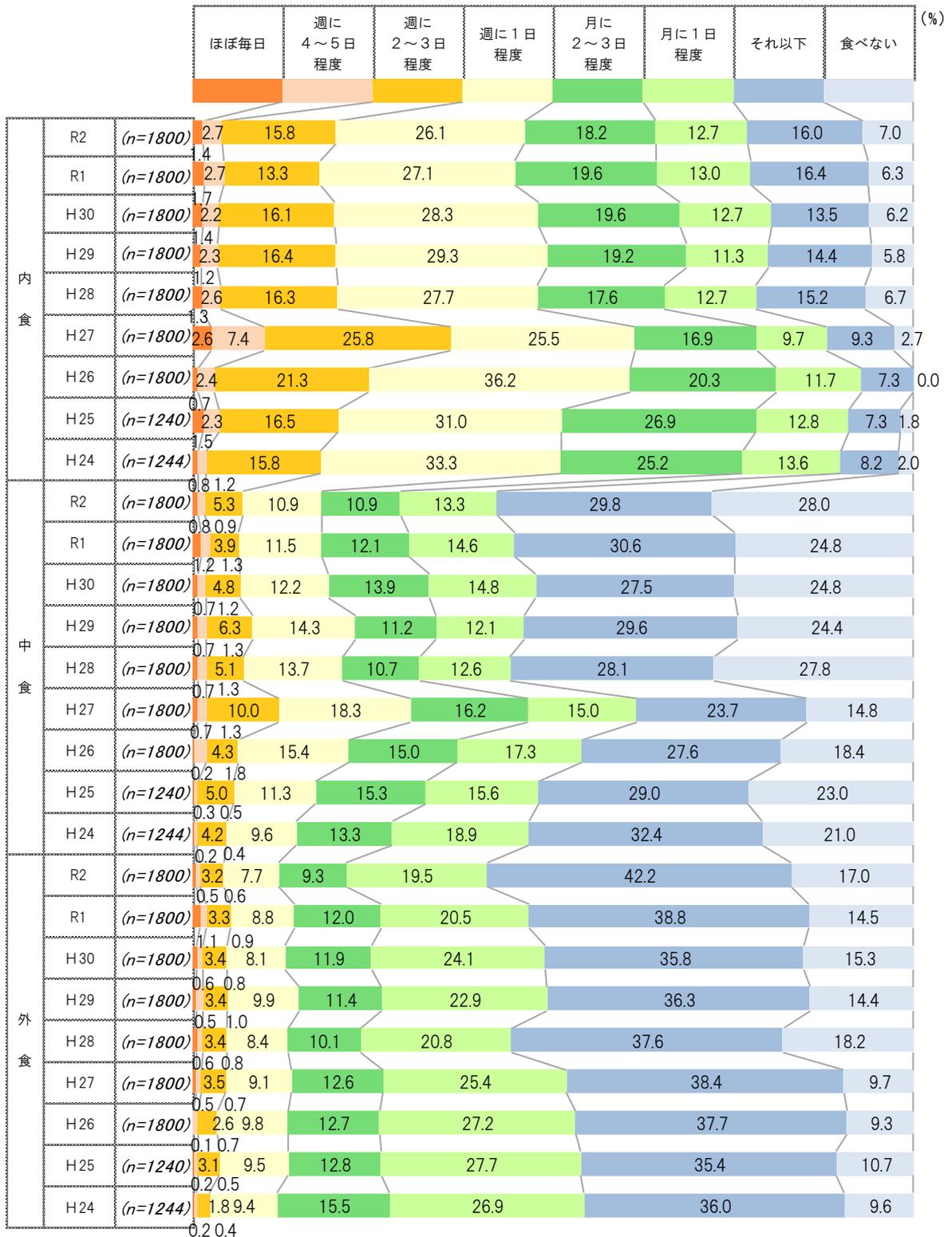
豚肉料理、鶏肉料理、魚介料理は内食、中食、外食のいずれの喫食頻度も似た傾向にある。



図表 79 食肉の種類別機会別の喫食頻度

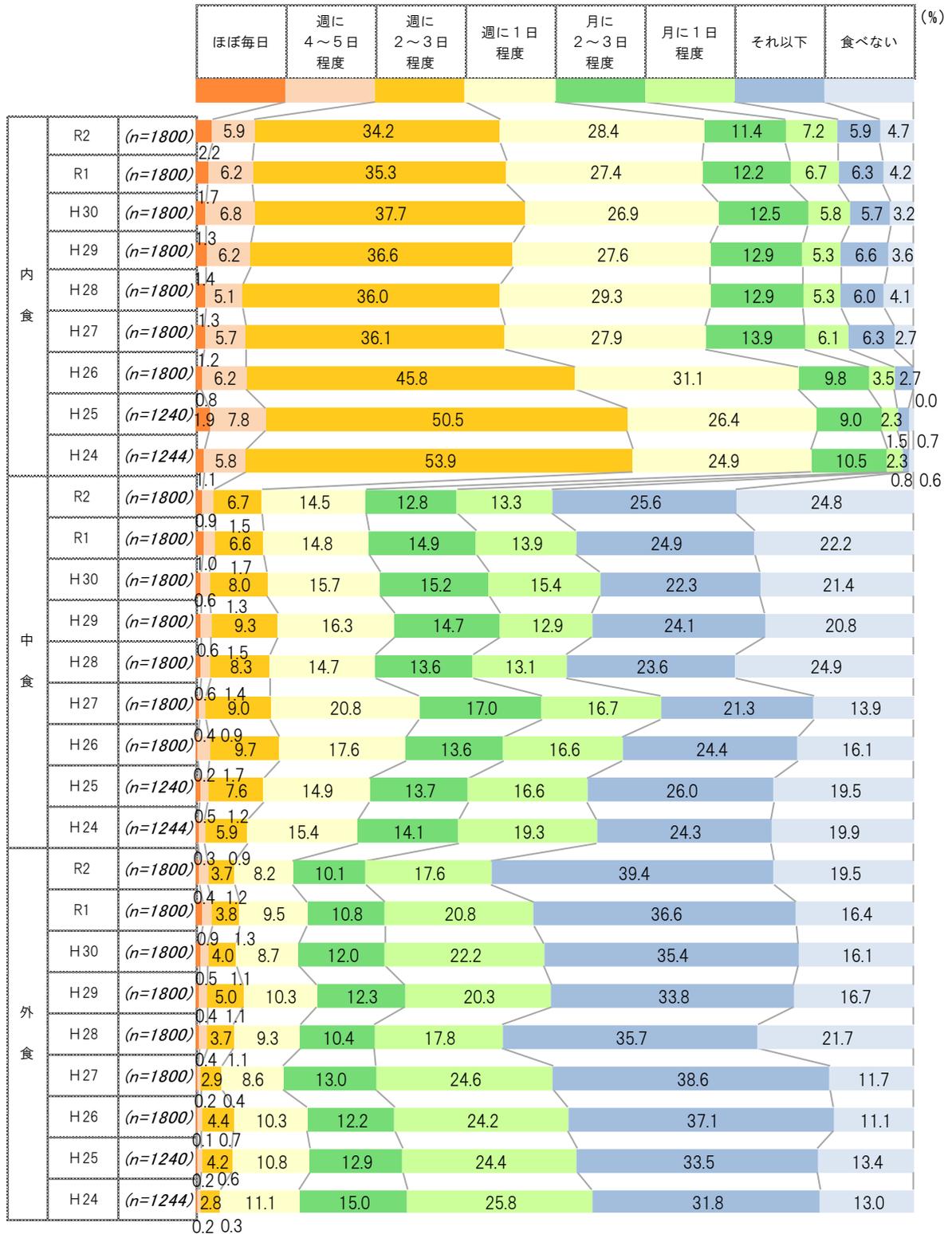
【過年度調査との比較】

牛肉料理の内食は、昨年度に比べて大きな変化はない。一方、中食、外食では「食べない」が昨年度に比べて増加しており、外食では「それ以下（月に1日未満）」も増加している。



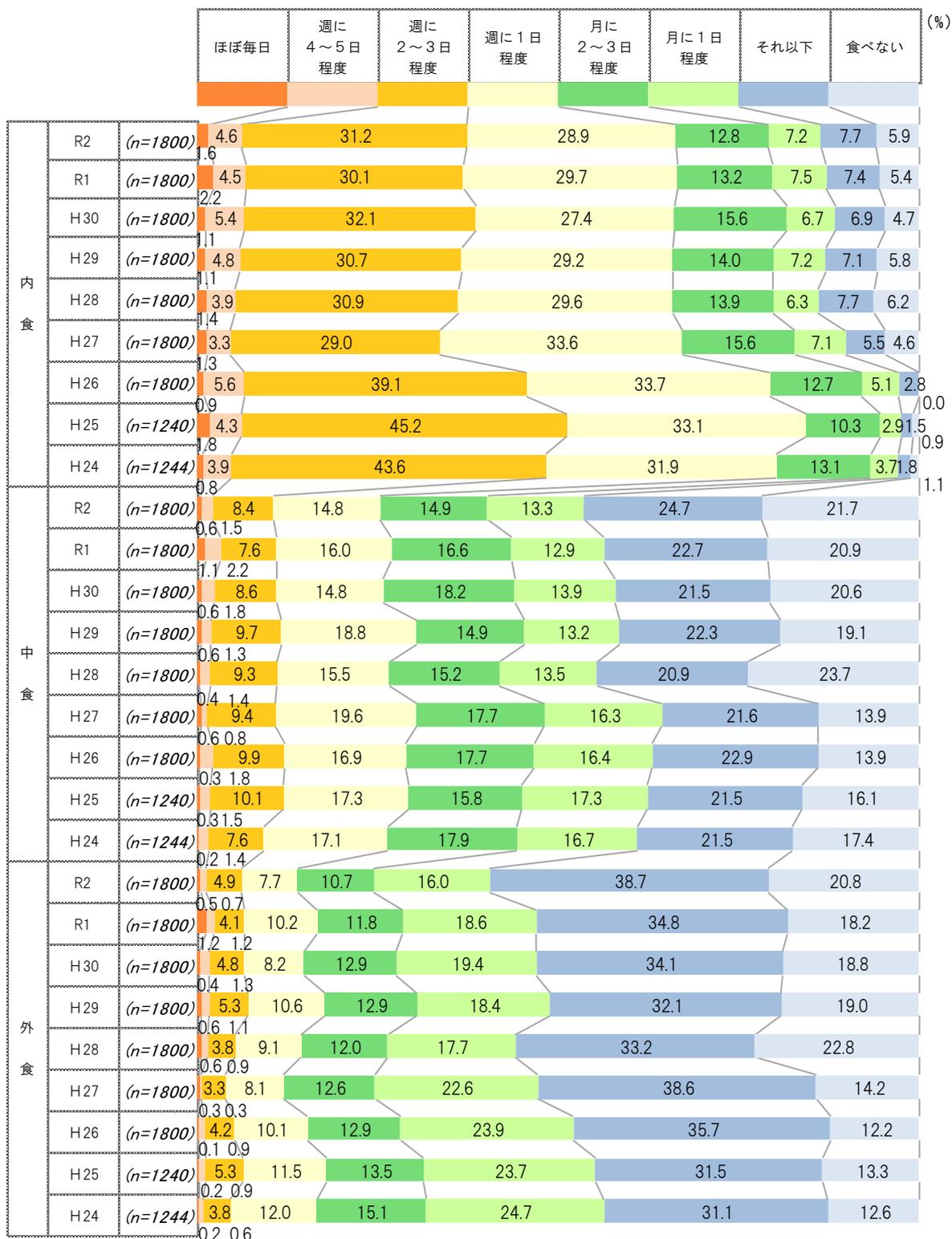
図表 80 牛肉料理の喫食頻度（経年変化）

豚肉料理の内食は昨年度に比べて大きな変化はない。一方、中食、外食では昨年度に比べて「食べない」「それ以下（月に1日未満）」が増加している。



図表 81 豚肉料理の喫食頻度（経年変化）

鶏肉料理の内食は昨年度に比べて大きな変化はない。一方、中食、外食では昨年度に比べて「食べない」「それ以下（月に1日未満）」が増加している。



図表 82 鶏肉料理の喫食頻度（経年変化）

2) 食肉に対する種類別イメージ (Q5)

- ▶ どの食肉も「たんぱく質が豊富」というイメージが強い。
- ▶ 牛肉は栄養の高さ、豚肉と鶏肉は価格の手頃さや、調理のしやすさや料理メニューの種類が多いイメージも強い。
- ▶ 過年度調査と比較すると、牛肉は昨年度と大きな違いは見られない。豚肉、鶏肉は「価格が手頃」が増加傾向。

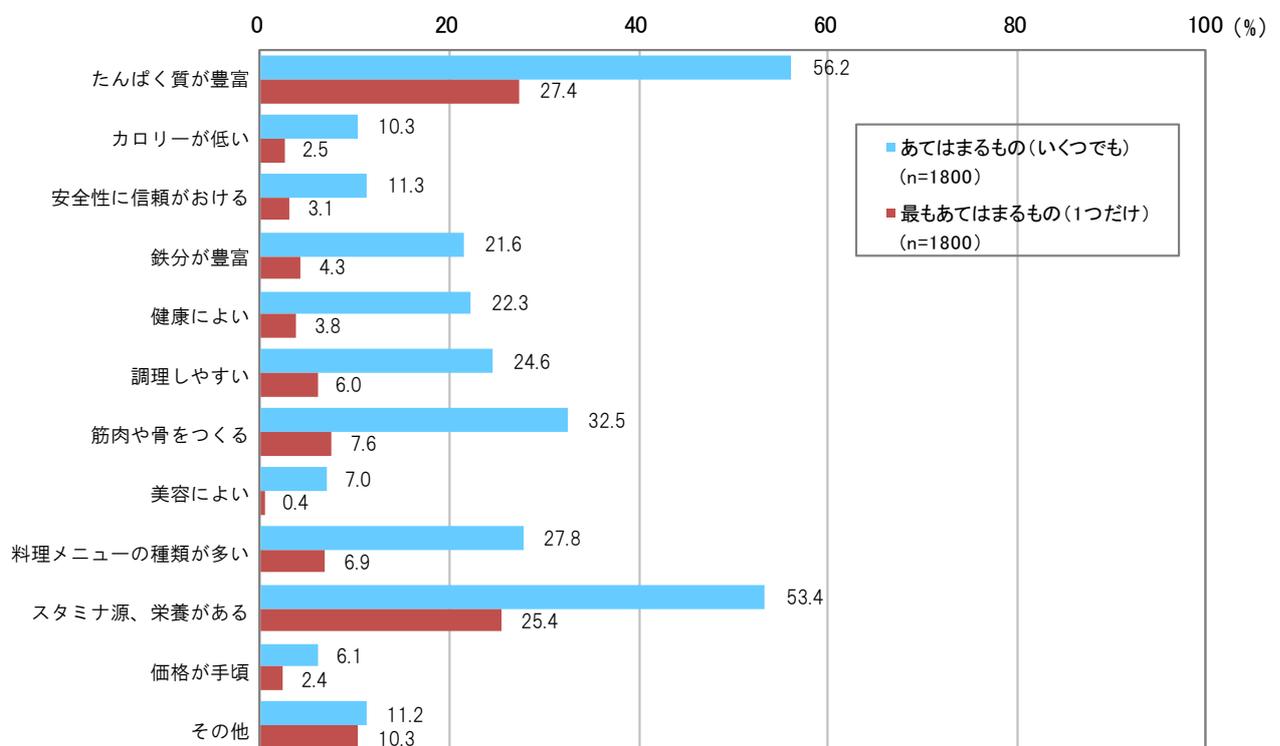
【今年度調査】

牛肉に対するイメージは（複数回答）、「たんぱく質が豊富」56.2%、「スタミナ源、栄養がある」53.4%、「筋肉や骨をつくる」32.5%の順で高い。

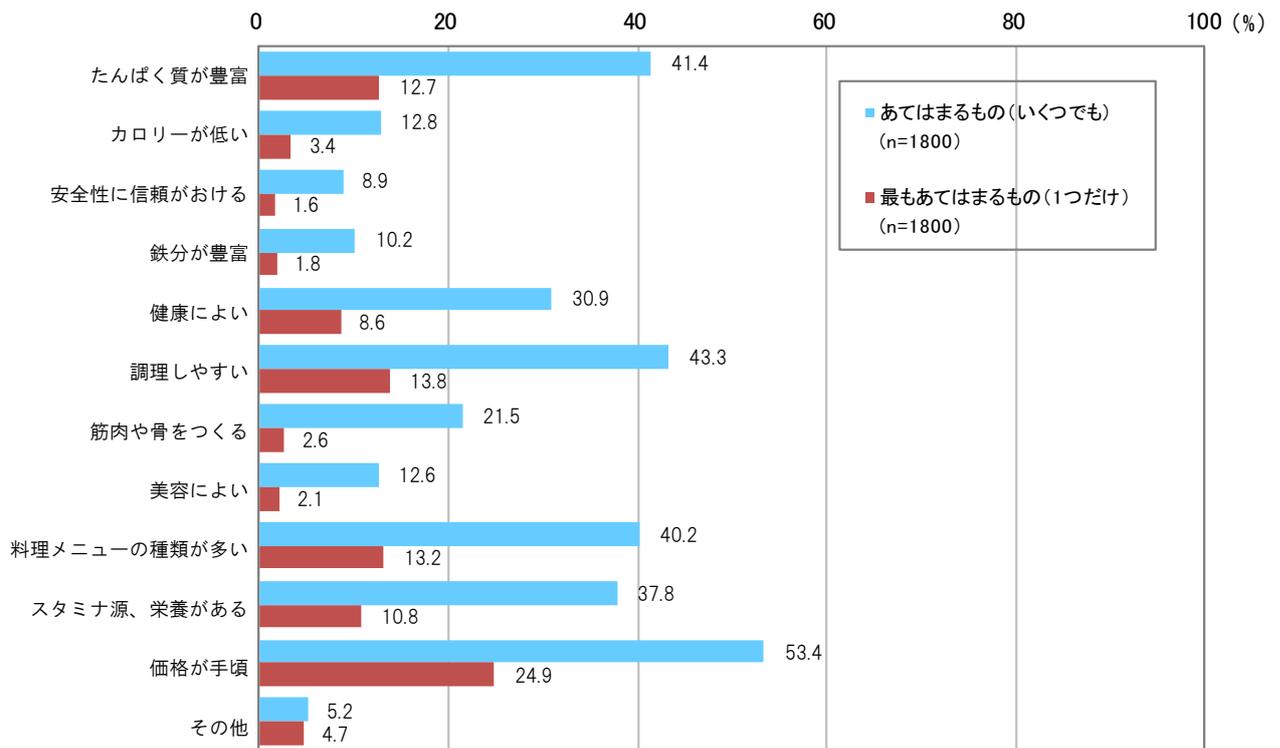
豚肉に対するイメージは（複数回答）、「価格が手頃」53.4%、「調理しやすい」43.3%、「たんぱく質が豊富」41.4%の順で高い。

鶏肉に対するイメージは（複数回答）、「価格が手頃」61.2%、「カロリーが低い」47.6%、「たんぱく質が豊富」46.5%の順で高い。

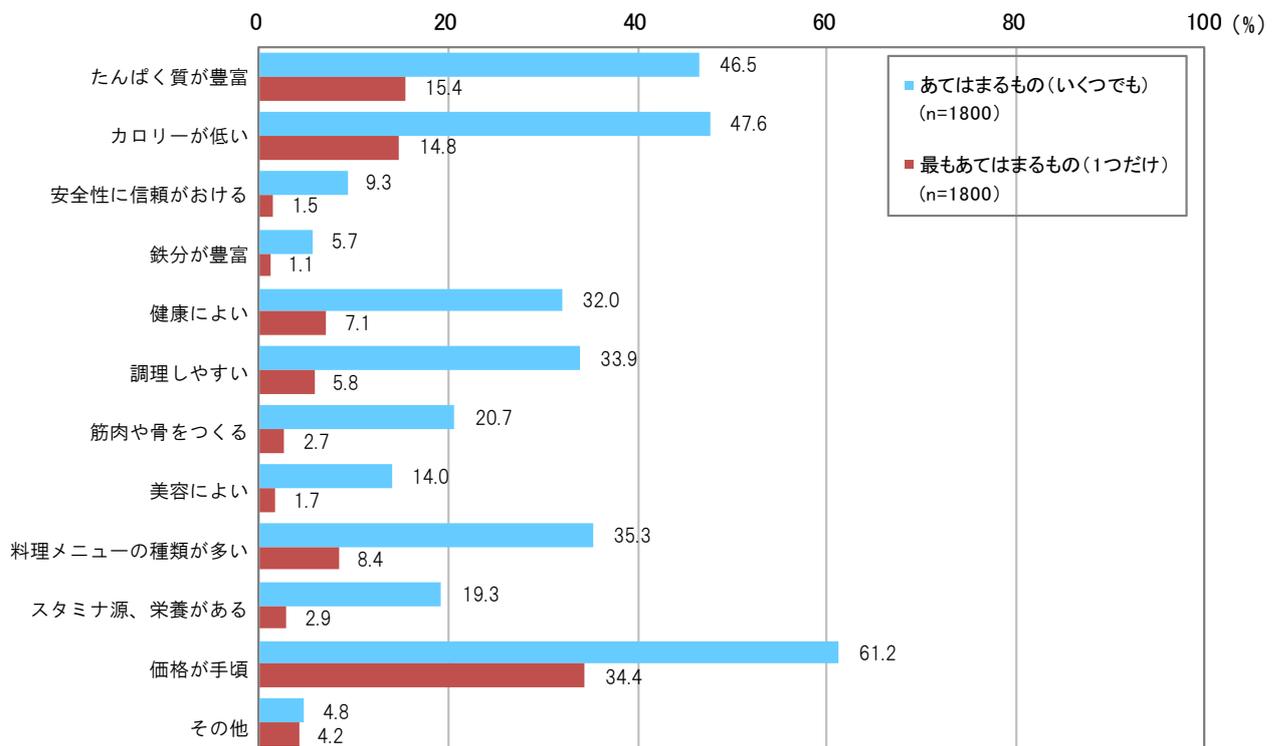
どの食肉も「たんぱく質が豊富」というイメージがTop3に入っており、たんぱく源としてのイメージが強い。また、牛肉は栄養の「豊富さ」、豚肉と鶏肉は価格の手頃さや、調理のしやすさや料理メニューの種類が多いイメージも強い。



図表 83 牛肉に対するイメージ



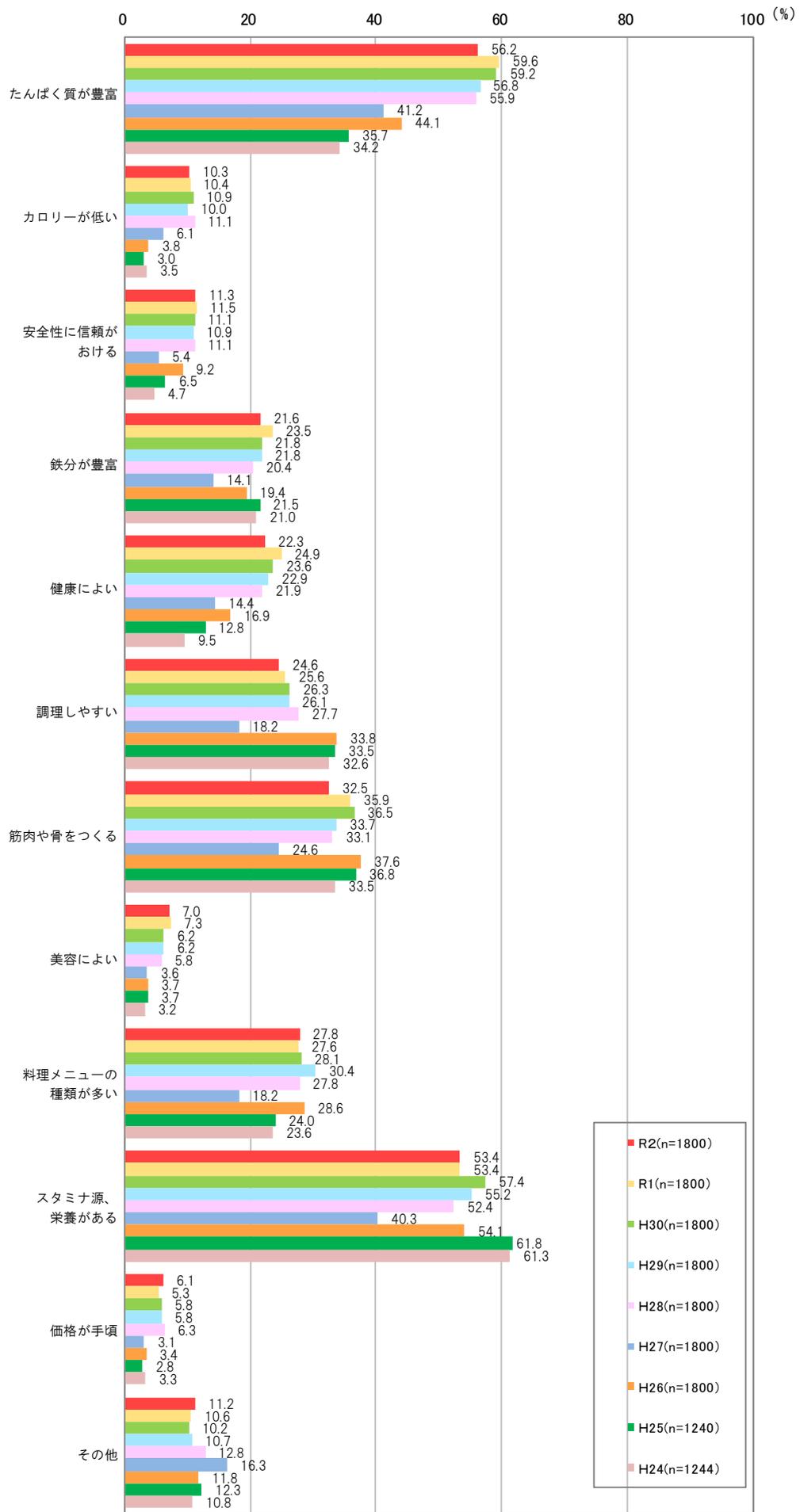
図表 84 豚肉に対するイメージ



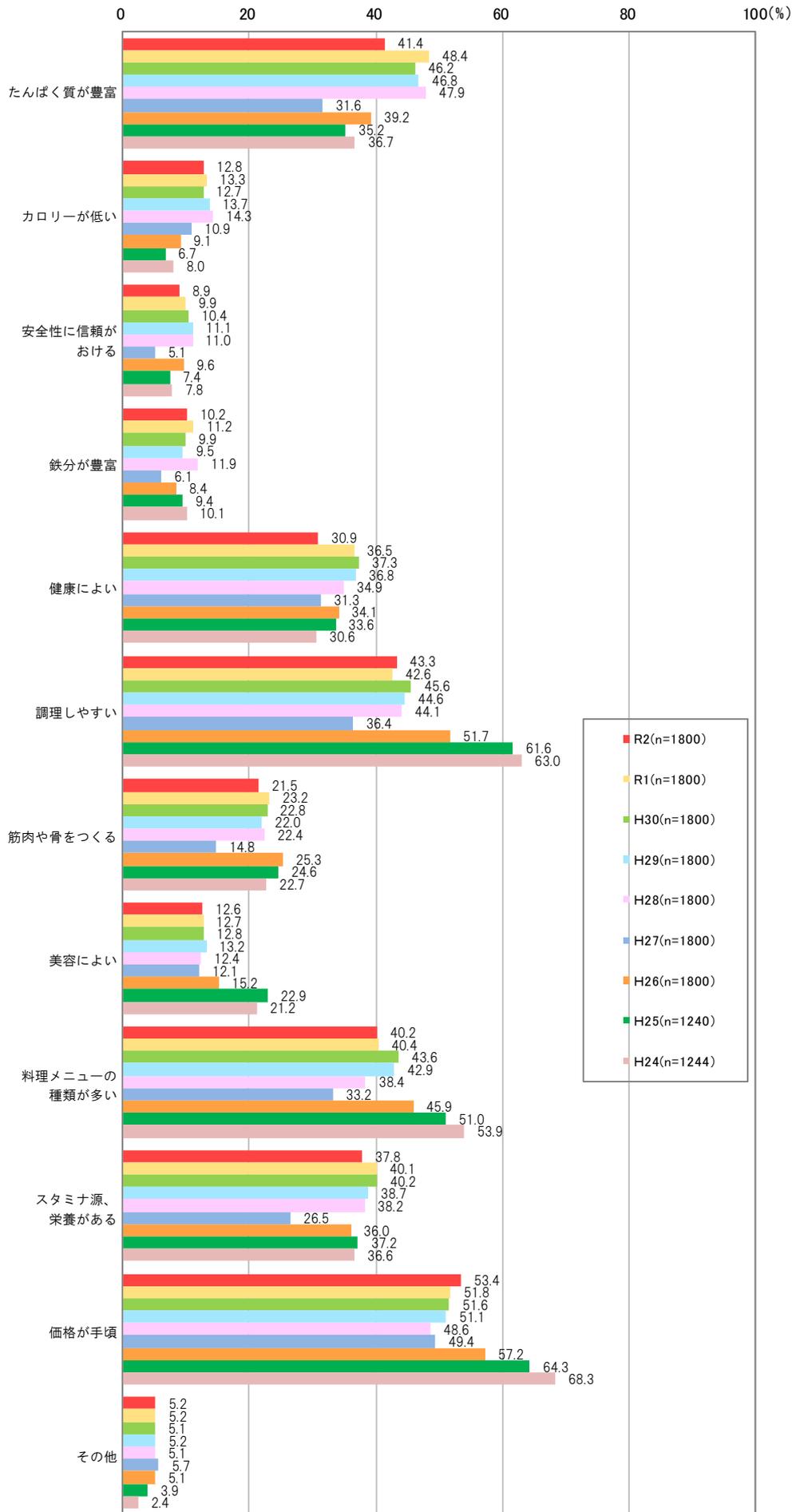
図表 85 鶏肉に対するイメージ

【過年度調査との比較】

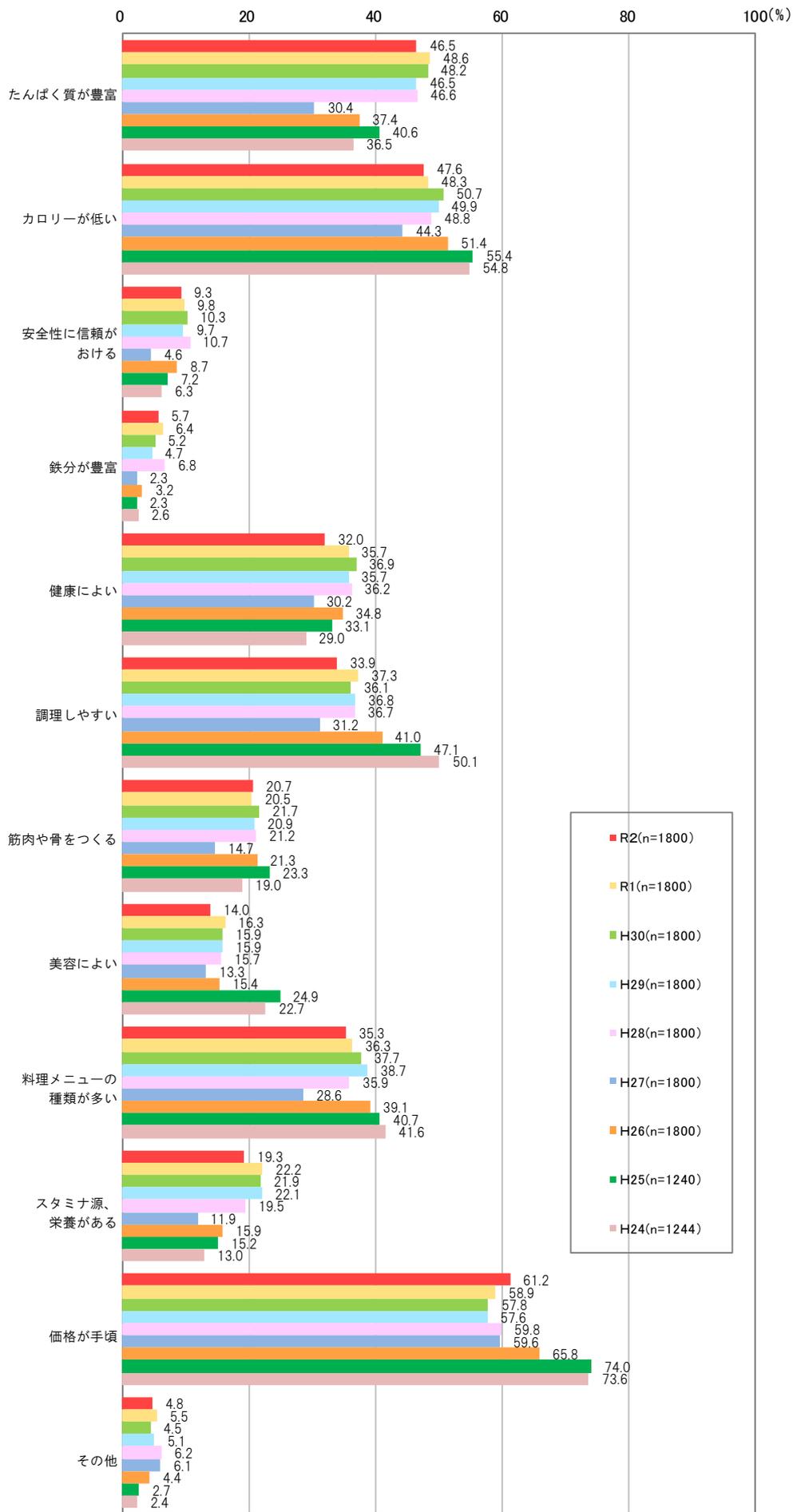
過年度調査と比較すると、牛肉は昨年度と大きな違いは見られない。豚肉、鶏肉は「価格が手頃」が増加傾向である。



図表 86 牛肉に対するイメージ（経年変化）



図表 87 豚肉に対するイメージ（経年変化）



図表 88 鶏肉に対するイメージ（経年変化）

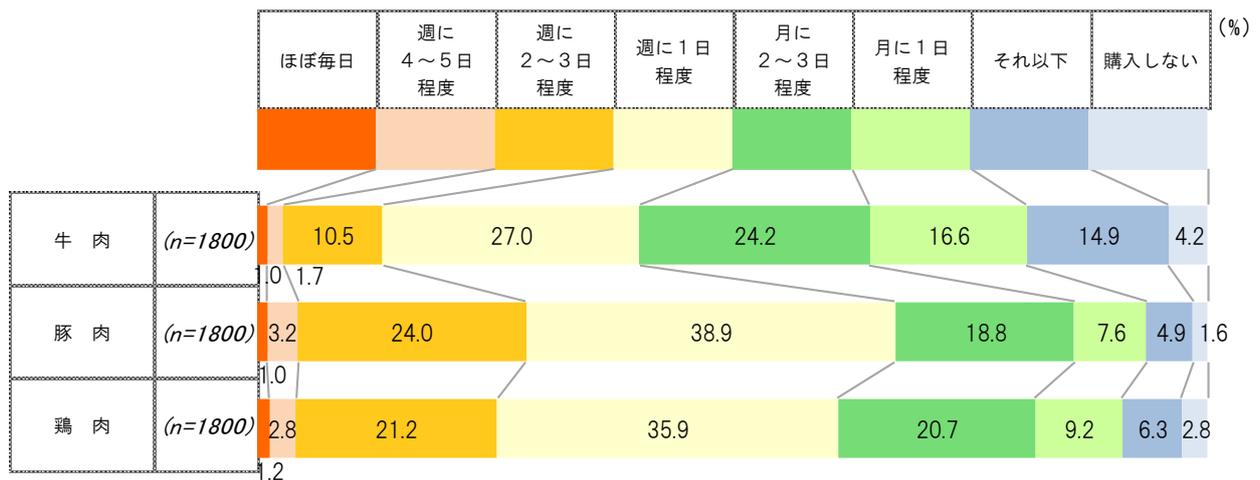
3) 食肉の種類別購入頻度 (Q6)

- 牛肉は「週に1日程度」と「月に2～3日程度」がボリュームゾーン。
- 豚肉、鶏肉は「週に1日程度」「週に2～3日程度」がボリュームゾーン。
- 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向。

【今年度調査】

牛肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」が27.0%、「月に2～3日程度」が24.2%で、合わせて51.2%を占める。他の食肉と比較して低頻度購入のボリュームが大きく、「月に1日程度」が16.6%、「それ以下」が14.9%と他の食肉に比べて高い。

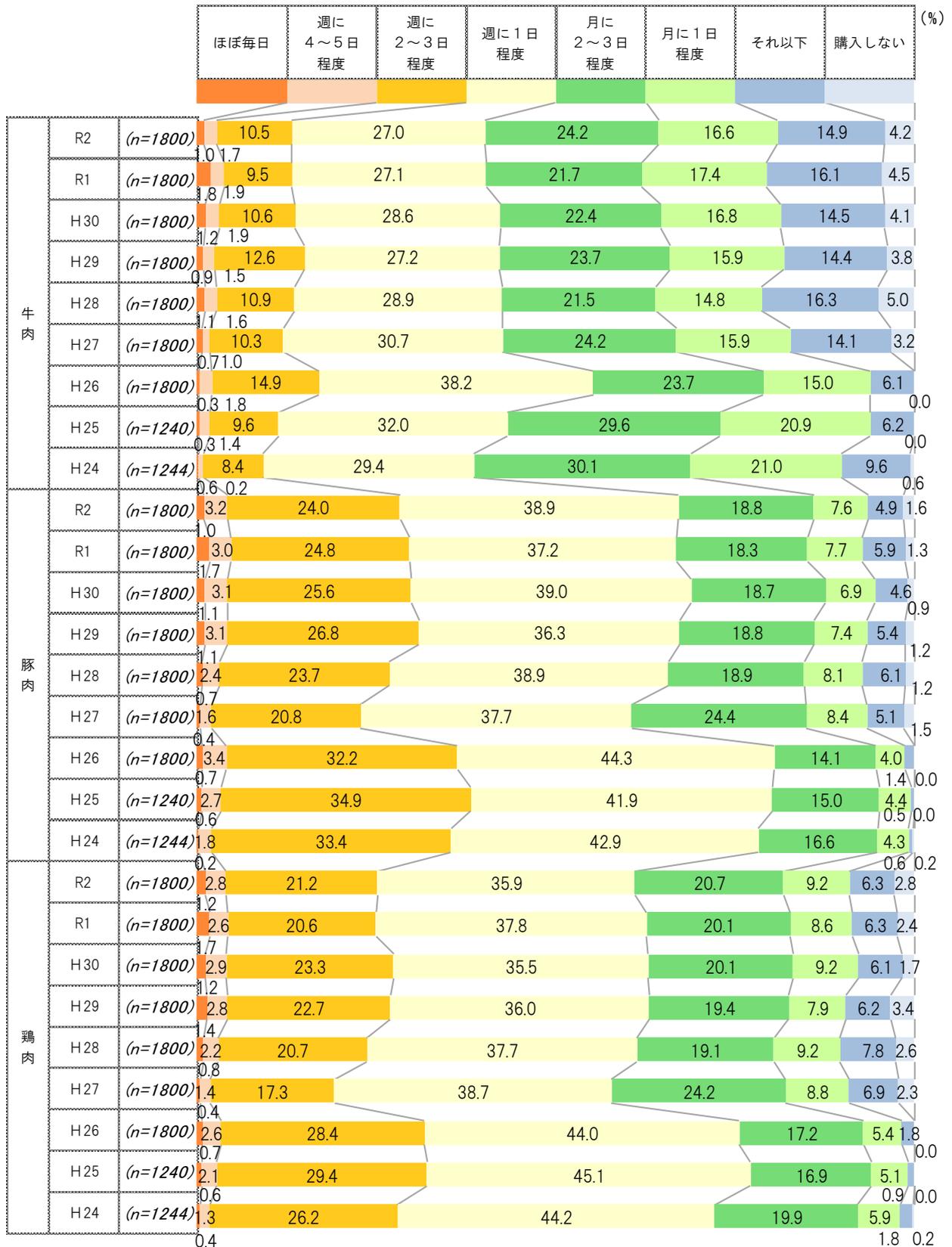
豚肉及び鶏肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」と「週に2～3日程度」であり、豚肉は38.9%と24.0%、鶏肉は35.9%と21.2%となっており、いずれの食肉も合計で約6割を占める。



図表 89 食肉の種類別購入頻度

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向である。



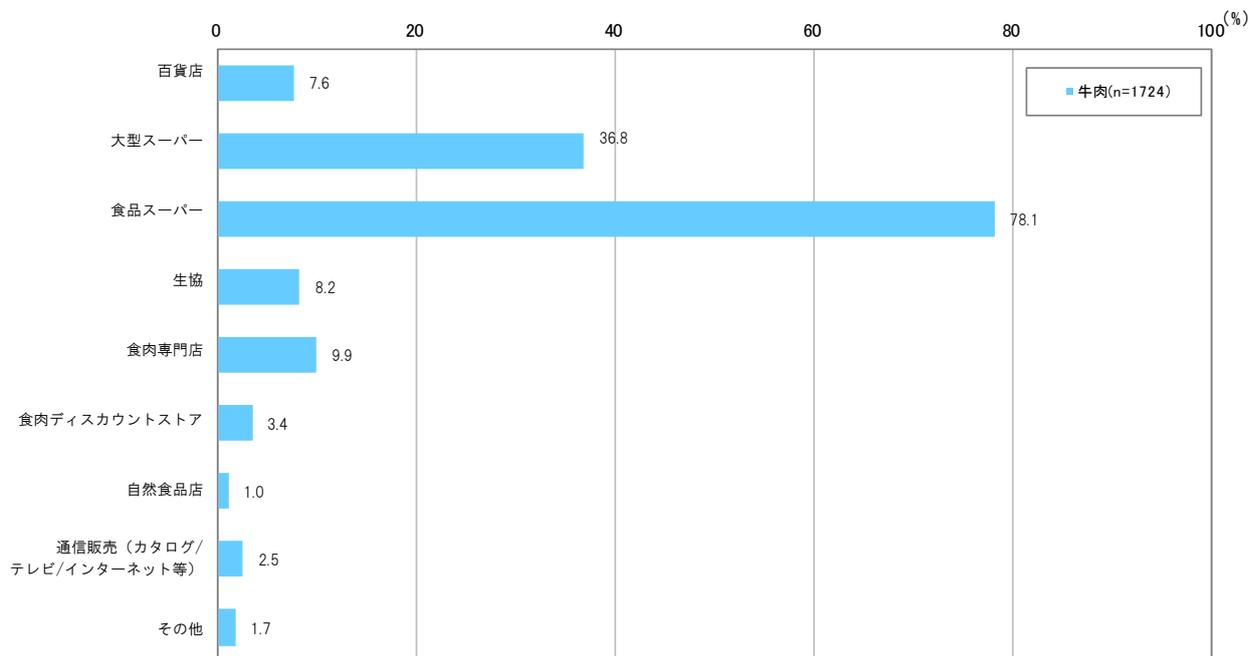
図表 90 食肉の種類別購入頻度（経年変化）

4) 食肉の種類別の主な購入先 (Q7)

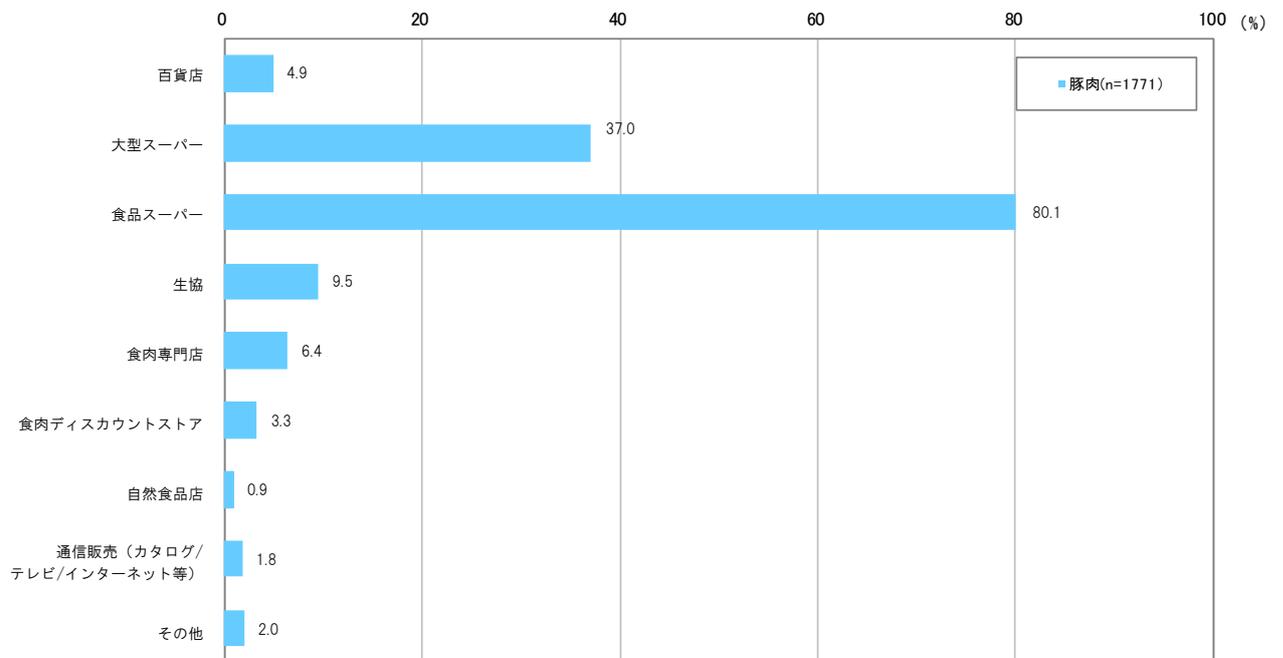
- どの食肉でも 8 割弱が「食品スーパー」で購入、次いで「大型スーパー」。
- 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向だが、「食品スーパー」が増加し、「大型スーパー」が減少傾向。

【今年度調査】

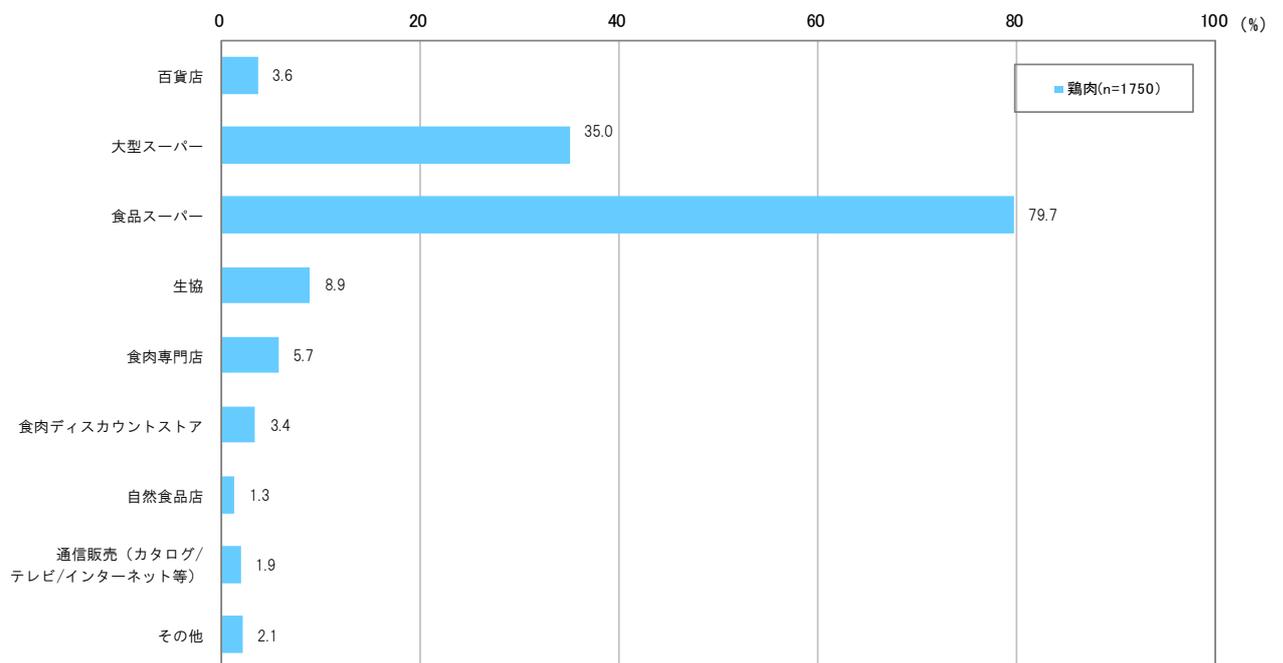
食肉の主な購入先を尋ねたところ（複数回答）、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも同様の傾向があり、「食品スーパー」が 8 割弱と圧倒的に多く（牛肉 78.1%、豚肉 80.1%、鶏肉 79.7%）、次いで「大型スーパー」が約 4 割（牛肉 36.8%、豚肉 37.0%、鶏肉 35.0%）となっている。



図表 91 牛肉の主な購入先



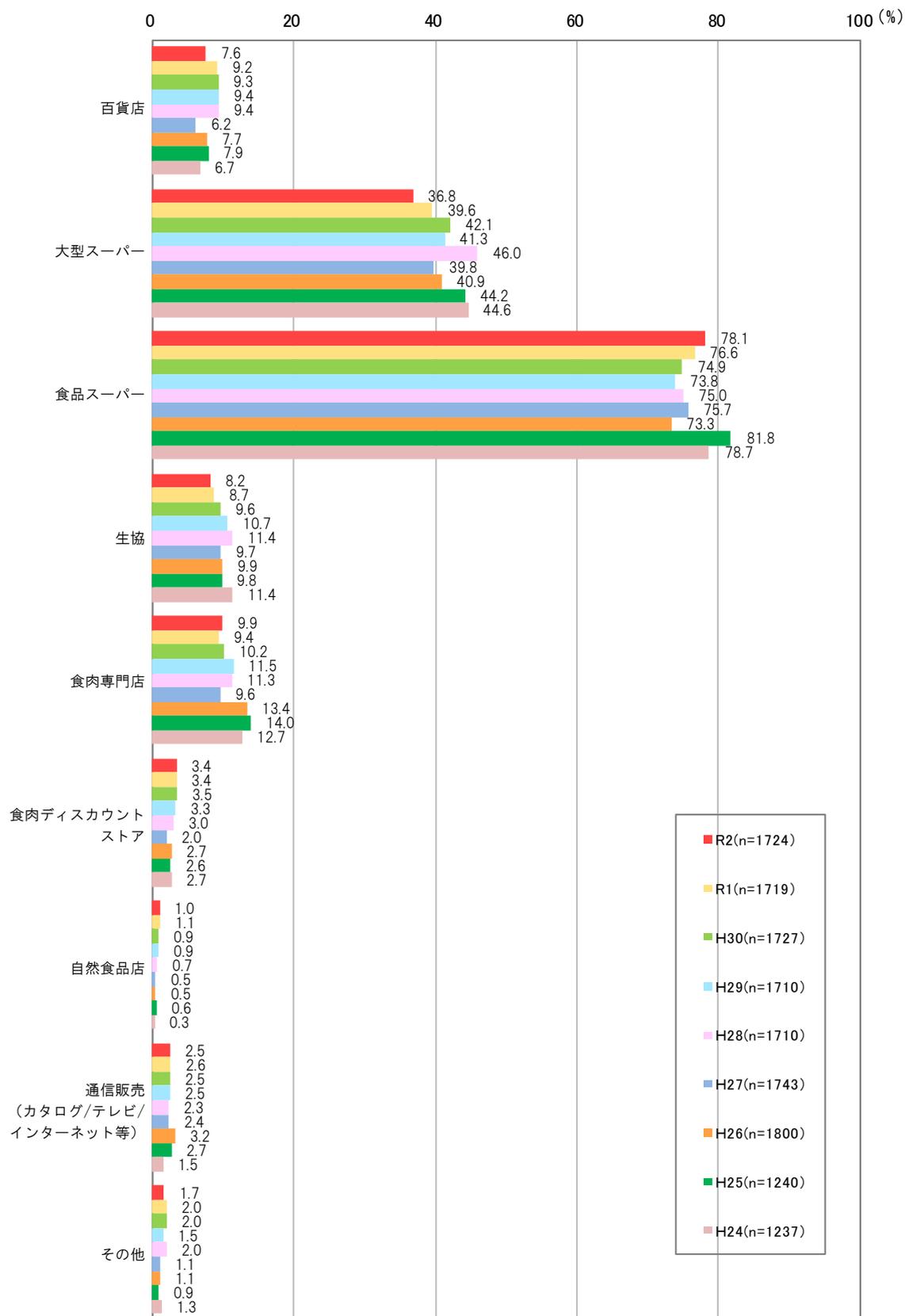
図表 92 豚肉の主な購入先



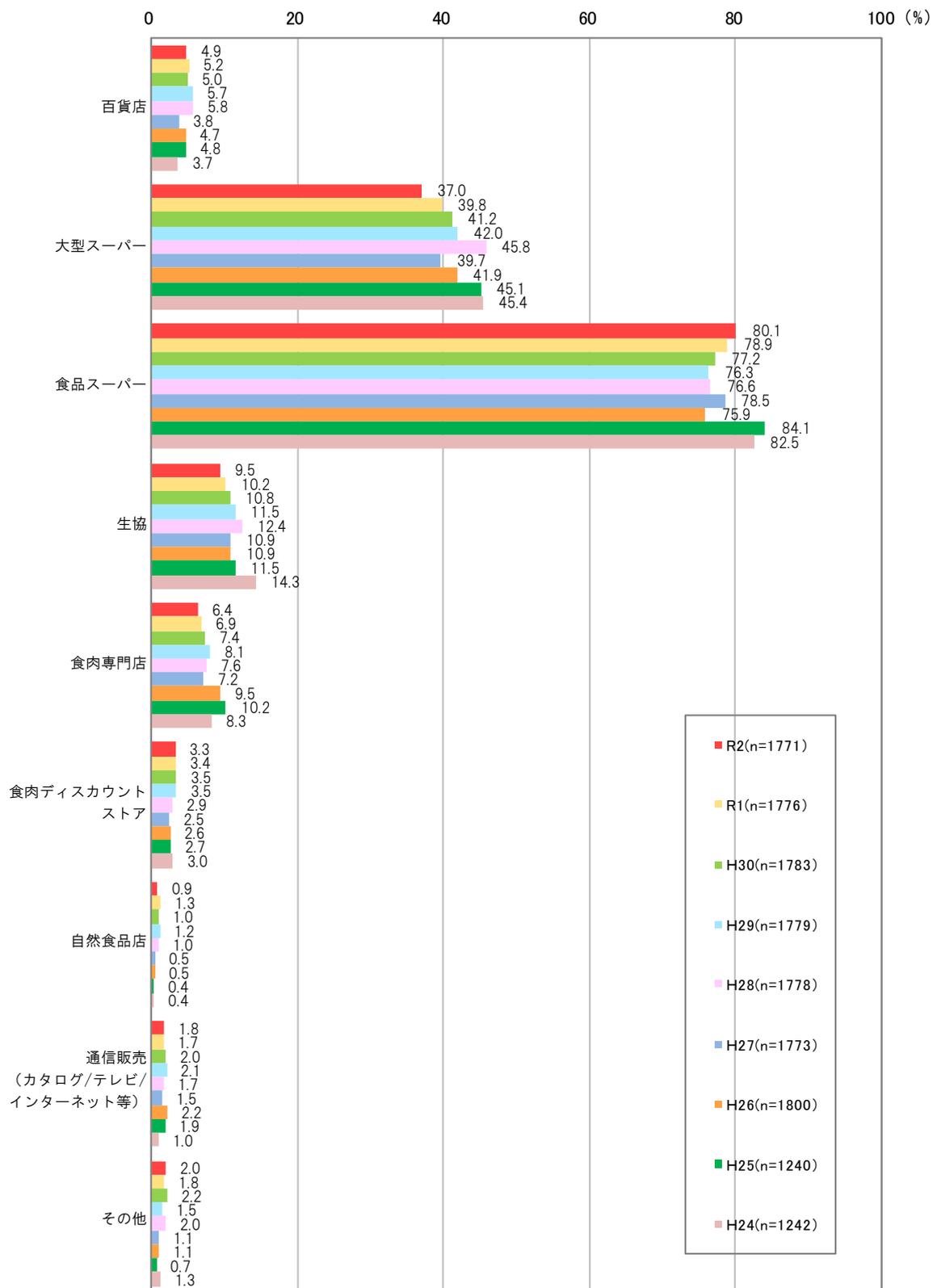
図表 93 鶏肉の主な購入先

【過年度調査との比較】

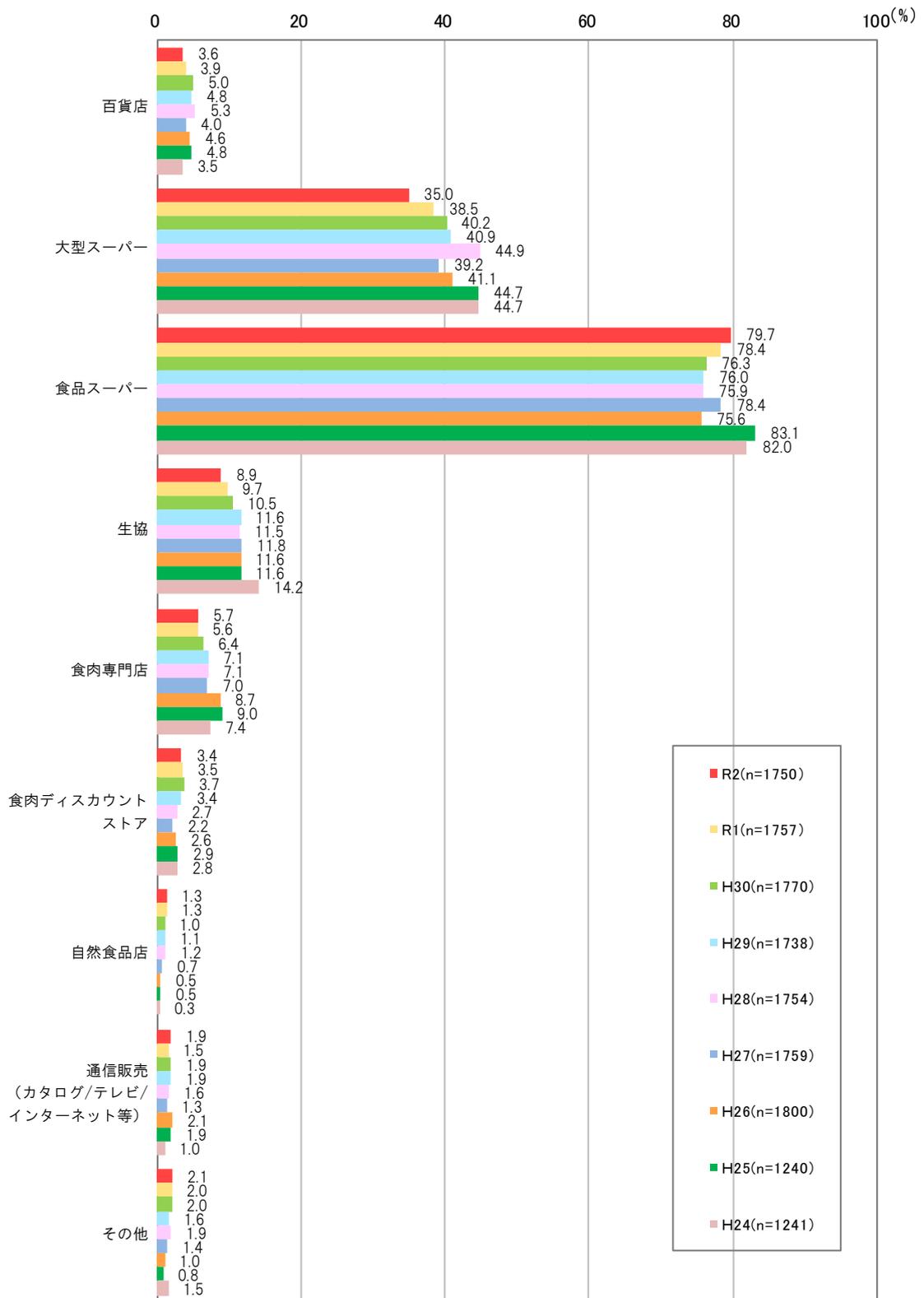
過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向だが、「食品スーパー」が増加し、「大型スーパー」が減少している。



図表 94 牛肉の主な購入先（経年変化）



図表 95 豚肉の主な購入先（経年変化）



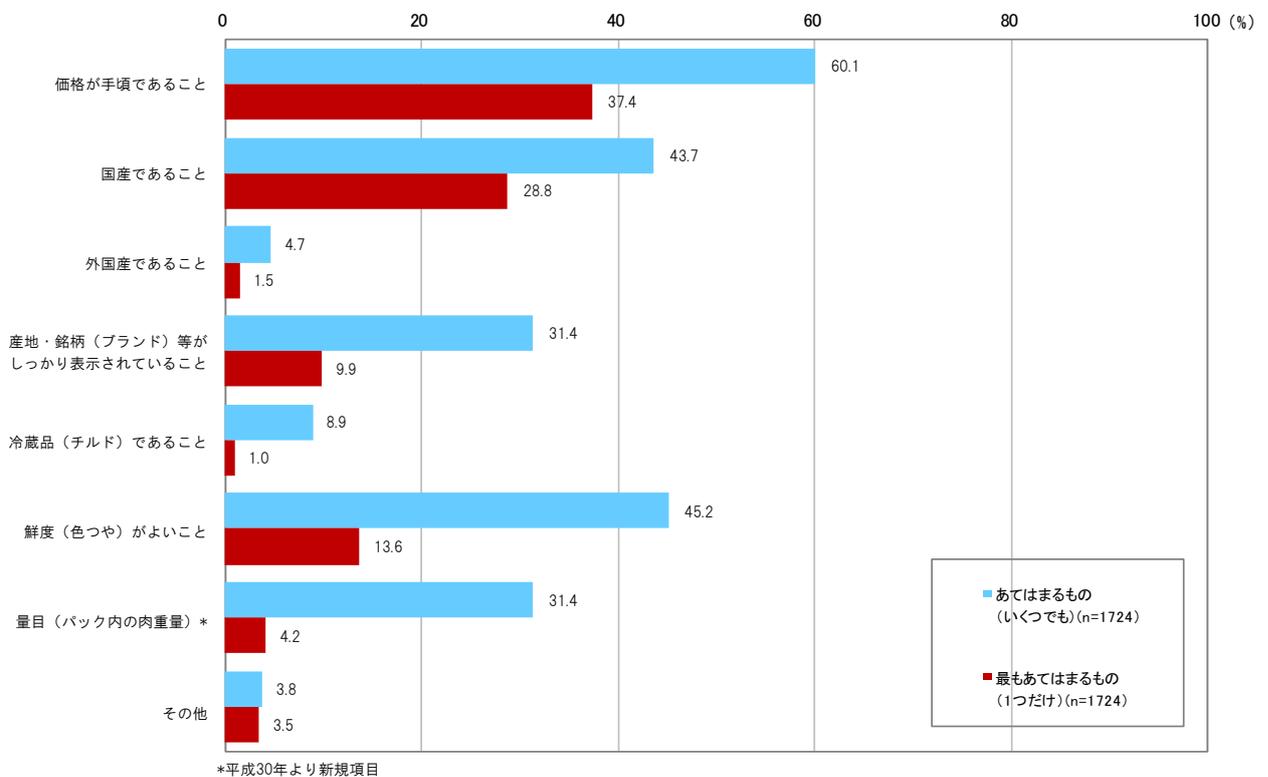
図表 96 鶏肉の主な購入先（経年変化）

5) 食肉購入時に重視する点 (Q8)

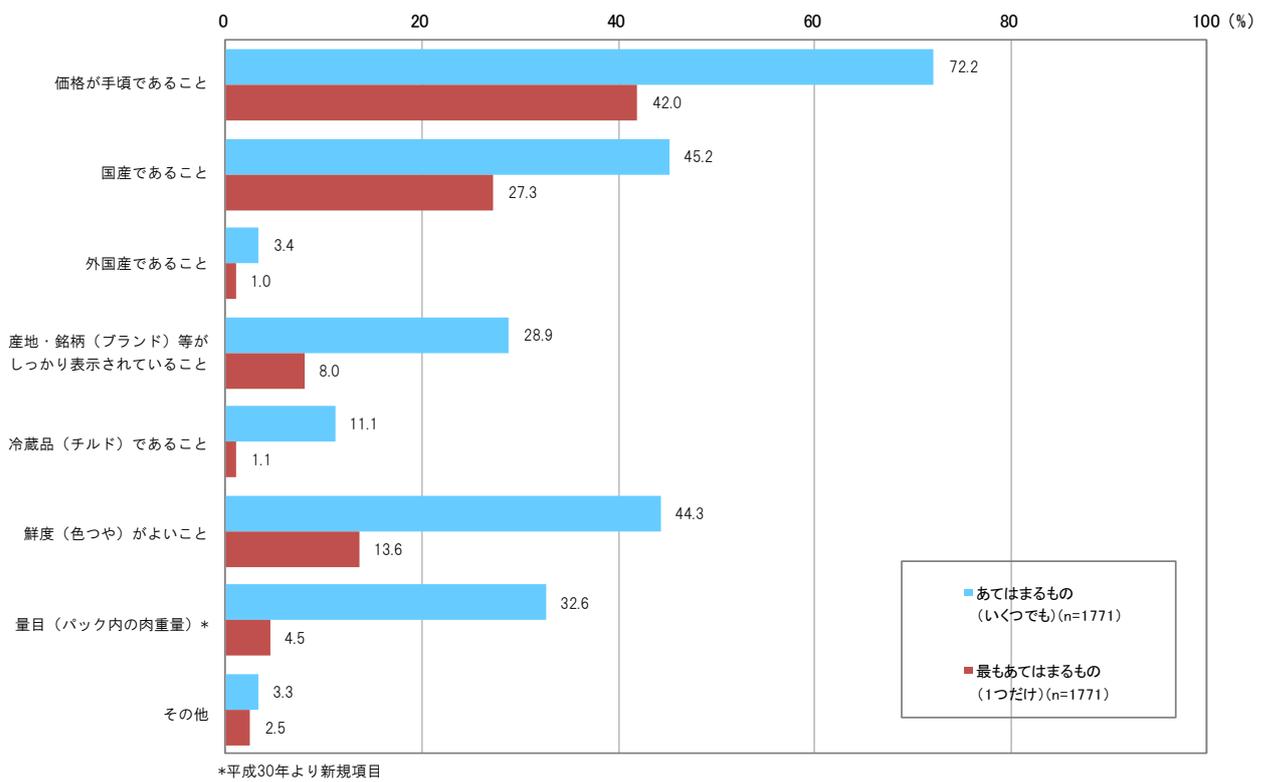
- どの食肉でも TOP3 は「価格の手頃さ」「国産であること」「鮮度（色つや）がよいこと」。
- 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、「国産であること」が減少傾向。

【今年度調査】

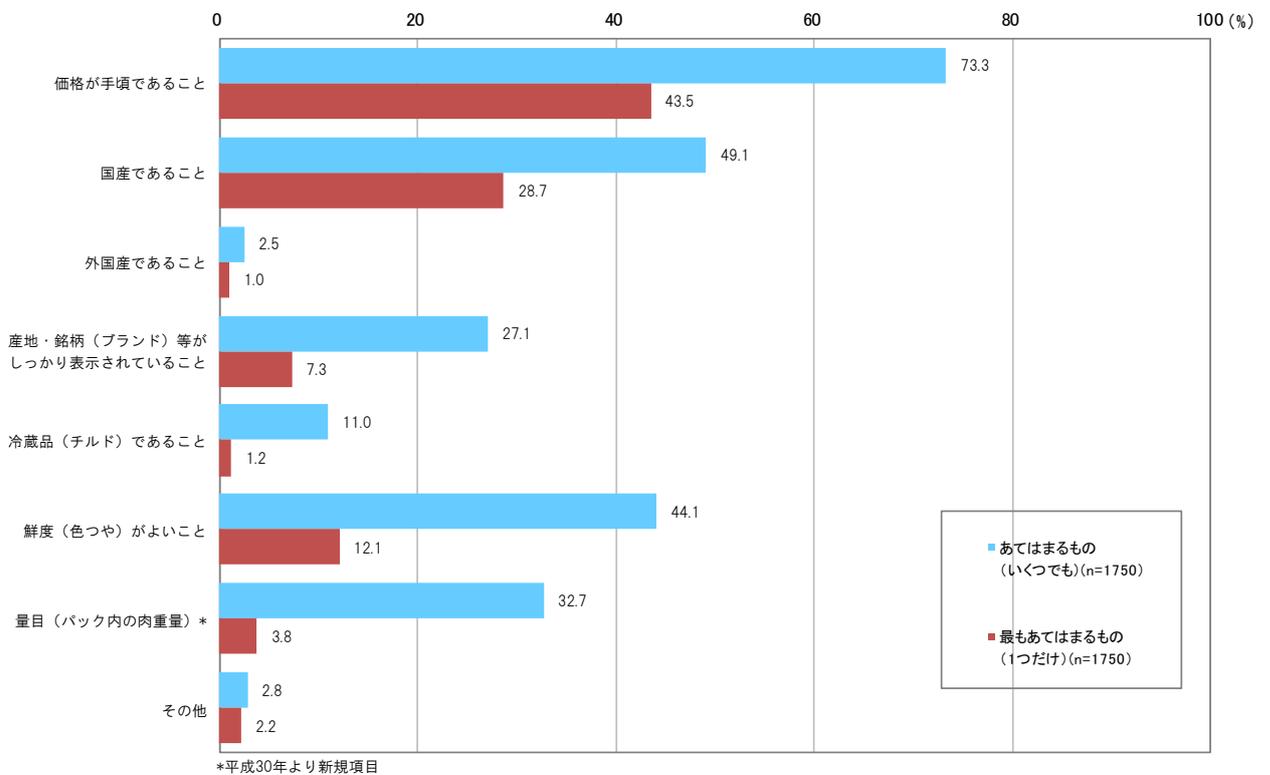
食肉購入時に重視する点（複数回答）の TOP3 は、どの食肉でも同じ順位で、「価格が手頃であること」（牛肉 60.1%、豚肉 72.2%、鶏肉 73.3%）、「国産であること」（牛肉 43.7%、豚肉 45.2%、鶏肉 49.1%）、「鮮度（色つや）がよいこと」（牛肉 45.2%、豚肉 44.3%、鶏肉 44.1%）。



図表 97 牛肉購入時に重視する項目



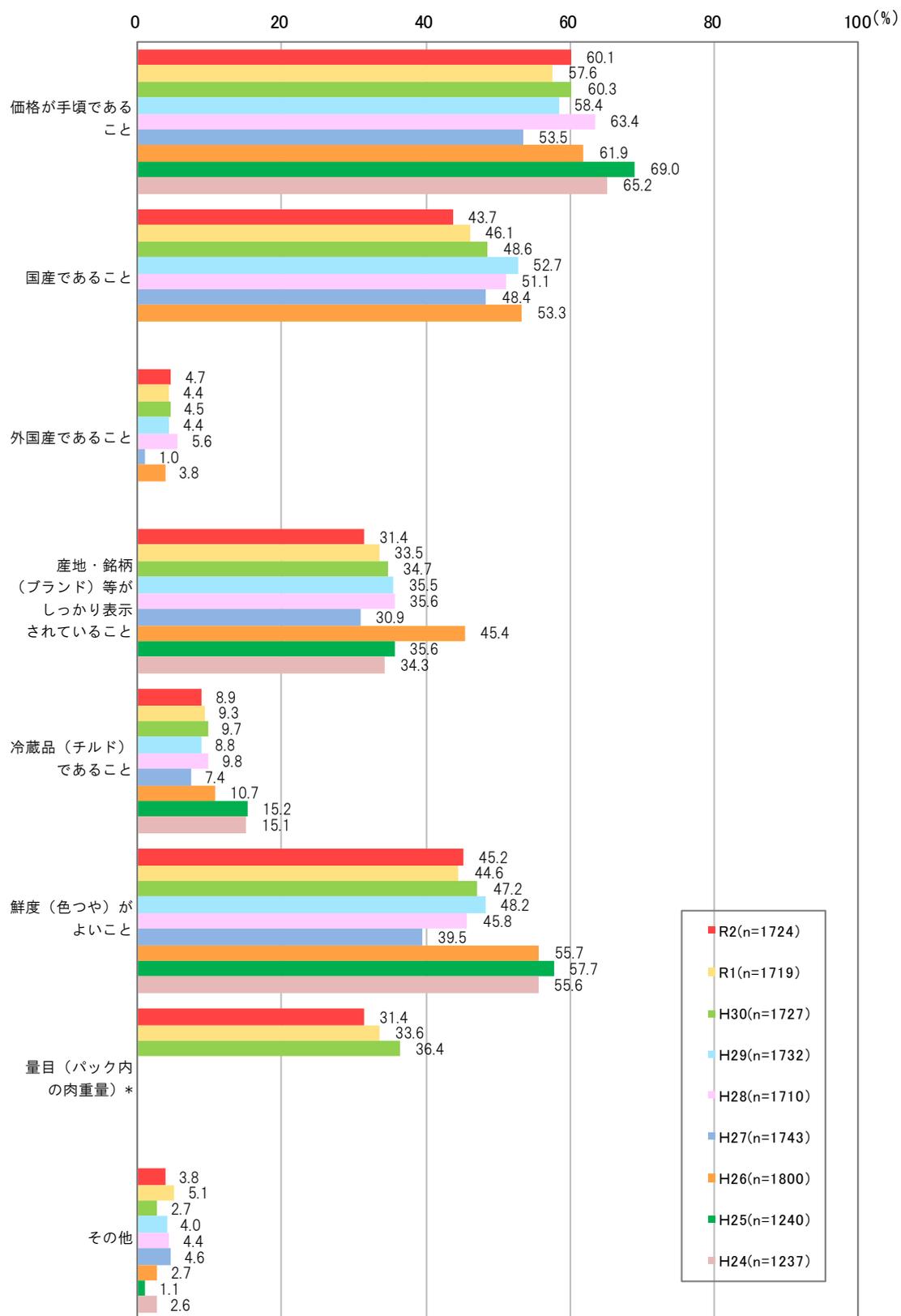
図表 98 豚肉購入時に重視する項目



図表 99 鶏肉購入時に重視する項目

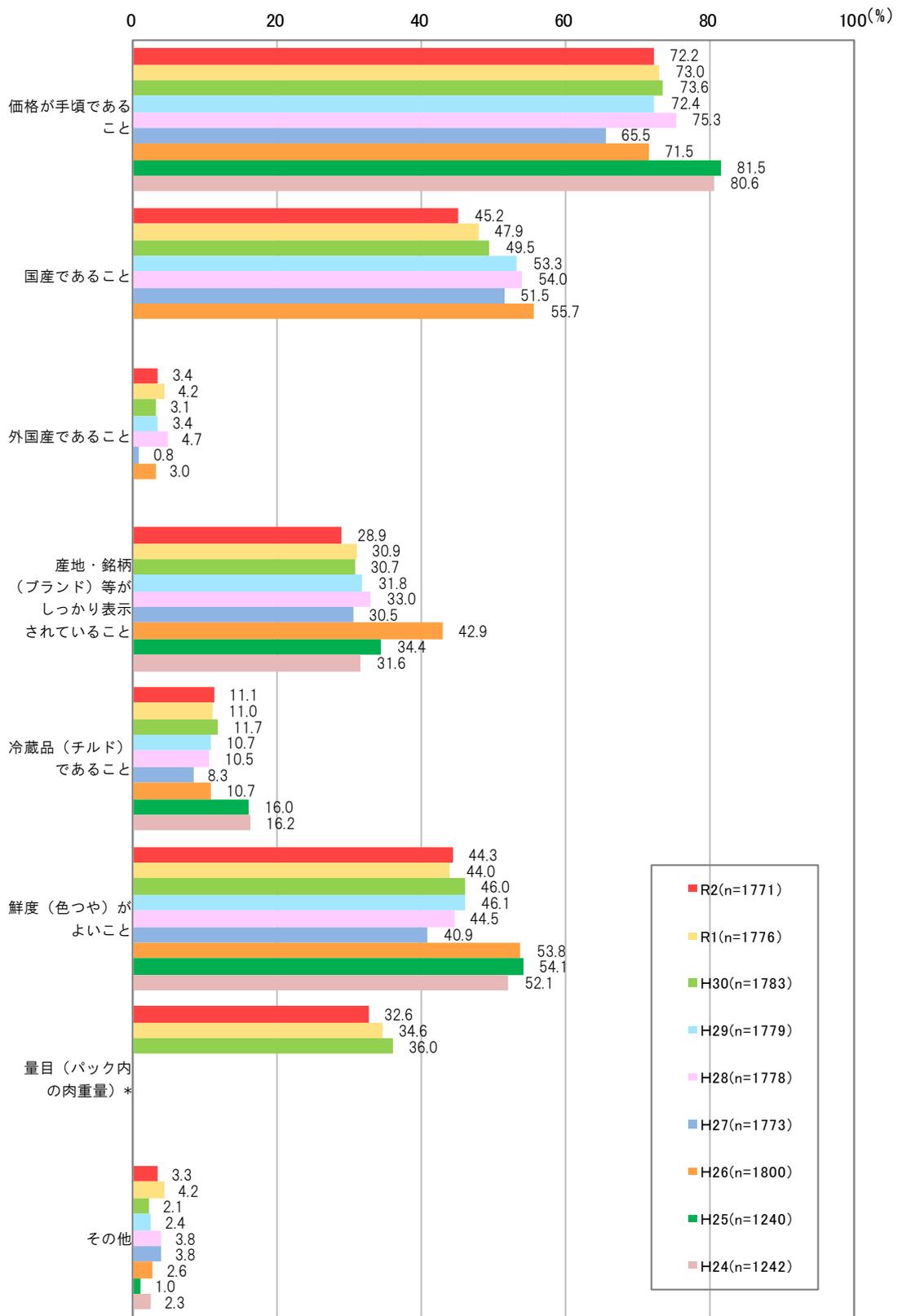
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、「国産であること」が減少している。



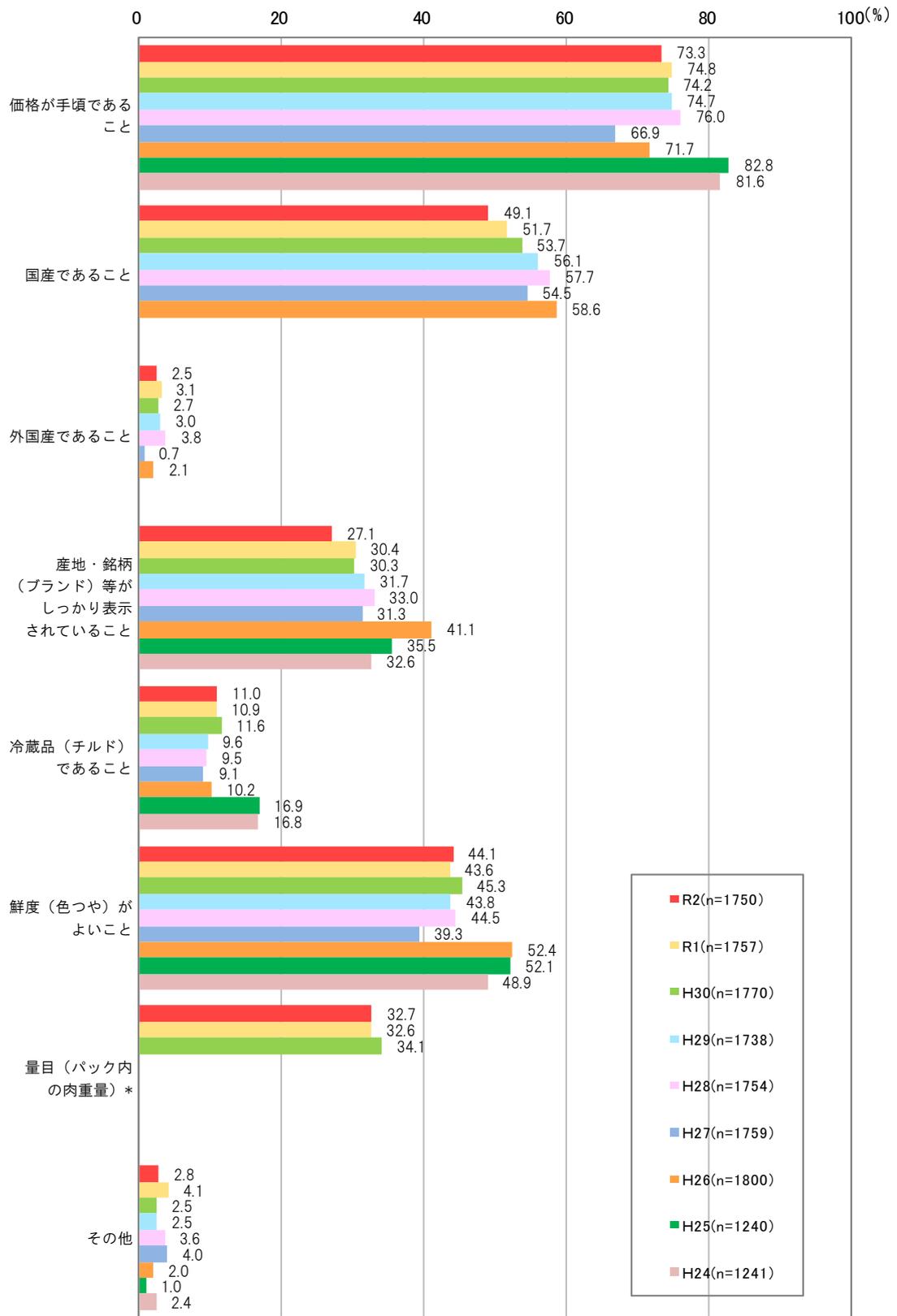
*平成30年より新規項目

図表 100 牛肉購入時に重視する項目(経年変化)



*平成30年より新規項目

図表 101 豚肉購入時に重視する項目(経年変化)



*平成30年より新規項目

図表 102 鶏肉購入時に重視する項目(経年変化)

6) 昨年同期と比べた最近 1 か月の食肉購入回数の変化 (Q11)

- 食肉全体で「増えた計」は 14.3%。一方「減った計」は 10.4%。
- 過年度調査では、昨年度と比べて、食肉全体、食肉の種類別にみても大きな変化は見られない。

【今年度調査】

昨年同期と比べた最近 1 か月間の食肉購入回数の変化を尋ねたところ、食肉全体では「増えた計（増えた＋やや増えた）」は 14.3%、「減った計（減った＋やや減った）」は 10.4%。「変わらない」は 68.4%。

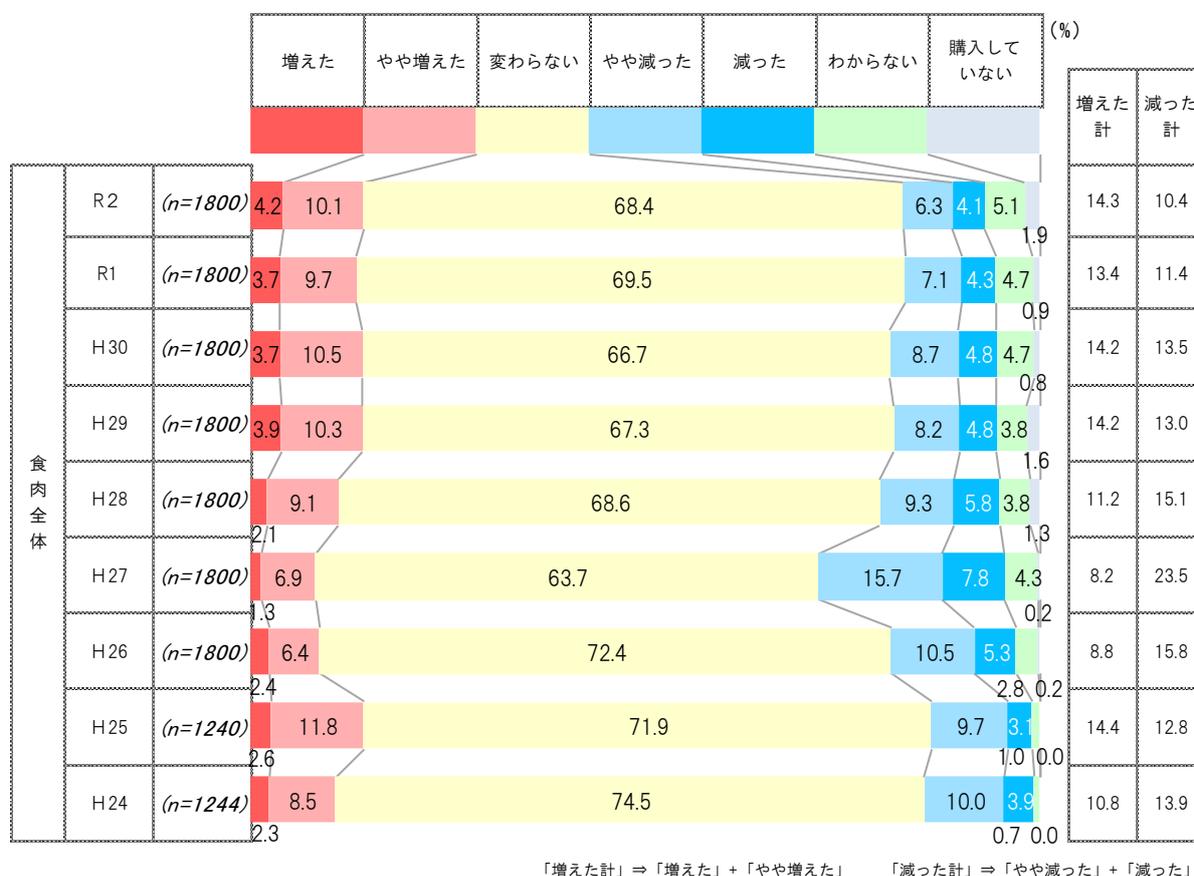
牛肉では、「増えた計」が最も多いのは国産和牛で 9.0%、「減った計」が最も多いのは、輸入牛肉で 16.5%。

豚肉では、「増えた計」が国産豚肉で 11.9%、輸入豚肉では 8.0%。「減った計」は、国産豚肉で 9.8%、輸入豚肉で 13.6%。

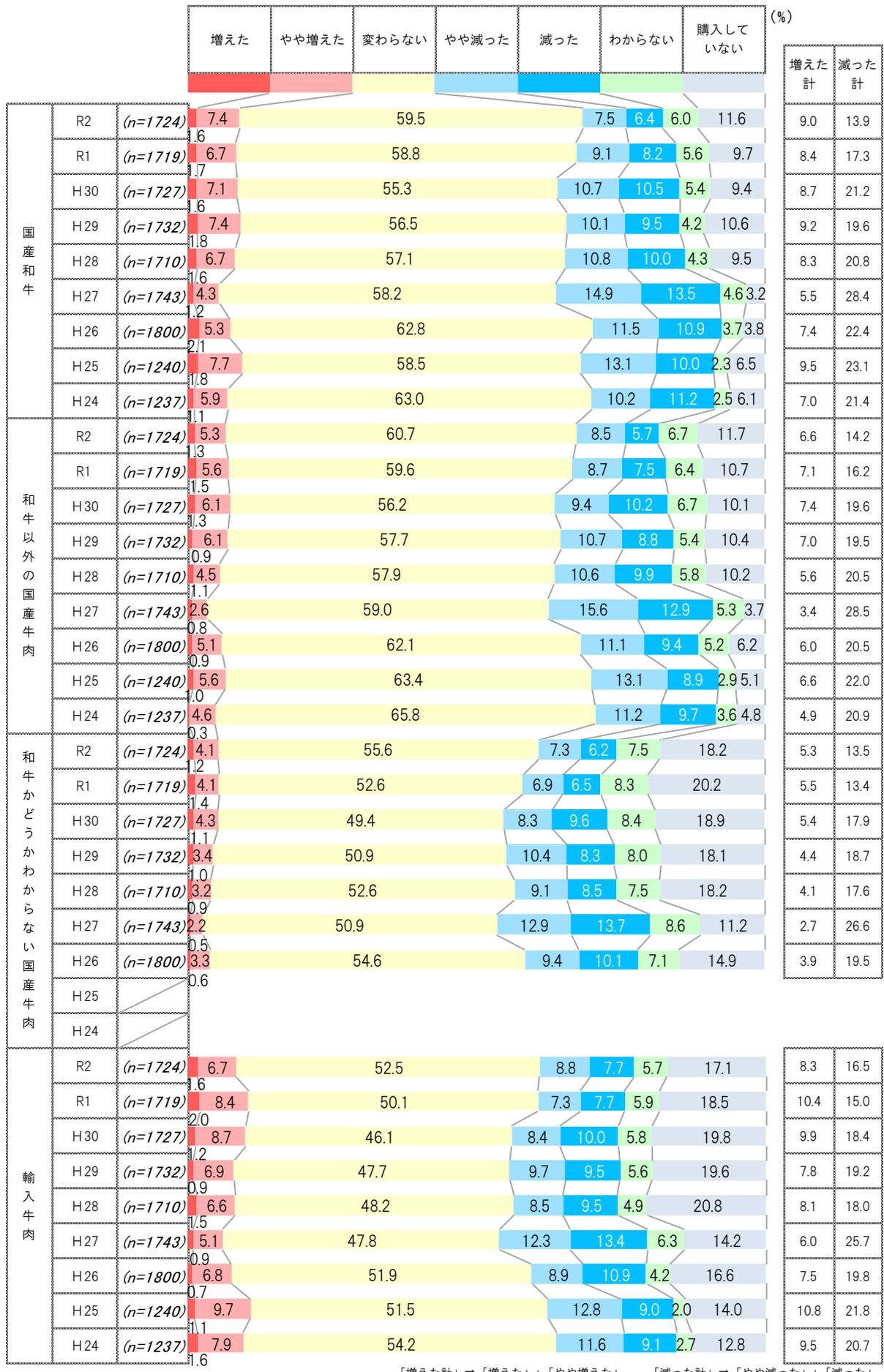
鶏肉では、「増えた計」が国産鶏肉で 13.2%、輸入鶏肉では 7.6%。「減った計」は、国産鶏肉で 9.8%、輸入鶏肉で 12.7%。

【過年度調査との比較】

過年度調査では、昨年度と比べて、食肉全体、食肉の種類別にみても、食肉購入回数に大きな変化は見られない。

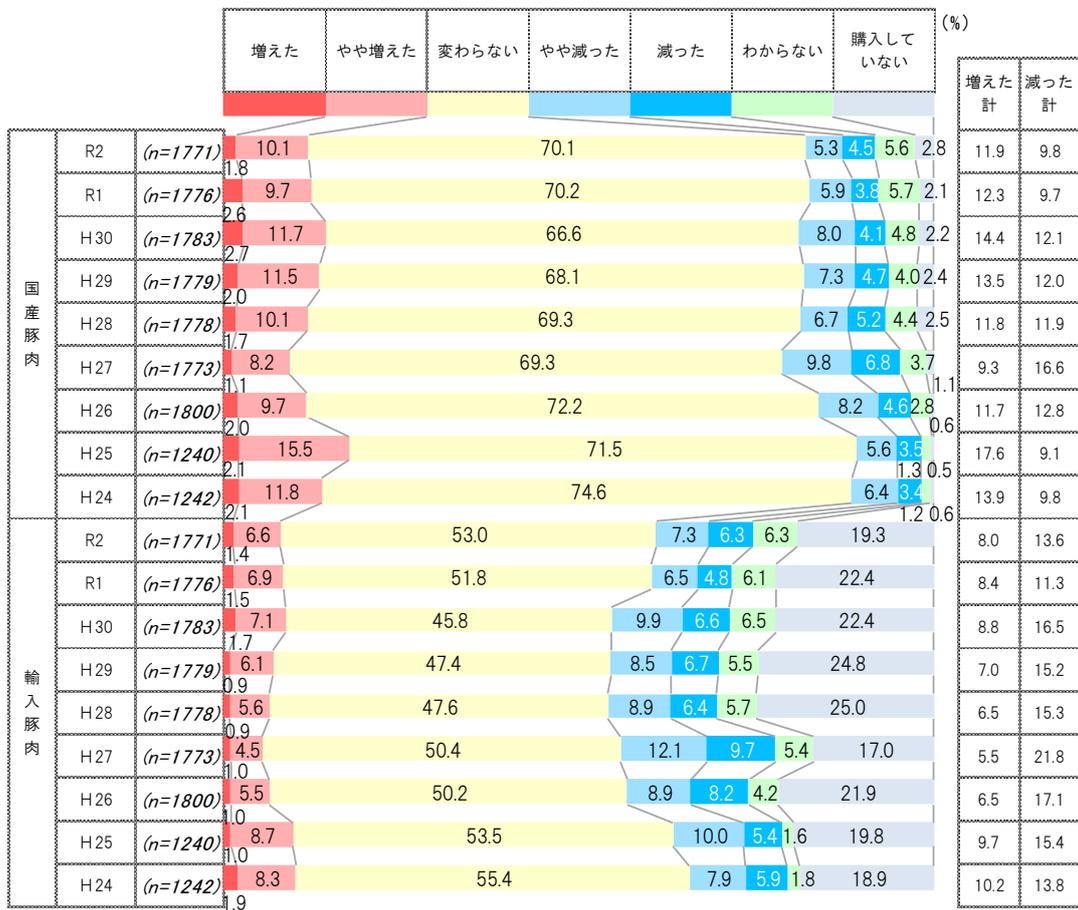


図表 103 昨年同期と比べた最近 1 か月の食肉購入回数の変化 (食肉全体)

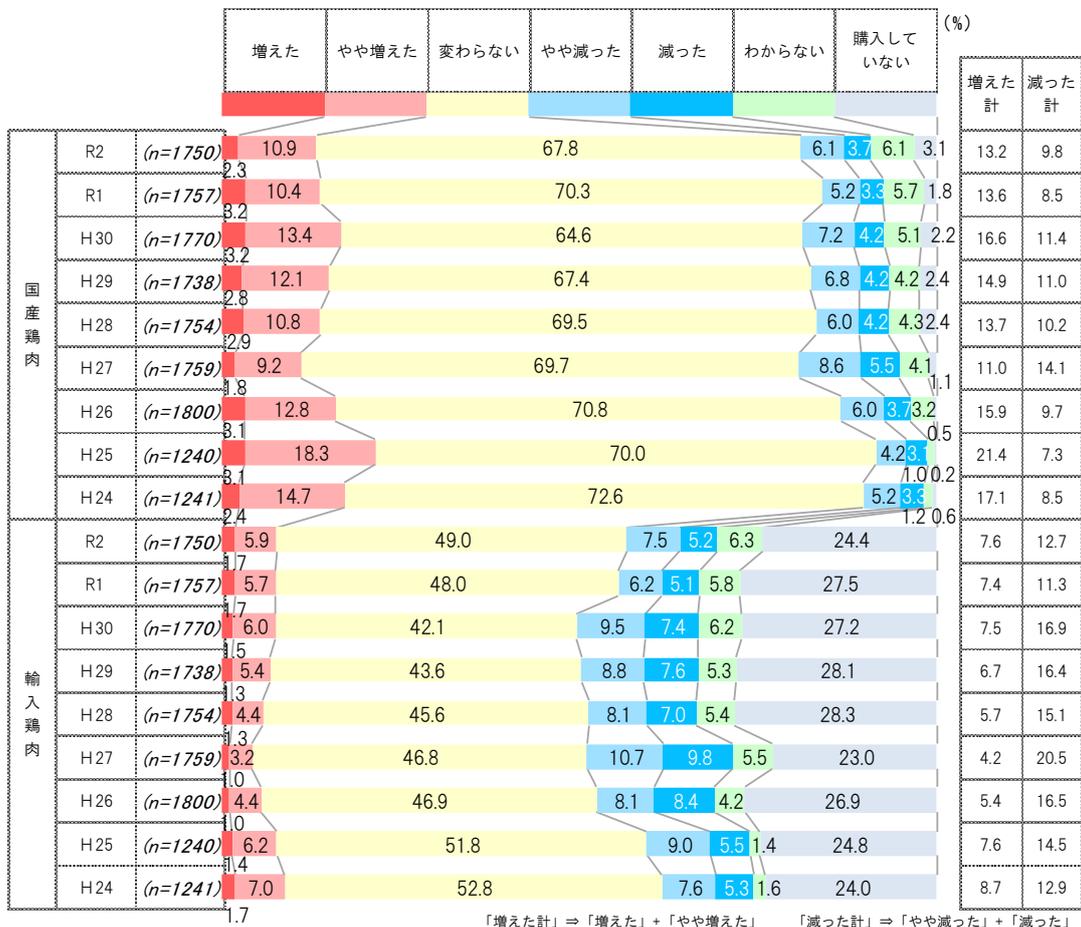


「増えた計」⇒「増えた」+「やや増えた」 「減った計」⇒「やや減った」+「減った」

図表 104 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（牛肉全体）



図表 105 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（豚肉全体）



図表 106 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（鶏肉全体）

7) 食品の購入回数の変化 (Q12)

- ▶ 最近1カ月間の購入回数が「増えた食品」は、「パン」23.5%、「野菜」21.8%、「米」21.5%、「卵」20.1%、「冷凍食品」18.4%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」18.2%。逆に「減った食品」は、「ファストフード」23.3%、「弁当・惣菜類」16.4%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」15.8%、「菓子類」14.2%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、「米」「冷凍食品」が増えて、「減った食品」は総じて割合が低くなった。

【今年度調査】

昨年同期と比べて最近1カ月間の購入回数が「増えた食品」は、「パン」23.5%、「野菜」21.8%、「米」21.5%、「卵」20.1%の順に多く、次いで「冷凍食品」18.4%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」18.2%が続く。増えたものは「いずれもない」が43.3%である。

逆に、最近1カ月間の購入回数が「減った食品」は、「ファストフード」23.3%、「弁当・惣菜類」16.4%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」15.8%、「菓子類」14.2%の順に多い。減ったものは「いずれもない」が49.1%である。

「増えた計」と「減った計」の差分で見ると、増加率の方が多い食品は、「卵」14.9%、「野菜」13.6%、「パン」13.4%、「米」10.8%である。逆に、減少率の方が多い食品は、「ファストフード」15.5%、「弁当・惣菜類」4.8%である。

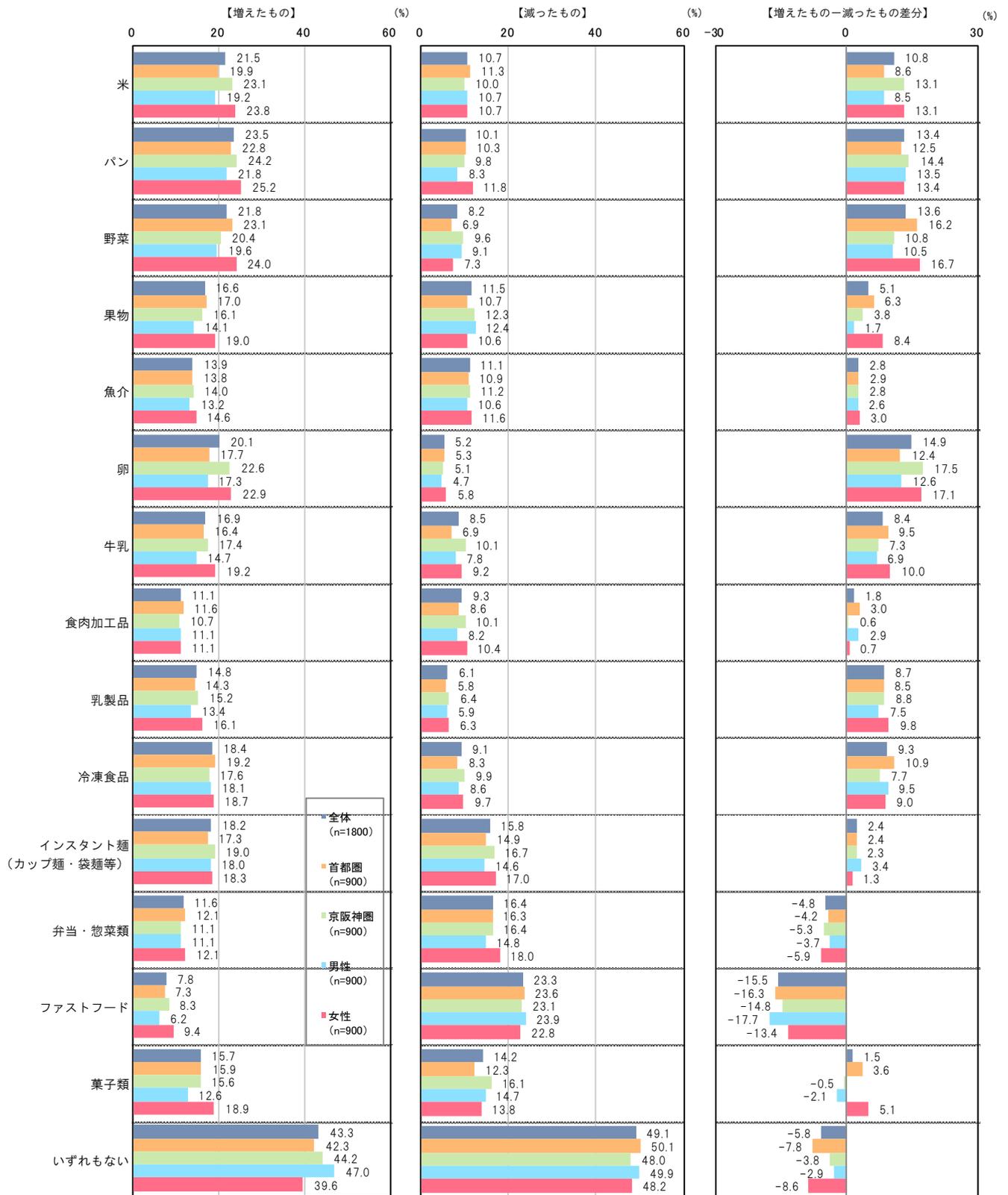
エリア別に見ると、「増えた食品」では、主食の「パン」（首都圏22.8%<京阪神圏24.2%）、「米」（首都圏19.9%<京阪神圏23.1%）は首都圏より京阪神圏の方が多い。「減った食品」では、エリア別に大きな違いは見られない。

男女別に見ると、「増えた食品」では、「パン」（男性21.8%<京阪神圏25.2%）、「米」（男性19.2%<女性23.8%）、「野菜」（男性19.6%<女性24.0%）、「卵」（男性17.3%<女性22.9%）、「牛乳」（男性14.7%<女性19.2%）、「菓子類」（男性12.6%<女性18.9%）が男性より女性の方が多くなっている。「減った食品」では、「ファストフード」は男性が23.9%、女性が22.8%と差がないが、「弁当・惣菜類」では男性が14.8%、女性が18.0%と女性の方が多い。

年代別に見ると、「増えた食品」では、「果物」以外の全ての食品で20代が最も多く、「野菜」は70代以上で最も多くなっている。一方、「減った食品」でも、「米」「食肉加工品」「ファストフード」「菓子類」以外の食品で20代が最も多く、「米」「食肉加工品」「ファストフード」「菓子類」は70代以上で最も多くなっている。

【過年度調査との比較】

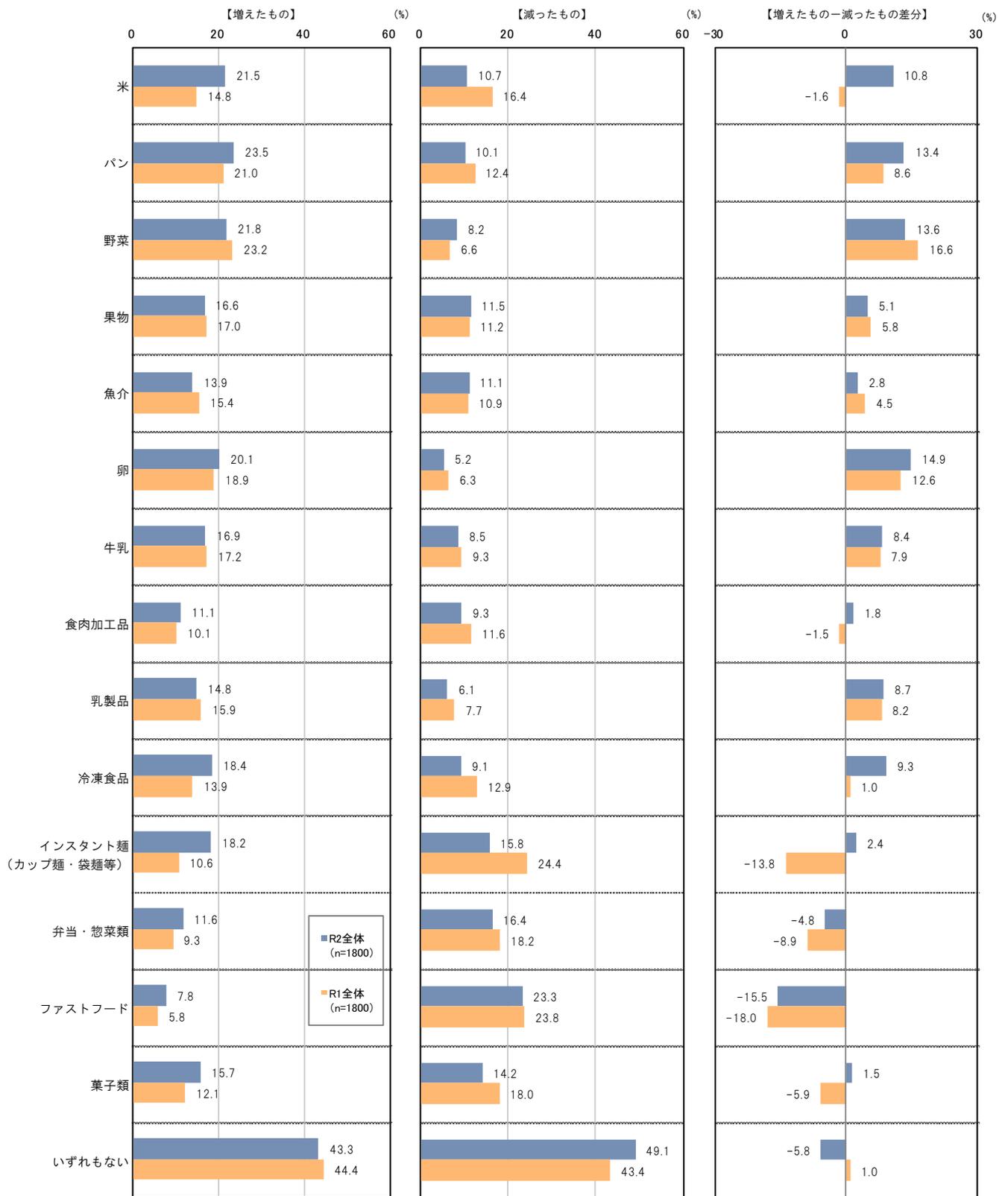
過年度調査と比較すると、「米」「冷凍食品」が増えて、「減った食品」は総じて割合が低くなった。



図表 107 昨年同期と比べた最近1か月の食品購入回数の変化
(全体・エリア・性別/複数回答)



図表 108 昨年同期と比べた最近1か月の食品購入回数の変化（年代別／複数回答）



図表 109 昨年同期と比べた最近1か月の食品購入回数の変化（経年変化）

8) 各種牛肉の購入意向 (Q13)

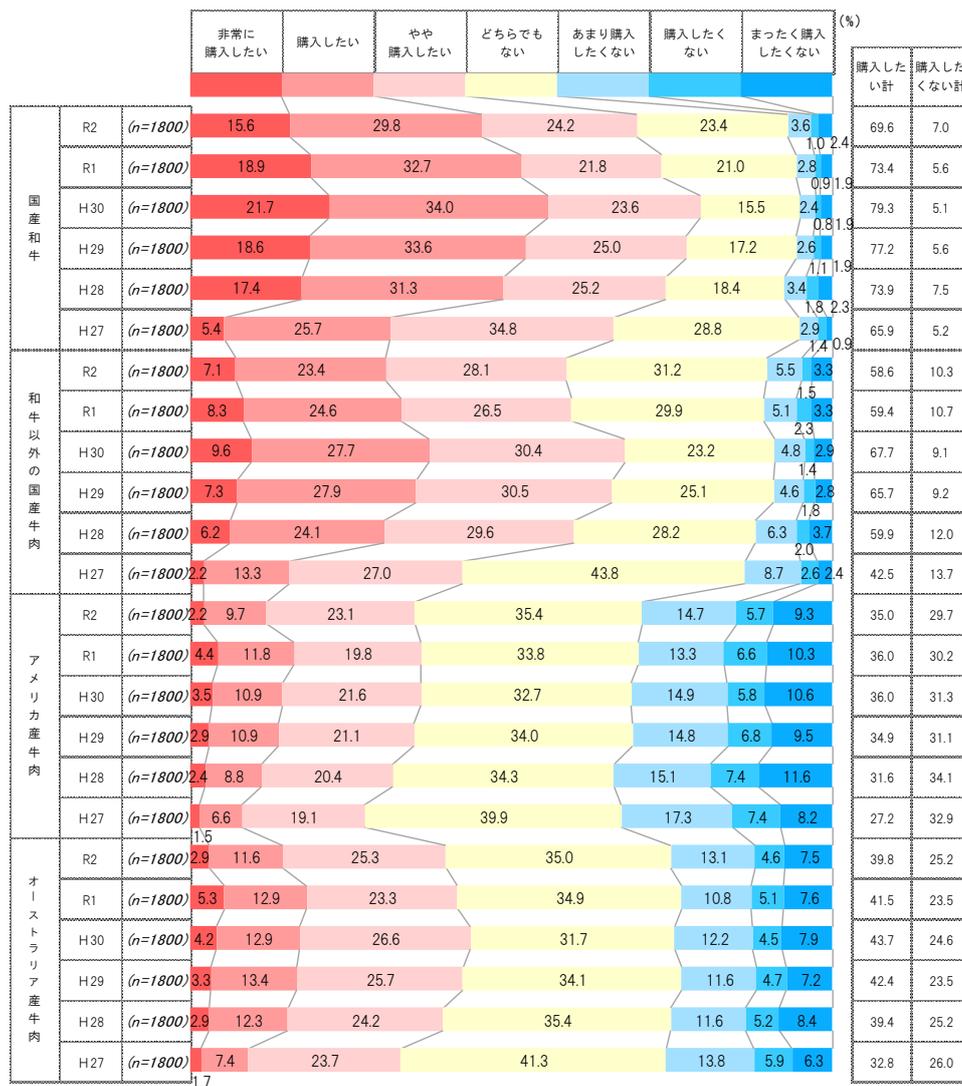
- ▶ 牛肉の購入意向は、「国産和牛」が最も高く 69.6%。次いで「和牛以外の国産牛肉」が 58.6%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、「国産和牛」「和牛以外の国産牛肉」の購入意向が減少傾向。「アメリカ産牛肉」「オーストラリア産牛肉」は変化なし。

【今年度調査】

「購入したい（非常に購入したい+購入したい+やや購入したい）」では、「国産和牛」が 69.6%、「和牛以外の国産牛肉」が 58.6%の順で高い。一方で「購入したくない（あまり購入したくない+購入したくない+まったく購入したくない）」は、「アメリカ産牛肉」が 29.7%、「オーストラリア産牛肉」が 25.2%の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「国産和牛」「和牛以外の国産牛肉」の購入意向が減少傾向。「アメリカ産牛肉」「オーストラリア産牛肉」は昨年度と同傾向。



図表 110 各種牛肉の購入意向

9) 各種牛肉の購入頻度 (Q14)

- ▶ 各種牛肉の購入頻度は、「週に1日以上購入計」では、国産和牛 23.8% > 和牛以外の国産牛肉 20.6% > オーストラリア産牛肉 14.9% > アメリカ産牛肉 15.0%の順に多い。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、各種牛肉の購入頻度に大きな変化は見られない。

【今年度調査】

各種牛肉の購入頻度は、国産和牛は、「ほぼ毎日」が 1.1%、「週に4~5日程度」が 1.6%、「週に2~3日」が 5.7%、「週に1日程度」が 15.4%であり、「週に1日以上購入計」が 23.8%となっており、「購入していない」が 15.4%である。

和牛以外の国産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が 0.6%、「週に4~5日程度」が 1.3%、「週に2~3日」が 4.3%、「週に1日程度」が 14.4%であり、「週に1日以上購入計」が 20.6%となっており、「購入していない」が 16.7%である。

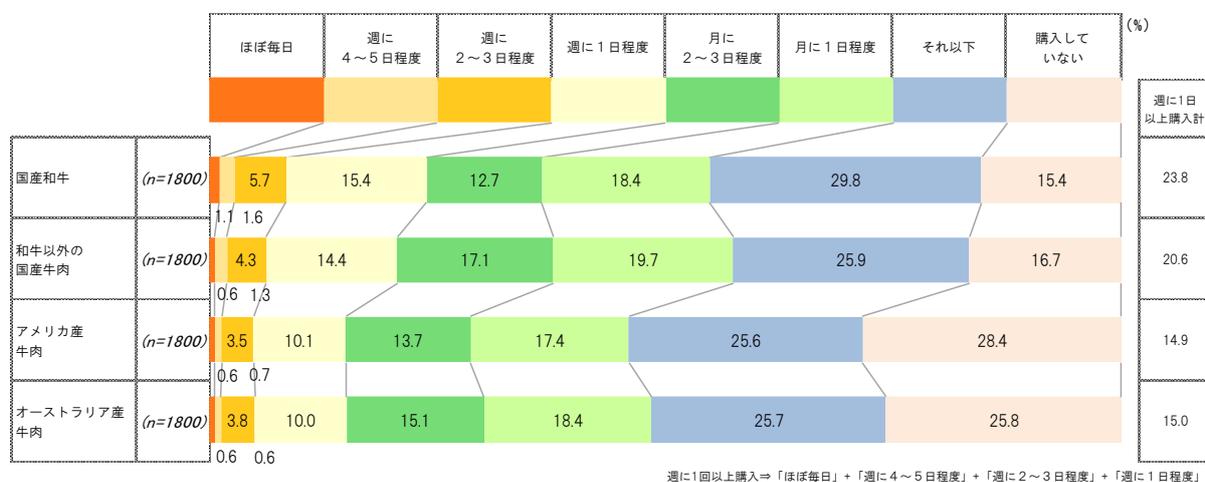
アメリカ産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が 0.6%、「週に4~5日程度」が 0.7%、「週に2~3日」が 3.5%、「週に1日程度」が 10.1%であり、「週に1日以上購入計」が 14.9%となっており、「購入していない」が 28.4%である。

オーストラリア産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が 0.6%、「週に4~5日程度」が 0.6%、「週に2~3日」が 3.8%、「週に1日程度」が 10.0%であり、「週に1日以上購入計」が 15.0%となっており、「購入していない」が 25.8%である。

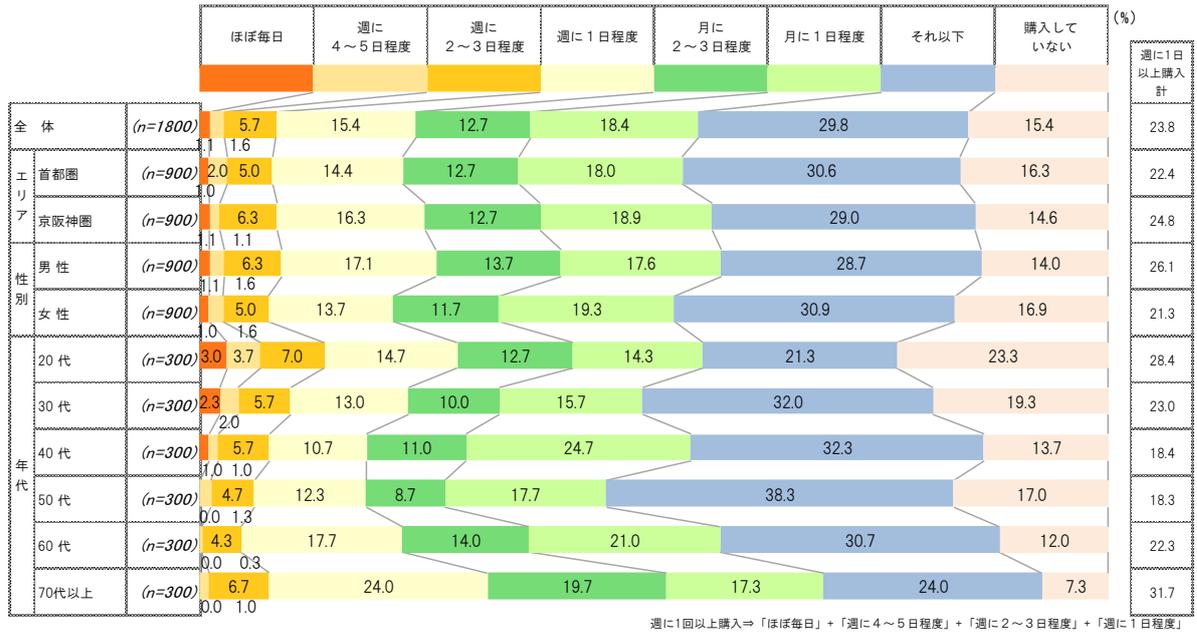
各種牛肉の購入頻度を「週に1日以上購入計」で見ると、国産和牛 23.8% > 和牛以外の国産牛肉 20.6% > オーストラリア産牛肉 15.0% > アメリカ産牛肉 14.9%の順に多くなっている。

【過年度調査との比較】

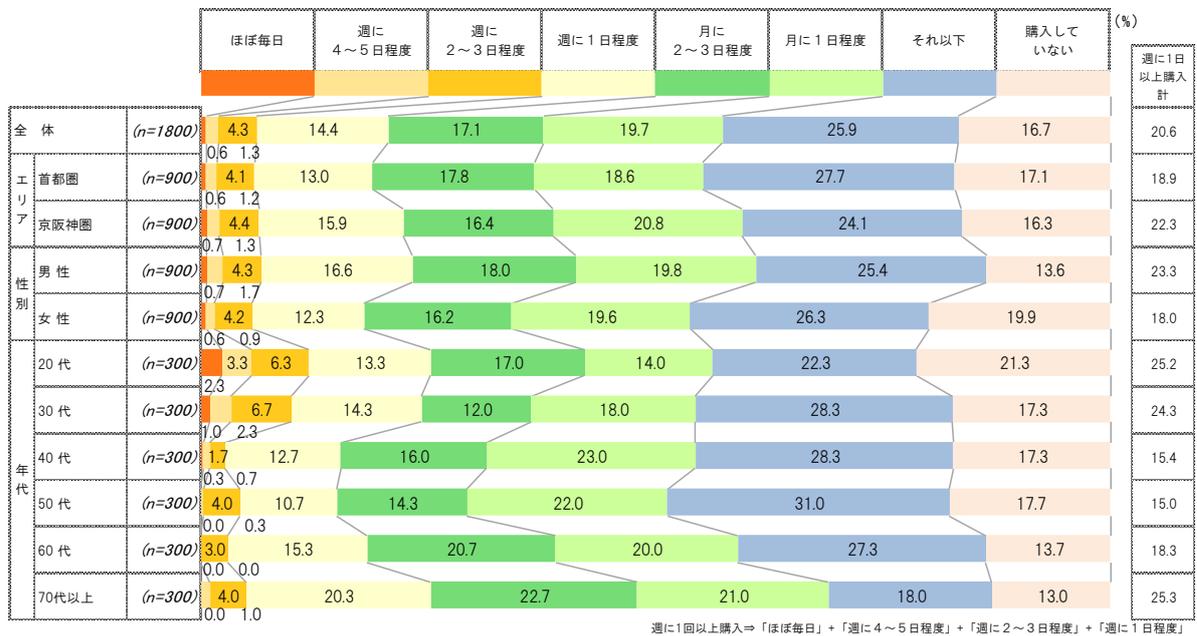
過年度調査では、昨年度と比べて、各種牛肉の購入頻度に大きな変化は見られない。



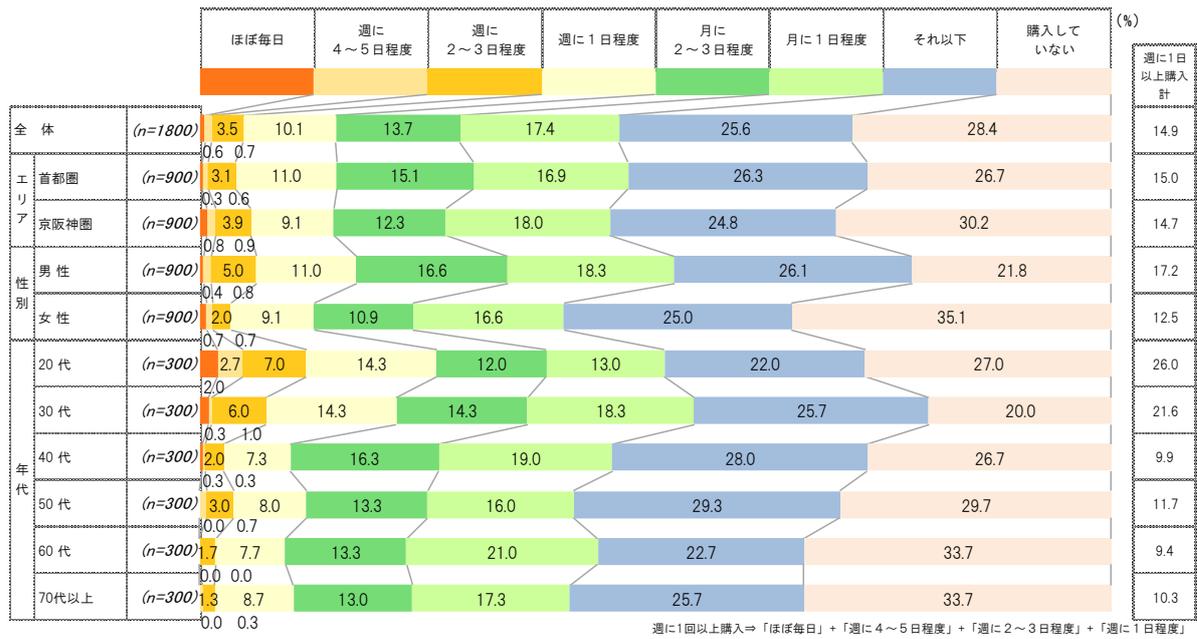
図表 111 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の購入頻度 (経年変化)



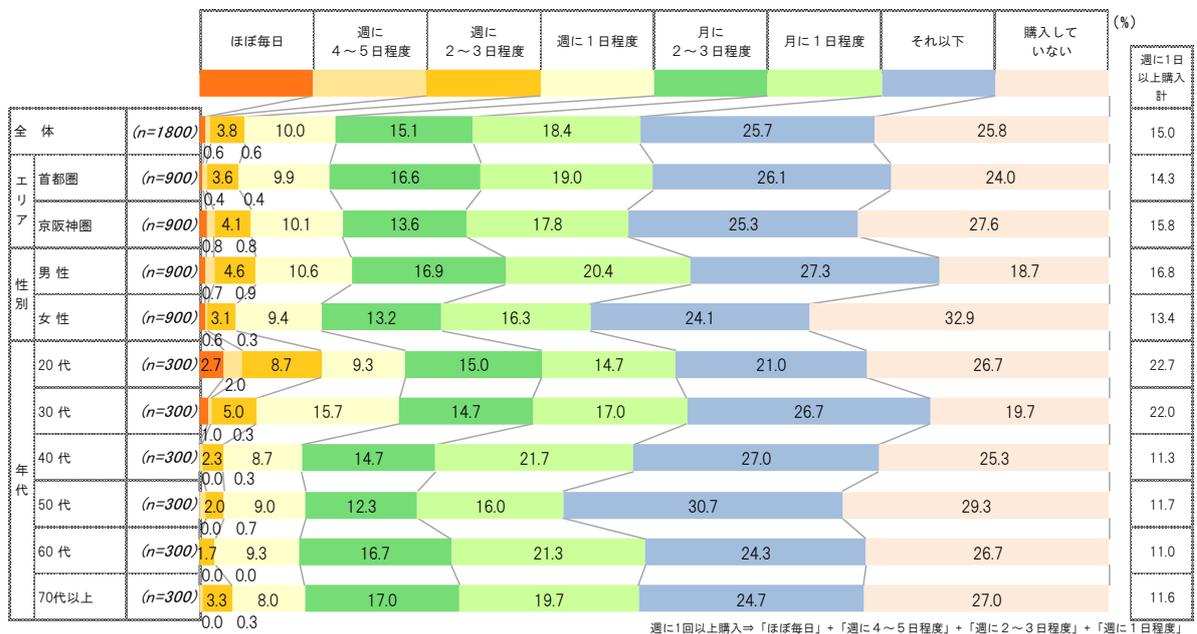
図表 112 国産和牛の購入頻度



図表 113 和牛以外の国産牛肉の購入頻度



図表 114 アメリカ産牛肉の購入頻度



図表 115 オーストラリア産牛肉の購入頻度

10) 各種牛肉のイメージ (Q16)

- 国産和牛のイメージの TOP3 は「柔らかい」「高級品」「安心」。
- 和牛以外の国産牛肉の TOP3 は「安心」「安全」「柔らかい」。
- アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉の TOP3 はいずれも「価格が手頃」「赤身が多い」「特売」が多い。
- 過年度調査では、昨年度と比べて、国産和牛、和牛以外の国産牛肉では、「柔らかい」、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉では「赤身が多い」が増加。

【今年度調査】

各種牛肉のイメージ（複数回答）の TOP3 は、国産和牛では「柔らかい」が 65.0%、「高級品」が 46.4%、「安心」が 42.7%。

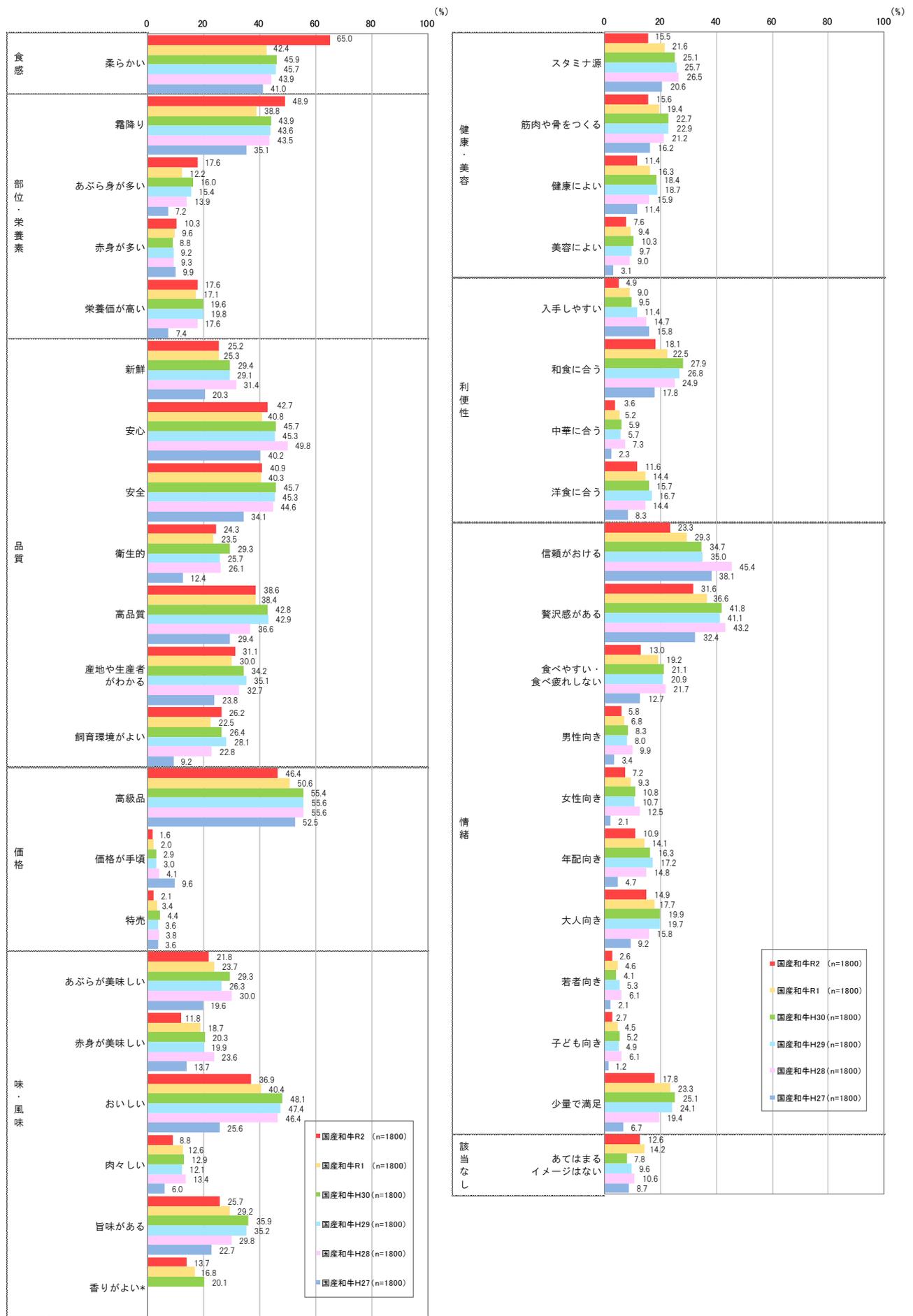
和牛以外の国産牛肉では「安心」が 26.9%、「安全」が 25.1%、「柔らかい」が 24.8%。

アメリカ産牛肉では「価格が手頃」が 46.8%、「赤身が多い」が 28.6%、「特売」が 27.6%。

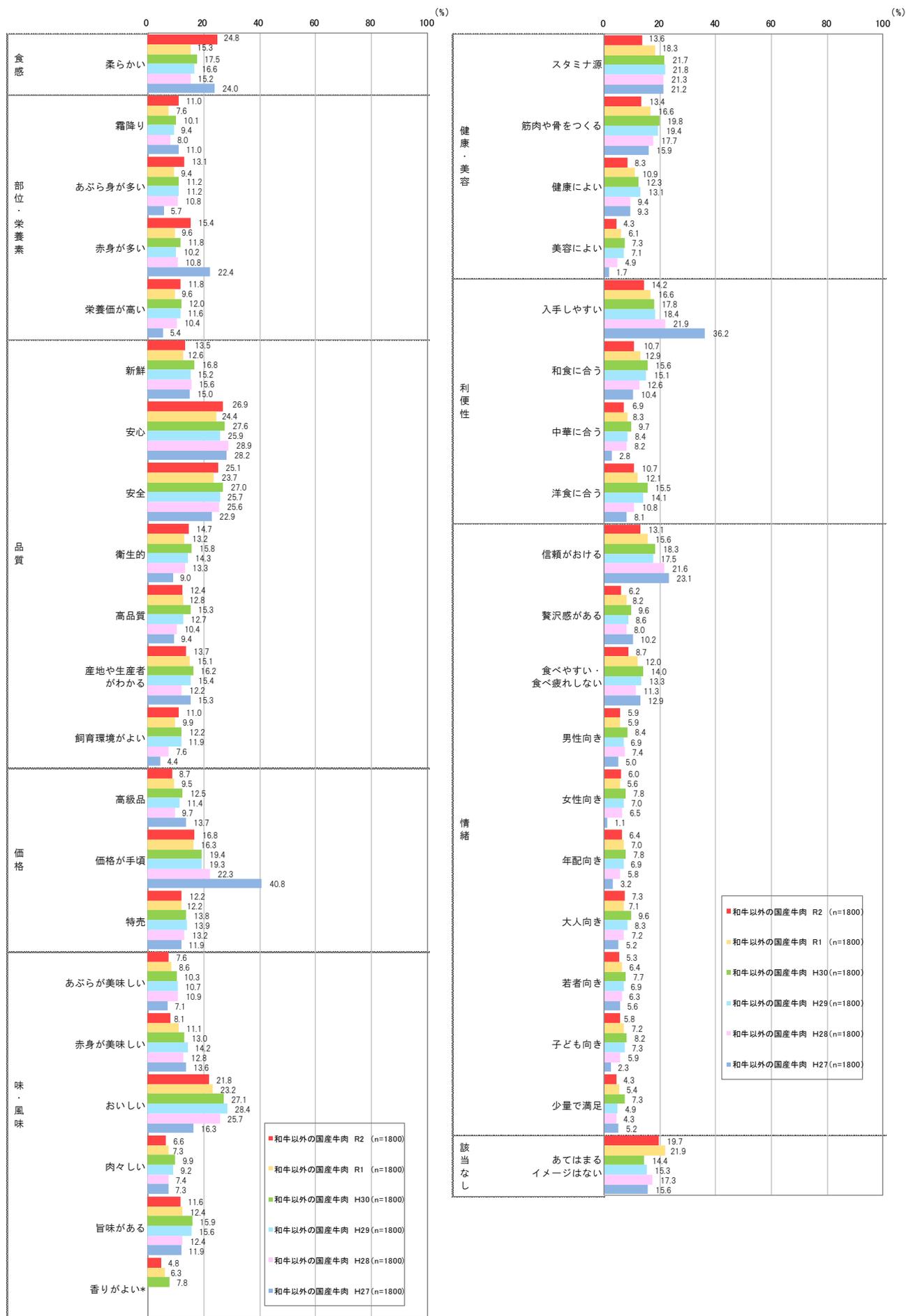
オーストラリア産牛肉ではアメリカ産牛肉と同じく、「価格が手頃」が 46.4%、「赤身が多い」が 28.1%、「特売」が 24.7%。

【過年度調査との比較】

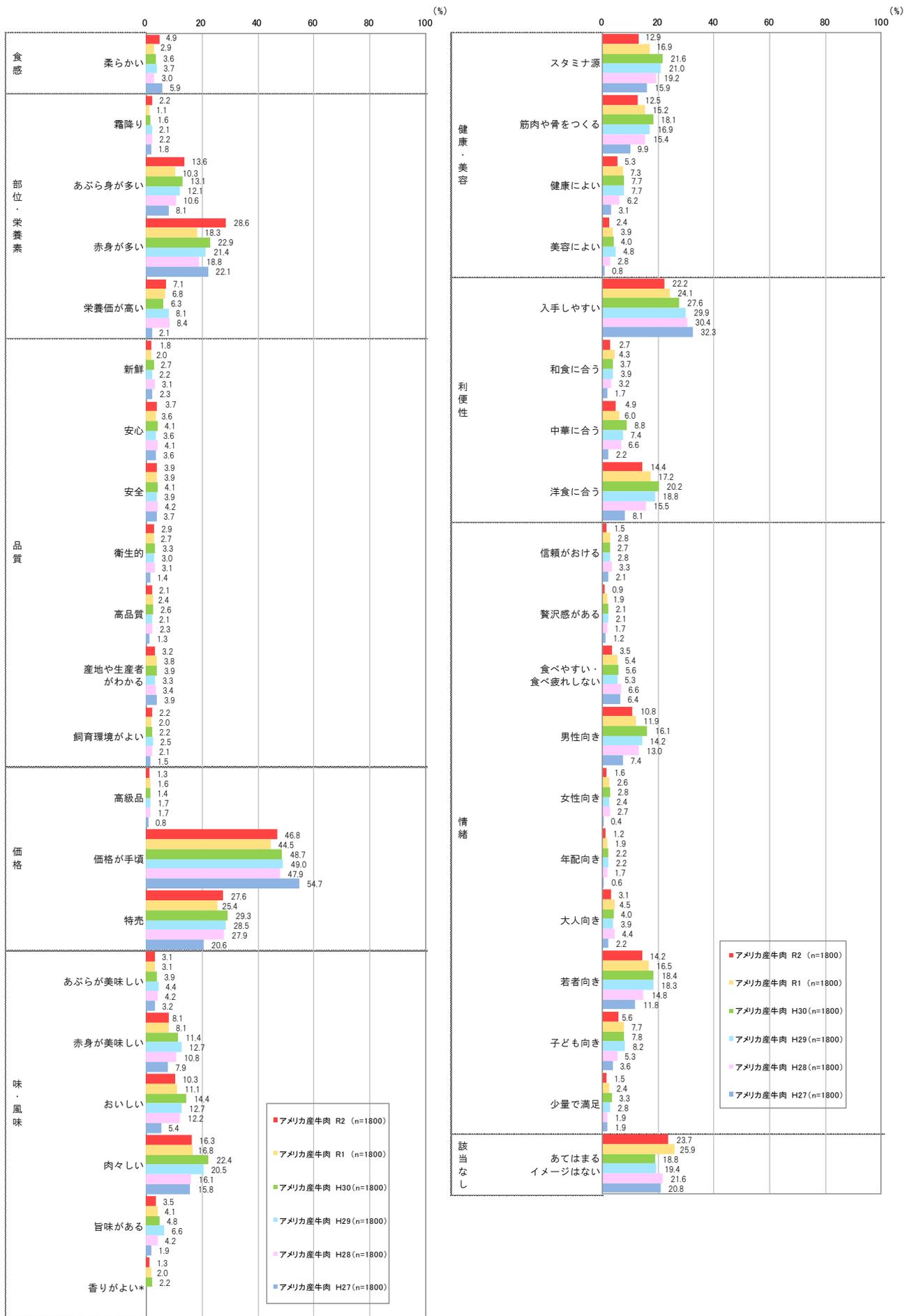
過年度調査では、昨年度と比べて、国産和牛、和牛以外の国産牛肉では、「柔らかい」が増加し、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉では「赤身が多い」が増加した。



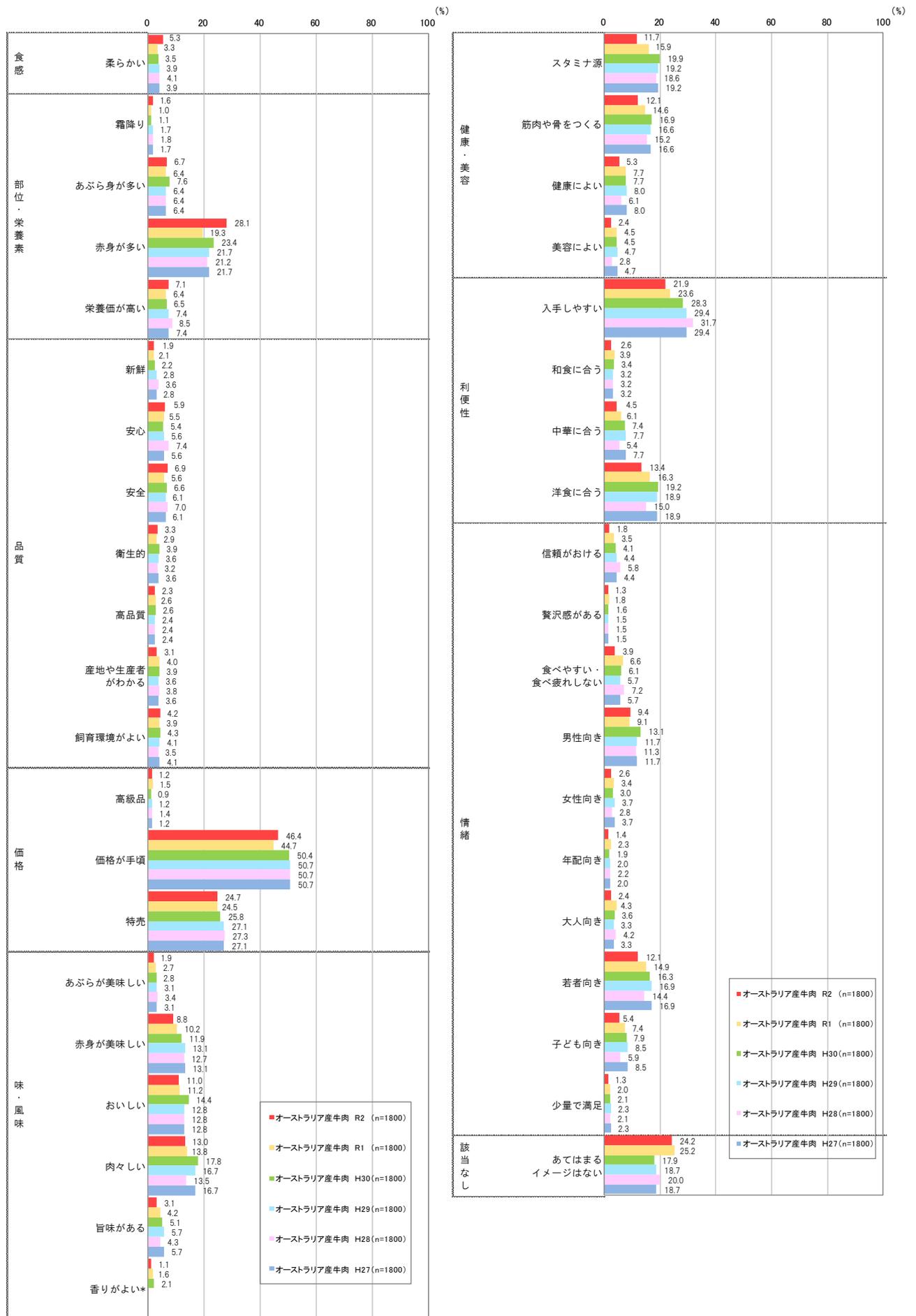
図表 116 国産和牛のイメージ（経年変化）



図表 117 和牛以外の国産牛肉のイメージ（経年変化）



図表 118 アメリカ産牛肉のイメージ（経年変化）



図表 119 オーストラリア産牛肉のイメージ（経年変化）

11) 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q16）

- 「割高でも国産和牛肉を選ぶ」割合は全体の 55.4%。
- 「2割高までなら国産和牛肉を選ぶ」の割合が最も高く、22.1%。
- 過年度調査と比較すると、「割高でも国産和牛肉を選ぶ」割合は昨年度より減少し、「2倍高」～「4倍を超える価格」が減少。

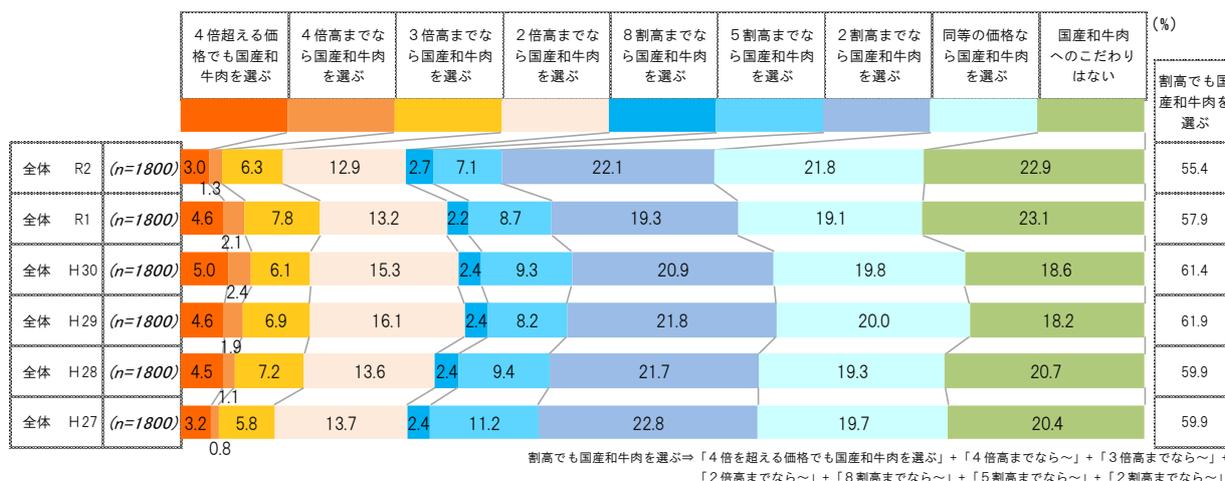
【今年度調査】

「割高でも国産和牛肉を選ぶ（「4倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ」～「2割高までなら国産和牛肉を選ぶ）」割合は 55.4%。

特に「2割高までなら国産和牛肉を選ぶ」が 22.1%、「同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ」が 21.8%の順で高く、合わせて全体の約 4割を占める。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「割高でも国産和牛肉を選ぶ」割合は昨年度より減少しており、「2倍高」～「4倍を超える価格」が減少した。

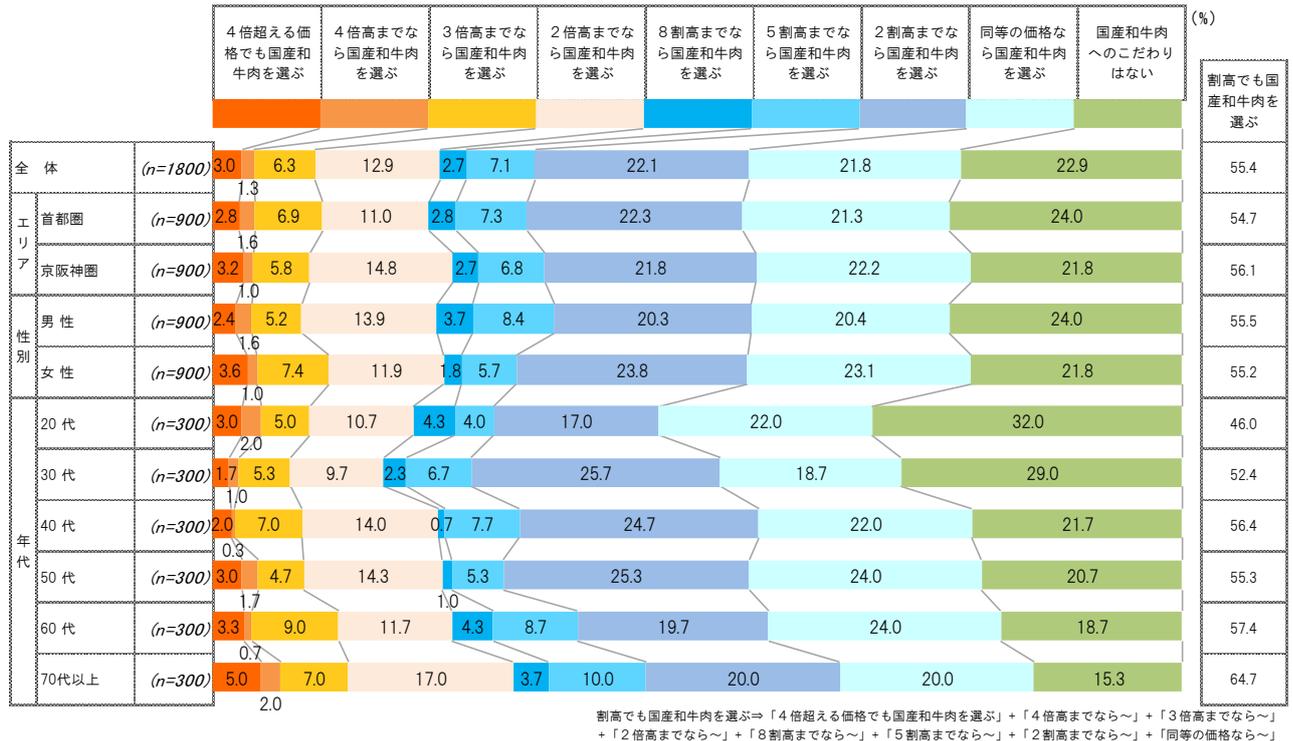


図表 120 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（経年変化）

「割高でも国産和牛肉を選ぶ」の割合をエリア別に見ると、首都圏は54.7%だが、京阪神圏の方が56.1%と大きな違いは見られない。

性別に見ると、男性が55.5%、女性が55.2%と大きな違いは見られない。

年代別見ると、70代以上が64.7%、60代が57.4%と「割高でも国産和牛肉を選ぶ」と回答しており、年代が高い方が国産和牛肉への価格許容度が高い。



図表 121 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度

12) 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q17)

- ▶ 「同等の価格までなら和牛以外の国産牛肉を選択する割合」は全体の52.2%。
- ▶ 「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合が最も多く、23.7%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」割合は昨年度より減少し、「6割高」～「2倍を超える価格」が減少。

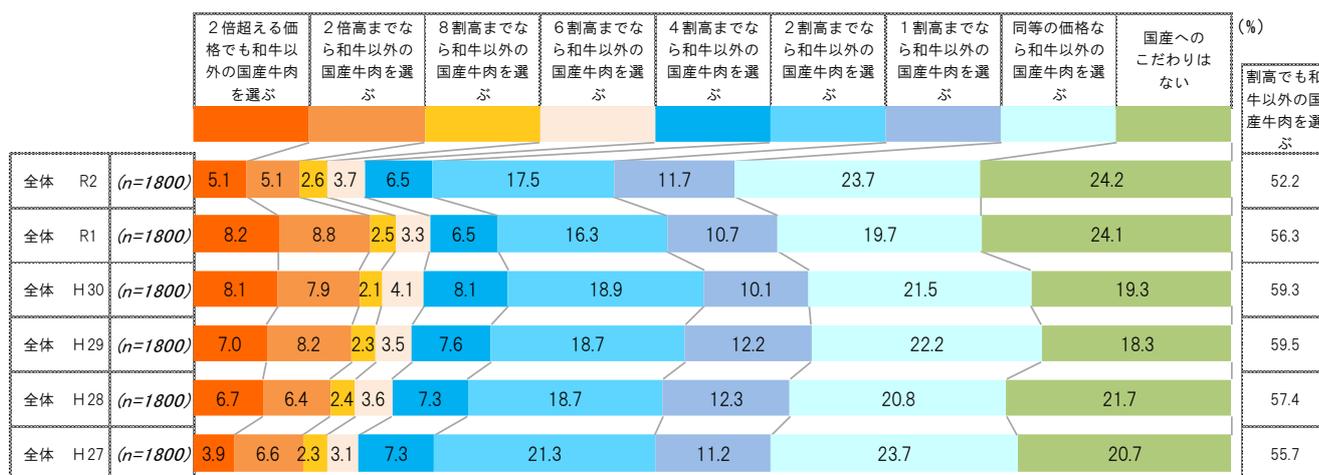
【今年度調査】

「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ（「2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」～「1割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」）割合は52.2%。

特に「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」が23.7%、「2割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」が17.5%の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」割合は昨年度より減少しており、「6割高」～「2倍を超える価格」が減少した。



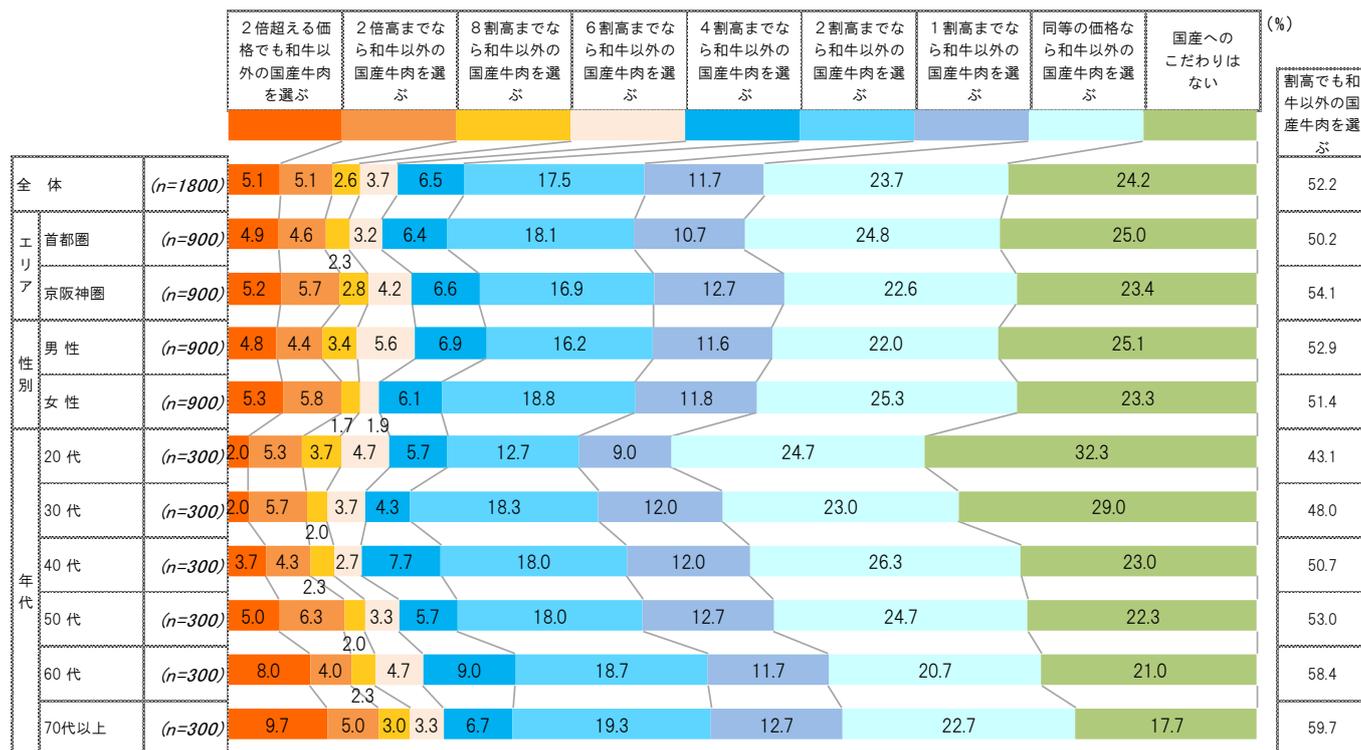
割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ⇒「2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」+「2倍高までなら～」+「8割高までなら～」+「6割高までなら～」+「4割高までなら～」+「2割高までなら～」+「1割高までなら～」

図表 122 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（経年変化）

「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合をエリア別に見ると、首都圏は50.2%だが、京阪神圏の方が54.1%と多い。

性別に見ると、男性が52.9%、女性が51.4%と大きな違いは見られない。

年代別見ると、70代以上が59.7%、60代が58.4%と「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」と回答しており、年代が高い方が国産和牛肉への価格許容度が高い。



割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ⇒「2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」+「2倍高までなら〜」+「8割高までなら〜」+「6割高までなら〜」+「4割高までなら〜」+「2割高までなら〜」+「1割高までなら〜」

図表 123 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度

13) 国産和牛肉／和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度：
順序プロビット回帰分析（Q16・Q17）

- ▶ 国産和牛肉における価格許容度の順序プロビット回帰分析
イメージ項目から得られた因子得点では、因子2「利便性」、因子3「安全性」と因子4「赤身感」がプラスになると価格許容度が高くなる。
回答者属性では、年齢だと高齢になるほど価格許容度が高くなる。また世帯年収が高所得層ほど、価格許容度が高くなる傾向がある。
- ▶ 和牛以外の国産牛肉における価格許容度の順序プロビット回帰分析
イメージ項目から得られた因子得点では、因子2「利便性」、因子3「安全性」と因子4「赤身感」がプラスになると価格許容度が高くなる。
回答者属性では、首都圏居住者に比べて京阪神圏居住者、年齢だと高齢になるほど価格許容度が高くなる。また世帯年収が高所得層ほど、価格許容度が高くなる傾向がある。

国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q16）ならびに和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q17）を目的変数とし、国産牛肉に対するイメージ（Q15）と、回答者属性（性別（Q2）・年齢（Q3）・居住エリア（Q1）・世帯年収（Q56））を説明変数として順序プロビット回帰分析を行った。

ただし、同分析で計測された回帰係数はそのままでは解釈できないため、各説明変数の限界効果を計算し、目的変数に及ぼす効果の大きさを定量的に確認した。

<順序プロビット回帰分析に用いた目的変数・説明変数>

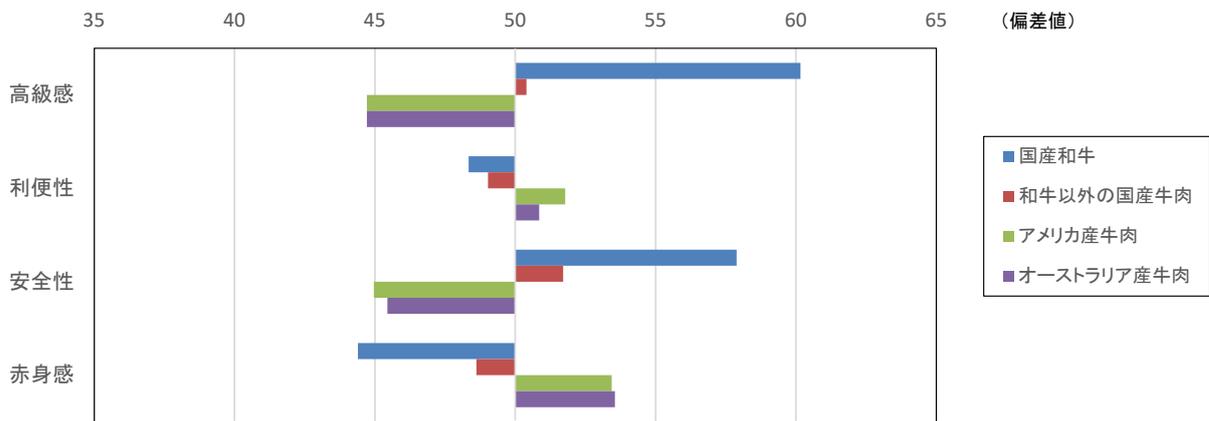
国産牛肉に対する価格許容度に関する設問回答（Q16,Q17）を順序カテゴリカルな目的変数とした。

説明変数には、牛肉に対するイメージ項目と、性別や年齢などの消費者属性を利用する。まず国産和牛肉に対する各イメージ項目（当該イメージなし:0、当該イメージあり:1）（Q15）は、39項目と多項目になり、順序プロビット回帰分析を行う前に、因子分析を行い、少数の変数に集約する。分析の手順として、国産和牛肉と輸入牛肉も共通したイメージ構造を把握するために、国産和牛、和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉のイメージ項目を併合して分析を行った。イメージ項目は二値の離散変数であり、連続量を仮定する通常の因子分析ではなく、カテゴリカル因子分析を利用した。因子数は、ガットマン基準（テトラコリック相関係数行列の固有値が1以上の数）により4個とした。また推定法には最尤法、因子の回転法にはオブリミン法、因子得点の推定値には事後期待値を用いて標準化を行った。その各項目で絶対値の最も高い因子負荷量をもとに項目を分類した結果を下図に示す。

第1因子は「少量で満足」、「高級品」、「贅沢感がある」などの項目の因子負荷量が高く、「高級感」因子と解釈した。第2因子は「若者向き」、「子ども向き」、「中華に合う」、「男性向き」、「女性向き」、「入手しやすい」などの項目の因子負荷量が高く、「利便性」因子と解釈した。第3因子は「安心」、「安全」、「衛生的」などの項目の因子負荷量が高く、「安全性」因子と解釈した。第4因子は「赤身が多い」、「赤身が美味しい」、「肉々しい」などの項目の因子負荷量が高く、「赤身感」因子と解釈した。消費者の原産国別の相対的な知覚差異を把握するために、推定した因子得点の平均を偏差値化（平均50、標準偏差10）して、国産和牛、和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉別でみると、図表125のようになる。

因子1 高級感	因子2 利便性	因子3 安全性	因子4 赤身感
少量で満足(.83) 高級品(.58) 贅沢感がある(.57) 価格が手頃(-.54) 霜降り(.52)	若者向き(.87) 子ども向き(.85) 中華に合う(.71) 男性向き(.65) 女性向き(.63) 入手しやすい(.62) あぶら身が多い(.56) 特売(.55) 美容によい(.54) 大人向き(.53) スタミナ源(.51) 洋食に合う(.50) 筋肉や骨をつくる(.47) 食べやすい・食べ疲れしない(.44) 年配向き(.43) 和食に合う(.42) 香りがよい(.39)	安心(.97) 安全(.97) 衛生的(.88) 新鮮(.80) 飼育環境がよい(.72) 高品質(.65) 産地や生産者がわかる(.60) 信頼がおける(.59) おいしい(.49) 健康によい(.46) 柔らかい(.45) 栄養価が高い(.41) 旨味がある(.41) あぶらが美味しい(.36)	赤身が多い(.71) 赤身が美味しい(.50) 肉々しい(.45)

図表 124 因子分析の結果（括弧内は因子負荷量を示す）



図表 125 偏差値化した原産国別の因子得点の平均

国産和牛は、第1因子の「高級感」と第3因子の「安全性」が高く、反対にアメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉は低い。和牛以外の国産牛肉はそれらの中間にあることがわかる。反対に、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉は第4因子の「赤身感」が高く、国産和牛は低い。第2因子の「利便性」は原産国間で大差がない。すなわち、アメリカ産牛肉とオーストラリア産牛肉が、国産和牛と和牛以外の国産牛肉より高いが大きな差でない。そしてこの分析で得られた因子得点を順序プロビット回帰分析の説明変数に利用する。その限界効果は、因子得点が1（1標準偏差分に相当）増加した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率の変化分である。

消費者属性の説明変数として、性別、地域、年齢、世帯年収を利用する。性別（男性:0、女性:1）と居住エリア（京浜圏:0、京阪神:1）は、二値の変数としている。これらの説明変数の限界効果は、当該変数値が0から1に変化した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率がどれだけ変化するかを示す。回答者の年齢に関しては1歳刻みの連続変数として説明変数に加えており、その限界効果は、年齢が10歳増加した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率の変化分である。

また、世帯年収について「7 答えたくない／わからない」と回答しているサンプルは分析から除外し、残りの6つの世帯年収カテゴリーを二値変数化（当該カテゴリーを非選択:0、当該カテゴリーを選択:1）して分析に用いる。ただし、世帯年収カテゴリー1～6をすべて投入すると識別性の問題によりモデルが推定できなくなるため、世帯年収カテゴリー「2 世帯年収300万円以上500万円未満」変数を除外した上で分析を行った。したがって、各世帯年収カテゴリーの限界効果は「世帯年収300万円以上500万円未満」と比較して、当該世帯年収カテゴリーの回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率がどれだけ増減するかを示す。

■国産和牛肉における価格許容度の順序プロビット回帰分析

イメージ項目から得られた因子得点と、回答者属性に関する限界効果を下図に示す。イメージ項目から得られた因子得点では、因子2「利便性」、因子3「安全性」と因子4「赤身感」のイメージが高いほど価格許容度が高くなる。

回答者属性に着目すると、年齢だと高齢になるほど価格許容度が高くなる。また世帯年収が高所得層ほど、価格許容度が高くなる傾向があることが確認できた。

説明変数	Q16 国産和牛肉の価格許容度								
	1 国産和牛肉へのこだわりはない	2 同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ	3 2割高までなら国産和牛肉を選ぶ	4 5割高までなら国産和牛肉を選ぶ	5 8割高までなら国産和牛肉を選ぶ	6 2倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	7 3倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	8 4倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	9 4倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ
高級感	-0.010	-0.005	0.001	0.001	0.001	0.005	0.003	0.001	0.002
利便性	-0.034	-0.017	0.003	0.005	0.003	0.018	0.012	0.003	0.007
安全性	-0.065	-0.032	0.005	0.010	0.005	0.034	0.022	0.006	0.014
赤身感	-0.020	-0.010	0.002	0.003	0.002	0.010	0.007	0.002	0.004
京阪神	-0.021	-0.010	0.002	0.003	0.002	0.011	0.007	0.002	0.005
性別	-0.015	-0.007	0.001	0.002	0.001	0.008	0.005	0.001	0.003
年齢(10歳刻み)	-0.018	-0.009	0.001	0.003	0.001	0.009	0.006	0.002	0.004
世帯年収300万円未満	0.044	0.019	-0.005	-0.007	-0.004	-0.022	-0.014	-0.003	-0.008
世帯年収500～700万円未満	-0.045	-0.024	0.002	0.006	0.004	0.025	0.017	0.004	0.011
世帯年収700～1000万円未満	-0.077	-0.046	-0.001	0.011	0.006	0.044	0.032	0.008	0.023
世帯年収1000～1500万円未満	-0.087	-0.058	-0.007	0.011	0.007	0.052	0.040	0.011	0.030
世帯年収1500万円以上	-0.149	-0.136	-0.058	0.007	0.008	0.092	0.097	0.031	0.109

*10%水準で有意となったセルを着色、5%水準で有意となったセルを太字にしている

図表 126 国産和牛肉の価格許容度に関する順序プロビット回帰分析の限界効果

■和牛以外の国産牛肉における価格許容度の順序プロビット分析

イメージ項目から得られた因子得点と、回答者属性に関する限界効果を下図に示す。イメージ項目から得られた因子得点では、因子2「利便性」、因子3「安全性」と因子4「赤身感」のイメージが高いほど価格許容度が高くなる。

回答者属性に着目すると、首都圏居住者に比べて京阪神圏居住者、年齢だと高齢になるほど価格許容度が高くなる。また世帯年収が高所得層ほど、価格許容度が高くなる傾向があることが確認できた。

説明変数	Q17 和牛以外の国産牛肉の価格許容度								
	1 国産へのこだわりはない	2 同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	3 1割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	4 2割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	5 4割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	6 6割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	7 8割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	8 2倍高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	9 2倍を超える価格でも国産牛肉を選ぶ
高級感	-0.004	-0.002	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
利便性	-0.037	-0.016	0.001	0.011	0.008	0.006	0.005	0.010	0.013
安全性	-0.065	-0.028	0.001	0.020	0.014	0.010	0.008	0.018	0.022
赤身感	-0.021	-0.009	0.000	0.006	0.005	0.003	0.003	0.006	0.007
京阪神	-0.040	-0.017	0.001	0.012	0.009	0.006	0.005	0.011	0.013
性別	-0.016	-0.007	0.000	0.005	0.004	0.002	0.002	0.004	0.005
年齢(10才刻み)	-0.024	-0.010	0.000	0.007	0.005	0.004	0.003	0.007	0.008
世帯年収300万円未満	0.046	0.018	-0.002	-0.014	-0.010	-0.006	-0.006	-0.012	-0.014
世帯年収500～700万円未満	-0.055	-0.027	-0.001	0.016	0.013	0.009	0.008	0.017	0.022
世帯年収700～1000万円未満	-0.087	-0.047	-0.003	0.023	0.020	0.014	0.013	0.029	0.039
世帯年収1000～1500万円未満	-0.120	-0.081	-0.013	0.024	0.028	0.021	0.020	0.048	0.074
世帯年収1500万円以上	-0.163	-0.140	-0.040	0.007	0.033	0.029	0.030	0.081	0.162

* 10%水準で有意となったセルを着色、5%水準で有意となったセルを太字にしている

図表 127 和牛以外の国産牛肉の価格許容度に関する順序プロビット回帰分析の限界効果

14) 産地別牛肉の購入意向 (Q18)

- ▶ 牛肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産和牛が 89.0%、和牛以外の国産牛肉が 85.6%、オーストラリア産牛肉が 68.4%、アメリカ産牛肉が 62.8%の順。
- ▶ 過年度調査では、国産和牛、和牛以外の国産牛肉ともに「割高でも購入したい」が減少。

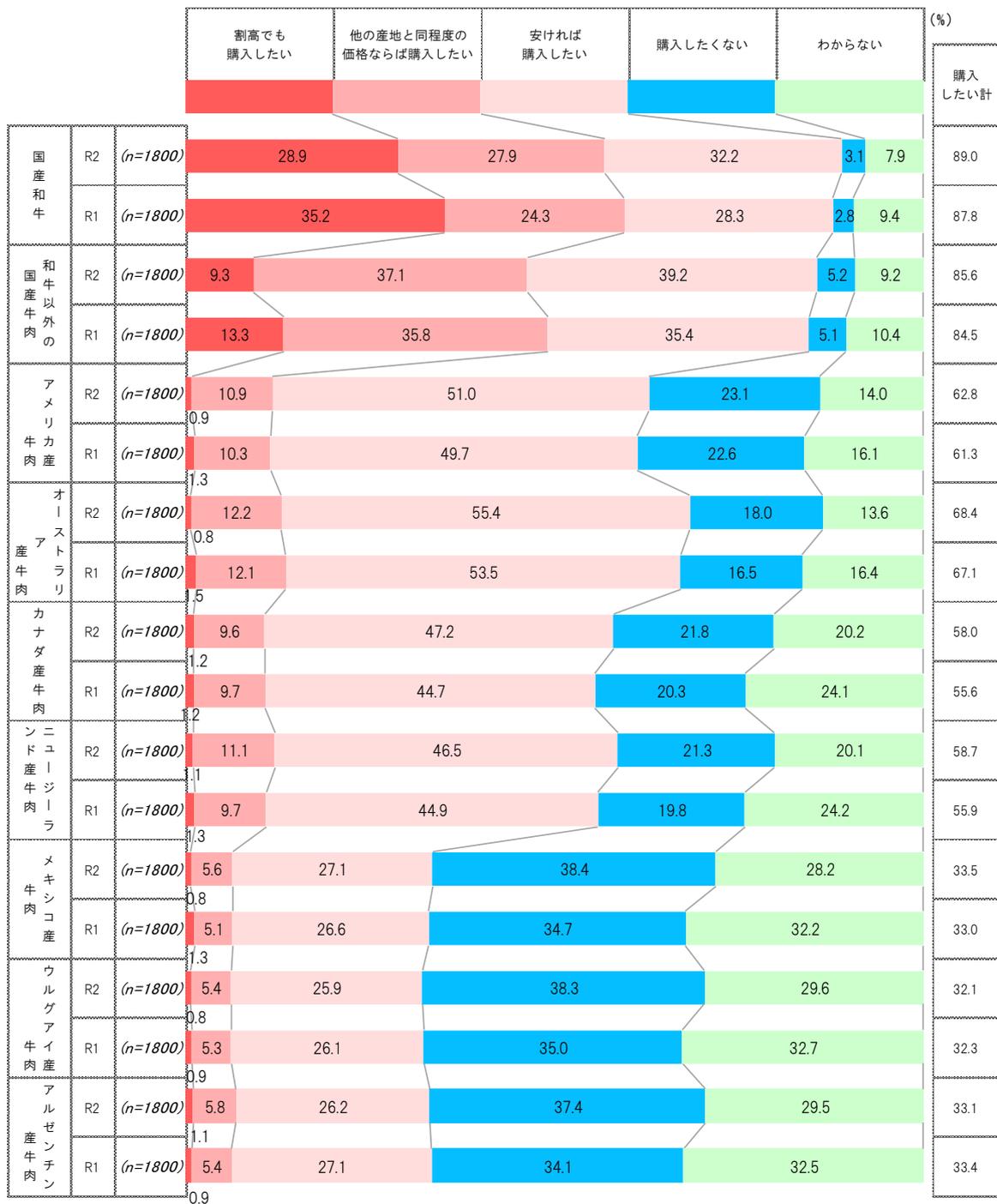
【今年度調査】

牛肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産和牛が 89.0%、和牛以外の国産牛肉が 85.6%、オーストラリア産牛肉が 68.4%、アメリカ産牛肉が 62.8%の順に多い。

「割高でも購入したい」で見ると、国産和牛は 28.9%と高いが、和牛以外の国産牛肉は 9.3%で、オーストラリア産牛肉・アメリカ産牛肉も含めた輸入牛肉はいずれも 1%以下と低い。

【過年度調査との比較】

過年度調査では、「安ければ購入したい」も含めた購入意向率は、いずれの産地の牛肉も同率だが、国産和牛、和牛以外の国産牛肉ともに「割高でも購入したい」は減少した。



購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 128 牛肉の産地別購入意向

15) 産地別豚肉の購入意向 (Q19)

- ▶ 豚肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産豚肉が 91.1%、アメリカ産豚肉が 61.4%、カナダ産豚肉が 59.8%、スペイン産豚肉が 47.2%の順。
- ▶ 過年度調査では、国産鶏肉は「割高でも購入したい」が減少。

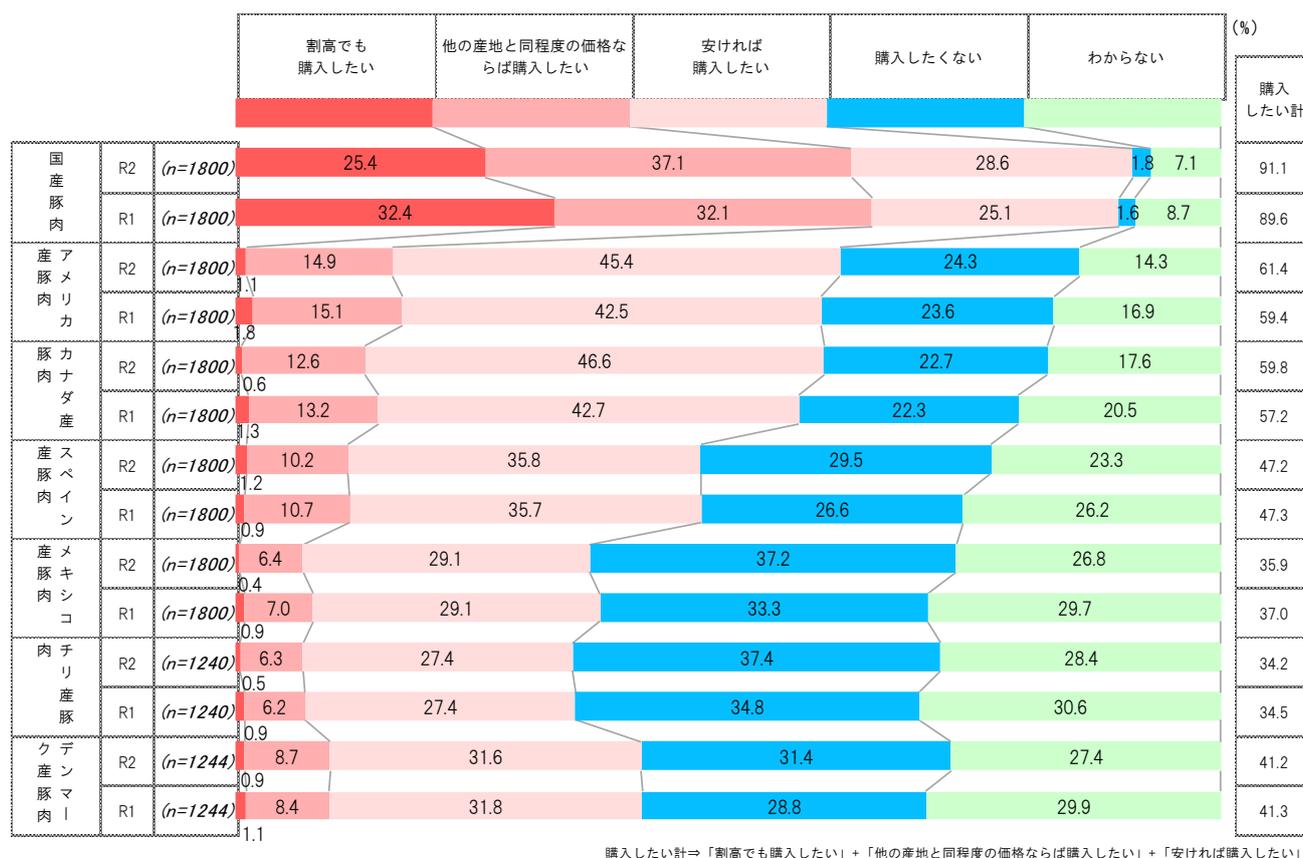
【今年度調査】

豚肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産豚肉が 91.1%、アメリカ産豚肉が 61.4%、カナダ産豚肉が 59.8%、スペイン産豚肉が 47.2%の順に多い。

「割高でも購入したい」で見ると、国産豚肉は 25.4%と高いが、アメリカ産豚肉・カナダ産豚肉・スペイン産豚肉も含め輸入豚肉はいずれも 2%以下と低い。

【過年度調査との比較】

過年度調査では、「安ければ購入したい」も含めた購入意向率は、いずれの産地の豚肉も同率だが、国産豚肉は「割高でも購入したい」は減少した。



図表 129 豚肉の産地別購入意向

16) 産地別鶏肉の購入意向 (Q20)

- 鶏肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産鶏肉が 90.9%、アメリカ産鶏肉が 48.3%、ブラジル産鶏肉が 41.1%、タイ産鶏肉が 35.4%の順。
- 過年度調査では、国産鶏肉は「割高でも購入したい」が減少。

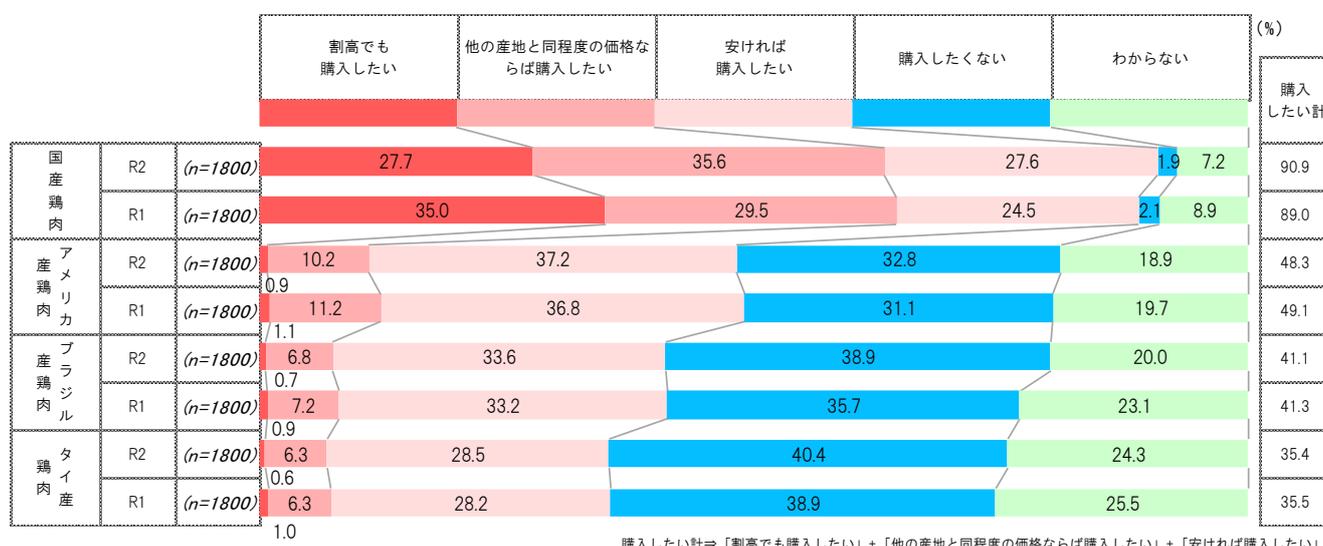
【今年度調査】

鶏肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産鶏肉が 90.9%、アメリカ産鶏肉が 48.3%、ブラジル産鶏肉が 41.1%、タイ産鶏肉が 35.4%の順である。

「割高でも購入したい」で見ると、国産鶏肉は 27.7%と高いが、輸入鶏肉はいずれも 1%以下と低い。

【過年度調査との比較】

過年度調査では、「安ければ購入したい」も含めた購入意向率は、いずれの産地の鶏肉も同率だが、国産鶏肉は「割高でも購入したい」は減少した。



図表 130 鶏肉の産地別購入意向

4. 食肉の安全性に関する意識調査

4.1 食品の安全性に関する意識

1) 食品の安全性の不安感 (Q21)

- ▶ 「不安を感じる」とする回答割合が高い食品は、「ファストフード」30.7%、「食肉加工品」26.5%、「弁当・惣菜類」24.4%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」24.0%、「魚介」20.5%の順。
- ▶ 過年度調査と比較すると、「不安を感じる」割合が増加している食品は特に見られない。

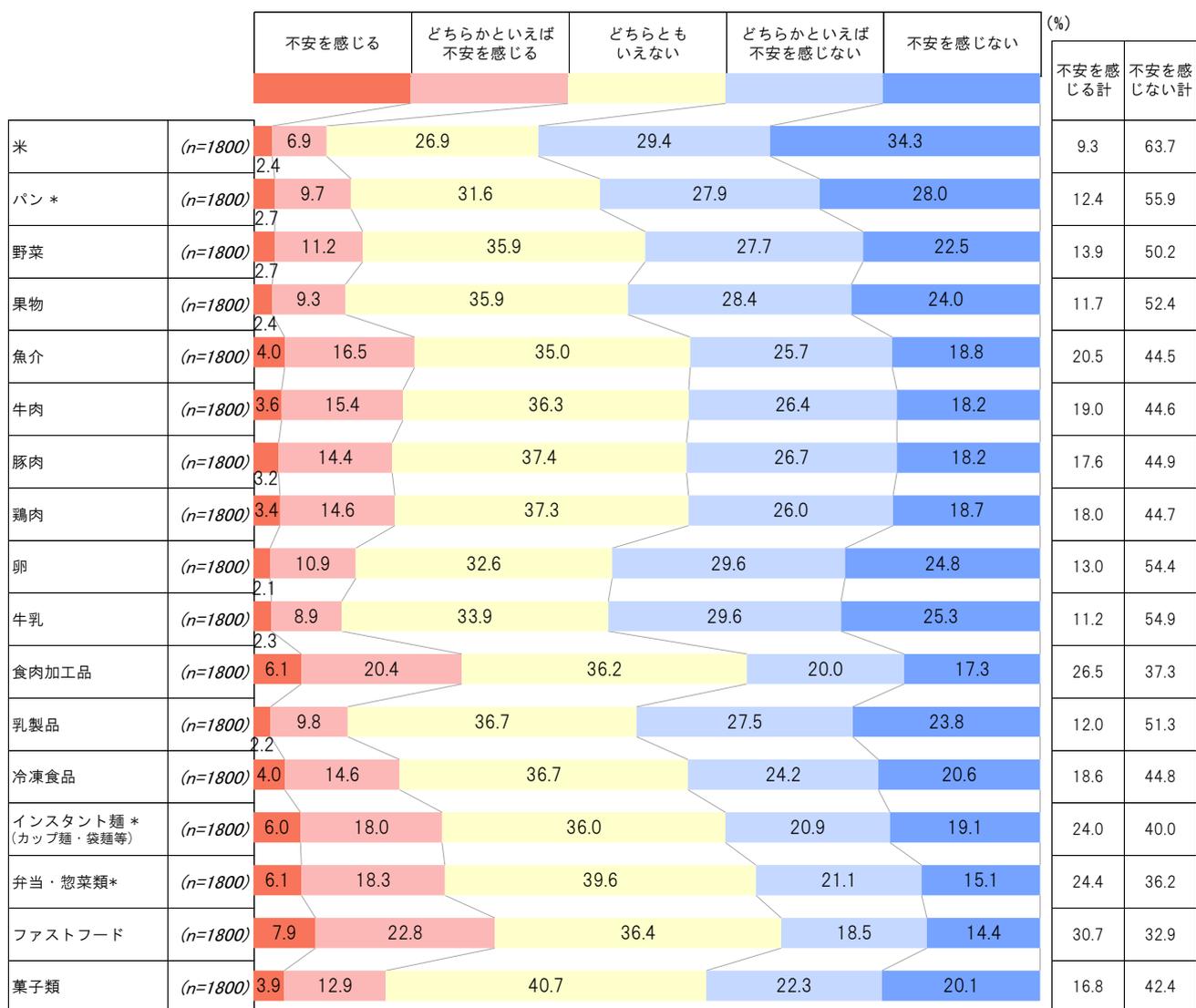
【今年度調査】

17種類の食品（食品群）の安全性について不安を感じるかどうかを尋ねたところ、「不安を感じる（不安を感じる+どちらかといえば不安を感じる）」の割合は「ファストフード」30.7%、「食肉加工品」26.5%、「弁当・惣菜類」24.4%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」24.0%、「魚介」20.5%の順で高い。

逆に、「不安を感じない（どちらかといえば不安を感じない+不安を感じない）」の割合は、「米」63.7%、「パン」55.9%、「牛乳」54.9%、「卵」54.4%、「果物」52.4%、「野菜」50.2%、「乳製品」51.3%の順で高い。なお「牛肉」は44.6%、「豚肉」は44.9%、「鶏肉」は44.7%であった。

【過年度調査との比較】

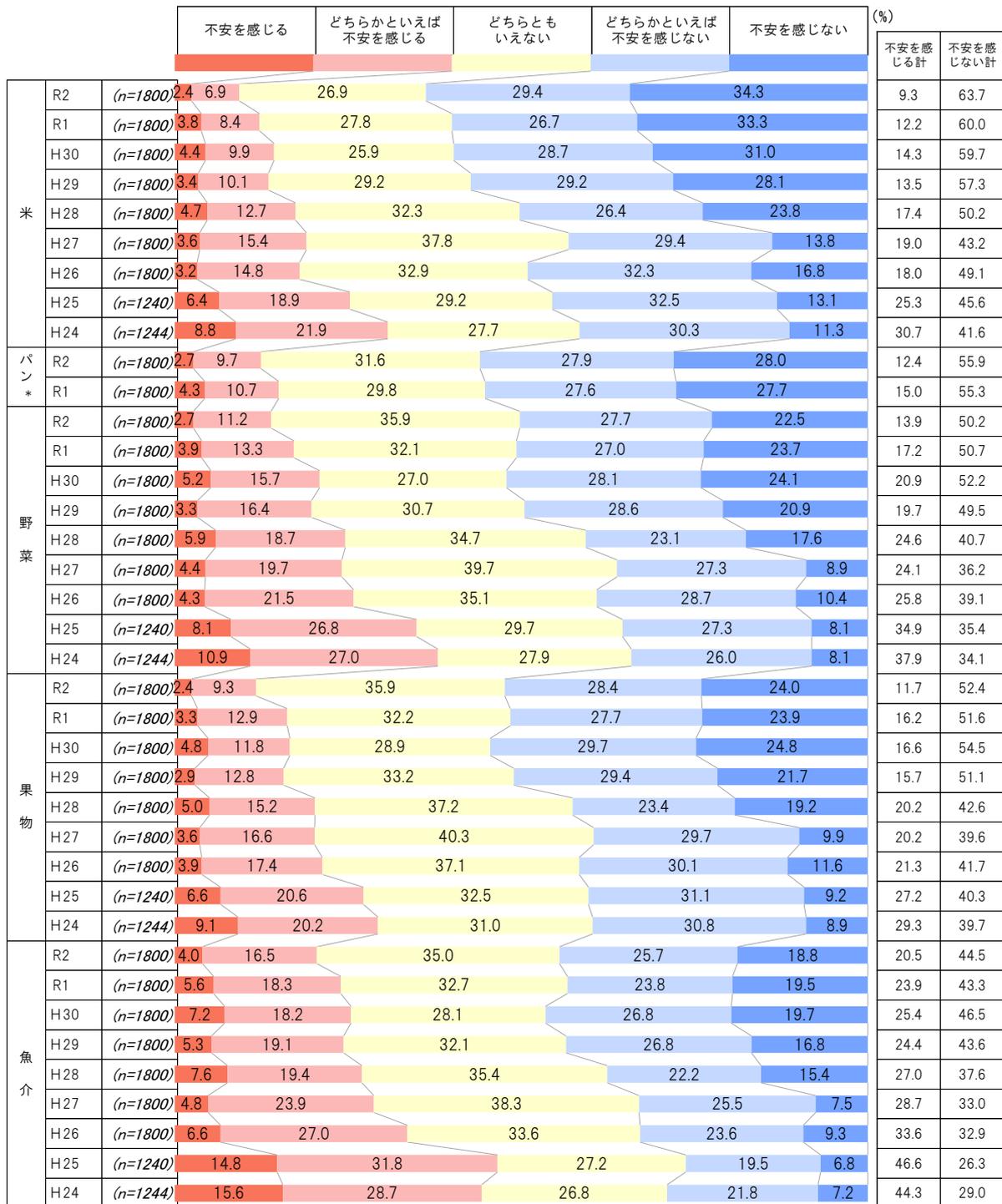
過年度調査と比較すると、「不安を感じる」割合が増加している食品は特に見られない。



*「パン」「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」「弁当・惣菜類」は令和元年からの新規項目

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」
不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

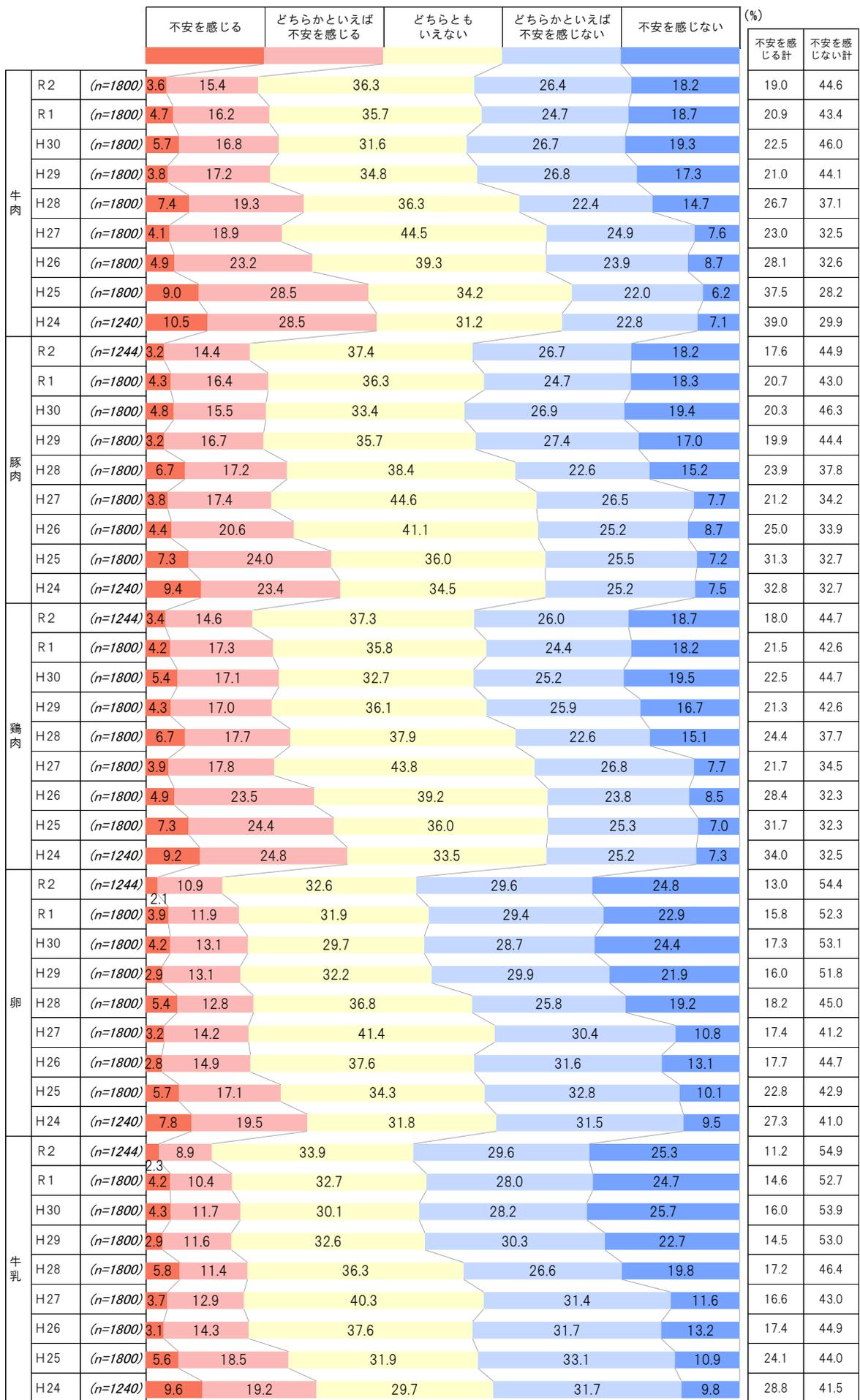
図表 131 食品の安全性の不安感



*「パン」は令和元年よりの新規項目

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」
 不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 132 (その1) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)



不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」
 不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 132 (その2) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

			不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	(%)	
			不安を感じる計					不安を感じない計	
食肉加工品	R2	(n=1800)	6.1	20.4	36.2	20.0	17.3	26.5	37.3
	R1	(n=1800)	7.5	20.0	35.9	19.3	17.3	27.5	36.6
	H30	(n=1800)	8.7	20.8	31.4	22.5	16.6	29.5	39.1
	H29	(n=1800)	8.4	22.4	35.0	20.1	14.1	30.8	34.2
	H28	(n=1800)	10.7	22.7	36.7	17.2	12.7	33.4	29.9
	H27	(n=1800)	9.2	29.1	37.3	19.4	5.0	38.3	24.4
	H26	(n=1800)	13.3	32.3	32.2	16.8	5.4	45.6	22.2
	H25	(n=1240)	13.9	32.9	29.8	17.9	5.6	46.8	23.5
	H24	(n=1244)	13.5	28.9	30.9	20.6	6.1	42.4	26.7
乳製品	R2	(n=1800)	2.2	9.8	36.7	27.5	23.8	12.0	51.3
	R1	(n=1800)	3.8	11.4	36.0	26.5	22.3	15.2	48.8
	H30	(n=1800)	4.2	12.1	32.1	29.6	22.1	16.3	51.7
	H29	(n=1800)	2.9	11.7	36.7	29.8	18.9	14.6	48.7
	H28	(n=1800)	5.4	13.9	39.1	24.5	17.2	19.3	41.7
	H27	(n=1800)	3.6	15.2	43.0	30.1	8.2	18.8	38.3
	H26	(n=1800)	4.1	16.2	41.8	27.8	10.2	20.3	38.0
	H25	(n=1240)	6.1	17.6	36.7	30.7	8.9	23.7	39.6
	H24	(n=1244)	7.8	19.1	33.9	30.3	8.8	26.9	39.1
冷凍食品	R2	(n=1800)	4.0	14.6	36.7	24.2	20.6	18.6	44.8
	R1	(n=1800)	5.7	14.7	37.3	21.9	20.4	20.4	42.3
	H30	(n=1800)	6.1	18.0	32.7	23.9	19.3	24.1	43.2
	H29	(n=1800)	6.0	18.2	35.7	23.7	16.4	24.2	40.1
	H28	(n=1800)	9.1	19.8	37.6	20.4	13.2	28.9	33.6
	H27	(n=1800)	6.3	22.7	40.9	23.1	7.0	29.0	30.1
	H26	(n=1800)	12.7	28.8	33.4	19.2	5.9	41.5	25.1
	H25	(n=1240)	11.9	28.1	32.3	20.2	7.4	40.0	27.6
	H24	(n=1244)	10.5	25.2	31.1	24.6	8.6	35.7	33.2
インスタント種* (カップ種・袋種等)	R2	(n=1800)	6.0	18.0	36.0	20.9	19.1	24.0	40.0
	R1	(n=1800)	7.0	17.0	35.2	21.3	19.4	24.0	40.7
弁当・惣菜類*	R2	(n=1800)	6.1	18.3	39.6	21.1	15.1	24.4	36.2
	R1	(n=1800)	7.2	18.6	37.2	20.4	16.6	25.8	37.0
ファストフード	R2	(n=1800)	7.9	22.8	36.4	18.5	14.4	30.7	32.9
	R1	(n=1800)	9.6	20.9	36.2	17.9	15.3	30.5	33.2
	H30	(n=1800)	12.3	23.4	30.3	19.1	15.0	35.7	34.1
	H29	(n=1800)	12.6	24.4	33.3	18.1	11.6	37.0	29.7
	H28	(n=1800)	14.9	26.6	33.9	14.7	9.8	41.5	24.5
	H27	(n=1800)	14.6	32.7	35.4	13.7	3.7	47.3	17.4
	H26	(n=1800)	23.6	33.6	28.0	11.3	3.6	57.2	14.9
	H25	(n=1240)	18.5	35.9	26.8	13.7	5.2	54.4	18.9
	H24	(n=1244)	13.8	29.2	31.1	19.1	6.8	43.0	25.9
菓子類	R2	(n=1800)	3.9	12.9	40.7	22.3	20.1	16.8	42.4
	R1	(n=1800)	5.0	14.5	38.2	22.4	19.9	19.5	42.3
	H30	(n=1800)	6.2	15.6	34.3	23.2	20.8	21.8	44.0
	H29	(n=1800)	4.8	16.4	37.8	23.0	17.9	21.2	40.9
	H28	(n=1800)	7.2	16.5	40.9	20.2	15.2	23.7	35.4
	H27	(n=1800)	5.1	19.3	44.8	23.1	7.7	24.4	30.8
	H26	(n=1800)	7.3	21.9	41.4	20.2	9.2	29.2	29.4
	H25	(n=1240)	7.2	23.3	36.5	22.9	10.2	30.5	33.1
	H24	(n=1244)	6.8	18.6	33.8	28.2	12.6	25.4	40.8

*「インスタント種(カップ種・袋種等)」「弁当・惣菜類」は令和元年よりの新規項目

「不安を感じる計」⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」
「不安を感じない計」⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 132 (その3) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

2) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (Q23)

- 関心が高い項目 TOP3 は、「食肉の消費期限改ざん」が 60.8%、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が 60.0%、「鳥インフルエンザ」が 59.1%。
- 「食肉の放射能汚染」については、「関心がある」の割合は 49.5%。過年度の調査結果と比較すると関心は減少傾向。

【今年度調査】

食肉の安全性に関して尋ねたところ、幅広い項目に対して高い関心が寄せられていることがわかった。「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合が最も高かったのは、「食肉の消費期限改ざん」が 60.8%、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が 60.0%、「鳥インフルエンザ」が 59.1%、「食肉の産地偽装」58.0%、「豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性」57.4%、「豚インフルエンザ」56.2%、「牛肉・豚肉の発がん性」55.6%の順で高い。

「食肉の放射能汚染」については 49.5%となっており、他の項目に比べて特別に高い関心が寄せられているわけではない。

「非常に関心がある」の割合は、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が 27.2%、「食肉の消費期限改ざん」が 26.9%、「食肉の産地偽装」が 25.7%の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、多くの項目で、今年度は昨年度と同傾向であるが、総じて昨年度より関心が減少している。

「食肉の放射能汚染」は、「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合は減少傾向である。

	(n=1800)	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
							関心がある計	関心がない計
食肉中の残留抗生物質	(n=1800)	13.8	33.3	29.7	14.2	9.1	47.1	23.3
食肉中の残留動物薬	(n=1800)	14.0	32.9	30.3	14.3	8.5	46.9	22.8
遺伝子組換え飼料を用いた食肉	(n=1800)	15.9	32.4	30.2	13.3	8.2	48.3	21.5
ゲノム編集飼料を用いた食肉 *1	(n=1800)	13.8	30.7	32.2	14.0	9.3	44.5	23.3
牛のBSE（牛海綿状脳症）	(n=1800)	22.2	31.7	26.7	11.1	8.4	53.9	19.5
成形肉（インジェクション）*2	(n=1800)	15.3	28.4	34.9	12.2	9.2	43.7	21.4
食肉の放射能汚染	(n=1800)	19.3	30.2	31.1	11.2	8.2	49.5	19.4
クローン家畜由来の食肉	(n=1800)	18.7	30.2	30.2	11.9	8.9	48.9	20.8
牛・豚の口蹄疫	(n=1800)	20.4	29.4	30.3	11.1	8.7	49.8	19.8
豚熱 *3	(n=1800)	18.2	27.9	33.9	11.4	8.6	46.1	20.0
アフリカ豚熱 *4	(n=1800)	19.1	27.4	33.1	11.2	9.3	46.5	20.5
豚インフルエンザ	(n=1800)	22.7	33.5	28.0	8.6	7.2	56.2	15.8
鳥インフルエンザ	(n=1800)	24.5	34.6	26.3	7.6	7.1	59.1	14.7
食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染	(n=1800)	27.2	32.8	25.7	7.2	7.1	60.0	14.3
食肉の生食	(n=1800)	21.3	29.0	29.2	10.6	10.0	50.3	20.6
食肉の産地偽装	(n=1800)	25.7	32.3	26.6	8.2	7.2	58.0	15.4
食肉の消費期限改ざん	(n=1800)	26.9	33.9	24.1	7.9	7.1	60.8	15.0
牛肉・豚肉の発がん性	(n=1800)	24.7	30.9	27.4	9.6	7.3	55.6	16.9
豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性	(n=1800)	24.6	32.8	27.1	8.3	7.3	57.4	15.6

*1 令和元年より新規項目 *2 平成29年の選択肢「成形肉」より変更
 *3 令和元年の選択肢「CSF」より変更
 *4 令和元年の選択肢「ASF」より変更

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
 関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 133 食肉の安全性に関する項目別関心度

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
								関心が ある計	関心が ない計
食肉中の残留抗生物質	R2	(n=1800)	13.8	33.3	29.7	14.2	9.1	47.1	23.3
	R1	(n=1800)	14.8	35.0	29.1	13.5	7.7	49.8	21.2
	H30	(n=1800)	15.1	33.7	28.8	14.3	8.1	48.8	22.4
	H29	(n=1800)	17.1	34.2	28.4	14.3	6.0	51.3	20.3
	H28	(n=1800)	16.9	34.8	30.6	12.4	5.3	51.7	17.7
	H27	(n=1800)	14.6	41.4	27.8	13.1	3.2	56.0	16.3
	H26	(n=1800)	21.4	44.6	23.3	8.9	1.8	66.0	10.7
	H25	(n=1240)	18.2	44.8	21.9	12.9	2.2	63.0	15.1
	H24	(n=1244)	15.5	39.8	26.5	15.8	2.4	55.3	18.2
食肉中の残留動物薬	R2	(n=1800)	14.0	32.9	30.3	14.3	8.5	46.9	22.8
	R1	(n=1800)	15.4	34.9	29.7	12.6	7.4	50.3	20.0
	H30	(n=1800)	16.3	33.7	28.1	13.8	8.1	50.0	21.9
	H29	(n=1800)	17.2	33.9	29.3	13.4	6.2	51.1	19.6
	H28	(n=1800)	17.7	35.2	30.2	11.6	5.3	52.9	16.9
	H27	(n=1800)	16.2	41.4	26.9	12.5	3.0	57.6	15.5
	H26	(n=1800)	22.7	43.9	23.8	7.7	1.9	66.6	9.6
	H25	(n=1240)	20.8	48.2	19.7	9.3	2.0	69.0	11.3
	H24	(n=1244)	16.5	47.0	22.8	11.7	2.0	63.5	13.7
遺伝子組換え飼料を用いた食肉	R2	(n=1800)	15.9	32.4	30.2	13.3	8.2	48.3	21.5
	R1	(n=1800)	18.6	32.1	30.6	11.3	7.3	50.7	18.6
	H30	(n=1800)	18.7	32.8	28.9	11.8	7.7	51.5	19.5
	H29	(n=1800)	19.0	34.5	28.8	11.9	5.7	53.5	17.6
	H28	(n=1800)	21.0	34.6	28.8	10.2	5.5	55.6	15.7
	H27	(n=1800)	17.7	40.1	27.7	11.8	2.8	57.8	14.6
	H26	(n=1800)	23.1	42.6	24.6	7.8	2.0	65.7	9.8
	H25	(n=1240)	23.5	44.8	19.8	9.8	2.2	68.3	12.0
	H24	(n=1244)	18.4	43.1	24.4	11.6	2.5	61.5	14.1
ゲノム編集飼料を用いた食肉	R2	(n=1800)	13.8	30.7	32.2	14.0	9.3	44.5	23.3
	R1	(n=1800)	16.6	32.1	31.5	11.7	8.1	48.7	19.8
牛のBSE（牛海綿状脳症）	R2	(n=1800)	22.2	31.7	26.7	11.1	8.4	53.9	19.5
	R1	(n=1800)	25.9	31.2	26.5	9.3	7.1	57.1	16.4
	H30	(n=1800)	26.6	34.2	23.8	9.2	6.3	60.8	15.5
	H29	(n=1800)	29.4	32.7	24.5	8.2	5.1	62.1	13.3
	H28	(n=1800)	30.7	34.4	23.7	6.7	4.5	65.1	11.2
	H27	(n=1800)	31.2	38.7	21.7	6.2	2.2	69.9	8.4
	H26	(n=1800)	35.4	40.9	17.0	5.2	1.4	76.3	6.6
	H25	(n=1240)	35.4	43.8	13.8	5.5	1.5	79.2	7.0
	H24	(n=1244)	32.3	44.3	15.3	6.5	1.6	76.6	8.1
成形肉（インジェクション）	R2	(n=1800)	15.3	28.4	34.9	12.2	9.2	43.7	21.4
	R1	(n=1800)	17.4	29.6	34.3	10.8	7.9	47.0	18.7
	H30	(n=1800)	18.3	30.2	31.9	11.4	8.2	48.5	19.6
	H29	(n=1800)	19.8	32.6	30.5	11.2	6.0	52.4	17.2
	H28	(n=1800)	20.8	35.1	30.2	8.9	5.1	55.9	14.0
	H27	(n=1800)	18.3	38.1	30.0	9.9	3.7	56.4	13.6
	H26	(n=1800)	27.7	42.3	21.3	6.8	1.9	70.0	8.7
	H25	(n=1240)	22.7	42.0	24.3	8.7	2.3	64.7	11.0
	H24	(n=1244)	18.1	39.3	29.8	10.4	2.4	57.4	12.8

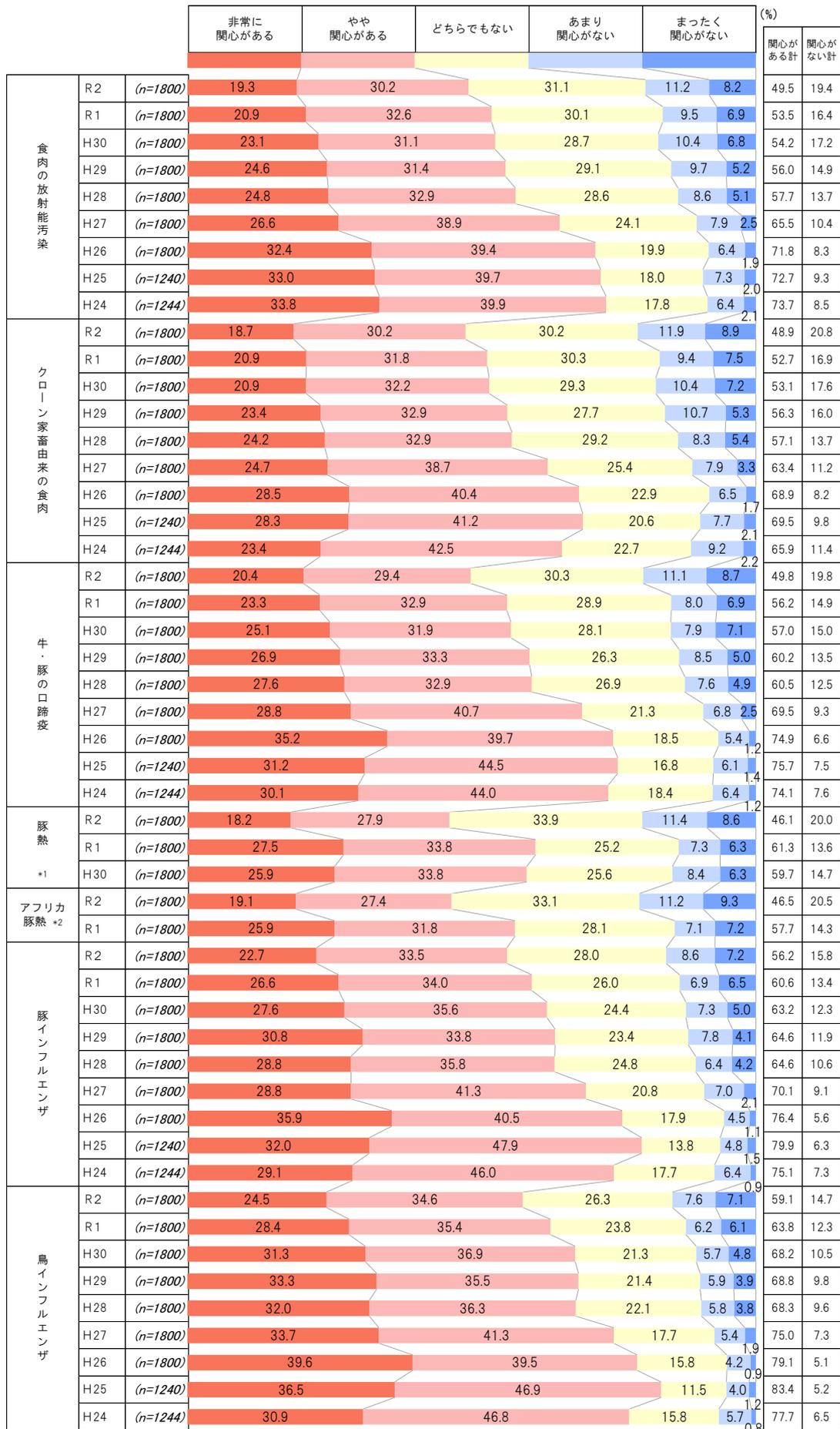
*1 「ゲノム編集飼料を用いた食肉」は令和元年よりの新規項目

*2 「成形肉(インジェクション)」平成30年より変更

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」

関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

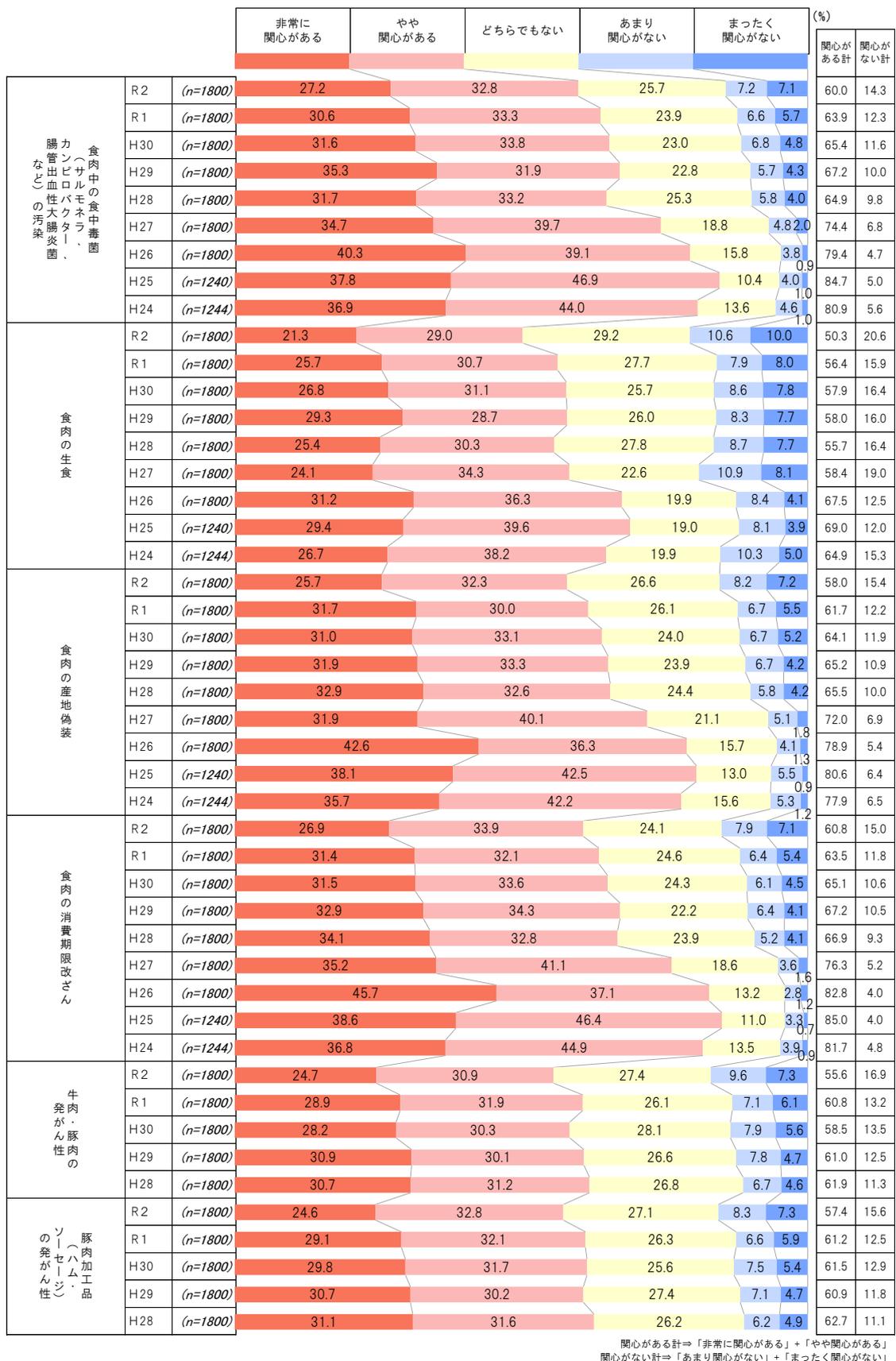
図表 134（その1） 食肉の安全性に関する項目別関心度（経年変化）



*1 令和元年の選択肢「CSF」より変更
 *2 令和元年の選択肢「ASF」より変更

興味がある計⇒「非常に興味がある」+「やや興味がある」
 興味がない計⇒「あまり興味がない」+「まったく興味がない」

図表 134 (その2) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)



図表 134 (その 3) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)

4.2 食肉の安全性に対する社会的な意識

1) 社会全体における食肉の安全性の認識 (Q29)

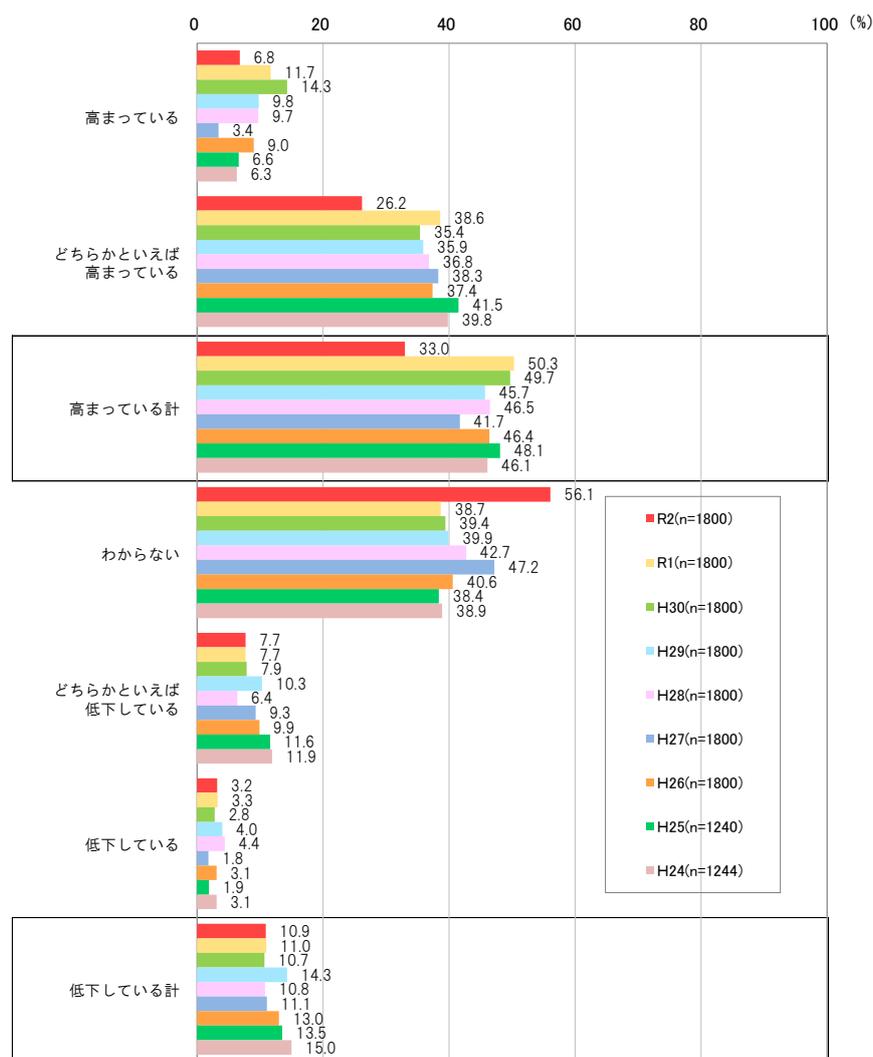
➤ 社会全体における食肉の安全性の認識は、「高まっている計」の割合が33.0%。今年度は「わからない」が56.1%と大幅に増加し、「高まっている計」が減少。

【今年度調査】

社会全体における食肉の安全性について尋ねたところ、「低下している（低下している+どちらかといえば低下している）」の割合が10.9%であるのに対して、「高まっている（高まっている+どちらかといえば高まっている）」の割合は33.0%である。「わからない」が56.1%と半数以上を占める。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、今年度は「わからない」が大幅に増加し、「高まっている」が大幅に減少した。



図表 135 社会全体における食肉の安全性の認識 (経年変化)

2) 社会全体における食肉の安全性の認識の理由 (Q30) :
テキストマイニング (共起ネットワーク分析・対応分析)

- 社会全体における食肉の安全性の認識の理由を共起ネットワークで見ると、『安全』『コロナ』『思う』『高まる』などの頻度の高いグループがあり、「新型コロナウイルス感染症の流行によって安全性が高まった」などの意見が多く集まっている。
- 対応分析でみると、安全性が「高まっている」「どちらかといえば高まっている」グループの付近には、『検査』『産地』『話題』『向上』『消費者』『意識』などがあり、「検査技術の向上」「産地のチェックや検査が厳しくなっている」「消費者意識の向上」という記述があった。一方、「どちらかといえば低下している」グループ付近には『改ざん』があり「偽装を心配している」、「低下している」グループには『情報』があり「情報が伝わっていない」という不満の意見があった。

社会全体における食肉の安全性について「高まっている」又は「低下している」と回答した理由理由 (Q30 自由回答) について、テキストマイニングを用いた共起ネットワーク分析で、消費者意識の探索・把握を行った。

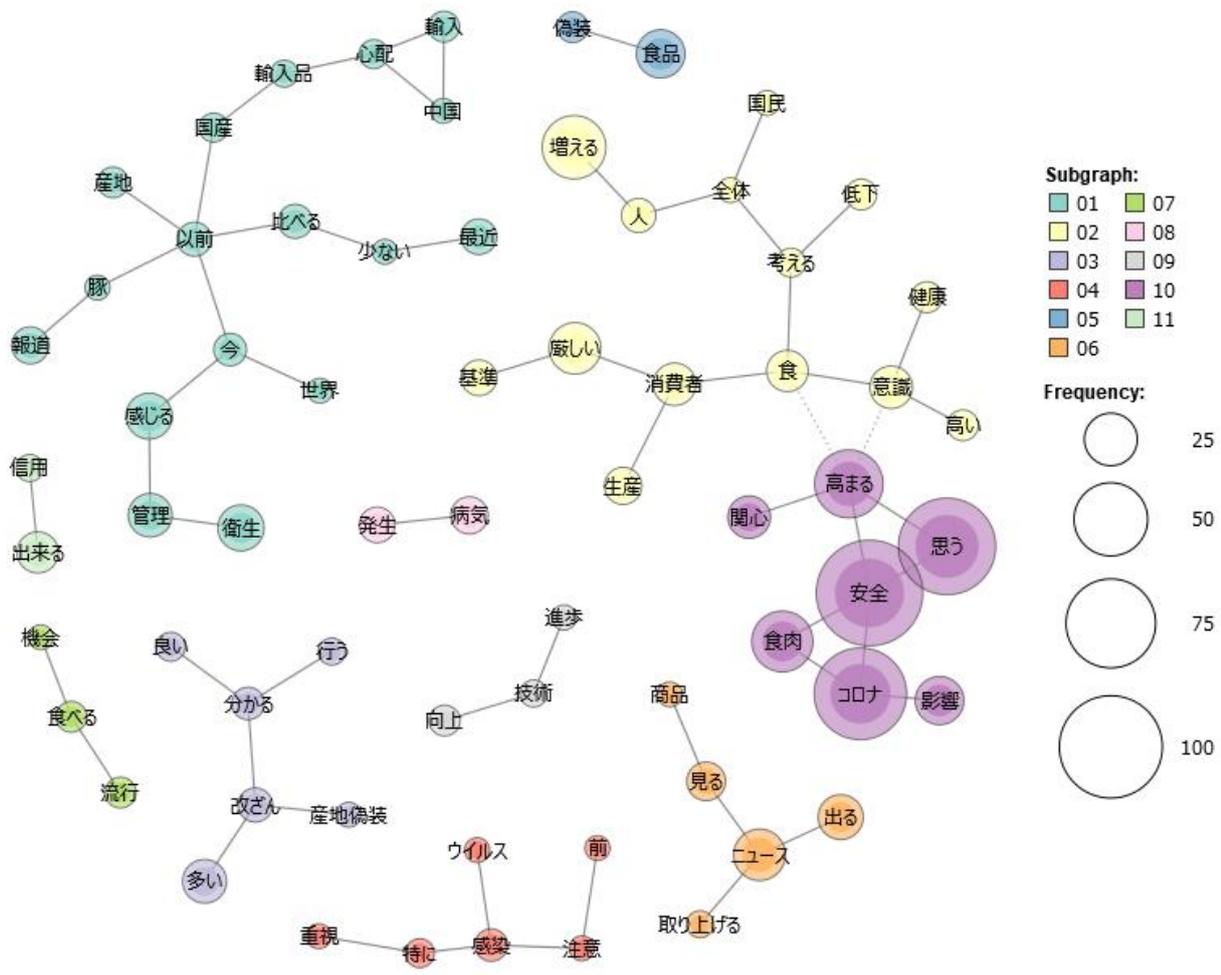
<食肉の安全性の増減についてのテキストマイニング>

Q29 において、昨年の中頃と比べ、食肉の安全性について、「高まっている」「どちらかといえば高まっている」「どちらかといえば低下している」「低下している」と回答した対象者に対して、Q30 にて自由記述でその理由を聞いた。

該当する 790 人中 409 人 (51.8%) の自由記述の回答があり、その中での平均の文字列の長さは 24.7 文字であった。これらの自由記述のデータに対して、単語間の関係性などを把握するためにテキストマイニングを行った。

分析の手順として、『輸入品』などの複合語や、『コロナ』『コロナウイルス』『新型コロナ』などの同義語は、1つの語 (ここでは『コロナ』) にまとめるなどの前処理を行っている。

自由記述の概観と単語間の関係性を見るために、単語間の共起ネットワークを下図に示す。



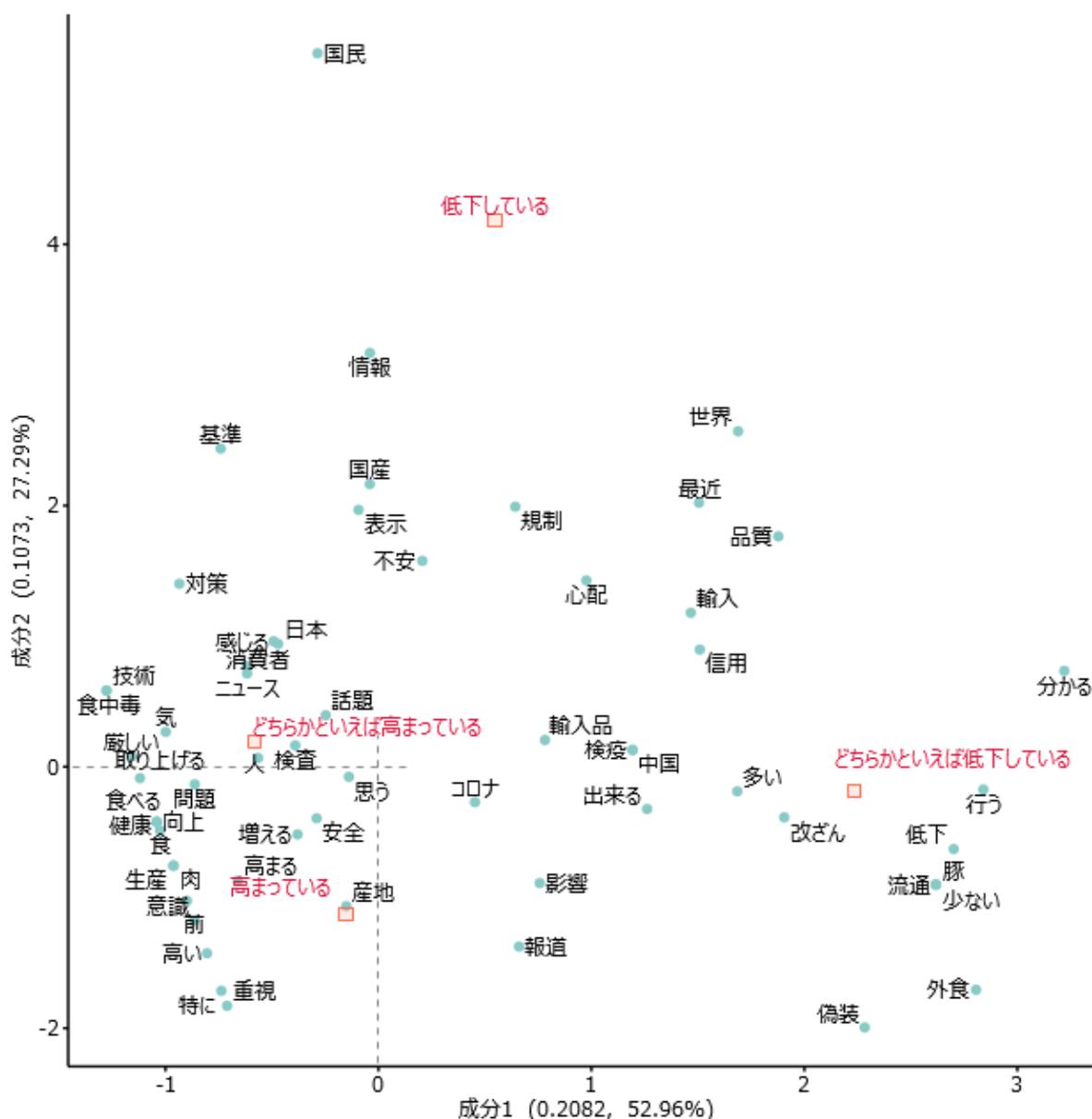
図表 136 食肉の安全性の増減についての共起ネットワーク

共起ネットワークを見ると、『安全』『コロナ』『思う』『高まる』などの頻度の高いグループがあることが分かる。「新型コロナウイルス感染症の流行によって安全性が高まった」などの意見が多く集まっている。具体的には、新型コロナウイルス感染症の流行により、「外食が減少して、家での食事が増え、食材の安全性、産地等への安全性を強く気にするようになった」「食肉に限らず、食への衛生面・安全面も含めて、健康意識が高まった」などの意見があげられた。

他には、『ニュース』を中心に『出る』『見る』や『取り上げる』に結びつきが強いサブグラフ（グループ）では、「ニュースで取り上げられることが多い」という意見、「減少している」という対立する意見が見られた。

『厳しい』と『消費者』の結びつきでは、「消費者の食品に関する目が厳しくなった」などの意見が見られた。

次に Q29 の「高まっている」「どちらかといえば高まっている」「どちらかといえば低下している」「低下している」のグループについて、Q30 の単語の頻度の対応分析を行った。その結果を下図に示す。



図表 137 食肉の安全性の増減と出現単語の対応分析

安全性が「高まっている」または「どちらかといえば高まっている」グループの付近には、『検査』『産地』『話題』『向上』『消費者』『意識』などの名詞があり、「検査技術の向上」「産地のチェックや検査が厳しくなっている」または「消費者意識の向上」という記述があった。

一方、「どちらかといえば低下している」グループ付近には、『改ざん』があり、「偽装を心配している」、 「低下している」グループには、『情報』があり「情報が伝わっていない」などの不満の意見があった。

3) 食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源

①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q31)

- 「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」について情報を得るために用いている主な情報源の TOP3 は、「テレビのニュース・報道番組」「テレビのワイドショー・情報番組」「インターネット上のニュースサイト」。
- 信頼できる情報源も、「テレビのニュース・報道番組」「テレビのワイドショー・情報番組」が TOP2 で、「新聞」「インターネット上のニュースサイト」が続く。

【今年度調査】

「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての情報を得るために用いている主な情報源（上位3つ）は、TOP3 が「テレビのニュース・報道番組」（①77.8%、②61.4%）、「テレビのワイドショー・情報番組」（①32.1%、②30.5%）、「インターネット上のニュースサイト」（①31.0%、②26.9%）。

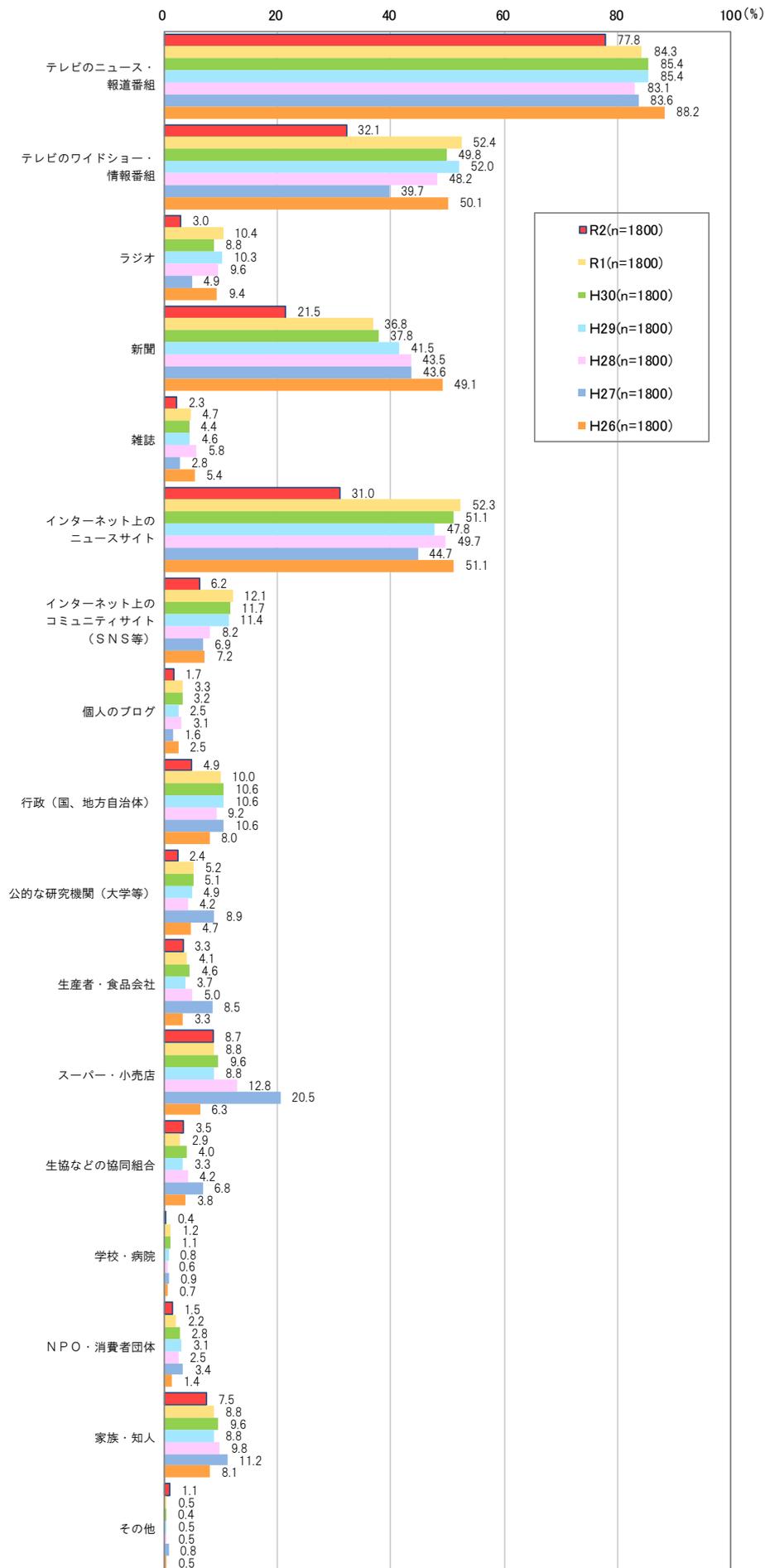
「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての信頼できる情報源（上位3つ）は、TOP3 が「テレビのニュース・報道番組」（①65.2%、②55.9%）、「テレビのワイドショー・情報番組」（①25.2%、②24.1%）、「新聞」（①22.0%、②19.0%）で、僅差で「インターネット上のニュースサイト」（①20.8%、②18.6%）が続く。

※令和2年度は、「主な情報源（上位3つ）：複数回答」として聞いたが、令和元年度以前は「1位」

「2位」「3位」（各SA）で聞いたため、令和元年度以前のデータ（1位・2位・3位の合計比率）は、参考値として図示するにとどめる。

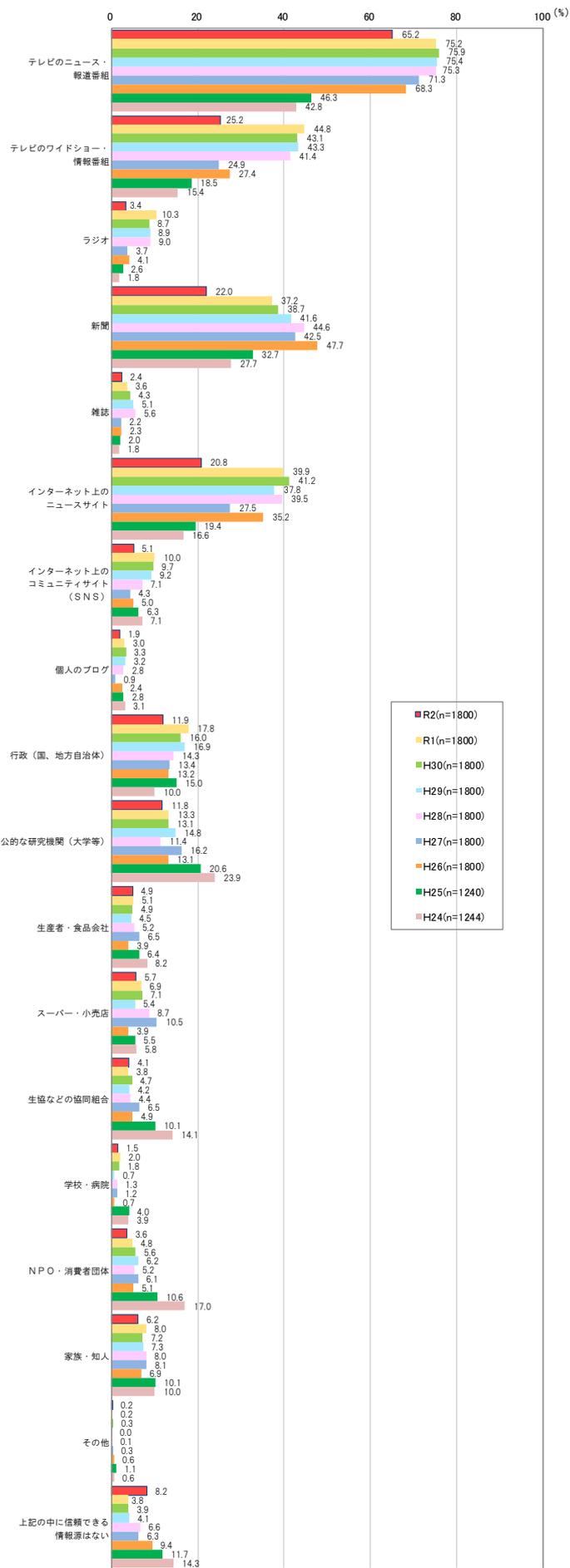


図表 138 食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源
 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能



*令和元年までは1位、2位、3位を選択、令和2年からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった

図表 139 食肉の情報を得るために用いている主な情報源 ①食肉の安全性(経年変化※参考値)



*令和元年までは1位、2位、3位を選択、令和2年からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった

図表 140 信頼できる情報源 ①食肉の安全性 (経年変化※参考値)

4) 各機関の取り組みに対する信頼性 (Q33)

- ▶ 「信頼できる (信頼できる+どちらかといえば信頼できる)」の割合が高かったのは「農林水産省」「畜産農家」「厚生労働省」「地方自治体」。
- ▶ 過年度調査と比較すると、各機関とも、昨年度と比べて「どちらかといえば信頼できる」が増加。

【今年度調査】

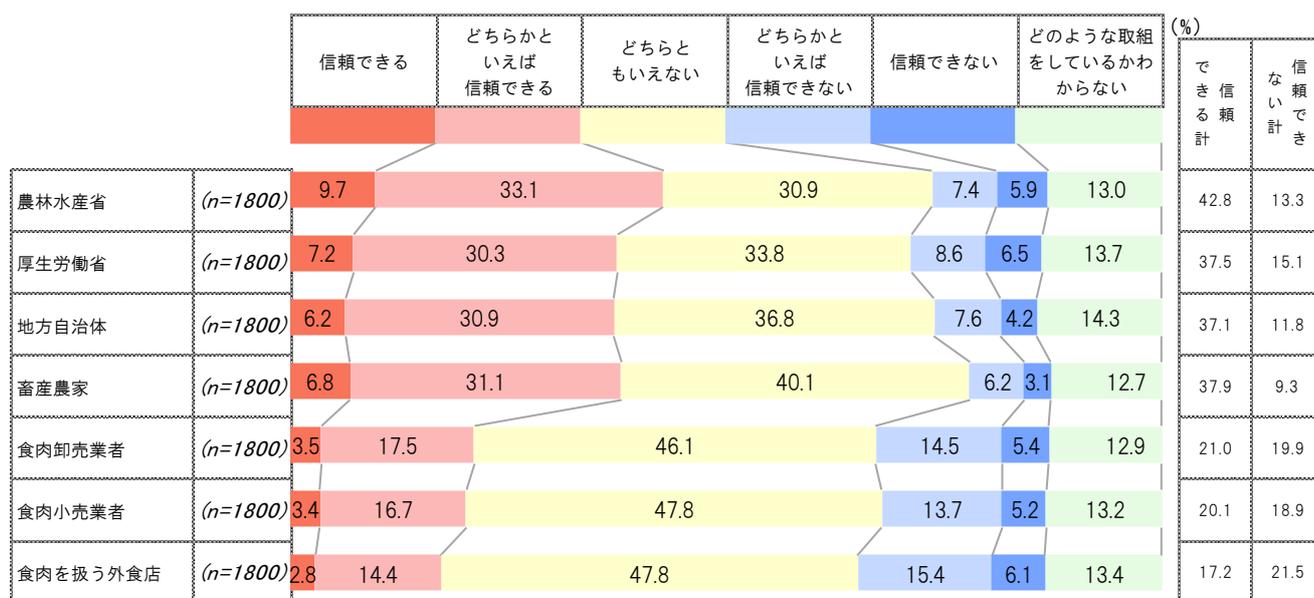
食肉の安全性に関しては、農林水産省、厚生労働省といった国の機関、地方自治体などの機関が様々な取り組みを行っている。各機関の取り組みについて消費者から見た際、どの機関が信用できるか尋ねた。

その結果「信頼できる計 (信頼できる+どちらかといえば信頼できる)」の割合は「農林水産省」が 42.8%、「畜産農家」が 37.9%、「厚生労働省」が 37.5%、「地方自治体」37.1%の順で高い。

逆に「信頼できない計 (信頼できない+どちらかといえば信頼できない)」の割合は、「食肉を扱う外食店」が 21.5%、「食肉卸売業者」が 19.9%、「食肉小売業者」が 18.9%の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、各機関とも、昨年度と比べて「どちらかといえば信頼できる」が増加している。



「信頼できる計」⇒「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」
 「信頼できない計」⇒「どちらかといえば信頼できない」+「信頼できない」

図表 141 各機関の取組に対する信頼性

		信頼できる	どちらかといえば信頼できる	どちらともいえない	どちらかといえば信頼できない	信頼できない	どのような取組をしているかわからない	信頼できる計	信頼できない計
農林水産省	R2 (n=1800)	9.7	33.1	30.9	7.4	5.9	13.0	42.8	13.3
	R1 (n=1800)	9.7	29.5	35.3	7.4	6.4	11.6	39.2	13.8
	H30 (n=1800)	9.1	27.4	33.4	9.3	8.3	12.4	36.5	17.6
	H29 (n=1800)	9.1	30.3	32.4	8.6	7.7	11.9	39.4	16.3
	H28 (n=1800)	7.6	30.4	35.3	8.2	8.3	10.2	38.0	16.5
	H27 (n=1800)	4.1	30.8	42.2	12.9	6.5	3.4	34.9	19.4
	H26 (n=1800)	6.5	32.2	40.0	10.0	5.8	5.6	38.7	15.8
	H25 (n=1240)	5.0	25.2	37.0	15.8	10.7	6.3	30.2	26.5
	H24 (n=1244)	2.1	21.9	36.3	17.8	14.0	8.0	24.0	31.8
厚生労働省	R2 (n=1800)	7.2	30.3	33.8	8.6	6.5	13.7	37.5	15.1
	R1 (n=1800)	8.1	26.8	36.6	9.1	7.3	12.0	34.9	16.4
	H30 (n=1800)	8.5	25.3	34.7	10.0	8.9	12.6	33.8	18.9
	H29 (n=1800)	7.3	29.4	33.6	9.5	8.3	11.8	36.7	17.8
	H28 (n=1800)	6.6	29.7	35.9	8.6	8.9	10.3	36.3	17.5
	H27 (n=1800)	3.9	28.9	42.2	13.3	7.8	3.8	32.8	21.1
	H26 (n=1800)	5.6	30.8	40.6	10.9	6.3	5.7	36.4	17.2
	H25 (n=1240)	4.7	24.0	38.5	15.5	10.7	6.5	28.7	26.2
	H24 (n=1244)	1.4	22.3	34.8	18.1	15.5	7.9	23.7	33.6
地方自治体	R2 (n=1800)	6.2	30.9	36.8	7.6	4.2	14.3	37.1	11.8
	R1 (n=1800)	7.1	27.7	40.5	8.1	4.6	12.1	34.8	12.7
	H30 (n=1800)	7.8	27.7	37.0	8.3	6.2	13.0	35.5	14.5
	H29 (n=1800)	7.1	30.9	36.3	7.8	6.3	11.6	38.0	14.1
	H28 (n=1800)	5.9	27.7	40.1	8.2	7.6	10.6	33.6	15.8
	H27 (n=1800)	3.2	30.9	44.5	12.4	4.9	4.1	34.1	17.3
	H26 (n=1800)	4.3	32.4	44.1	8.9	4.6	5.7	36.7	13.5
	H25 (n=1240)	4.4	28.1	39.8	12.7	8.1	6.9	32.5	20.8
	H24 (n=1244)	2.3	24.5	41.9	13.8	9.3	8.2	26.8	23.1
畜産農家	R2 (n=1800)	6.8	31.1	40.1	6.2	3.1	12.7	37.9	9.3
	R1 (n=1800)	6.6	28.5	42.0	7.6	3.4	11.9	35.1	11.0
	H30 (n=1800)	6.5	27.6	42.2	7.3	4.3	12.1	34.1	11.6
	H29 (n=1800)	6.2	30.2	41.3	6.3	4.4	11.6	36.4	10.7
	H28 (n=1800)	6.4	26.8	43.9	7.2	5.3	10.3	33.2	12.5
	H27 (n=1800)	4.3	29.9	50.3	8.1	3.1	4.3	34.2	11.2
	H26 (n=1800)	4.3	31.3	48.2	7.4	3.1	5.7	35.6	10.5
	H25 (n=1240)	5.3	28.9	43.2	10.1	6.0	6.5	34.2	16.1
	H24 (n=1244)	3.8	28.6	41.2	13.4	5.6	7.4	32.4	19.0

「信頼できる計」⇒「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」
「信頼できない計」⇒「どちらかといえば信頼できない」+「信頼できない」

図表 142 行政・農家の取組に対する信頼性（経年変化）

		信頼できる	どちらかといえば信頼できる	どちらともいえない	どちらかといえば信頼できない	信頼できない	どのような取組をしているかわからない	%	
								できる信頼計	信頼できない計
食肉卸売業者	R2 (n=1800)	3.5	17.5	46.1	14.5	5.4	12.9	21.0	19.9
	R1 (n=1800)	4.2	16.2	45.9	14.1	7.1	12.5	20.4	21.2
	H30 (n=1800)	3.4	14.8	45.4	15.9	8.2	12.2	18.2	24.1
	H29 (n=1800)	3.2	15.7	44.8	15.6	8.8	11.8	18.9	24.4
	H28 (n=1800)	2.7	13.8	44.1	17.9	10.5	11.0	16.5	28.4
	H27 (n=1800)	1.6	12.4	52.0	22.2	7.2	4.6	14.0	29.4
	H26 (n=1800)	1.0	11.8	51.5	21.6	7.9	6.2	12.8	29.5
	H25 (n=1240)	1.9	11.0	44.3	24.2	11.7	6.9	12.9	35.9
	H24 (n=1244)	0.7	8.8	42.2	27.7	12.9	7.6	9.5	40.6
食肉小売業者	R2 (n=1800)	3.4	16.7	47.8	13.7	5.2	13.2	20.1	18.9
	R1 (n=1800)	3.9	15.6	47.8	13.2	6.7	12.8	19.5	19.9
	H30 (n=1800)	3.4	15.4	45.1	16.6	7.1	12.5	18.8	23.7
	H29 (n=1800)	3.0	15.8	46.3	14.4	8.8	11.7	18.8	23.2
	H28 (n=1800)	2.5	14.4	46.2	16.8	9.0	11.1	16.9	25.8
	H27 (n=1800)	1.4	12.7	54.5	20.3	6.6	4.5	14.1	26.9
	H26 (n=1800)	1.1	12.3	53.3	19.7	7.2	6.3	13.4	26.9
	H25 (n=1240)	1.9	10.8	46.9	22.9	10.7	6.9	12.7	33.6
	H24 (n=1244)	0.9	10.0	44.7	25.7	10.9	7.7	10.9	36.6
食肉を扱う外食店	R2 (n=1800)	2.8	14.4	47.8	15.4	6.1	13.4	17.2	21.5
	R1 (n=1800)	3.3	12.7	46.5	16.4	8.2	12.9	16.0	24.6
	H30 (n=1800)	2.8	12.8	44.1	18.6	8.7	13.1	15.6	27.3
	H29 (n=1800)	2.5	12.5	45.0	17.0	10.7	12.3	15.0	27.7
	H28 (n=1800)	1.8	11.8	45.2	18.6	11.2	11.4	13.6	29.8
	H27 (n=1800)	0.9	9.7	51.8	23.2	9.7	4.7	10.6	32.9
	H26 (n=1800)	0.7	8.2	47.7	24.2	12.1	7.1	8.9	36.3
	H25 (n=1240)	1.0	8.1	44.6	25.0	14.4	6.9	9.1	39.4
	H24 (n=1244)	0.5	8.8	43.9	26.5	12.3	8.0	9.3	38.8

「信頼できる計」⇒「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」
「信頼できない計」⇒「どちらかといえば信頼できない」+「信頼できない」

図表 143 民間事業者などの取組に対する信頼性（経年変化）

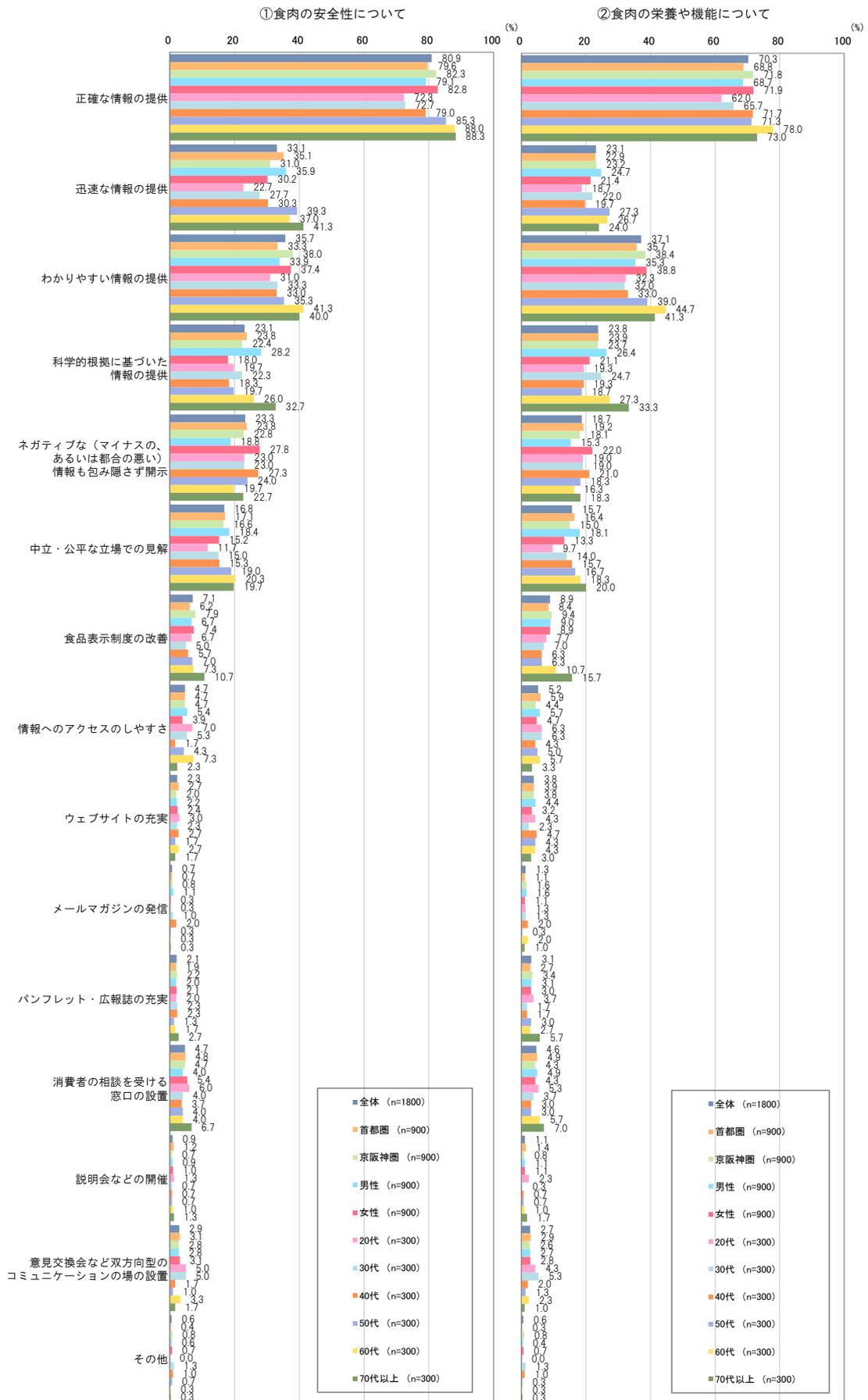
5) 食肉の情報提供に対する行政への期待 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q34)

➤ 「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての情報提供において、行政に期待することの TOP3 は、「正確な情報の提供」「わかりやすい情報の提供」「迅速な情報の提供」。

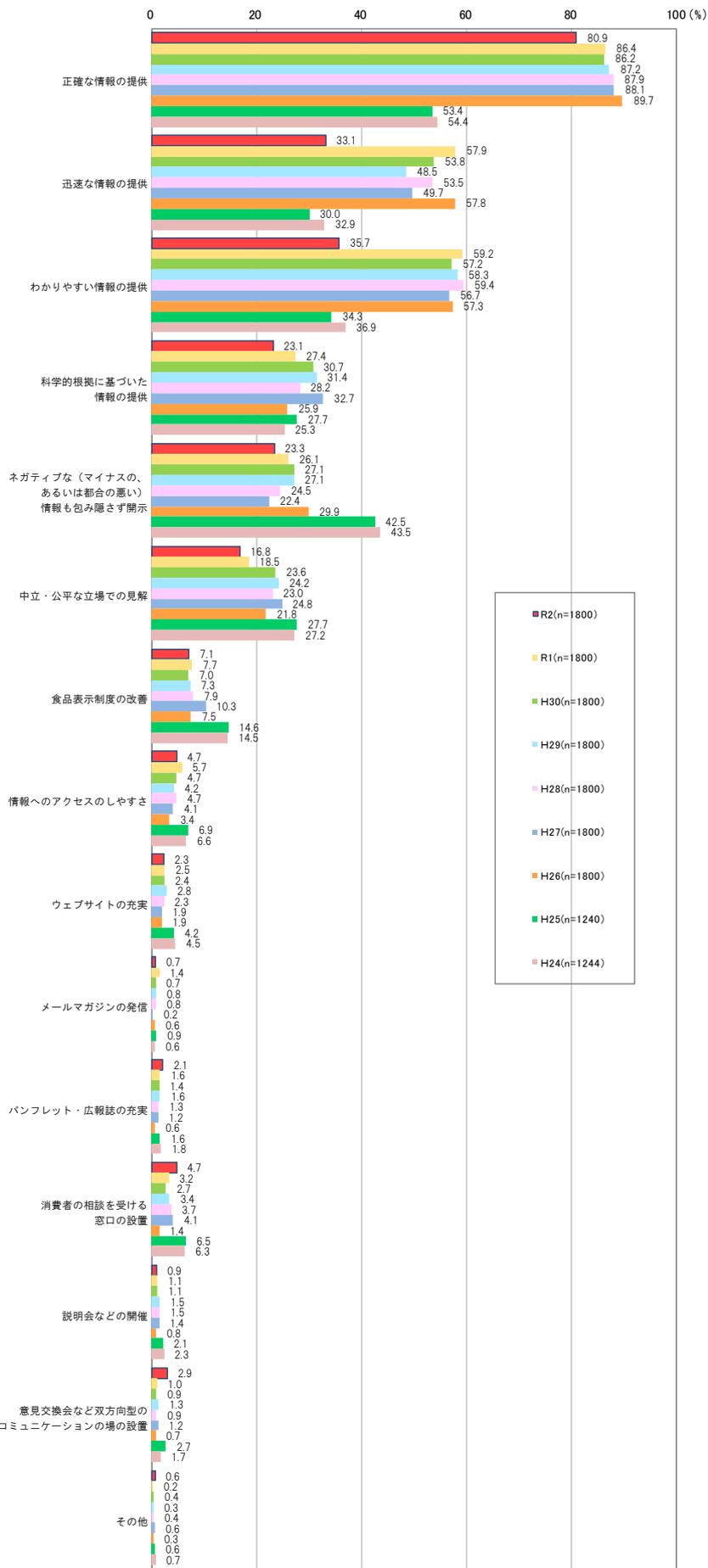
【今年度調査】

「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての情報提供において、行政に期待すること（上位3つ）は、TOP3 が「正確な情報の提供」（①80.9%、②70.3%）、「わかりやすい情報の提供」（①35.7%、②37.1%）、「迅速な情報の提供」（①33.1%、②23.1%）。

※令和2年度は、「行政に期待すること（上位3つ）：複数回答」として聞いたが、令和元年度以前は「1位」「2位」「3位」（各SA）で聞いたため、令和元年度以前のデータ（1位・2位・3位の合計比率）は、参考値として図示するにとどめる。



図表 144 情報提供に対する行政への期待



*令和元年までは1位、2位、3位を選択、令和2年からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった

図表 145 情報提供に対する行政への期待（経年変化※参考値）

5. ジビエに関する意識調査

1) 「ジビエ」の定義の認知度 (Q41)

- 「ジビエ」の定義の認知度計（「詳しく知っている」＋「ある程度知っている」＋「なんとなく知っている」）は、全体の 56.4%。
- 過年度調査と比較すると、「認知度計」が増加。

【今年度調査】

「ジビエ」の定義の説明文を提示して聞いた認知度は、「詳しく知っている」が 3.4%、「ある程度知っている」が 24.1%、「何となく知っている」が 28.9% で、認知度計（「詳しく知っている」＋「ある程度知っている」＋「何となく知っている」）は全体の 56.4%。

エリア別に認知度計を見ると、首都圏が 56.2%、京阪神圏が 56.7% で違いは見られない。

性別に認知度計を見ると、男性が 59.9%、女性が 53.0% と男性の方が高い。

年代別に認知度計を見ると、70 代以上が 64.7%、60 代が 63.7% と高くなっている。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、認知度計が昨年度 52.8% から今年度 56.4% と増加している。

※平成 29 年度は「知らない」で聞いたが、平成 30 年度以降は「あまりよく知らない」「知らない」「全く知らない」の三択で聞いたため、平成 29 年度のデータは参考値として図示するにとどめる。

ジビエとは、狩猟で得た野生鳥獣肉を意味する言葉(フランス語)です。

ヨーロッパでは、貴族の伝統料理の食材として利用され、古くからジビエ料理文化が発展してきました。

日本で有名なジビエは、シカやイノシシがあげられます。他にも、狩猟の対象となっている野生鳥獣の肉(野ウサギ、山鳩、鴨、キジ等)は全てジビエとして定義されます。

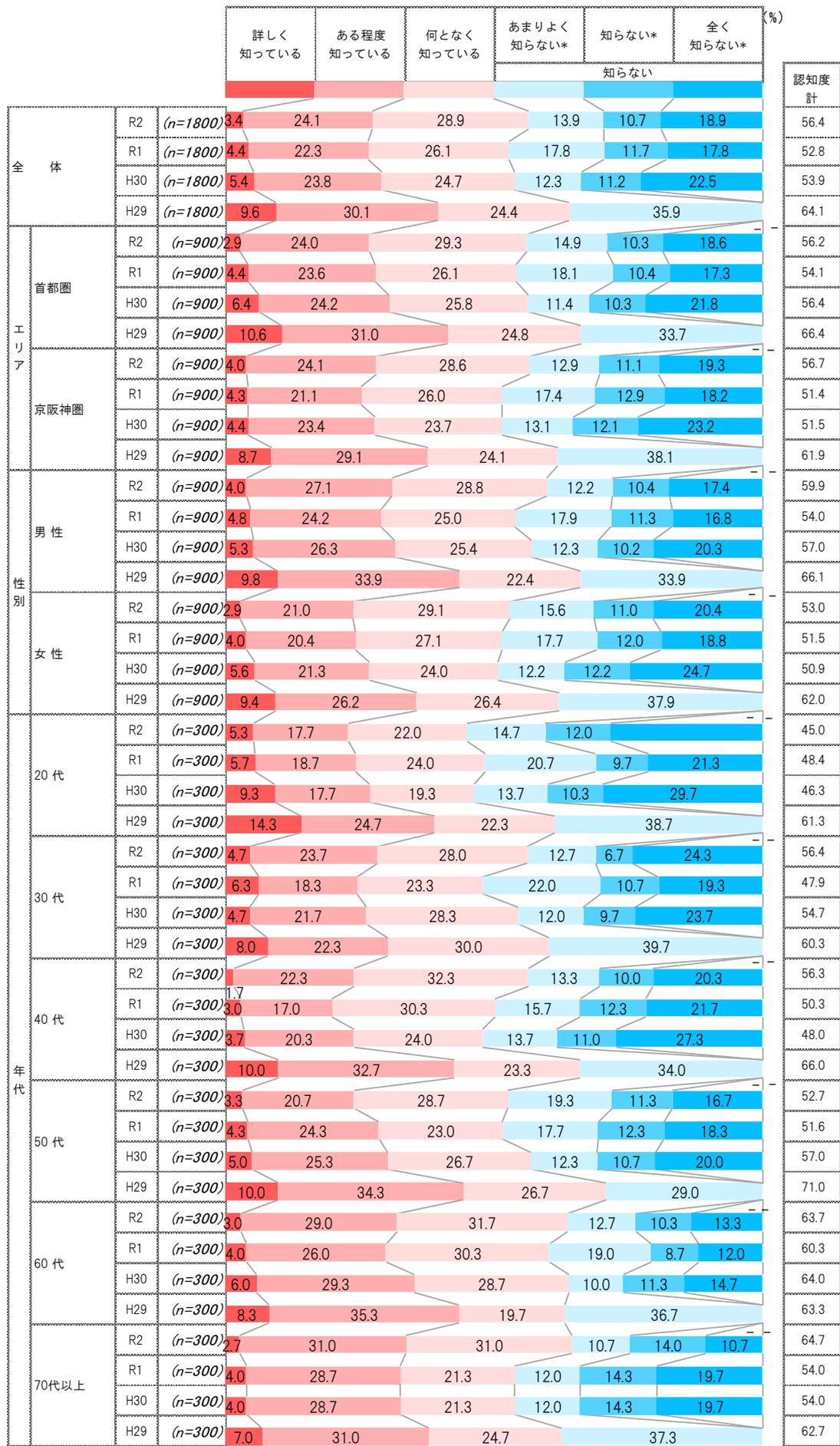
図表 146 提示説明文

			詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまりよく 知らない*	知らない*	全く 知らない*	(%)
						知らない			
全	体	(n=1800)	3.4	24.1	28.9	13.9	10.7	18.9	56.4
エ リ ア	首都圏	(n=900)	2.9	24.0	29.3	14.9	10	18.6	56.2
	京阪神圏	(n=900)	4.0	24.1	28.6	12.9	11.1	19.3	56.7
性 別	男性	(n=900)	4.0	27.1	28.8	12.2	10	17.4	59.9
	女性	(n=900)	2.9	21.0	29.1	15.6	11.0	20.4	53.0
年 代	20代	(n=300)	5.3	17.7	22.0	14.7	12	28.3	45.0
	30代	(n=300)	4.7	23.7	28.0	12.7	6.7	24.3	56.4
	40代	(n=300)	1.7	22.3	32.3	13.3	10	20.3	56.3
	50代	(n=300)	3.3	20.7	28.7	19.3	11.3	16.7	52.7
	60代	(n=300)	3.0	29.0	31.7	12.7	10.3	13.3	63.7
	70代以上	(n=300)	2.7	31.0	31.0	10.7	14.0	10.7	64.7

*平成30年より新規項目

認知度計⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「何となく知っている」

図表 147 「ジビエ」の定義の認知度



*平成30年より新規項目

認知度計⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「何となく知っている」

図表 148 「ジビエ」の定義の認知度（経年変化）

2) 「ジビエ」の喫食頻度 (Q38)

- ▶ 「ジビエ」の喫食頻度は「食べたことがない計」が58.3%だが、そのうち「食べたことがないが、今後食べてみたい」が21.2%。「年に1日以上計」が16.1%
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向。

【今年度調査】

「ジビエ（主にシカとイノシシ）」の喫食頻度は、「食べたことがなく、今後も食べたいと思わない」が35.4%、「食べたことがないが、今後食べてみたい」が22.9%で、合わせて「食べたことがない計」が58.3%である。「年に1日以上計」が15.0%である。

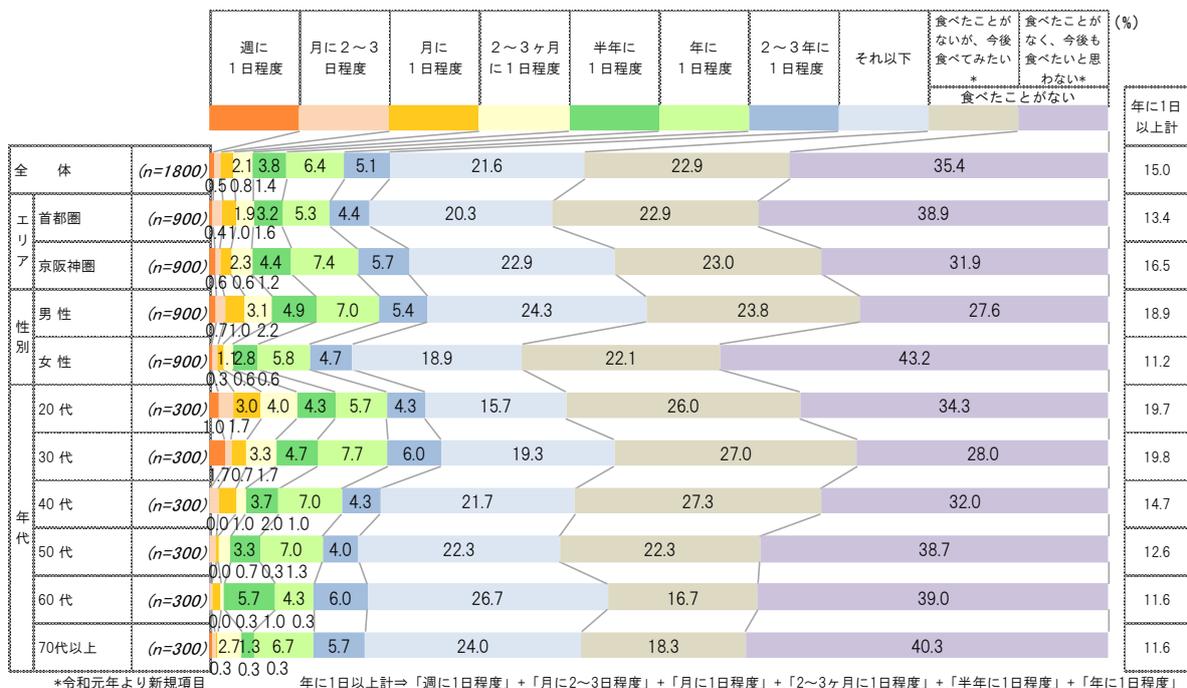
エリア別に見ると、「年に1日以上計」は、首都圏が13.4%、京阪神圏が16.5%で、首都圏より京阪神圏の方が多い。

性別に見ると、「年に1日以上計」は、男性が18.9%、女性が11.2%で、女性より男性の方が多い。

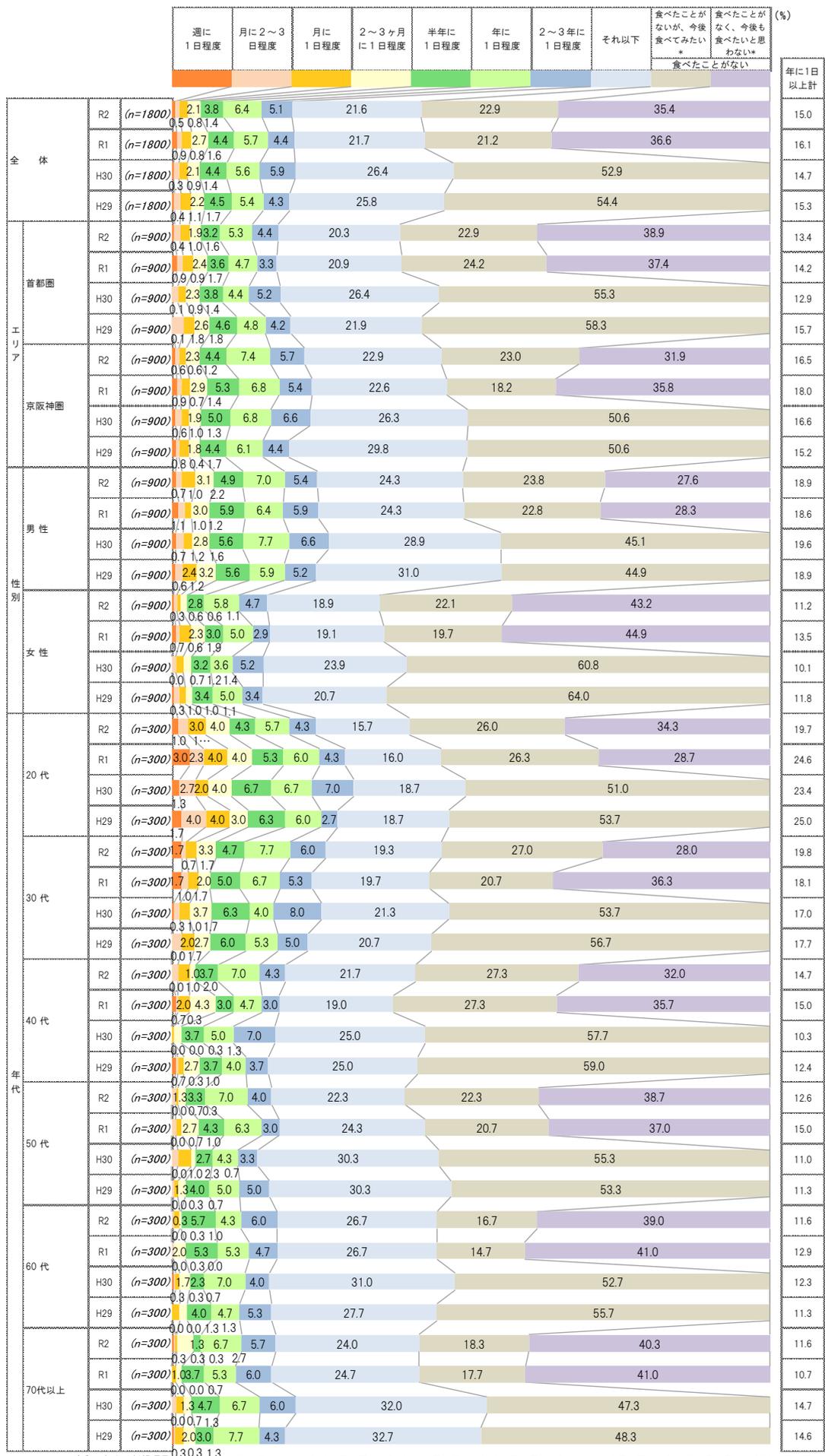
年代別に見ると、「年に1日以上計」は20代で19.7%、30代で19.8%と多い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向であるが、20代では「年に1日以上計」が昨年度の24.6%から今年度19.7%と減少している。



図表 149 「ジビエ」の喫食頻度



*令和元年より新規項目 年1日以上計⇒「週に1日程度」+「月に2~3日程度」+「月に1日程度」+「2~3ヶ月に1日程度」+「半年に1日程度」+「年に1日程度」

図表 150 「ジビエ」の喫食頻度（経年変化）

3) 「ジビエ」について知っている事柄と魅力を感じる事柄 (Q39)

- ▶ 「ジビエ」について認知している事柄は、「ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる」「野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている」「ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するので、季節感が感じられる」「鹿肉バーガー、ジビエカレー、ジビエ丼など手軽に食べられる」が高い。「国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている」は6.9%とあまり認知されていない。
- ▶ 「ジビエ」について魅力を感じる事柄も、「ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる」が最も高い。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向。

【今年度調査】

「ジビエ（主にシカとイノシシ）」について知っている事柄（複数回答）は、「ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる」が28.8%で最も高く、次いで「野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている」が21.8%、「ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するので、季節感が感じられる」が20.6%、「鹿肉バーガー、ジビエカレー、ジビエ丼など手軽に食べられる」が18.1%と高くなっている。

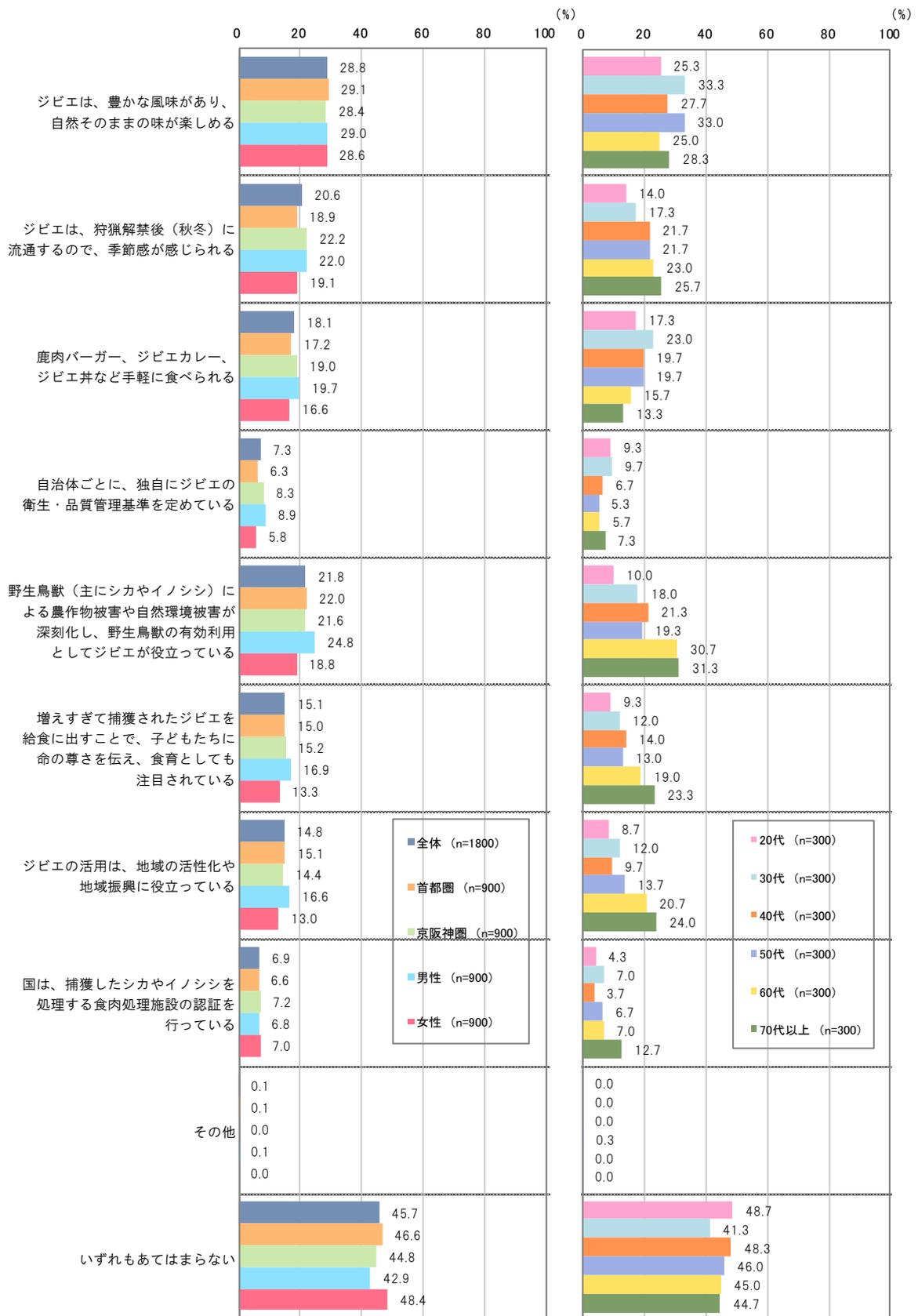
「国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている」は6.9%とまだあまり認知されてはいない。

「ジビエ（主にシカとイノシシ）」について魅力を感じる事柄（複数回答）は、「ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる」が20.8%で最も高く、次いで「野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている」が14.5%、「ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するので、季節感が感じられる」と「鹿肉バーガー、ジビエカレー、ジビエ丼など手軽に食べられる」がともに11.9%、「増えすぎて捕獲されたジビエを給食に出すことで、子どもたちに命の尊さを伝え、食育としても注目されている」が10.9%と高くなっている。

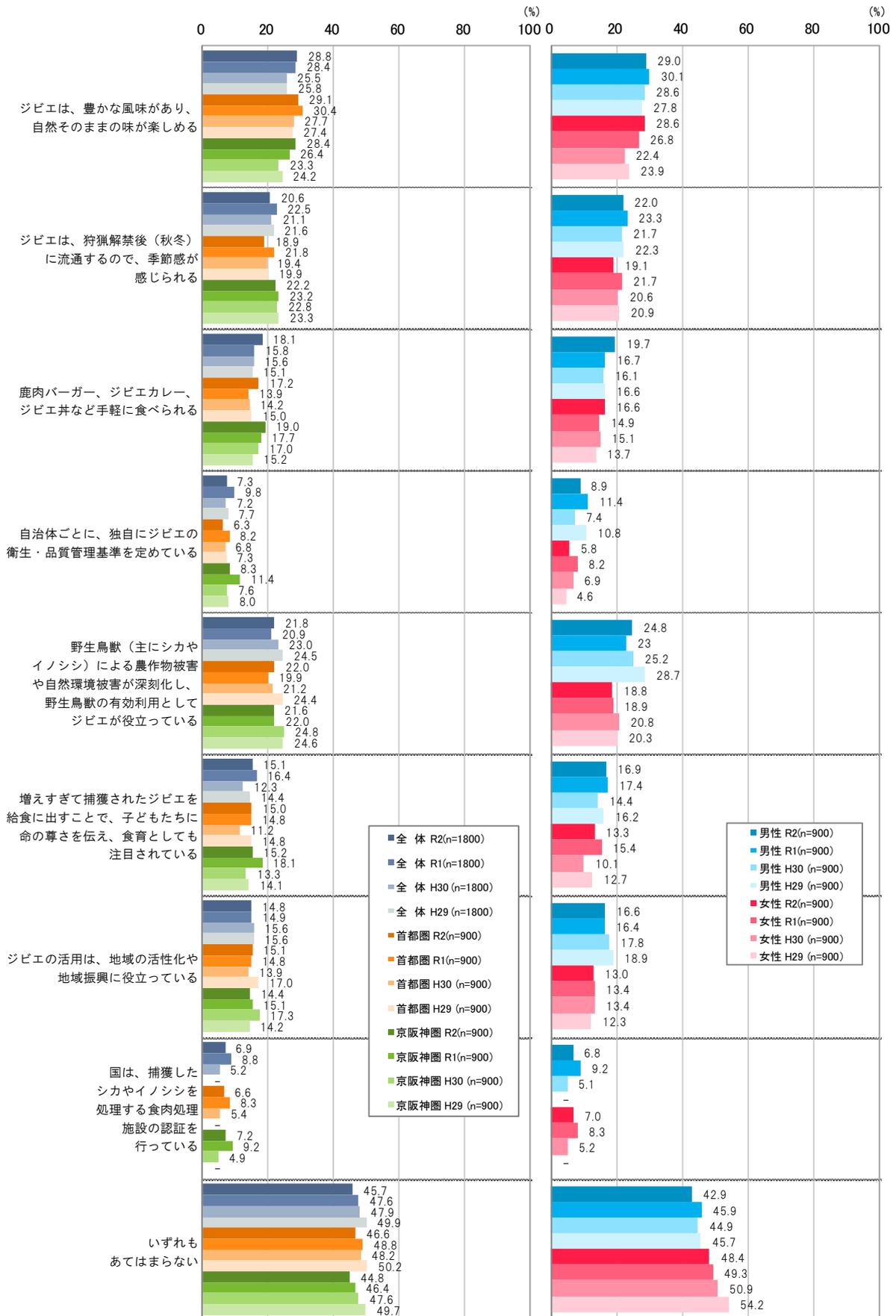
「国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている」は、認知度と同様、魅力度も5.1%と高くない。

【過年度調査との比較】

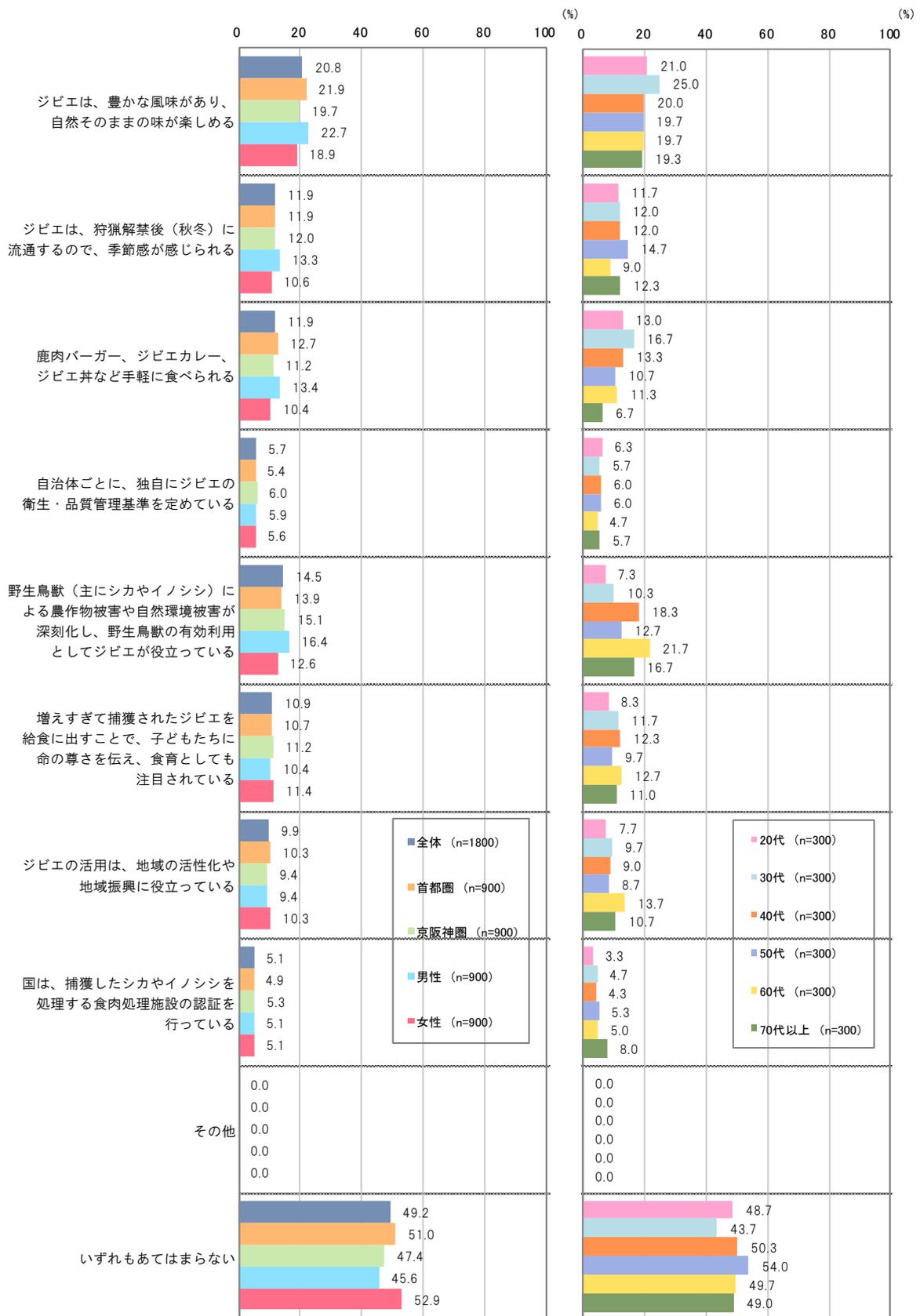
過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向である、



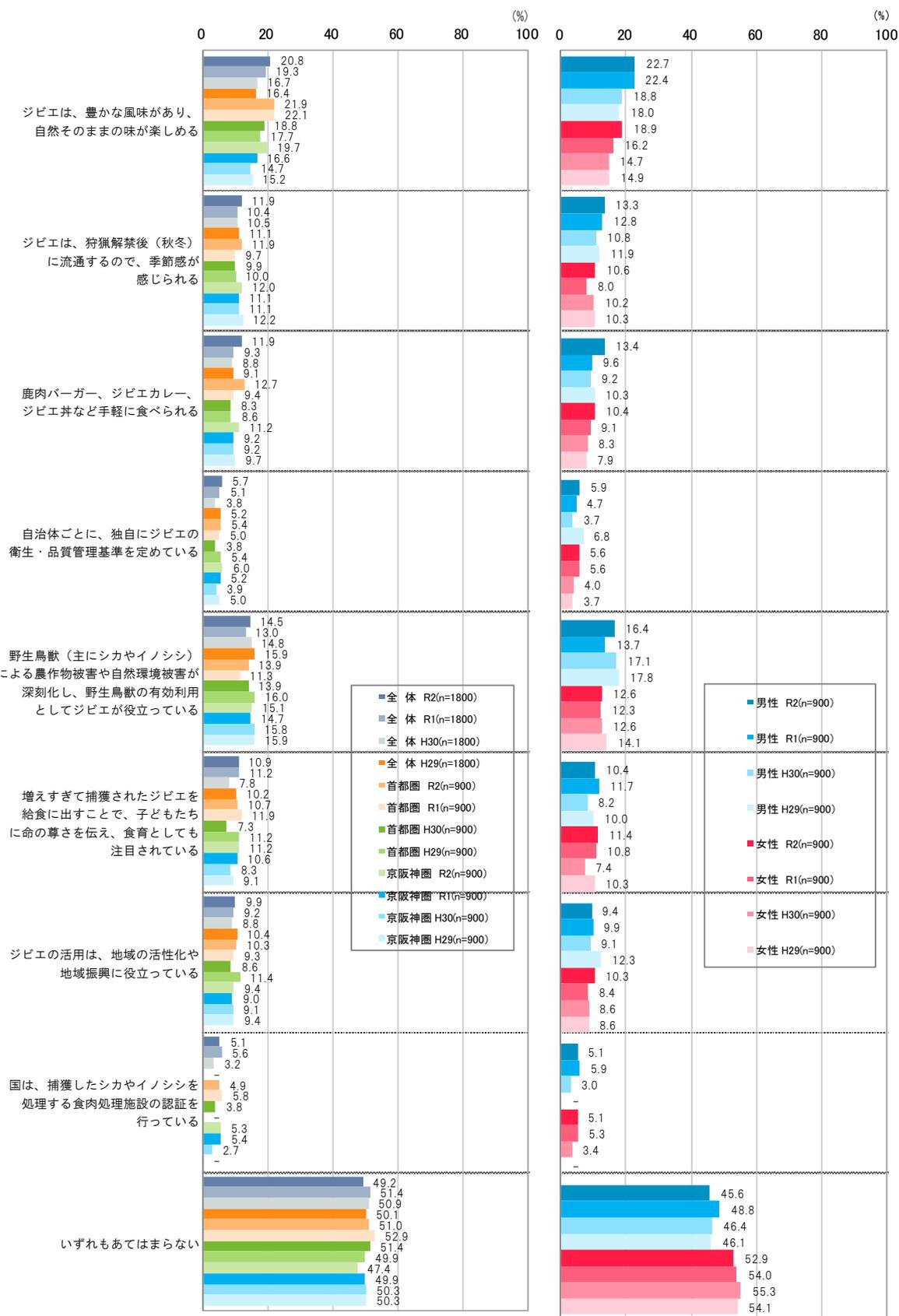
図表 151 「ジビエ（主にシカとイノシシ）」の知っている事柄



図表 152 「ジビエ（主にシカとイノシシ）」の知っている事柄（経年変化）



図表 153 「ジビエ（主にシカとイノシシ）」の魅力を感じる事柄



図表 154 「ジビエ（主にシカとイノシシ）」の魅力を感じる事柄（経年変化）

		知っている事柄							魅力を感じる事柄						
		全体	年代						全体	年代					
		(n=1800)	20代 (n=300)	30代 (n=300)	40代 (n=300)	50代 (n=300)	60代 (n=300)	70代以上 (n=300)	(n=1800)	20代 (n=300)	30代 (n=300)	40代 (n=300)	50代 (n=300)	60代 (n=300)	70代以上 (n=300)
ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる	R2	28.8	25.3	33.3	27.7	33.0	25.0	28.3	20.8	21.0	25.0	20.0	19.7	19.7	19.3
	R1	28.4	32.0	28.0	29.3	30.0	26.0	25.3	19.3	31.3	18.7	17.0	20.7	14.3	14.0
	H30	25.5	29.7	31.0	18.7	24.0	27.0	22.7	16.7	24.0	20.7	12.7	17.0	12.7	13.3
	H29	25.8	27.7	24.3	26.3	30.0	24.7	22.0	16.4	20.0	17.7	18.3	15.7	14.3	12.7
ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するので、季節感が感じられる	R2	20.6	14.0	17.3	21.7	21.7	23.0	25.7	11.9	11.7	12.0	12.0	14.7	9.0	12.3
	R1	22.5	18.0	21.0	20.3	22.0	28.3	25.3	10.4	11.7	10.0	11.0	9.0	10.3	10.3
	H30	21.1	20.0	17.0	18.3	22.0	25.0	24.3	10.5	13.7	10.7	12.3	8.7	8.7	9.0
	H29	21.6	23.0	17.7	17.7	25.0	21.7	24.7	11.1	13.7	10.0	11.7	12.0	10.3	9.0
鹿肉バーガー、ジビエカレー、ジビエ丼など手軽に食べられる	R2	18.1	17.3	23.0	19.7	19.7	15.7	13.3	11.9	13.0	16.7	13.3	10.7	11.3	6.7
	R1	15.8	16.3	17.3	17.3	15.7	15.7	12.3	9.3	13.7	12.7	11.3	8.3	5.3	4.7
	H30	15.6	15.3	18.3	16.0	14.0	15.0	15.0	8.8	13.7	12.0	9.0	6.7	4.7	6.7
	H29	15.1	14.7	16.3	15.7	18.7	14.0	11.3	9.1	13.0	10.0	10.7	11.0	2.7	7.3
自治体ごとに、独自にジビエの衛生・品質管理基準を定めている	R2	7.3	9.3	9.7	6.7	5.3	5.7	7.3	5.7	6.3	5.7	6.0	6.0	4.7	5.7
	R1	9.8	12.0	8.3	7.3	10.0	10.7	10.7	5.1	9.0	4.7	5.7	1.3	5.7	4.3
	H30	7.2	5.7	7.3	5.0	8.0	6.0	11.0	3.8	4.3	4.0	2.7	5.7	4.0	2.3
	H29	7.7	11.3	5.3	5.7	7.0	7.3	9.3	5.2	10.3	3.7	6.0	1.7	3.0	6.7
野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている	R2	21.8	10.0	18.0	21.3	19.3	30.7	31.3	14.5	7.3	10.3	18.3	12.7	21.7	16.7
	R1	20.9	14.7	16.0	18.3	23.3	27.3	26.0	13.0	11.0	10.7	11.3	15.0	16.3	13.7
	H30	23.0	15.3	16.0	20.7	20.3	33.0	32.7	14.8	12.0	10.7	14.3	12.7	19.7	19.7
	H29	24.5	20.7	18.3	20.3	27.3	28.0	32.3	15.9	13.7	15.0	16.0	14.7	17.0	19.3
増えすぎて捕獲されたジビエを給食に出すことで、子どもたちに命の尊さを伝え、食育としても注目されている	R2	15.1	9.3	12.0	14.0	13.0	19.0	23.3	10.9	8.3	11.7	12.3	9.7	12.7	11.0
	R1	16.4	13.0	14.3	13.3	16.7	21.0	20.3	11.2	10.7	11.7	9.0	10.3	11.3	14.3
	H30	12.3	9.3	10.3	9.7	10.0	16.7	17.7	7.8	10.0	8.7	6.3	3.3	8.0	10.7
	H29	14.4	13.7	10.3	11.0	15.7	18.0	18.0	10.2	14.0	8.0	10.7	9.7	9.0	9.7
ジビエの活用は、地域の活性化や地域振興に役立っている	R2	14.8	8.7	12.0	9.7	13.7	20.7	24.0	9.9	7.7	9.7	9.0	8.7	13.7	10.7
	R1	14.9	12.0	11.7	11.7	16.0	18.3	20.0	9.2	10.0	7.3	8.0	8.3	8.3	13.0
	H30	15.6	7.3	7.3	10.7	14.3	24.0	30.0	8.8	8.3	5.3	7.3	8.7	8.7	14.7
	H29	15.6	10.7	10.0	12.7	15.3	20.0	25.0	10.4	9.7	6.7	12.0	9.7	11.0	13.7
国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている	R2	6.9	4.3	7.0	3.7	6.7	7.0	12.7	5.1	3.3	4.7	4.3	5.3	5.0	8.0
	R1	8.8	7.7	5.7	5.3	6.7	14.3	13.0	5.6	7.7	3.3	3.7	4.0	5.7	9.3
	H30	5.2	4.7	2.7	3.0	4.3	7.3	9.0	3.2	5.3	3.0	2.3	2.3	4.0	2.3
	H29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
いずれもあてはまらない	R2	45.7	48.7	41.3	48.3	46.0	45.0	44.7	49.2	48.7	43.7	50.3	54.0	49.7	49.0
	R1	47.6	43.0	48.7	47.7	50.7	47.3	48.3	51.4	40.7	51.3	52.7	55.7	54.0	54.0
	H30	47.9	46.0	47.3	55.0	50.0	42.7	46.3	50.9	45.7	49.3	57.3	53.3	51.0	48.7
	H29	49.9	50.3	51.7	50.0	45.3	48.3	54.0	50.1	46.0	49.7	47.7	50.7	51.0	55.7

30%以上 20%以上

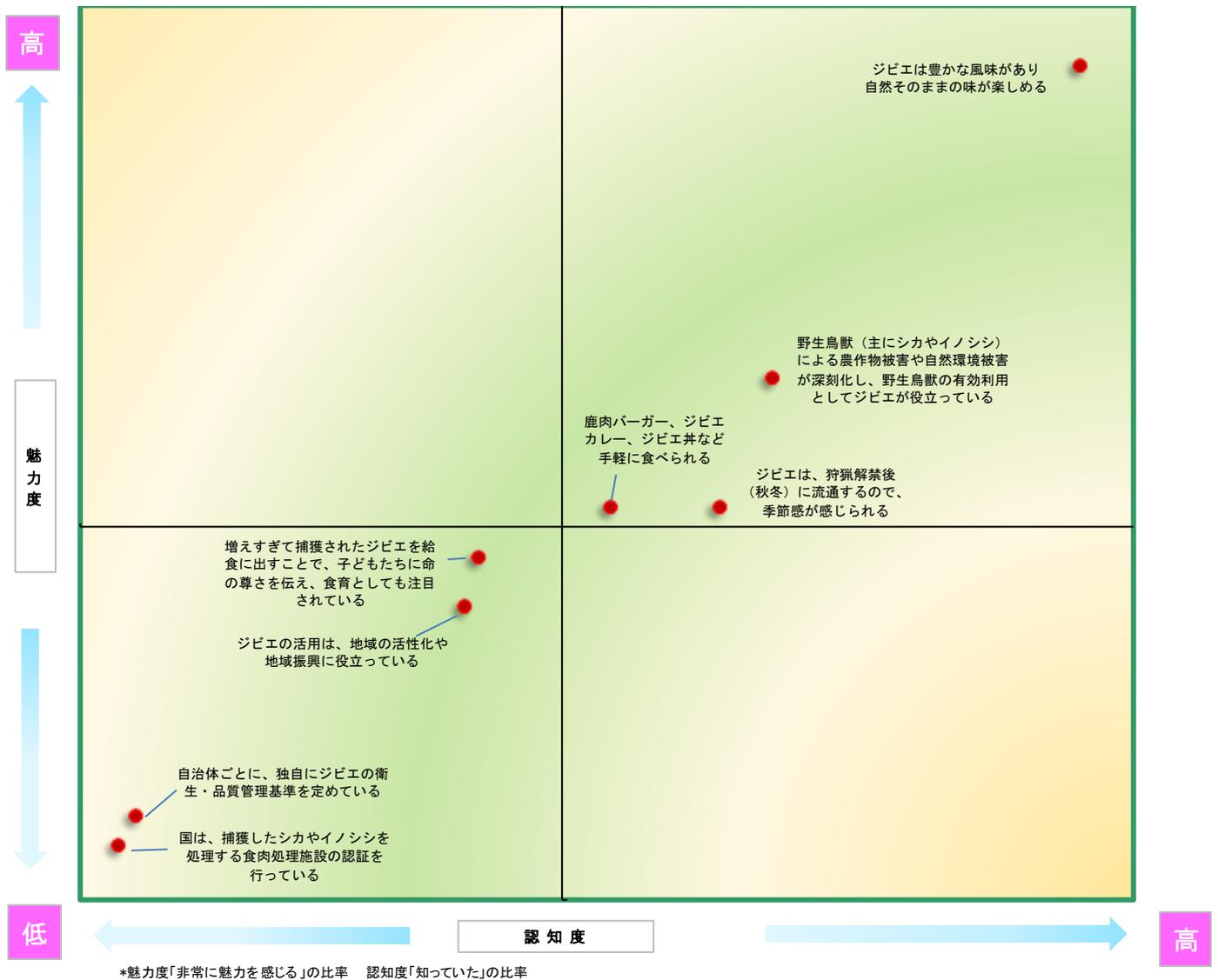
図表 155 「ジビエ（主にシカとイノシシ）」の知っている事柄・魅力を感じる事柄（年代別経年変化）

「ジビエ（主にシカとイノシシ）」について知っている事柄を横軸、魅力に感じる事柄を縦軸に、プロット図にまとめた。

認知度・魅力度ともに高い事柄は、「ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる」「野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている」である。

一方、認知度は高めだが魅力度が低い事柄は、「ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するので、季節感が感じられる」である。

「自治体ごとに、独自にジビエの衛生・品質管理基準を定めている」「国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている」は、認知度・魅力度ともに低い事柄となっており、引き続き今後の課題である。



図表 156 「ジビエ（主にシカとイノシシ）」の知っている事柄×魅力に感じる事柄

4) 「ジビエ」の認証マークの認知度 (Q40)

- ▶ 「ジビエ」の認証マークを見たことがある計は、全体の10.0%（「確かに見たことがある」2.1%＋「見たことがあるような気がする」7.9%）。「マークがあることは知っているが見たことはない」も含めた認知度は18.8%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、認知度計は昨年度に比べて減少。

【今年度調査】

「ジビエ（主にシカ肉・イノシシ肉）」の認証マークと説明文を提示して聞いた認知度は、「確かに見たことがある」が2.1%、「見たことがあるような気がする」が7.9%で、見たことがある計は全体の10.0%となっている。「マークがあることは知っているが見たことはない」までを含めた認知度計は18.8%である。エリア別に見ても、認知度の大きな違いは見られない。

性別に認知度計を見ると、男性が23.4%、女性が14.4%と男性の方が高い。年代別に認知度計を見ると、20代は27.7%と高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、認知度計は昨年度に比べて減少し、一昨年水準となった。

日本では、近年、野生鳥獣による農作物被害が深刻化しているため、増え過ぎた野生動物の捕獲を積極的に実施しており、効果的に進めていくために、野生動物の有効利用（食肉化・ジビエ）が考えられるようになりました。

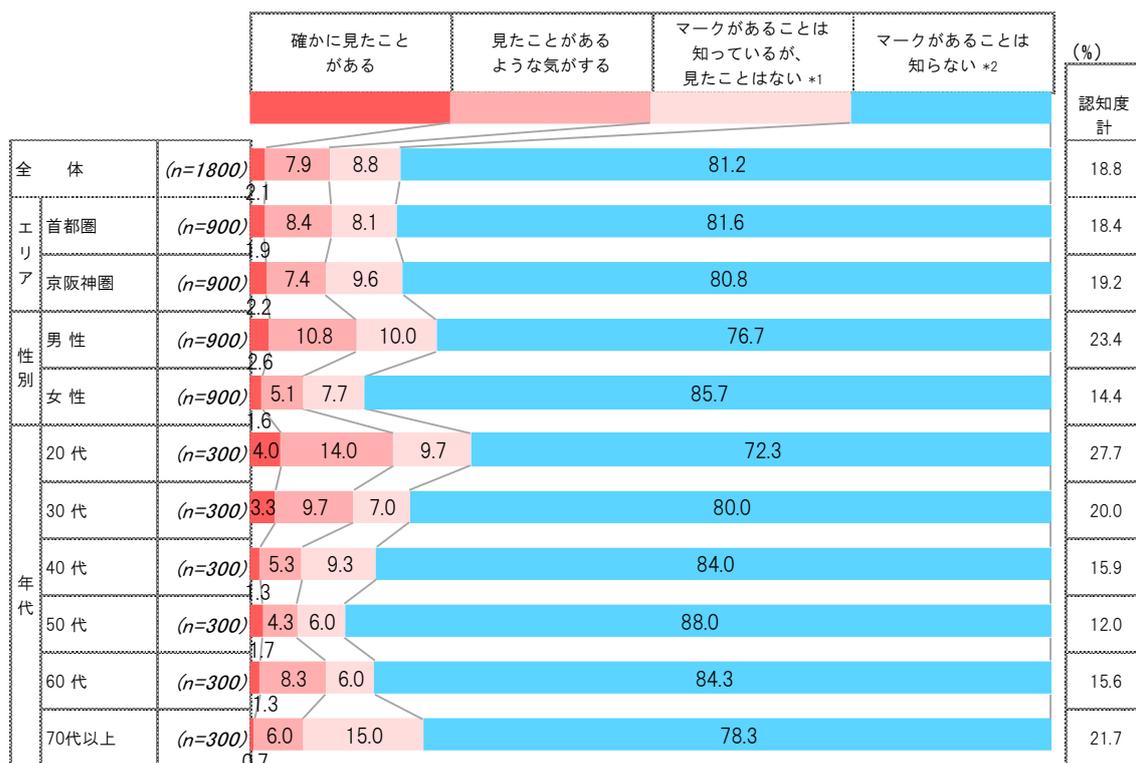
自治体ごとに、独自にジビエ（主にシカとイノシシ）の衛生・品質管理基準を定めており、食用に適すると認証した肉には下記のようなマークを与えています。



なお、農林水産省は平成30年度より「国産ジビエ認証制度」を制定しました。認証事業者が認証を受けた食肉処理施設で生産したジビエ製品には、下記の認証マークを表示することができます。



図表 157 提示説明文及び認証マーク

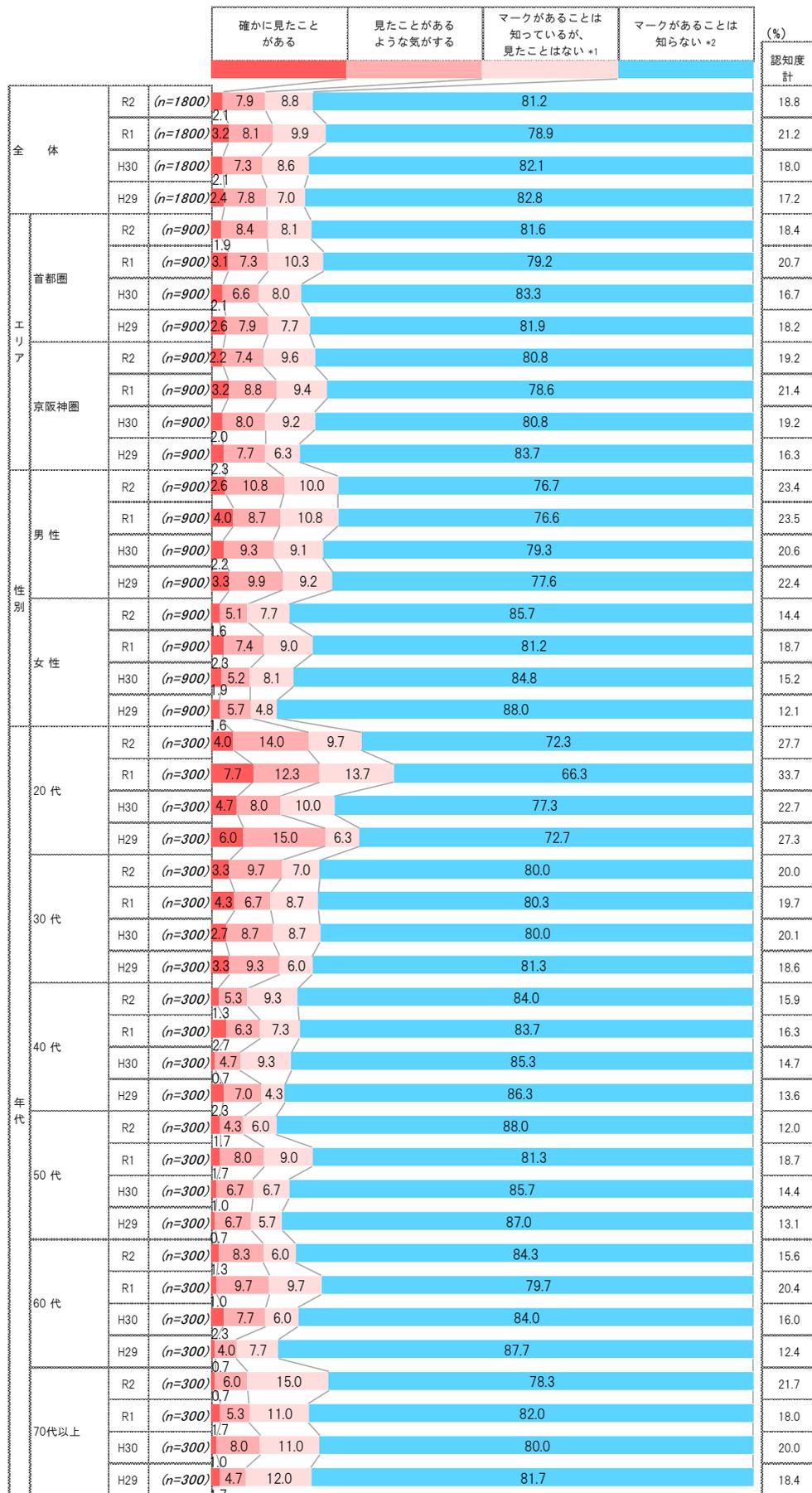


*1平成29年の選択肢「ロゴマークがあることは知っているが見たことはない」より変更

*2平成29年の選択肢「ロゴマークがあることは知らない」より変更

認知度計⇒「確かに見たことがある」+「見たことがあるような気がする」+「ロゴマークがあることは知っているが見たことはない」

図表 158 「ジビエ（主にシカ肉・イノシシ肉）」の認証マークの認知度



*1 平成29年の選択肢「ロゴマークがあることは知っているが見たことはない」より変更

*2 平成29年の選択肢「ロゴマークがあることは知らない」より変更

認知度計⇒「確かに見たことがある」+「見たことがあるような気がする」+「ロゴマークがあることは知っているが見たことはない」

図表 159 「ジビエ（主にシカ肉・イノシシ肉）」の認証マークの認知度（経年変化）

6. 食肉の第三者認証に関する意識調査

1) 「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」の認証と

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準の認知度(Q35)

- ▶ 「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」の認証と「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準の認知度は、全体の 26.0%（「詳しく知っている」 1.3%+「ある程度知っている」 7.0%+「何となく知っている」 17.7%）。
- ▶ 過年度調査と比較すると、認知度計は昨年度に比べて減少。

【今年度調査】

「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」の認証と「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準について説明文とロゴマークを提示して聞いた認知度は、「詳しく知っている」は 1.3%とほとんどおらず、「ある程度知っている」が 7.0%、「何となく知っている」が 17.7%で、認知度計は全体の 26.0%。

エリア別に認知度計を見ると、首都圏が 25.7%、京阪神圏が 26.3%と大きな違いは見られない。

性別に認知度計を見ると、男性が 29.2%、女性が 22.9%と男性の方が高い。

年代別に認知度計を見ると、20代が 35.3%、30代が 31.3%と高く、若い年代の方が高くなっている。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、認知度計は昨年度に比べて減少し、一昨年水準となった。

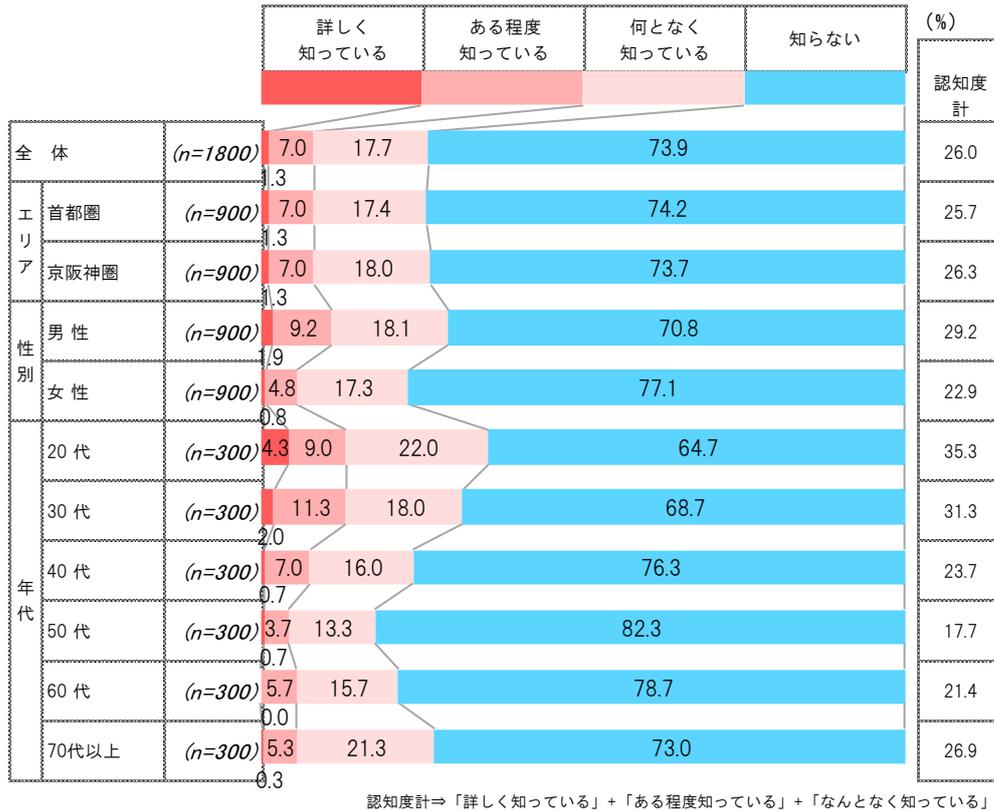
このロゴマークは、「JGAP畜産物使用ロゴマーク」といい、第三者機関である日本GAP協会の審査により、食品安全、環境保全、労働安全、人権と福祉、アニマルウェルフェアに配慮した農業生産工程管理を行っていることが確認された畜産農場の認証家畜・畜産物（JGAP家畜・畜産物）を原料として使用した商品であることを表すマークです。

JGAP家畜・畜産物の認証取得は、2021年に開催される東京 2020 オリンピック・パラリンピックの会場等で、選手団、スタッフ、プレス、観客に提供する飲食で使用される畜産食材に適用される調達基準の要件を満たすことを示す方法のひとつとされています。

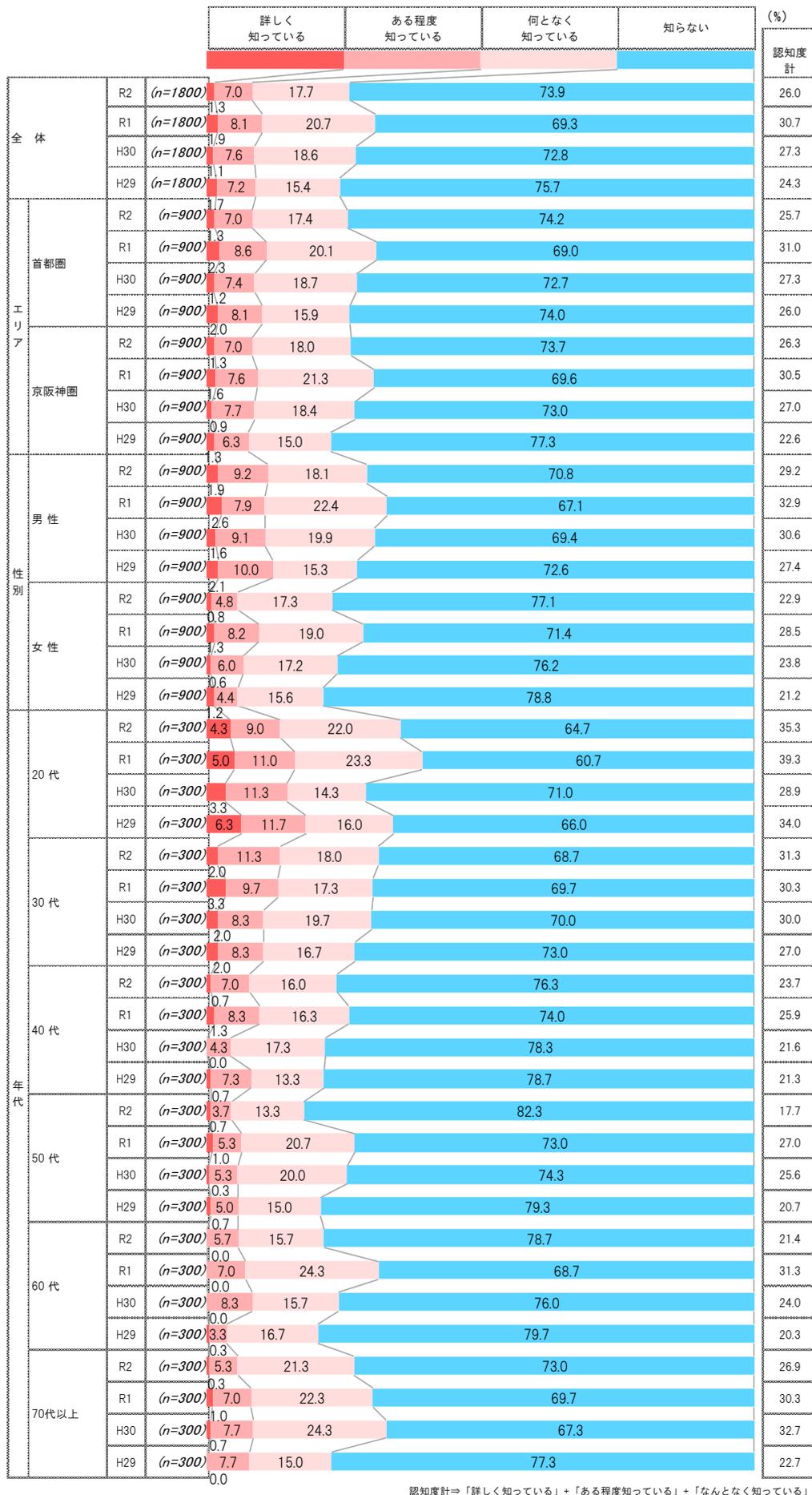
※アニマルウェルフェアとは、家畜を快適性に配慮した環境下で飼養することをいいます。



図表 160 提示説明文及びロゴマーク



図表 161 「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」の認証と「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準の認知度の認知度（経年変化）



認知度計⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「なんとなく知っている」

図表 162 「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」の認証と「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準の認知度の認知度

2) 「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」製品の購入意向 (Q36)

- ▶ 「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」がついている商品の購入意向は、同程度以上の価格（割高＋同程度）の購入意向計が 41.5%。「安ければ購入したい・食べたい」も含めた購入意向計は全体の 68.4%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向。

【今年度調査】

「JGAP 畜産物使用ロゴマーク」の説明文とロゴマークを提示して聞いた商品の購入意向は、「割高でも購入したい・食べたい」が 8.8%、「ロゴマークがついていない商品と同程度の価格なら購入したい・食べたい」が 32.7%で、同程度以上の価格（割高＋同程度）の購入意向計が 41.5%。

「安ければ購入したい・食べたい」26.9%も含めた購入意向計は全体の 68.4%で、「購入したくない・食べたくない」は 2.7%と少ない。

エリア別に「同程度以上」の購入意向計を見ると、首都圏が 43.2%、京阪神圏が 39.8%と、首都圏の方が高くなっている。

性別に「同程度以上」の購入意向計を見ると、男性が 41.3%、女性が 41.6%と大きな違いは見られない。

年代別に「同程度以上」の購入意向計を見ると、70代以上が 52.7%、60代が 48.3%と年代が高い方が購入意向が高くなっている。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度に比べて大きな変化はない。

このロゴマークは、「JGAP畜産物使用ロゴマーク」といい、第三者機関である日本GAP協会の審査により、食品安全、環境保全、労働安全、人権と福祉、アニマルウェルフェアに配慮した農業生産工程管理を行っていることが確認された畜産農場の認証家畜・畜産物（JGAP家畜・畜産物）を原料として使用した商品であることを表すマークです。

JGAP家畜・畜産物の認証取得は、2021年に開催される東京2020オリンピック・パラリンピックの会場等で、選手団、スタッフ、プレス、観客に提供する飲食で使用される畜産食材に適用される調達基準の要件を満たすことを示す方法のひとつとされています。

※アニマルウェルフェアとは、家畜を快適性に配慮した環境下で飼養することをいいます。



図表 163 提示説明文及びロゴマーク

		割高でも購入したい・食べたい	ロゴマークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい	安ければ購入したい・食べたい	購入したくない・食べたくない	わからない	(%)	
							「同程度以上」購入意向計	購入意向計
全	体 (n=1800)	8.8	32.7	26.9	2.7	28.9	41.5	68.4
エリア	首都圏 (n=900)	9.1	34.1	26.4	2.4	27.9	43.2	69.6
	京阪神圏 (n=900)	8.6	31.2	27.3	3.0	29.9	39.8	67.1
性別	男性 (n=900)	8.3	33.0	26.9	3.2	28.6	41.3	68.2
	女性 (n=900)	9.3	32.3	26.9	2.2	29.2	41.6	68.5
年代	20代 (n=300)	9.0	25.7	30.7	4.3	30.3	34.7	65.4
	30代 (n=300)	7.3	27.7	29.7	2.7	32.7	35.0	64.7
	40代 (n=300)	7.3	33.7	26.3	2.7	30.0	41.0	67.3
	50代 (n=300)	6.3	31.0	27.0	3.0	32.7	37.3	64.3
	60代 (n=300)	11.3	37.0	26.0	2.0	23.7	48.3	74.3
	70代以上 (n=300)	11.7	41.0	21.7	1.7	24.0	52.7	74.4

「同程度以上」購入意向計⇒「割高でも購入したい・食べたい」+「マークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい」
 購入意向計⇒「割高でも購入したい・食べたい」+「マークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい」+「安ければ購入したい・食べたい」

図表 164 「JGAP畜産物使用ロゴマーク」製品の購入意向

			割高でも 購入したい ・食べたい	ロゴマークがついていない商品と、 同程度の価格なら 購入したい・食べ たい	安ければ 購入したい ・食べたい	購入したくない・ 食べたくない	わからない	(%)	
								「同程度 以上」 購入 意向計	購入 意向計
全 体	R2	(n=1800)	8.8	32.7	26.9	2.7	28.9	41.5	68.4
	R1	(n=1800)	9.6	34.3	25.3	2.8	28.4	43.9	69.2
	H30	(n=1800)	8.7	34.6	26.6	1.7	28.5	43.3	69.9
	H29	(n=1800)	8.4	34.2	27.0	2.4	27.9	42.6	69.6
エリア 首都圏	R2	(n=900)	9.1	34.1	26.4	2.4	27.9	43.2	69.6
	R1	(n=900)	10.0	34.2	24.7	2.8	28.8	44.2	68.9
	H30	(n=900)	8.9	35.6	26.4	1.7	27.4	44.5	70.9
	H29	(n=900)	8.9	36.1	26.2	2.2	26.6	45.0	71.2
エリア 京阪神圏	R2	(n=900)	8.6	31.2	27.3	3.0	29.9	39.8	67.1
	R1	(n=900)	9.2	34.4	26.0	2.8	28.0	43.6	69.6
	H30	(n=900)	8.4	33.7	26.7	1.7	29.6	42.1	68.8
	H29	(n=900)	8.0	32.2	27.8	2.7	29.3	40.2	68.0
性別 男性	R2	(n=900)	8.3	33.0	26.9	3.2	28.6	41.3	68.2
	R1	(n=900)	9.2	33.9	27.2	2.7	27.0	43.1	70.3
	H30	(n=900)	8.2	35.6	27.6	1.4	27.2	43.8	71.4
	H29	(n=900)	6.8	35.1	27.8	2.8	27.6	41.9	69.7
性別 女性	R2	(n=900)	9.3	32.3	26.9	2.2	29.2	41.6	68.5
	R1	(n=900)	10.0	34.8	23.4	2.0	29.8	44.8	68.2
	H30	(n=900)	9.1	33.7	25.6	1.9	29.8	42.8	68.4
	H29	(n=900)	10.1	33.2	26.2	2.1	28.3	43.3	69.5
年代 20代	R2	(n=300)	9.0	25.7	30.7	4.3	30.3	34.7	65.4
	R1	(n=300)	8.7	31.3	29.7	2.8	28.0	40.0	69.7
	H30	(n=300)	8.3	29.0	33.3	1.7	27.7	37.3	70.6
	H29	(n=300)	10.0	34.3	31.0	2.8	22.3	44.3	75.3
年代 30代	R2	(n=300)	7.3	27.7	29.7	2.7	32.7	35.0	64.7
	R1	(n=300)	7.3	32.0	29.3	2.7	28.7	39.3	68.6
	H30	(n=300)	5.3	32.7	33.7	3.0	25.3	38.0	71.7
	H29	(n=300)	7.0	39.3	27.0	2.7	24.0	46.3	73.3
年代 40代	R2	(n=300)	7.3	33.7	26.3	2.7	30.0	41.0	67.3
	R1	(n=300)	8.0	28.0	30.0	2.8	31.7	36.0	66.0
	H30	(n=300)	3.3	30.0	26.3	2.0	38.3	33.3	59.6
	H29	(n=300)	6.7	28.3	33.0	3.0	29.0	35.0	68.0
年代 50代	R2	(n=300)	6.3	31.0	27.0	3.0	32.7	37.3	64.3
	R1	(n=300)	9.7	34.3	23.7	1.7	30.7	44.0	67.7
	H30	(n=300)	8.7	36.3	25.0	0.7	29.3	45.0	70.0
	H29	(n=300)	6.7	30.7	25.7	3.3	33.7	37.4	63.1
年代 60代	R2	(n=300)	11.3	37.0	26.0	2.0	23.7	48.3	74.3
	R1	(n=300)	10.7	40.0	21.3	1.3	26.7	50.7	72.0
	H30	(n=300)	13.3	38.0	19.3	1.7	27.7	51.3	70.6
	H29	(n=300)	9.0	35.7	22.7	2.0	30.7	44.7	67.4
年代 70代以上	R2	(n=300)	11.7	41.0	21.7	1.7	24.0	52.7	74.4
	R1	(n=300)	13.3	40.3	18.0	3.7	24.7	53.6	71.6
	H30	(n=300)	13.0	41.7	21.7	1.0	22.7	54.7	76.4
	H29	(n=300)	11.3	36.7	22.7	1.3	28.0	48.0	70.7

「同程度以上」 購入意向計⇒「割高でも購入したい・食べたい」+「マークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい」
 購入意向計⇒「割高でも購入したい・食べたい」+「マークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい」+「安ければ購入したい・食べたい」

図表 165 「JGAP畜産物使用ロゴマーク」製品の購入意向（経年変化）

集計表

Q4 牛肉、豚肉、鶏肉、魚介料理について、各料理を食べる頻度をお答えください。
それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

※中食とは、惣菜や調理済み食品など家庭外で調理された食品を購入し、自宅や職場などで食べる、持ち帰り・テイクアウト、出前・デリバリー・宅配をいいます。肉や魚介を主菜とする弁当のテイクアウトやデリバリーも含まれます。

【1. 牛肉料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	26 1.4	48 2.7	285 15.8	470 26.1	328 18.2	229 12.7	288 16.0	126 7.0
地域	首都圏		900 100	8 0.9	22 2.4	137 15.2	210 23.3	170 18.9	127 14.1	158 17.6	68 7.6
	京阪神圏		900 100	18 2.0	26 2.9	148 16.4	260 28.9	158 17.6	102 11.3	130 14.4	58 6.4
年代	20代		300 100	10 3.3	12 4.0	43 14.3	56 18.7	58 19.3	42 14.0	48 16.0	31 10.3
	30代		300 100	5 1.7	10 3.3	42 14.0	64 21.3	46 15.3	51 17.0	54 18.0	28 9.3
	40代		300 100	5 1.7	10 3.3	46 15.3	82 27.3	51 17.0	40 13.3	49 16.3	17 5.7
	50代		300 100	2 0.7	4 1.3	41 13.7	70 23.3	67 22.3	33 11.0	59 19.7	24 8.0
	60代		300 100	1 0.3	4 1.3	48 16.0	92 30.7	57 19.0	36 12.0	48 16.0	14 4.7
	70代以上		300 100	3 1.0	8 2.7	65 21.7	106 35.3	49 16.3	27 9.0	30 10.0	12 4.0

【2. 牛肉料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	15 0.8	17 0.9	96 5.3	197 10.9	196 10.9	239 13.3	536 29.8	504 28.0
地域	首都圏		900 100	4 0.4	11 1.2	46 5.1	98 10.9	107 11.9	125 13.9	272 30.2	237 26.3
	京阪神圏		900 100	11 1.2	6 0.7	50 5.6	99 11.0	89 9.9	114 12.7	264 29.3	267 29.7
年代	20代		300 100	6 2.0	7 2.3	25 8.3	44 14.7	38 12.7	43 14.3	88 29.3	49 16.3
	30代		300 100	4 1.3	5 1.7	15 5.0	43 14.3	38 12.7	37 12.3	91 30.3	67 22.3
	40代		300 100	2 0.7	2 0.7	23 7.7	31 10.3	31 10.3	54 18.0	89 29.7	68 22.7
	50代		300 100	1 0.3	1 0.3	13 4.3	27 9.0	36 12.0	38 12.7	104 34.7	80 26.7
	60代		300 100	1 0.3	0 0.0	9 3.0	25 8.3	31 10.3	40 13.3	84 28.0	110 36.7
	70代以上		300 100	1 0.3	2 0.7	11 3.7	27 9.0	22 7.3	27 9.0	80 26.7	130 43.3

【3. 牛肉料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	9 0.5	11 0.6	57 3.2	139 7.7	167 9.3	351 19.5	760 42.2	306 17.0
地域	首都圏		900 100	4 0.4	4 0.4	26 2.9	64 7.1	96 10.7	179 19.9	369 41.0	158 17.6
	京阪神圏		900 100	5 0.6	7 0.8	31 3.4	75 8.3	71 7.9	172 19.1	391 43.4	148 16.4
年代	20代		300 100	5 1.7	5 1.7	14 4.7	41 13.7	41 13.7	68 22.7	97 32.3	29 9.7
	30代		300 100	3 1.0	2 0.7	16 5.3	32 10.7	42 14.0	64 21.3	105 35.0	36 12.0
	40代		300 100	1 0.3	3 1.0	10 3.3	27 9.0	26 8.7	67 22.3	128 42.7	38 12.7
	50代		300 100	0 0.0	1 0.3	10 3.3	20 6.7	17 5.7	43 14.3	154 51.3	55 18.3
	60代		300 100	0 0.0	0 0.0	5 1.7	13 4.3	21 7.0	61 20.3	131 43.7	69 23.0
	70代以上		300 100	0 0.0	0 0.0	2 0.7	6 2.0	20 6.7	48 16.0	145 48.3	79 26.3

【4. 豚肉料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	39 2.2	106 5.9	616 34.2	511 28.4	206 11.4	130 7.2	107 5.9	85 4.7
地域	首都圏		900 100	17 1.9	55 6.1	318 35.3	259 28.8	102 11.3	68 7.6	45 5.0	36 4.0
	京阪神圏		900 100	22 2.4	51 5.7	298 33.1	252 28.0	104 11.6	62 6.9	62 6.9	49 5.4
年代	20代		300 100	12 4.0	20 6.7	82 27.3	68 22.7	46 15.3	30 10.0	22 7.3	20 6.7
	30代		300 100	9 3.0	14 4.7	97 32.3	75 25.0	38 12.7	27 9.0	25 8.3	15 5.0
	40代		300 100	6 2.0	22 7.3	124 41.3	79 26.3	17 5.7	24 8.0	20 6.7	8 2.7
	50代		300 100	3 1.0	14 4.7	116 38.7	84 28.0	30 10.0	14 4.7	17 5.7	22 7.3
	60代		300 100	4 1.3	13 4.3	89 29.7	108 36.0	42 14.0	21 7.0	14 4.7	9 3.0
	70代以上		300 100	5 1.7	23 7.7	108 36.0	97 32.3	33 11.0	14 4.7	9 3.0	11 3.7

【5. 豚肉料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	16 0.9	27 1.5	121 6.7	261 14.5	230 12.8	239 13.3	460 25.6	446 24.8
地域	首都圏		900 100	7 0.8	18 2.0	67 7.4	142 15.8	126 14.0	122 13.6	223 24.8	195 21.7
	京阪神圏		900 100	9 1.0	9 1.0	54 6.0	119 13.2	104 11.6	117 13.0	237 26.3	251 27.9
年代	20代		300 100	8 2.7	12 4.0	35 11.7	45 15.0	43 14.3	36 12.0	76 25.3	45 15.0
	30代		300 100	3 1.0	7 2.3	20 6.7	49 16.3	53 17.7	44 14.7	65 21.7	59 19.7
	40代		300 100	3 1.0	3 1.0	21 7.0	61 20.3	31 10.3	51 17.0	79 26.3	51 17.0
	50代		300 100	0 0.0	1 0.3	20 6.7	40 13.3	43 14.3	35 11.7	88 29.3	73 24.3
	60代		300 100	1 0.3	2 0.7	14 4.7	31 10.3	31 10.3	47 15.7	78 26.0	96 32.0
	70代以上		300 100	1 0.3	2 0.7	11 3.7	35 11.7	29 9.7	26 8.7	74 24.7	122 40.7

【6. 豚肉料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	8 0.4	21 1.2	66 3.7	147 8.2	182 10.1	316 17.6	709 39.4	351 19.5
地域	首都圏		900 100	4 0.4	12 1.3	33 3.7	71 7.9	107 11.9	171 19.0	331 36.8	171 19.0
	京阪神圏		900 100	4 0.4	9 1.0	33 3.7	76 8.4	75 8.3	145 16.1	378 42.0	180 20.0
年代	20代		300 100	4 1.3	8 2.7	21 7.0	38 12.7	51 17.0	51 17.0	88 29.3	39 13.0
	30代		300 100	2 0.7	7 2.3	13 4.3	39 13.0	37 12.3	64 21.3	101 33.7	37 12.3
	40代		300 100	2 0.7	4 1.3	12 4.0	32 10.7	26 8.7	63 21.0	122 40.7	39 13.0
	50代		300 100	0 0.0	2 0.7	13 4.3	17 5.7	25 8.3	37 12.3	143 47.7	63 21.0
	60代		300 100	0 0.0	0 0.0	4 1.3	16 5.3	25 8.3	47 15.7	127 42.3	81 27.0
	70代以上		300 100	0 0.0	0 0.0	3 1.0	5 1.7	18 6.0	54 18.0	128 42.7	92 30.7

【7. 鶏肉料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	29 1.6	83 4.6	561 31.2	521 28.9	230 12.8	130 7.2	139 7.7	107 5.9
地域	首都圏		900 100	11 1.2	43 4.8	260 28.9	275 30.6	129 14.3	62 6.9	72 8.0	48 5.3
	京阪神圏		900 100	18 2.0	40 4.4	301 33.4	246 27.3	101 11.2	68 7.6	67 7.4	59 6.6
年代	20代		300 100	10 3.3	19 6.3	86 28.7	65 21.7	41 13.7	36 12.0	21 7.0	22 7.3
	30代		300 100	7 2.3	15 5.0	99 33.0	77 25.7	32 10.7	18 6.0	41 13.7	11 3.7
	40代		300 100	3 1.0	18 6.0	107 35.7	90 30.0	29 9.7	20 6.7	19 6.3	14 4.7
	50代		300 100	4 1.3	6 2.0	97 32.3	96 32.0	43 14.3	15 5.0	27 9.0	12 4.0
	60代		300 100	1 0.3	10 3.3	80 26.7	97 32.3	41 13.7	28 9.3	18 6.0	25 8.3
	70代以上		300 100	4 1.3	15 5.0	92 30.7	96 32.0	44 14.7	13 4.3	13 4.3	23 7.7

【8. 鶏肉料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	11 0.6	27 1.5	151 8.4	267 14.8	269 14.9	240 13.3	445 24.7	390 21.7
地域	首都圏		900 100	3 0.3	17 1.9	82 9.1	140 15.6	132 14.7	121 13.4	225 25.0	180 20.0
	京阪神圏		900 100	8 0.9	10 1.1	69 7.7	127 14.1	137 15.2	119 13.2	220 24.4	210 23.3
年代	20代		300 100	5 1.7	9 3.0	37 12.3	49 16.3	45 15.0	47 15.7	67 22.3	41 13.7
	30代		300 100	3 1.0	6 2.0	34 11.3	51 17.0	50 16.7	37 12.3	70 23.3	49 16.3
	40代		300 100	1 0.3	4 1.3	33 11.0	50 16.7	51 17.0	45 15.0	76 25.3	40 13.3
	50代		300 100	0 0.0	3 1.0	17 5.7	54 18.0	52 17.3	35 11.7	84 28.0	55 18.3
	60代		300 100	1 0.3	2 0.7	14 4.7	31 10.3	43 14.3	39 13.0	83 27.7	87 29.0
	70代以上		300 100	1 0.3	3 1.0	16 5.3	32 10.7	28 9.3	37 12.3	65 21.7	118 39.3

【9. 鶏肉料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	9 0.5	12 0.7	89 4.9	139 7.7	193 10.7	288 16.0	696 38.7	374 20.8
地域	首都圏		900 100	3 0.3	5 0.6	47 5.2	63 7.0	101 11.2	152 16.9	340 37.8	189 21.0
	京阪神圏		900 100	6 0.7	7 0.8	42 4.7	76 8.4	92 10.2	136 15.1	356 39.6	185 20.6
年代	20代		300 100	4 1.3	4 1.3	32 10.7	35 11.7	49 16.3	52 17.3	90 30.0	34 11.3
	30代		300 100	5 1.7	2 0.7	22 7.3	32 10.7	48 16.0	54 18.0	94 31.3	43 14.3
	40代		300 100	0 0.0	3 1.0	14 4.7	30 10.0	37 12.3	58 19.3	121 40.3	37 12.3
	50代		300 100	0 0.0	2 0.7	10 3.3	20 6.7	28 9.3	34 11.3	149 49.7	57 19.0
	60代		300 100	0 0.0	0 0.0	6 2.0	14 4.7	18 6.0	45 15.0	124 41.3	93 31.0
	70代以上		300 100	0 0.0	1 0.3	5 1.7	8 2.7	13 4.3	45 15.0	118 39.3	110 36.7

【10. 魚介料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	37 2.1	105 5.8	546 30.3	480 26.7	231 12.8	134 7.4	166 9.2	101 5.6
地域	首都圏		900 100	15 1.7	62 6.9	278 30.9	239 26.6	115 12.8	62 6.9	82 9.1	47 5.2
	京阪神圏		900 100	22 2.4	43 4.8	268 29.8	241 26.8	116 12.9	72 8.0	84 9.3	54 6.0
年代	20代		300 100	6 2.0	12 4.0	64 21.3	64 21.3	46 15.3	40 13.3	35 11.7	33 11.0
	30代		300 100	4 1.3	16 5.3	71 23.7	80 26.7	42 14.0	28 9.3	41 13.7	18 6.0
	40代		300 100	5 1.7	11 3.7	95 31.7	75 25.0	42 14.0	29 9.7	31 10.3	12 4.0
	50代		300 100	4 1.3	8 2.7	98 32.7	87 29.0	37 12.3	14 4.7	32 10.7	20 6.7
	60代		300 100	8 2.7	19 6.3	97 32.3	93 31.0	35 11.7	17 5.7	22 7.3	9 3.0
	70代以上		300 100	10 3.3	39 13.0	121 40.3	81 27.0	29 9.7	6 2.0	5 1.7	9 3.0

【11. 魚介料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	13 0.7	26 1.4	142 7.9	218 12.1	232 12.9	246 13.7	500 27.8	423 23.5
地域	首都圏		900 100	5 0.6	14 1.6	82 9.1	117 13.0	128 14.2	108 12.0	237 26.3	209 23.2
	京阪神圏		900 100	8 0.9	12 1.3	60 6.7	101 11.2	104 11.6	138 15.3	263 29.2	214 23.8
年代	20代		300 100	7 2.3	4 1.3	25 8.3	43 14.3	42 14.0	43 14.3	80 26.7	56 18.7
	30代		300 100	3 1.0	6 2.0	29 9.7	31 10.3	39 13.0	49 16.3	82 27.3	61 20.3
	40代		300 100	1 0.3	4 1.3	25 8.3	39 13.0	32 10.7	52 17.3	95 31.7	52 17.3
	50代		300 100	0 0.0	3 1.0	18 6.0	44 14.7	45 15.0	33 11.0	91 30.3	66 22.0
	60代		300 100	1 0.3	3 1.0	19 6.3	30 10.0	38 12.7	36 12.0	88 29.3	85 28.3
	70代以上		300 100	1 0.3	6 2.0	26 8.7	31 10.3	36 12.0	33 11.0	64 21.3	103 34.3

【12. 魚介料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	12 0.7	16 0.9	66 3.7	128 7.1	178 9.9	344 19.1	704 39.1	352 19.6
地域	首都圏		900 100	3 0.3	10 1.1	36 4.0	63 7.0	89 9.9	172 19.1	348 38.7	179 19.9
	京阪神圏		900 100	9 1.0	6 0.7	30 3.3	65 7.2	89 9.9	172 19.1	356 39.6	173 19.2
年代	20代		300 100	6 2.0	8 2.7	19 6.3	32 10.7	42 14.0	59 19.7	90 30.0	44 14.7
	30代		300 100	4 1.3	3 1.0	14 4.7	36 12.0	34 11.3	62 20.7	107 35.7	40 13.3
	40代		300 100	2 0.7	0 0.0	14 4.7	21 7.0	27 9.0	63 21.0	125 41.7	48 16.0
	50代		300 100	0 0.0	1 0.3	11 3.7	15 5.0	24 8.0	46 15.3	143 47.7	60 20.0
	60代		300 100	0 0.0	2 0.7	3 1.0	12 4.0	25 8.3	62 20.7	124 41.3	72 24.0
	70代以上		300 100	0 0.0	2 0.7	5 1.7	12 4.0	26 8.7	52 17.3	115 38.3	88 29.3

Q5 牛肉、豚肉、鶏肉について、どのようなイメージをお持ちですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、その中で最もあてはまるものをお選びください。

【1.牛肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%	全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	100	56.2	10.3	11.3	21.6	22.3	24.6	32.5	7.0	27.8	53.4	6.1	11.2	
地域	900	492	103	108	198	208	203	266	58	249	447	52	111	
首都圏	100	54.7	11.4	12.0	22.0	23.1	22.6	29.6	6.4	27.7	49.7	5.8	12.3	
京阪神圏	900	520	82	95	191	193	240	319	68	251	515	57	90	
100	57.8	9.1	10.6	21.2	21.4	26.7	35.4	7.6	27.9	57.2	6.3	10.0		
年代	300	124	43	46	73	70	76	75	35	82	125	31	36	
20代	100	41.3	14.3	15.3	24.3	23.3	25.3	25.0	11.7	27.3	41.7	10.3	12.0	
30代	300	151	28	30	72	60	67	86	29	70	143	16	32	
100	50.3	9.3	10.0	24.0	20.0	22.3	28.7	9.7	23.3	47.7	5.3	10.7		
40代	300	152	30	24	63	57	63	92	29	59	170	7	34	
100	50.7	10.0	8.0	21.0	19.0	21.0	30.7	9.7	19.7	56.7	2.3	11.3		
50代	300	173	24	22	62	55	53	93	10	73	167	12	41	
100	57.7	8.0	7.3	20.7	18.3	17.7	31.0	3.3	24.3	55.7	4.0	13.7		
60代	300	182	27	30	50	57	77	105	7	92	176	22	35	
100	60.7	9.0	10.0	16.7	19.0	25.7	35.0	2.3	30.7	58.7	7.3	11.7		
70代以上	300	230	33	51	69	102	107	134	16	124	181	21	23	
100	76.7	11.0	17.0	23.0	34.0	35.7	44.7	5.3	41.3	60.3	7.0	7.7		

【2.牛肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

	度数 横%	全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	100	27.4	2.5	3.1	4.3	3.8	6.0	7.6	0.4	6.9	25.4	2.4	10.3	
地域	900	243	25	37	39	44	49	60	2	75	200	23	103	
首都圏	100	27.0	2.8	4.1	4.3	4.9	5.4	6.7	0.2	8.3	22.2	2.6	11.4	
京阪神圏	900	251	20	18	38	24	59	76	6	49	257	20	82	
100	27.9	2.2	2.0	4.2	2.7	6.6	8.4	0.7	5.4	28.6	2.2	9.1		
年代	300	58	14	16	17	14	25	19	4	31	56	13	33	
20代	100	19.3	4.7	5.3	5.7	4.7	8.3	6.3	1.3	10.3	18.7	4.3	11.0	
30代	300	78	11	12	17	13	18	23	2	15	73	7	31	
100	26.0	3.7	4.0	5.7	4.3	6.0	7.7	0.7	5.0	24.3	2.3	10.3		
40代	300	80	7	7	17	13	16	17	1	12	94	4	32	
100	26.7	2.3	2.3	5.7	4.3	5.3	5.7	0.3	4.0	31.3	1.3	10.7		
50代	300	78	5	7	16	9	10	23	1	17	90	5	39	
100	26.0	1.7	2.3	5.3	3.0	3.3	7.7	0.3	5.7	30.0	1.7	13.0		
60代	300	98	5	6	1	5	17	20	0	20	88	9	31	
100	32.7	1.7	2.0	0.3	1.7	5.7	6.7	0.0	6.7	29.3	3.0	10.3		
70代以上	300	102	3	7	9	14	22	34	0	29	56	5	19	
100	34.0	1.0	2.3	3.0	4.7	7.3	11.3	0.0	9.7	18.7	1.7	6.3		

【3.豚肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%	全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	100	41.4	12.8	8.9	10.2	30.9	43.3	21.5	12.6	40.2	37.8	53.4	5.2	
地域	900	382	91	89	86	279	395	201	115	365	345	464	49	
首都圏	100	42.4	10.1	9.9	9.6	31.0	43.9	22.3	12.8	40.6	38.3	51.6	5.4	
京阪神圏	900	363	139	72	98	277	385	186	111	358	335	497	44	
100	40.3	15.4	8.0	10.9	30.8	42.8	20.7	12.3	39.8	37.2	55.2	4.9		
年代	300	75	39	33	24	65	138	48	41	102	86	129	18	
20代	100	25.0	13.0	11.0	8.0	21.7	46.0	16.0	13.7	34.0	28.7	43.0	6.0	
30代	300	102	36	20	35	87	132	57	49	116	107	140	15	
100	34.0	12.0	6.7	11.7	29.0	44.0	19.0	16.3	38.7	35.7	46.7	5.0		
40代	300	108	34	24	22	91	124	56	60	111	118	141	15	
100	36.0	11.3	8.0	7.3	30.3	41.3	18.7	20.0	37.0	39.3	47.0	5.0		
50代	300	138	32	24	35	84	112	68	30	114	122	175	18	
100	46.0	10.7	8.0	11.7	28.0	37.3	22.7	10.0	38.0	40.7	58.3	6.0		
60代	300	142	38	25	28	97	121	65	23	118	112	188	18	
100	47.3	12.7	8.3	9.3	32.3	40.3	21.7	7.7	39.3	37.3	62.7	6.0		
70代以上	300	180	51	35	40	132	153	93	23	162	135	188	9	
100	60.0	17.0	11.7	13.3	44.0	51.0	31.0	7.7	54.0	45.0	62.7	3.0		

【4.豚肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

度数 横%	全 体													
	全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康に よい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容に よい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他	
全 体	1800 100	228 12.7	61 3.4	28 1.6	33 1.8	154 8.6	248 13.8	47 2.6	37 2.1	237 13.2	194 10.8	449 24.9	84 4.7	
地域	首都圏	900 100	123 13.7	21 2.3	13 1.4	16 1.8	77 8.6	124 13.8	29 3.2	17 1.9	119 13.2	101 11.2	215 23.9	45 5.0
	京阪神圏	900 100	105 11.7	40 4.4	15 1.7	17 1.9	77 8.6	124 13.8	18 2.0	20 2.2	118 13.1	93 10.3	234 26.0	39 4.3
年代	20代	300 100	23 7.7	15 5.0	11 3.7	5 1.7	17 5.7	57 19.0	11 3.7	7 2.3	43 14.3	24 8.0	71 23.7	16 5.3
	30代	300 100	41 13.7	10 3.3	3 1.0	8 2.7	30 10.0	55 18.3	6 2.0	9 3.0	38 12.7	28 9.3	58 19.3	14 4.7
	40代	300 100	34 11.3	7 2.3	5 1.7	4 1.3	29 9.7	44 14.7	8 2.7	13 4.3	35 11.7	41 13.7	67 22.3	13 4.3
	50代	300 100	39 13.0	8 2.7	3 1.0	6 2.0	19 6.3	29 9.7	9 3.0	2 0.7	35 11.7	43 14.3	90 30.0	17 5.7
	60代	300 100	42 14.0	12 4.0	3 1.0	6 2.0	24 8.0	33 11.0	4 1.3	3 1.0	42 14.0	31 10.3	83 27.7	17 5.7
	70代以上	300 100	49 16.3	9 3.0	3 1.0	4 1.3	35 11.7	30 10.0	9 3.0	3 1.0	44 14.7	27 9.0	80 26.7	7 2.3

【5.鶏肉】 あてはまるもの（いくつでも）

度数 横%	全 体													
	全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康に よい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容に よい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他	
全 体	1800 100	837 46.5	857 47.6	168 9.3	103 5.7	576 32.0	610 33.9	372 20.7	252 14.0	636 35.3	347 19.3	1101 61.2	87 4.8	
地域	首都圏	900 100	420 46.7	428 47.6	86 9.6	46 5.1	281 31.2	298 33.1	194 21.6	121 13.4	321 35.7	154 17.1	535 59.4	49 5.4
	京阪神圏	900 100	417 46.3	429 47.7	82 9.1	57 6.3	295 32.8	312 34.7	178 19.8	131 14.6	315 35.0	193 21.4	566 62.9	38 4.2
年代	20代	300 100	123 41.0	123 41.0	32 10.7	19 6.3	79 26.3	88 29.3	55 18.3	47 15.7	87 29.0	51 17.0	151 50.3	16 5.3
	30代	300 100	158 52.7	129 43.0	24 8.0	20 6.7	86 28.7	102 34.0	46 15.3	40 13.3	105 35.0	55 18.3	166 55.3	14 4.7
	40代	300 100	128 42.7	126 42.0	29 9.7	14 4.7	83 27.7	103 34.3	60 20.0	45 15.0	112 37.3	61 20.3	171 57.0	14 4.7
	50代	300 100	149 49.7	142 47.3	21 7.0	15 5.0	85 28.3	92 30.7	69 23.0	50 16.7	98 32.7	65 21.7	194 64.7	15 5.0
	60代	300 100	130 43.3	175 58.3	22 7.3	12 4.0	100 33.3	100 33.3	58 19.3	39 13.0	102 34.0	47 15.7	203 67.7	18 6.0
	70代以上	300 100	149 49.7	162 54.0	40 13.3	23 7.7	143 47.7	125 41.7	84 28.0	31 10.3	132 44.0	68 22.7	216 72.0	10 3.3

【6.鶏肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

度数 横%	全 体													
	全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康に よい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容に よい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他	
全 体	1800 100	278 15.4	267 14.8	27 1.5	19 1.1	127 7.1	105 5.8	49 2.7	30 1.7	151 8.4	52 2.9	620 34.4	75 4.2	
地域	首都圏	900 100	149 16.6	134 14.9	14 1.6	11 1.2	66 7.3	51 5.7	29 3.2	79 8.8	25 2.8	287 31.9	42 4.7	
	京阪神圏	900 100	129 14.3	133 14.8	13 1.4	8 0.9	61 6.8	54 6.0	20 2.2	17 1.9	72 8.0	27 3.0	333 37.0	33 3.7
年代	20代	300 100	57 19.0	37 12.3	9 3.0	8 2.7	23 7.7	19 6.3	16 5.3	3 1.0	18 6.0	6 2.0	89 29.7	15 5.0
	30代	300 100	59 19.7	46 15.3	5 1.7	3 1.0	20 6.7	19 6.3	5 1.7	5 8.7	26 2.3	7 31.0	12 4.0	
	40代	300 100	42 14.0	39 13.0	5 1.7	2 0.7	18 6.0	24 8.0	9 3.0	9 3.0	29 9.7	12 4.0	97 32.3	14 4.7
	50代	300 100	46 15.3	46 15.3	2 0.7	2 0.7	18 6.0	12 4.0	6 2.0	5 1.7	21 7.0	8 2.7	120 40.0	14 4.7
	60代	300 100	39 13.0	60 20.0	3 1.0	1 0.3	20 6.7	13 4.3	6 2.0	4 1.3	30 10.0	9 3.0	102 34.0	13 4.3
	70代以上	300 100	35 11.7	39 13.0	3 1.0	3 1.0	28 9.3	18 6.0	7 2.3	4 1.3	27 9.0	10 3.3	119 39.7	7 2.3

Q6 牛肉、豚肉、鶏肉について、それぞれのどのくらいの頻度で購入していますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 牛肉】

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1800 100	18 1.0	30 1.7	189 10.5	486 27.0	435 24.2	298 16.6	268 14.9	76 4.2
地域	首都圏	900 100	6 0.7	14 1.6	87 9.7	231 25.7	225 25.0	156 17.3	142 15.8	39 4.3
	京阪神圏	900 100	12 1.3	16 1.8	102 11.3	255 28.3	210 23.3	142 15.8	126 14.0	37 4.1
年代	20代	300 100	7 2.3	11 3.7	33 11.0	72 24.0	64 21.3	45 15.0	46 15.3	22 7.3
	30代	300 100	6 2.0	8 2.7	32 10.7	69 23.0	63 21.0	57 19.0	47 15.7	18 6.0
	40代	300 100	3 1.0	5 1.7	31 10.3	74 24.7	82 27.3	59 19.7	35 11.7	11 3.7
	50代	300 100	1 0.3	0 0.0	28 9.3	74 24.7	69 23.0	48 16.0	64 21.3	16 5.3
	60代	300 100	1 0.3	3 1.0	32 10.7	86 28.7	68 22.7	53 17.7	51 17.0	6 2.0
	70代以上	300 100	0 0.0	3 1.0	33 11.0	111 37.0	89 29.7	36 12.0	25 8.3	3 1.0

【2. 豚肉】

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1800 100	18 1.0	57 3.2	432 24.0	701 38.9	339 18.8	136 7.6	88 4.9	29 1.6
地域	首都圏	900 100	7 0.8	25 2.8	223 24.8	357 39.7	170 18.9	61 6.8	45 5.0	12 1.3
	京阪神圏	900 100	11 1.2	32 3.6	209 23.2	344 38.2	169 18.8	75 8.3	43 4.8	17 1.9
年代	20代	300 100	6 2.0	17 5.7	58 19.3	105 35.0	54 18.0	33 11.0	24 8.0	3 1.0
	30代	300 100	5 1.7	11 3.7	78 26.0	103 34.3	55 18.3	22 7.3	22 7.3	4 1.3
	40代	300 100	4 1.3	10 3.3	73 24.3	119 39.7	56 18.7	25 8.3	10 3.3	3 1.0
	50代	300 100	2 0.7	5 1.7	77 25.7	116 38.7	53 17.7	21 7.0	18 6.0	8 2.7
	60代	300 100	1 0.3	5 1.7	59 19.7	132 44.0	61 20.3	23 7.7	12 4.0	7 2.3
	70代以上	300 100	0 0.0	9 3.0	87 29.0	126 42.0	60 20.0	12 4.0	2 0.7	4 1.3

【3. 鶏肉】

度数横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1800 100	22 1.2	50 2.8	381 21.2	646 35.9	372 20.7	165 9.2	114 6.3	50 2.8
地域	首都圏	900 100	9 1.0	22 2.4	184 20.4	325 36.1	209 23.2	76 8.4	52 5.8	23 2.6
	京阪神圏	900 100	13 1.4	28 3.1	197 21.9	321 35.7	163 18.1	89 9.9	62 6.9	27 3.0
年代	20代	300 100	5 1.7	14 4.7	59 19.7	98 32.7	63 21.0	31 10.3	27 9.0	3 1.0
	30代	300 100	8 2.7	8 2.7	75 25.0	95 31.7	60 20.0	26 8.7	24 8.0	4 1.3
	40代	300 100	5 1.7	12 4.0	61 20.3	113 37.7	63 21.0	26 8.7	17 5.7	3 1.0
	50代	300 100	3 1.0	7 2.3	62 20.7	113 37.7	65 21.7	20 6.7	20 6.7	10 3.3
	60代	300 100	1 0.3	4 1.3	48 16.0	117 39.0	61 20.3	33 11.0	20 6.7	16 5.3
	70代以上	300 100	0 0.0	5 1.7	76 25.3	110 36.7	60 20.0	29 9.7	6 2.0	14 4.7

Q7 牛肉、豚肉、鶏肉を購入する際、主にどこで購入されますか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。

※大型スーパー：食品以外に衣料品などを取り扱っているスーパー

※食品スーパー：食品中心の品揃えのスーパー

【1. 牛肉】 <Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売（カ タログ、テレビ、 インターネット 等）	その他
全 体		1724 100	131 7.6	634 36.8	1346 78.1	142 8.2	171 9.9	58 3.4	18 1.0	43 2.5	30 1.7
地域	首都圏	861 100	66 7.7	303 35.2	677 78.6	64 7.4	66 7.7	29 3.4	10 1.2	28 3.3	14 1.6
	京阪神圏	863 100	65 7.5	331 38.4	669 77.5	78 9.0	105 12.2	29 3.4	8 0.9	15 1.7	16 1.9
年代	20代	278 100	15 5.4	92 33.1	217 78.1	16 5.8	22 7.9	11 4.0	8 2.9	6 2.2	7 2.5
	30代	282 100	30 10.6	88 31.2	216 76.6	18 6.4	33 11.7	17 6.0	6 2.1	4 1.4	7 2.5
	40代	289 100	20 6.9	90 31.1	241 83.4	21 7.3	28 9.7	11 3.8	2 0.7	7 2.4	3 1.0
	50代	284 100	14 4.9	117 41.2	232 81.7	18 6.3	26 9.2	9 3.2	0 0.0	5 1.8	3 1.1
	60代	294 100	25 8.5	119 40.5	225 76.5	26 8.8	27 9.2	2 0.7	1 0.3	11 3.7	7 2.4
	70代以上	297 100	27 9.1	128 43.1	215 72.4	43 14.5	35 11.8	8 2.7	1 0.3	10 3.4	3 1.0

【2. 豚肉】 <Q6[2.豚肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売（カ タログ、テレビ、 インターネット 等）	その他
全 体		1771 100	86 4.9	656 37.0	1418 80.1	168 9.5	113 6.4	59 3.3	16 0.9	32 1.8	36 2.0
地域	首都圏	888 100	42 4.7	311 35.0	712 80.2	75 8.4	54 6.1	36 4.1	11 1.2	18 2.0	12 1.4
	京阪神圏	883 100	44 5.0	345 39.1	706 80.0	93 10.5	59 6.7	23 2.6	5 0.6	14 1.6	24 2.7
年代	20代	297 100	14 4.7	104 35.0	236 79.5	17 5.7	18 6.1	14 4.7	9 3.0	9 3.0	10 3.4
	30代	296 100	20 6.8	93 31.4	239 80.7	21 7.1	21 7.1	16 5.4	4 1.4	5 1.7	8 2.7
	40代	297 100	15 5.1	98 33.0	249 83.8	25 8.4	18 6.1	11 3.7	3 1.0	4 1.3	4 1.3
	50代	292 100	13 4.5	122 41.8	237 81.2	23 7.9	20 6.8	8 2.7	0 0.0	5 1.7	4 1.4
	60代	293 100	13 4.4	119 40.6	232 79.2	30 10.2	11 3.8	2 0.7	0 0.0	4 1.4	8 2.7
	70代以上	296 100	11 3.7	120 40.5	225 76.0	52 17.6	25 8.4	8 2.7	0 0.0	5 1.7	2 0.7

【3. 鶏肉】 <Q6[3.鶏肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売（カ タログ、テレビ、 インターネット 等）	その他
全 体		1750 100	63 3.6	612 35.0	1395 79.7	156 8.9	99 5.7	59 3.4	22 1.3	33 1.9	37 2.1
地域	首都圏	877 100	32 3.6	296 33.8	697 79.5	68 7.8	49 5.6	33 3.8	13 1.5	21 2.4	14 1.6
	京阪神圏	873 100	31 3.6	316 36.2	698 80.0	88 10.1	50 5.7	26 3.0	9 1.0	12 1.4	23 2.6
年代	20代	297 100	7 2.4	96 32.3	231 77.8	12 4.0	18 6.1	9 3.0	8 2.7	7 2.4	8 2.7
	30代	296 100	16 5.4	88 29.7	237 80.1	17 5.7	19 6.4	16 5.4	7 2.4	4 1.4	7 2.4
	40代	297 100	12 4.0	94 31.6	250 84.2	24 8.1	21 7.1	10 3.4	3 1.0	4 1.3	4 1.3
	50代	290 100	13 4.5	114 39.3	238 82.1	25 8.6	18 6.2	9 3.1	0 0.0	8 2.8	4 1.4
	60代	284 100	9 3.2	105 37.0	225 79.2	29 10.2	9 3.2	5 1.8	3 1.1	3 1.1	12 4.2
	70代以上	286 100	6 2.1	115 40.2	214 74.8	49 17.1	14 4.9	10 3.5	1 0.3	7 2.4	2 0.7

Q8 牛肉、豚肉、鶏肉を購入する際、重視する点は何ですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、最もあてはまるものをお選びください。

【1.牛肉】 あてはまるもの（いくつでも） <Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄（ブランド）等がしっかりと表示されていること	冷蔵品（チルド）であること	鮮度（色つや）がよいこと	量目（パック内の肉重量）	その他
全 体		1724 100	1036 60.1	754 43.7	81 4.7	541 31.4	154 8.9	779 45.2	541 31.4	66 3.8
地域	首都圏	861 100	512 59.5	342 39.7	47 5.5	263 30.5	84 9.8	392 45.5	275 31.9	38 4.4
	京阪神圏	863 100	524 60.7	412 47.7	34 3.9	278 32.2	70 8.1	387 44.8	266 30.8	28 3.2
年代	20代	278 100	157 56.5	104 37.4	25 9.0	54 19.4	25 9.0	102 36.7	56 20.1	14 5.0
	30代	282 100	181 64.2	106 37.6	16 5.7	70 24.8	21 7.4	110 39.0	83 29.4	8 2.8
	40代	289 100	174 60.2	118 40.8	10 3.5	82 28.4	23 8.0	123 42.6	83 28.7	13 4.5
	50代	284 100	173 60.9	128 45.1	10 3.5	87 30.6	24 8.5	138 48.6	96 33.8	7 2.5
	60代	294 100	175 59.5	138 46.9	7 2.4	100 34.0	32 10.9	145 49.3	109 37.1	12 4.1
	70代以上	297 100	176 59.3	160 53.9	13 4.4	148 49.8	29 9.8	161 54.2	114 38.4	12 4.0

【2.牛肉】 最もあてはまるもの（1つだけ） <Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄（ブランド）等がしっかりと表示されていること	冷蔵品（チルド）であること	鮮度（色つや）がよいこと	量目（パック内の肉重量）	その他
全 体		1724 100	645 37.4	497 28.8	26 1.5	171 9.9	18 1.0	235 13.6	72 4.2	60 3.5
地域	首都圏	861 100	325 37.7	220 25.6	20 2.3	93 10.8	10 1.2	128 14.9	29 3.4	36 4.2
	京阪神圏	863 100	320 37.1	277 32.1	6 0.7	78 9.0	8 0.9	107 12.4	43 5.0	24 2.8
年代	20代	278 100	112 40.3	72 25.9	10 3.6	21 7.6	4 1.4	34 12.2	12 4.3	13 4.7
	30代	282 100	120 42.6	67 23.8	8 2.8	26 9.2	4 1.4	35 12.4	14 5.0	8 2.8
	40代	289 100	106 36.7	74 25.6	2 0.7	27 9.3	5 1.7	51 17.6	11 3.8	13 4.5
	50代	284 100	106 37.3	88 31.0	3 1.1	23 8.1	2 0.7	44 15.5	12 4.2	6 2.1
	60代	294 100	100 34.0	97 33.0	1 0.3	32 10.9	3 1.0	35 11.9	16 5.4	10 3.4
	70代以上	297 100	101 34.0	99 33.3	2 0.7	42 14.1	0 0.0	36 12.1	7 2.4	10 3.4

【3. 豚肉】 あてはまるもの（いくつでも） <Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄（ブ ランド）等がしっか り表示されている こと	冷蔵品（チルド） であること	鮮度（色つや） がよいこと	量目（パック内の 肉重量）	その他
全 体		1771 100	1279 72.2	800 45.2	60 3.4	511 28.9	196 11.1	785 44.3	578 32.6	59 3.3
地域	首都圏	888 100	634 71.4	377 42.5	30 3.4	254 28.6	98 11.0	397 44.7	301 33.9	36 4.1
	京阪神圏	883 100	645 73.0	423 47.9	30 3.4	257 29.1	98 11.1	388 43.9	277 31.4	23 2.6
年代	20代	297 100	202 68.0	108 36.4	25 8.4	56 18.9	28 9.4	103 34.7	70 23.6	15 5.1
	30代	296 100	221 74.7	106 35.8	7 2.4	59 19.9	26 8.8	115 38.9	95 32.1	9 3.0
	40代	297 100	202 68.0	132 44.4	8 2.7	80 26.9	34 11.4	128 43.1	79 26.6	8 2.7
	50代	292 100	211 72.3	130 44.5	3 1.0	92 31.5	29 9.9	151 51.7	102 34.9	7 2.4
	60代	293 100	223 76.1	151 51.5	8 2.7	95 32.4	38 13.0	142 48.5	111 37.9	9 3.1
	70代以上	296 100	220 74.3	173 58.4	9 3.0	129 43.6	41 13.9	146 49.3	121 40.9	11 3.7

【4. 豚肉】 最もあてはまるもの（1つだけ） <Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄（ブ ランド）等がしっか り表示されている こと	冷蔵品（チルド） であること	鮮度（色つや） がよいこと	量目（パック内の 肉重量）	その他
全 体		1771 100	743 42.0	484 27.3	18 1.0	141 8.0	20 1.1	240 13.6	80 4.5	45 2.5
地域	首都圏	888 100	385 43.4	222 25.0	8 0.9	74 8.3	10 1.1	128 14.4	32 3.6	29 3.3
	京阪神圏	883 100	358 40.5	262 29.7	10 1.1	67 7.6	10 1.1	112 12.7	48 5.4	16 1.8
年代	20代	297 100	136 45.8	64 21.5	12 4.0	16 5.4	5 1.7	35 11.8	16 5.4	13 4.4
	30代	296 100	138 46.6	73 24.7	3 1.0	19 6.4	4 1.4	36 12.2	14 4.7	9 3.0
	40代	297 100	120 40.4	83 27.9	2 0.7	19 6.4	6 2.0	47 15.8	13 4.4	7 2.4
	50代	292 100	116 39.7	91 31.2	1 0.3	20 6.8	2 0.7	48 16.4	10 3.4	4 1.4
	60代	293 100	118 40.3	85 29.0	0 0.0	26 8.9	1 0.3	41 14.0	17 5.8	5 1.7
	70代以上	296 100	115 38.9	88 29.7	0 0.0	41 13.9	2 0.7	33 11.1	10 3.4	7 2.4

【5. 鶏肉】 あてはまるもの (いくつでも) <Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%	全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄 (ブ ランド) 等がしっか り表示されている こと	冷蔵品 (チル ド) であること	鮮度 (色つや) がよいこと	量目 (パック内の 肉重量)	その他	
全 体	1750 100	1283 73.3	859 49.1	44 2.5	474 27.1	192 11.0	772 44.1	573 32.7	49 2.8	
地域	首都圏	877 100	625 71.3	407 46.4	24 2.7	232 26.5	93 10.6	388 44.2	303 34.5	30 3.4
	京阪神圏	873 100	658 75.4	452 51.8	20 2.3	242 27.7	99 11.3	384 44.0	270 30.9	19 2.2
年代	20代	297 100	216 72.7	105 35.4	19 6.4	48 16.2	35 11.8	109 36.7	77 25.9	13 4.4
	30代	296 100	222 75.0	122 41.2	5 1.7	56 18.9	27 9.1	123 41.6	97 32.8	10 3.4
	40代	297 100	206 69.4	136 45.8	4 1.3	83 27.9	36 12.1	131 44.1	84 28.3	6 2.0
	50代	290 100	210 72.4	157 54.1	4 1.4	80 27.6	30 10.3	141 48.6	102 35.2	4 1.4
	60代	284 100	211 74.3	154 54.2	4 1.4	89 31.3	30 10.6	130 45.8	103 36.3	9 3.2
	70代以上	286 100	218 76.2	185 64.7	8 2.8	118 41.3	34 11.9	138 48.3	110 38.5	7 2.4

【6. 鶏肉】 最もあてはまるもの (1つだけ) <Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%	全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄 (ブ ランド) 等がしっか り表示されている こと	冷蔵品 (チル ド) であること	鮮度 (色つや) がよいこと	量目 (パック内の 肉重量)	その他	
全 体	1750 100	762 43.5	503 28.7	18 1.0	128 7.3	21 1.2	212 12.1	67 3.8	39 2.2	
地域	首都圏	877 100	380 43.3	246 28.1	11 1.3	60 6.8	9 1.0	110 12.5	36 4.1	25 2.9
	京阪神圏	873 100	382 43.8	257 29.4	7 0.8	68 7.8	12 1.4	102 11.7	31 3.6	14 1.6
年代	20代	297 100	151 50.8	64 21.5	11 3.7	16 5.4	4 1.3	26 8.8	14 4.7	11 3.7
	30代	296 100	136 45.9	75 25.3	1 0.3	14 4.7	8 2.7	35 11.8	17 5.7	10 3.4
	40代	297 100	120 40.4	82 27.6	3 1.0	24 8.1	5 1.7	49 16.5	9 3.0	5 1.7
	50代	290 100	116 40.0	99 34.1	2 0.7	21 7.2	2 0.7	39 13.4	8 2.8	3 1.0
	60代	284 100	121 42.6	86 30.3	0 0.0	26 9.2	1 0.4	31 10.9	13 4.6	6 2.1
	70代以上	286 100	118 41.3	97 33.9	1 0.3	27 9.4	1 0.3	32 11.2	6 2.1	4 1.4

Q9 牛肉、豚肉、鶏肉の国産の「ブランド肉（銘柄肉）」について、どのようなイメージをお持ちですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。
 ※国産の「ブランド肉（銘柄肉）」とは、産地、血統（品種）、飼育法などで、一定の基準を満たしたものにつけられるものです。それぞれの基準は法に定められたものではないため、それぞれの食肉を管理する団体（各推進団体）が適応範囲を定めています。

例) 牛肉 「神戸牛・神戸ビーフ」「松阪牛」「近江牛」「飛騨牛」など

豚肉 「アグー豚（沖縄）」「白金豚（岩手県）」「TOKYO X（東京都）」「平牧三元豚（山形県）」など

鶏肉 「名古屋コーチン」「比内地鶏」「東京しゃも」「京赤地どり」「薩摩鶏」など

【1. 国産牛肉の「ブランド肉（銘柄肉）」】

度数 横%		全 体	特定地域内で特別 の飼育法(飼料、品 種、飼育期間など) で生産された食肉	特定品種を用いて 生産された食肉	一般の小売店では 入手できない流通 量の少ない食肉	一般の食肉より品質 が優れているが価格 も高い食肉	ブランド肉(銘柄肉) と称されているが、一 般の食肉と大きな違 いのない食肉	販売サイドの差別化 戦略で利用されてい るが、品質が一定し ていない食肉	いずれも あてはまらない
全 体		1800 100	880 48.9	416 23.1	236 13.1	628 34.9	140 7.8	48 2.7	467 25.9
地域	首都圏	900 100	437 48.6	196 21.8	102 11.3	312 34.7	66 7.3	23 2.6	234 26.0
	京阪神圏	900 100	443 49.2	220 24.4	134 14.9	316 35.1	74 8.2	25 2.8	233 25.9
年代	20代	300 100	120 40.0	49 16.3	42 14.0	83 27.7	21 7.0	6 2.0	100 33.3
	30代	300 100	127 42.3	56 18.7	35 11.7	99 33.0	22 7.3	6 2.0	100 33.3
	40代	300 100	146 48.7	79 26.3	44 14.7	113 37.7	24 8.0	12 4.0	63 21.0
	50代	300 100	149 49.7	71 23.7	36 12.0	109 36.3	18 6.0	4 1.3	75 25.0
	60代	300 100	169 56.3	74 24.7	47 15.7	107 35.7	25 8.3	10 3.3	68 22.7
	70代以上	300 100	169 56.3	87 29.0	32 10.7	117 39.0	30 10.0	10 3.3	61 20.3

【2. 国産豚肉の「ブランド肉（銘柄肉）」】

度数 横%		全 体	特定地域内で特別 の飼育法(飼料、品 種、飼育期間など) で生産された食肉	特定品種を用いて 生産された食肉	一般の小売店では 入手できない流通 量の少ない食肉	一般の食肉より品質 が優れているが価格 も高い食肉	ブランド肉(銘柄肉) と称されているが、一 般の食肉と大きな違 いのない食肉	販売サイドの差別化 戦略で利用されてい るが、品質が一定し ていない食肉	いずれも あてはまらない
全 体		1800 100	797 44.3	392 21.8	185 10.3	559 31.1	163 9.1	50 2.8	478 26.6
地域	首都圏	900 100	399 44.3	191 21.2	87 9.7	282 31.3	71 7.9	24 2.7	240 26.7
	京阪神圏	900 100	398 44.2	201 22.3	98 10.9	277 30.8	92 10.2	26 2.9	238 26.4
年代	20代	300 100	101 33.7	55 18.3	30 10.0	80 26.7	20 6.7	7 2.3	102 34.0
	30代	300 100	115 38.3	60 20.0	27 9.0	91 30.3	23 7.7	7 2.3	101 33.7
	40代	300 100	136 45.3	68 22.7	34 11.3	102 34.0	25 8.3	13 4.3	64 21.3
	50代	300 100	140 46.7	59 19.7	37 12.3	101 33.7	24 8.0	2 0.7	77 25.7
	60代	300 100	155 51.7	71 23.7	34 11.3	82 27.3	31 10.3	12 4.0	71 23.7
	70代以上	300 100	150 50.0	79 26.3	23 7.7	103 34.3	40 13.3	9 3.0	63 21.0

【3. 国産鶏肉の「ブランド肉（銘柄肉）」】

度数 横%		全 体	特定地域内で特別 の飼育法(飼料、品 種、飼育期間など) で生産された食肉	特定品種を用いて 生産された食肉	一般の小売店では 入手できない流通 量の少ない食肉	一般の食肉より品質 が優れているが価格 も高い食肉	ブランド肉(銘柄肉) と称されているが、一 般の食肉と大きな違 いのない食肉	販売サイドの差別化 戦略で利用されてい るが、品質が一定し ていない食肉	いずれも あてはまらない
全 体		1800 100	767 42.6	352 19.6	200 11.1	530 29.4	166 9.2	59 3.3	499 27.7
地域	首都圏	900 100	381 42.3	173 19.2	95 10.6	266 29.6	70 7.8	24 2.7	246 27.3
	京阪神圏	900 100	386 42.9	179 19.9	105 11.7	264 29.3	96 10.7	35 3.9	253 28.1
年代	20代	300 100	99 33.0	41 13.7	38 12.7	75 25.0	25 8.3	10 3.3	102 34.0
	30代	300 100	114 38.0	49 16.3	26 8.7	88 29.3	22 7.3	10 3.3	104 34.7
	40代	300 100	134 44.7	65 21.7	41 13.7	95 31.7	26 8.7	12 4.0	65 21.7
	50代	300 100	140 46.7	60 20.0	35 11.7	99 33.0	24 8.0	4 1.3	78 26.0
	60代	300 100	141 47.0	67 22.3	34 11.3	82 27.3	28 9.3	12 4.0	80 26.7
	70代以上	300 100	139 46.3	70 23.3	26 8.7	91 30.3	41 13.7	11 3.7	70 23.3

Q10 あなたは、一般のお店やレストランで、国産の「ブランド肉（銘柄肉）」を積極的に購入したい・食べたいと思いますか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。

【1. 国産牛肉の「ブランド肉（銘柄肉）」】

度数横%		全 体	品質のよいブランド肉(銘柄肉)であれば、割高でも購入したい・食べたい	品質のよいブランド肉(銘柄肉)でも、割高なら購入しない・食べない	通常の商品との違いが明確にわかるブランド肉(銘柄肉)であれば、割高でも購入したい・食べたい	通常の商品との違いが明確にわかるブランド肉(銘柄肉)でも、割高なら購入しない・食べない	有名なブランド肉(銘柄肉)であれば、割高でも購入したい・食べたい	有名なブランド肉(銘柄肉)でも、割高なら購入しない・食べない	ブランド肉(銘柄肉)は、特別な日の日(誕生日・記念日・盆・正月・クリスマス等)に購入したい・食べたい	ブランド肉(銘柄肉)には、関心がない・購入しない・食べない	わからない
全 体		1800 100	475 26.4	370 20.6	315 17.5	186 10.3	139 7.7	202 11.2	391 21.7	164 9.1	339 18.8
地域	首都圏	900 100	238 26.4	182 20.2	149 16.6	104 11.6	69 7.7	96 10.7	194 21.6	75 8.3	169 18.8
	京阪神圏	900 100	237 26.3	188 20.9	166 18.4	82 9.1	70 7.8	106 11.8	197 21.9	89 9.9	170 18.9
年代	20代	300 100	88 29.3	52 17.3	51 17.0	18 6.0	28 9.3	19 6.3	64 21.3	29 9.7	64 21.3
	30代	300 100	82 27.3	52 17.3	55 18.3	28 9.3	22 7.3	26 8.7	60 20.0	28 9.3	66 22.0
	40代	300 100	76 25.3	66 22.0	58 19.3	32 10.7	19 6.3	34 11.3	64 21.3	17 5.7	56 18.7
	50代	300 100	63 21.0	69 23.0	46 15.3	41 13.7	17 5.7	38 12.7	66 22.0	23 7.7	60 20.0
	60代	300 100	80 26.7	66 22.0	51 17.0	35 11.7	31 10.3	41 13.7	68 22.7	33 11.0	48 16.0
	70代以上	300 100	86 28.7	65 21.7	54 18.0	32 10.7	22 7.3	44 14.7	69 23.0	34 11.3	45 15.0

【2. 国産豚肉の「ブランド肉（銘柄肉）」】

度数横%		全 体	品質のよいブランド肉(銘柄肉)であれば、割高でも購入したい・食べたい	品質のよいブランド肉(銘柄肉)でも、割高なら購入しない・食べない	通常の商品との違いが明確にわかるブランド肉(銘柄肉)であれば、割高でも購入したい・食べたい	通常の商品との違いが明確にわかるブランド肉(銘柄肉)でも、割高なら購入しない・食べない	有名なブランド肉(銘柄肉)であれば、割高でも購入したい・食べたい	有名なブランド肉(銘柄肉)でも、割高なら購入しない・食べない	ブランド肉(銘柄肉)は、特別な日の日(誕生日・記念日・盆・正月・クリスマス等)に購入したい・食べたい	ブランド肉(銘柄肉)には、関心がない・購入しない・食べない	わからない
全 体		1800 100	400 22.2	385 21.4	287 15.9	205 11.4	98 5.4	211 11.7	271 15.1	187 10.4	346 19.2
地域	首都圏	900 100	210 23.3	183 20.3	142 15.8	118 13.1	46 5.1	116 12.9	133 14.8	80 8.9	169 18.8
	京阪神圏	900 100	190 21.1	202 22.4	145 16.1	87 9.7	52 5.8	95 10.6	138 15.3	107 11.9	177 19.7
年代	20代	300 100	68 22.7	64 21.3	46 15.3	29 9.7	19 6.3	25 8.3	50 16.7	30 10.0	63 21.0
	30代	300 100	71 23.7	56 18.7	51 17.0	28 9.3	18 6.0	29 9.7	49 16.3	28 9.3	68 22.7
	40代	300 100	61 20.3	64 21.3	53 17.7	31 10.3	16 5.3	32 10.7	47 15.7	20 6.7	60 20.0
	50代	300 100	57 19.0	61 20.3	48 16.0	41 13.7	7 2.3	34 11.3	48 16.0	28 9.3	62 20.7
	60代	300 100	66 22.0	72 24.0	40 13.3	42 14.0	22 7.3	49 16.3	45 15.0	39 13.0	48 16.0
	70代以上	300 100	77 25.7	68 22.7	49 16.3	34 11.3	16 5.3	42 14.0	32 10.7	42 14.0	45 15.0

【3. 国産鶏肉の「ブランド肉（銘柄肉）」】

度数 横%		全 体	品質のよいブランド肉(銘柄肉)であれば、割高でも購入したい・食べたい	品質のよいブランド肉(銘柄肉)でも、割高なら購入しない・食べない	通常の商品との違いが明確にわかるブランド肉(銘柄肉)であれば、割高でも購入したい・食べたい	通常の商品との違いが明確にわかるブランド肉(銘柄肉)でも、割高なら購入しない・食べない	有名なブランド肉(銘柄肉)であれば、割高でも購入したい・食べたい	有名なブランド肉(銘柄肉)でも、割高なら購入しない・食べない	ブランド肉(銘柄肉)は、特別なハシの日(誕生日・記念日・盆・正月・クリスマス等)に購入したい・食べたい	ブランド肉(銘柄肉)には、関心がない・購入しない・食べない	わからない
全 体		1800 100	371 20.6	361 20.1	283 15.7	200 11.1	107 5.9	211 11.7	259 14.4	212 11.8	347 19.3
地域	首都圏	900 100	193 21.4	170 18.9	137 15.2	111 12.3	51 5.7	113 12.6	131 14.6	91 10.1	166 18.4
	京阪神圏	900 100	178 19.8	191 21.2	146 16.2	89 9.9	56 6.2	98 10.9	128 14.2	121 13.4	181 20.1
年代	20代	300 100	60 20.0	54 18.0	52 17.3	28 9.3	20 6.7	26 8.7	46 15.3	33 11.0	63 21.0
	30代	300 100	66 22.0	53 17.7	48 16.0	33 11.0	17 5.7	32 10.7	48 16.0	29 9.7	66 22.0
	40代	300 100	61 20.3	60 20.0	53 17.7	30 10.0	18 6.0	32 10.7	47 15.7	21 7.0	60 20.0
	50代	300 100	59 19.7	61 20.3	45 15.0	37 12.3	14 4.7	34 11.3	47 15.7	32 10.7	61 20.3
	60代	300 100	53 17.7	71 23.7	38 12.7	40 13.3	23 7.7	48 16.0	42 14.0	45 15.0	50 16.7
	70代以上	300 100	72 24.0	62 20.7	47 15.7	32 10.7	15 5.0	39 13.0	29 9.7	52 17.3	47 15.7

Q11 ここ1カ月の食肉の購入について伺います。昨年の今頃と比べ、購入回数に変化がありますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 食肉全体】

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1800 100	75 4.2	181 10.1	1231 68.4	113 6.3	74 4.1	91 5.1	35 1.9
地域	首都圏		900 100	38 4.2	95 10.6	605 67.2	56 6.2	37 4.1	48 5.3	21 2.3
	京阪神圏		900 100	37 4.1	86 9.6	626 69.6	57 6.3	37 4.1	43 4.8	14 1.6
年代	20代		300 100	23 7.7	41 13.7	154 51.3	29 9.7	19 6.3	24 8.0	10 3.3
	30代		300 100	18 6.0	28 9.3	203 67.7	15 5.0	11 3.7	21 7.0	4 1.3
	40代		300 100	12 4.0	33 11.0	204 68.0	24 8.0	7 2.3	16 5.3	4 1.3
	50代		300 100	8 2.7	22 7.3	218 72.7	13 4.3	12 4.0	16 5.3	11 3.7
	60代		300 100	4 1.3	31 10.3	224 74.7	14 4.7	15 5.0	7 2.3	5 1.7
	70代以上		300 100	10 3.3	26 8.7	228 76.0	18 6.0	10 3.3	7 2.3	1 0.3

【2. 牛肉】国産和牛

<Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1724 100	28 1.6	127 7.4	1025 59.5	130 7.5	110 6.4	104 6.0	200 11.6
地域	首都圏		861 100	15 1.7	64 7.4	500 58.1	66 7.7	53 6.2	46 5.3	117 13.6
	京阪神圏		863 100	13 1.5	63 7.3	525 60.8	64 7.4	57 6.6	58 6.7	83 9.6
年代	20代		278 100	7 2.5	23 8.3	133 47.8	27 9.7	22 7.9	27 9.7	39 14.0
	30代		282 100	8 2.8	22 7.8	149 52.8	27 9.6	11 3.9	18 6.4	47 16.7
	40代		289 100	4 1.4	20 6.9	182 63.0	19 6.6	17 5.9	21 7.3	26 9.0
	50代		284 100	4 1.4	18 6.3	169 59.5	18 6.3	23 8.1	15 5.3	37 13.0
	60代		294 100	3 1.0	20 6.8	189 64.3	20 6.8	18 6.1	13 4.4	31 10.5
	70代以上		297 100	2 0.7	24 8.1	203 68.4	19 6.4	19 6.4	10 3.4	20 6.7

【3. 牛肉】和牛以外の国産牛肉

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1724 100	23 1.3	92 5.3	1047 60.7	147 8.5	99 5.7	115 6.7	201 11.7
地域	首都圏		861 100	11 1.3	50 5.8	513 59.6	75 8.7	54 6.3	55 6.4	103 12.0
	京阪神圏		863 100	12 1.4	42 4.9	534 61.9	72 8.3	45 5.2	60 7.0	98 11.4
年代	20代		278 100	7 2.5	24 8.6	136 48.9	31 11.2	20 7.2	29 10.4	31 11.2
	30代		282 100	5 1.8	18 6.4	170 60.3	25 8.9	11 3.9	19 6.7	34 12.1
	40代		289 100	5 1.7	10 3.5	176 60.9	22 7.6	19 6.6	24 8.3	33 11.4
	50代		284 100	2 0.7	13 4.6	180 63.4	21 7.4	18 6.3	15 5.3	35 12.3
	60代		294 100	3 1.0	14 4.8	186 63.3	25 8.5	15 5.1	14 4.8	37 12.6
	70代以上		297 100	1 0.3	13 4.4	199 67.0	23 7.7	16 5.4	14 4.7	31 10.4

【4. 牛肉】和牛かどうかわからない国産牛肉 <Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1724 100	21 1.2	70 4.1	958 55.6	125 7.3	107 6.2	130 7.5	313 18.2
地域	首都圏		861 100	13 1.5	42 4.9	474 55.1	62 7.2	57 6.6	58 6.7	155 18.0
	京阪神圏		863 100	8 0.9	28 3.2	484 56.1	63 7.3	50 5.8	72 8.3	158 18.3
年代	20代		278 100	9 3.2	19 6.8	130 46.8	21 7.6	19 6.8	30 10.8	50 18.0
	30代		282 100	6 2.1	9 3.2	160 56.7	25 8.9	13 4.6	18 6.4	51 18.1
	40代		289 100	4 1.4	14 4.8	168 58.1	17 5.9	17 5.9	29 10.0	40 13.8
	50代		284 100	1 0.4	9 3.2	163 57.4	12 4.2	22 7.7	22 7.7	55 19.4
	60代		294 100	1 0.3	8 2.7	170 57.8	23 7.8	19 6.5	15 5.1	58 19.7
	70代以上		297 100	0 0.0	11 3.7	167 56.2	27 9.1	17 5.7	16 5.4	59 19.9

【5. 牛肉】 輸入牛肉

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1724 100	27 1.6	115 6.7	905 52.5	152 8.8	132 7.7	98 5.7	295 17.1
地域	首都圏		861 100	16 1.9	60 7.0	456 53.0	84 9.8	64 7.4	51 5.9	130 15.1
	京阪神圏		863 100	11 1.3	55 6.4	449 52.0	68 7.9	68 7.9	47 5.4	165 19.1
年代	20代		278 100	7 2.5	21 7.6	122 43.9	32 11.5	28 10.1	25 9.0	43 15.5
	30代		282 100	6 2.1	16 5.7	166 58.9	18 6.4	15 5.3	20 7.1	41 14.5
	40代		289 100	4 1.4	20 6.9	158 54.7	29 10.0	20 6.9	19 6.6	39 13.5
	50代		284 100	4 1.4	18 6.3	151 53.2	24 8.5	20 7.0	13 4.6	54 19.0
	60代		294 100	3 1.0	17 5.8	160 54.4	22 7.5	26 8.8	10 3.4	56 19.0
	70代以上		297 100	3 1.0	23 7.7	148 49.8	27 9.1	23 7.7	11 3.7	62 20.9

【6. 豚肉】国産豚肉

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1771 100	31 1.8	178 10.1	1241 70.1	93 5.3	80 4.5	99 5.6	49 2.8
地域	首都圏		888 100	17 1.9	98 11.0	608 68.5	48 5.4	38 4.3	52 5.9	27 3.0
	京阪神圏		883 100	14 1.6	80 9.1	633 71.7	45 5.1	42 4.8	47 5.3	22 2.5
年代	20代		297 100	14 4.7	35 11.8	163 54.9	26 8.8	20 6.7	27 9.1	12 4.0
	30代		296 100	8 2.7	34 11.5	193 65.2	18 6.1	15 5.1	21 7.1	7 2.4
	40代		297 100	4 1.3	23 7.7	220 74.1	10 3.4	12 4.0	19 6.4	9 3.0
	50代		292 100	2 0.7	25 8.6	209 71.6	16 5.5	16 5.5	13 4.5	11 3.8
	60代		293 100	1 0.3	29 9.9	227 77.5	11 3.8	11 3.8	9 3.1	5 1.7
	70代以上		296 100	2 0.7	32 10.8	229 77.4	12 4.1	6 2.0	10 3.4	5 1.7

【7. 豚肉】輸入豚肉

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1771 100	24 1.4	117 6.6	938 53.0	129 7.3	111 6.3	111 6.3	341 19.3
地域	首都圏		888 100	13 1.5	62 7.0	475 53.5	69 7.8	55 6.2	56 6.3	158 17.8
	京阪神圏		883 100	11 1.2	55 6.2	463 52.4	60 6.8	56 6.3	55 6.2	183 20.7
年代	20代		297 100	11 3.7	26 8.8	140 47.1	32 10.8	24 8.1	25 8.4	39 13.1
	30代		296 100	5 1.7	24 8.1	171 57.8	21 7.1	13 4.4	21 7.1	41 13.9
	40代		297 100	3 1.0	17 5.7	168 56.6	16 5.4	16 5.4	25 8.4	52 17.5
	50代		292 100	3 1.0	17 5.8	156 53.4	16 5.5	19 6.5	18 6.2	63 21.6
	60代		293 100	0 0.0	18 6.1	152 51.9	21 7.2	24 8.2	10 3.4	68 23.2
	70代以上		296 100	2 0.7	15 5.1	151 51.0	23 7.8	15 5.1	12 4.1	78 26.4

【8. 鶏肉】国産鶏肉

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1750 100	40 2.3	191 10.9	1187 67.8	106 6.1	64 3.7	107 6.1	55 3.1
地域	首都圏		877 100	22 2.5	97 11.1	602 68.6	45 5.1	31 3.5	54 6.2	26 3.0
	京阪神圏		873 100	18 2.1	94 10.8	585 67.0	61 7.0	33 3.8	53 6.1	29 3.3
年代	20代		297 100	14 4.7	41 13.8	152 51.2	26 8.8	20 6.7	29 9.8	15 5.1
	30代		296 100	8 2.7	36 12.2	197 66.6	18 6.1	8 2.7	21 7.1	8 2.7
	40代		297 100	7 2.4	28 9.4	206 69.4	18 6.1	10 3.4	19 6.4	9 3.0
	50代		290 100	5 1.7	30 10.3	205 70.7	13 4.5	10 3.4	14 4.8	13 4.5
	60代		284 100	4 1.4	23 8.1	211 74.3	17 6.0	9 3.2	15 5.3	5 1.8
	70代以上		286 100	2 0.7	33 11.5	216 75.5	14 4.9	7 2.4	9 3.1	5 1.7

【9. 鶏肉】輸入鶏肉

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1750 100	29 1.7	103 5.9	858 49.0	131 7.5	91 5.2	111 6.3	427 24.4
地域	首都圏		877 100	16 1.8	57 6.5	432 49.3	74 8.4	46 5.2	57 6.5	195 22.2
	京阪神圏		873 100	13 1.5	46 5.3	426 48.8	57 6.5	45 5.2	54 6.2	232 26.6
年代	20代		297 100	17 5.7	32 10.8	133 44.8	31 10.4	16 5.4	26 8.8	42 14.1
	30代		296 100	6 2.0	23 7.8	163 55.1	18 6.1	12 4.1	21 7.1	53 17.9
	40代		297 100	2 0.7	16 5.4	155 52.2	21 7.1	11 3.7	23 7.7	69 23.2
	50代		290 100	1 0.3	12 4.1	141 48.6	17 5.9	21 7.2	17 5.9	81 27.9
	60代		284 100	1 0.4	9 3.2	141 49.6	20 7.0	17 6.0	13 4.6	83 29.2
	70代以上		286 100	2 0.7	11 3.8	125 43.7	24 8.4	14 4.9	11 3.8	99 34.6

Q12 ここ1カ月の食品の購入について伺います。昨年の今頃と比べ、購入回数に変化がありますか。購入回数が「増えた食品」「減った食品」について、あてはまるものを全てお選びください。

【1. 増えた食品】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	卵	牛乳	食肉加工品
全 体			1800 100	387 21.5	423 23.5	392 21.8	298 16.6	250 13.9	362 20.1	305 16.9	200 11.1
地域	首都圏		900 100	179 19.9	205 22.8	208 23.1	153 17.0	124 13.8	159 17.7	148 16.4	104 11.6
	京阪神圏		900 100	208 23.1	218 24.2	184 20.4	145 16.1	126 14.0	203 22.6	157 17.4	96 10.7
年代	20代		300 100	94 31.3	87 29.0	92 30.7	60 20.0	57 19.0	89 29.7	71 23.7	63 21.0
	30代		300 100	90 30.0	74 24.7	66 22.0	46 15.3	39 13.0	72 24.0	56 18.7	30 10.0
	40代		300 100	70 23.3	64 21.3	58 19.3	39 13.0	38 12.7	53 17.7	42 14.0	31 10.3
	50代		300 100	47 15.7	57 19.0	43 14.3	32 10.7	26 8.7	24 8.0	25 8.3	15 5.0
	60代		300 100	40 13.3	59 19.7	59 19.7	51 17.0	36 12.0	61 20.3	49 16.3	32 10.7
	70代以上		300 100	46 15.3	82 27.3	74 24.7	70 23.3	54 18.0	63 21.0	62 20.7	29 9.7

		度数 横%	全 体	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・ 袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 100	266 14.8	331 18.4	327 18.2	209 11.6	141 7.8	283 15.7	779 43.3
地域	首都圏		900 100	129 14.3	173 19.2	156 17.3	109 12.1	66 7.3	143 15.9	381 42.3
	京阪神圏		900 100	137 15.2	158 17.6	171 19.0	100 11.1	75 8.3	140 15.6	398 44.2
年代	20代		300 100	65 21.7	71 23.7	75 25.0	53 17.7	49 16.3	62 20.7	90 30.0
	30代		300 100	41 13.7	47 15.7	59 19.7	33 11.0	29 9.7	49 16.3	124 41.3
	40代		300 100	43 14.3	55 18.3	66 22.0	30 10.0	24 8.0	52 17.3	133 44.3
	50代		300 100	22 7.3	39 13.0	39 13.0	30 10.0	11 3.7	35 11.7	157 52.3
	60代		300 100	47 15.7	64 21.3	46 15.3	36 12.0	14 4.7	47 15.7	141 47.0
	70代以上		300 100	48 16.0	55 18.3	42 14.0	27 9.0	14 4.7	38 12.7	134 44.7

【2.減った食品】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	卵	牛乳	食肉加工品
全 体			1800 100	192 10.7	181 10.1	148 8.2	207 11.5	199 11.1	94 5.2	153 8.5	168 9.3
地域	首都圏		900 100	102 11.3	93 10.3	62 6.9	96 10.7	98 10.9	48 5.3	62 6.9	77 8.6
	京阪神圏		900 100	90 10.0	88 9.8	86 9.6	111 12.3	101 11.2	46 5.1	91 10.1	91 10.1
年代	20代		300 100	32 10.7	48 16.0	39 13.0	59 19.7	59 19.7	24 8.0	41 13.7	37 12.3
	30代		300 100	15 5.0	35 11.7	24 8.0	32 10.7	23 7.7	11 3.7	20 6.7	18 6.0
	40代		300 100	20 6.7	30 10.0	21 7.0	31 10.3	30 10.0	18 6.0	31 10.3	25 8.3
	50代		300 100	30 10.0	19 6.3	20 6.7	27 9.0	27 9.0	15 5.0	18 6.0	24 8.0
	60代		300 100	45 15.0	26 8.7	25 8.3	27 9.0	32 10.7	12 4.0	22 7.3	24 8.0
	70代以上		300 100	50 16.7	23 7.7	19 6.3	31 10.3	28 9.3	14 4.7	21 7.0	40 13.3

		度数 横%	全 体	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・ 袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 100	110 6.1	164 9.1	284 15.8	295 16.4	420 23.3	256 14.2	883 49.1
地域	首都圏		900 100	52 5.8	75 8.3	134 14.9	147 16.3	212 23.6	111 12.3	451 50.1
	京阪神圏		900 100	58 6.4	89 9.9	150 16.7	148 16.4	208 23.1	145 16.1	432 48.0
年代	20代		300 100	32 10.7	43 14.3	62 20.7	70 23.3	73 24.3	53 17.7	111 37.0
	30代		300 100	19 6.3	28 9.3	43 14.3	44 14.7	65 21.7	34 11.3	147 49.0
	40代		300 100	15 5.0	19 6.3	32 10.7	49 16.3	64 21.3	32 10.7	160 53.3
	50代		300 100	11 3.7	20 6.7	43 14.3	34 11.3	51 17.0	36 12.0	166 55.3
	60代		300 100	14 4.7	20 6.7	45 15.0	40 13.3	82 27.3	46 15.3	153 51.0
	70代以上		300 100	19 6.3	34 11.3	59 19.7	58 19.3	85 28.3	55 18.3	146 48.7

Q13 下記の牛肉について、あなたはどの程度購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産和牛】

度数 横%		全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800 100	281 15.6	537 29.8	436 24.2	421 23.4	64 3.6	18 1.0	43 2.4
地域	首都圏	900 100	130 14.4	270 30.0	228 25.3	209 23.2	30 3.3	12 1.3	21 2.3
	京阪神圏	900 100	151 16.8	267 29.7	208 23.1	212 23.6	34 3.8	6 0.7	22 2.4
年代	20代	300 100	61 20.3	67 22.3	65 21.7	75 25.0	19 6.3	4 1.3	9 3.0
	30代	300 100	54 18.0	76 25.3	68 22.7	79 26.3	9 3.0	3 1.0	11 3.7
	40代	300 100	42 14.0	97 32.3	83 27.7	66 22.0	6 2.0	1 0.3	5 1.7
	50代	300 100	41 13.7	82 27.3	78 26.0	72 24.0	12 4.0	3 1.0	12 4.0
	60代	300 100	38 12.7	102 34.0	68 22.7	74 24.7	9 3.0	4 1.3	5 1.7
	70代以上	300 100	45 15.0	113 37.7	74 24.7	55 18.3	9 3.0	3 1.0	1 0.3

【2. 和牛以外の国産牛肉】

度数 横%		全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800 100	127 7.1	422 23.4	505 28.1	561 31.2	99 5.5	27 1.5	59 3.3
地域	首都圏	900 100	61 6.8	208 23.1	257 28.6	281 31.2	50 5.6	16 1.8	27 3.0
	京阪神圏	900 100	66 7.3	214 23.8	248 27.6	280 31.1	49 5.4	11 1.2	32 3.6
年代	20代	300 100	38 12.7	60 20.0	73 24.3	90 30.0	22 7.3	6 2.0	11 3.7
	30代	300 100	34 11.3	71 23.7	75 25.0	92 30.7	9 3.0	6 2.0	13 4.3
	40代	300 100	18 6.0	66 22.0	94 31.3	97 32.3	16 5.3	3 1.0	6 2.0
	50代	300 100	15 5.0	66 22.0	88 29.3	99 33.0	15 5.0	3 1.0	14 4.7
	60代	300 100	10 3.3	78 26.0	86 28.7	95 31.7	20 6.7	4 1.3	7 2.3
	70代以上	300 100	12 4.0	81 27.0	89 29.7	88 29.3	17 5.7	5 1.7	8 2.7

【3. アメリカ産牛肉】

度数 横%		全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800 100	39 2.2	174 9.7	415 23.1	638 35.4	265 14.7	102 5.7	167 9.3
地域	首都圏	900 100	17 1.9	92 10.2	227 25.2	321 35.7	125 13.9	44 4.9	74 8.2
	京阪神圏	900 100	22 2.4	82 9.1	188 20.9	317 35.2	140 15.6	58 6.4	93 10.3
年代	20代	300 100	15 5.0	31 10.3	58 19.3	113 37.7	48 16.0	15 5.0	20 6.7
	30代	300 100	12 4.0	39 13.0	77 25.7	105 35.0	36 12.0	11 3.7	20 6.7
	40代	300 100	2 0.7	24 8.0	86 28.7	105 35.0	51 17.0	14 4.7	18 6.0
	50代	300 100	6 2.0	28 9.3	63 21.0	118 39.3	39 13.0	14 4.7	32 10.7
	60代	300 100	2 0.7	28 9.3	75 25.0	91 30.3	46 15.3	23 7.7	35 11.7
	70代以上	300 100	2 0.7	24 8.0	56 18.7	106 35.3	45 15.0	25 8.3	42 14.0

【4. オーストラリア産牛肉】

度数 横%		全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800 100	53 2.9	209 11.6	456 25.3	630 35.0	235 13.1	82 4.6	135 7.5
地域	首都圏	900 100	22 2.4	114 12.7	250 27.8	314 34.9	111 12.3	31 3.4	58 6.4
	京阪神圏	900 100	31 3.4	95 10.6	206 22.9	316 35.1	124 13.8	51 5.7	77 8.6
年代	20代	300 100	19 6.3	34 11.3	63 21.0	107 35.7	43 14.3	12 4.0	22 7.3
	30代	300 100	17 5.7	41 13.7	71 23.7	117 39.0	27 9.0	9 3.0	18 6.0
	40代	300 100	6 2.0	35 11.7	86 28.7	106 35.3	43 14.3	9 3.0	15 5.0
	50代	300 100	6 2.0	35 11.7	69 23.0	107 35.7	41 13.7	17 5.7	25 8.3
	60代	300 100	3 1.0	32 10.7	92 30.7	96 32.0	41 13.7	15 5.0	21 7.0
	70代以上	300 100	2 0.7	32 10.7	75 25.0	97 32.3	40 13.3	20 6.7	34 11.3

Q14 下記の牛肉について、それぞれどのくらいの頻度で購入していますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 国産和牛】

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1800 100	19 1.1	28 1.6	102 5.7	277 15.4	228 12.7	332 18.4	536 29.8	278 15.4
地域	首都圏	900 100	9 1.0	18 2.0	45 5.0	130 14.4	114 12.7	162 18.0	275 30.6	147 16.3
	京阪神圏	900 100	10 1.1	10 1.1	57 6.3	147 16.3	114 12.7	170 18.9	261 29.0	131 14.6
年代	20代	300 100	9 3.0	11 3.7	21 7.0	44 14.7	38 12.7	43 14.3	64 21.3	70 23.3
	30代	300 100	7 2.3	6 2.0	17 5.7	39 13.0	30 10.0	47 15.7	96 32.0	58 19.3
	40代	300 100	3 1.0	3 1.0	17 5.7	32 10.7	33 11.0	74 24.7	97 32.3	41 13.7
	50代	300 100	0 0.0	4 1.3	14 4.7	37 12.3	26 8.7	53 17.7	115 38.3	51 17.0
	60代	300 100	0 0.0	1 0.3	13 4.3	53 17.7	42 14.0	63 21.0	92 30.7	36 12.0
	70代以上	300 100	0 0.0	3 1.0	20 6.7	72 24.0	59 19.7	52 17.3	72 24.0	22 7.3

【2. 和牛以外の国産牛肉】

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1800 100	11 0.6	23 1.3	77 4.3	260 14.4	308 17.1	354 19.7	466 25.9	301 16.7
地域	首都圏	900 100	5 0.6	11 1.2	37 4.1	117 13.0	160 17.8	167 18.6	249 27.7	154 17.1
	京阪神圏	900 100	6 0.7	12 1.3	40 4.4	143 15.9	148 16.4	187 20.8	217 24.1	147 16.3
年代	20代	300 100	7 2.3	10 3.3	19 6.3	40 13.3	51 17.0	42 14.0	67 22.3	64 21.3
	30代	300 100	3 1.0	7 2.3	20 6.7	43 14.3	36 12.0	54 18.0	85 28.3	52 17.3
	40代	300 100	1 0.3	2 0.7	5 1.7	38 12.7	48 16.0	69 23.0	85 28.3	52 17.3
	50代	300 100	0 0.0	1 0.3	12 4.0	32 10.7	43 14.3	66 22.0	93 31.0	53 17.7
	60代	300 100	0 0.0	0 0.0	9 3.0	46 15.3	62 20.7	60 20.0	82 27.3	41 13.7
	70代以上	300 100	0 0.0	3 1.0	12 4.0	61 20.3	68 22.7	63 21.0	54 18.0	39 13.0

【3. アメリカ産牛肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	10 0.6	13 0.7	63 3.5	181 10.1	247 13.7	314 17.4	460 25.6	512 28.4
地域	首都圏		900 100	3 0.3	5 0.6	28 3.1	99 11.0	136 15.1	152 16.9	237 26.3	240 26.7
	京阪神圏		900 100	7 0.8	8 0.9	35 3.9	82 9.1	111 12.3	162 18.0	223 24.8	272 30.2
年代	20代		300 100	6 2.0	8 2.7	21 7.0	43 14.3	36 12.0	39 13.0	66 22.0	81 27.0
	30代		300 100	3 1.0	1 0.3	18 6.0	43 14.3	43 14.3	55 18.3	77 25.7	60 20.0
	40代		300 100	1 0.3	1 0.3	6 2.0	22 7.3	49 16.3	57 19.0	84 28.0	80 26.7
	50代		300 100	0 0.0	2 0.7	9 3.0	24 8.0	40 13.3	48 16.0	88 29.3	89 29.7
	60代		300 100	0 0.0	0 0.0	5 1.7	23 7.7	40 13.3	63 21.0	68 22.7	101 33.7
	70代以上		300 100	0 0.0	1 0.3	4 1.3	26 8.7	39 13.0	52 17.3	77 25.7	101 33.7

【4. オーストラリア産牛肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	11 0.6	11 0.6	69 3.8	180 10.0	271 15.1	331 18.4	463 25.7	464 25.8
地域	首都圏		900 100	4 0.4	4 0.4	32 3.6	89 9.9	149 16.6	171 19.0	235 26.1	216 24.0
	京阪神圏		900 100	7 0.8	7 0.8	37 4.1	91 10.1	122 13.6	160 17.8	228 25.3	248 27.6
年代	20代		300 100	8 2.7	6 2.0	26 8.7	28 9.3	45 15.0	44 14.7	63 21.0	80 26.7
	30代		300 100	3 1.0	1 0.3	15 5.0	47 15.7	44 14.7	51 17.0	80 26.7	59 19.7
	40代		300 100	0 0.0	1 0.3	7 2.3	26 8.7	44 14.7	65 21.7	81 27.0	76 25.3
	50代		300 100	0 0.0	2 0.7	6 2.0	27 9.0	37 12.3	48 16.0	92 30.7	88 29.3
	60代		300 100	0 0.0	0 0.0	5 1.7	28 9.3	50 16.7	64 21.3	73 24.3	80 26.7
	70代以上		300 100	0 0.0	1 0.3	10 3.3	24 8.0	51 17.0	59 19.7	74 24.7	81 27.0

Q15 下記の牛肉について、それぞれあてはまるイメージを全てお選びください。

度数 横%	全 体	食感	部位・栄養素	／あぶら身が 多い	／赤身が多い	／栄養価が 高い	品質	／安心	／安全
		／柔らかい	／霜降り				／新鮮		
(1) 国産和牛	1800 100	1170 65.0	880 48.9	316 17.6	185 10.3	316 17.6	453 25.2	768 42.7	737 40.9
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	447 24.8	198 11.0	235 13.1	277 15.4	213 11.8	243 13.5	485 26.9	451 25.1
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	88 4.9	39 2.2	244 13.6	514 28.6	128 7.1	33 1.8	67 3.7	71 3.9
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	95 5.3	29 1.6	121 6.7	505 28.1	127 7.1	35 1.9	106 5.9	124 6.9

度数 横%	全 体	品質	／高品質	／産地や生 産者がわかる	／飼育環境 がよい	価格	／価格が手 頃	／特売	味・風味
		／衛生的				／高級品			／あぶらが美 味しい
(1) 国産和牛	1800 100	438 24.3	695 38.6	559 31.1	471 26.2	835 46.4	29 1.6	37 2.1	393 21.8
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	265 14.7	223 12.4	246 13.7	198 11.0	156 8.7	303 16.8	219 12.2	136 7.6
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	53 2.9	37 2.1	57 3.2	40 2.2	23 1.3	842 46.8	496 27.6	55 3.1
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	60 3.3	42 2.3	56 3.1	76 4.2	21 1.2	836 46.4	444 24.7	35 1.9

度数 横%	全 体	味・風味	／おいしい	／肉々しい	／旨味がある	／香りがよい	健康・美容	／筋肉や骨を つくる	／健康によい
		／赤身が美 味しい					／スタミナ源		
(1) 国産和牛	1800 100	212 11.8	665 36.9	158 8.8	462 25.7	247 13.7	279 15.5	280 15.6	206 11.4
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	146 8.1	393 21.8	119 6.6	209 11.6	86 4.8	244 13.6	242 13.4	150 8.3
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	145 8.1	185 10.3	293 16.3	63 3.5	23 1.3	232 12.9	225 12.5	96 5.3
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	158 8.8	198 11.0	234 13.0	56 3.1	20 1.1	210 11.7	217 12.1	96 5.3

度数 横%	全 体	健康・美容	／入手しやす い	／和食に合う	／中華に合う	／洋食に合う	情緒	／賢沢感があ る	／食べやす い・食べ疲れし
		／美容によい					／信頼がおけ る		
(1) 国産和牛	1800 100	136 7.6	88 4.9	326 18.1	65 3.6	208 11.6	419 23.3	569 31.6	234 13.0
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	78 4.3	255 14.2	193 10.7	124 6.9	192 10.7	236 13.1	112 6.2	157 8.7
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	44 2.4	399 22.2	48 2.7	89 4.9	260 14.4	27 1.5	16 0.9	63 3.5
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	43 2.4	395 21.9	47 2.6	81 4.5	242 13.4	32 1.8	24 1.3	71 3.9

度数 横%	全 体	情緒	／女性向き	／年配向き	／大人向き	／若者向き	／子ども向き	／少量で満 足	該当なし／あ てはまるイメ ジはない
		／男性向き							
(1) 国産和牛	1800 100	105 5.8	129 7.2	197 10.9	268 14.9	47 2.6	49 2.7	321 17.8	226 12.6
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	107 5.9	108 6.0	116 6.4	132 7.3	95 5.3	105 5.8	77 4.3	354 19.7
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	195 10.8	28 1.6	21 1.2	55 3.1	256 14.2	100 5.6	27 1.5	427 23.7
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	169 9.4	46 2.6	26 1.4	44 2.4	218 12.1	98 5.4	23 1.3	436 24.2

Q16 あなたは、輸入牛肉と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、国産和牛肉を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

度数横%		全 体	4倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ	4倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	3倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	2倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	8割高までなら国産和牛肉を選ぶ	5割高までなら国産和牛肉を選ぶ	2割高までなら国産和牛肉を選ぶ	同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ	国産和牛肉へのごだわりはない
全 体		1800 100	54 3.0	23 1.3	114 6.3	232 12.9	49 2.7	127 7.1	397 22.1	392 21.8	412 22.9
地域	首都圏	900 100	25 2.8	14 1.6	62 6.9	99 11.0	25 2.8	66 7.3	201 22.3	192 21.3	216 24.0
	京阪神圏	900 100	29 3.2	9 1.0	52 5.8	133 14.8	24 2.7	61 6.8	196 21.8	200 22.2	196 21.8
年代	20代	300 100	9 3.0	6 2.0	15 5.0	32 10.7	13 4.3	12 4.0	51 17.0	66 22.0	96 32.0
	30代	300 100	5 1.7	3 1.0	16 5.3	29 9.7	7 2.3	20 6.7	77 25.7	56 18.7	87 29.0
	40代	300 100	6 2.0	1 0.3	21 7.0	42 14.0	2 0.7	23 7.7	74 24.7	66 22.0	65 21.7
	50代	300 100	9 3.0	5 1.7	14 4.7	43 14.3	3 1.0	16 5.3	76 25.3	72 24.0	62 20.7
	60代	300 100	10 3.3	2 0.7	27 9.0	35 11.7	13 4.3	26 8.7	59 19.7	72 24.0	56 18.7
	70代以上	300 100	15 5.0	6 2.0	21 7.0	51 17.0	11 3.7	30 10.0	60 20.0	60 20.0	46 15.3

Q17 あなたは、輸入牛肉と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、和牛以外の国産牛肉を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

度数横%		全 体	2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ	2倍高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	8割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	6割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	4割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	2割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	1割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	国産へのごだわりはない
全 体		1800 100	91 5.1	92 5.1	46 2.6	67 3.7	117 6.5	315 17.5	210 11.7	426 23.7	436 24.2
地域	首都圏	900 100	44 4.9	41 4.6	21 2.3	29 3.2	58 6.4	163 18.1	96 10.7	223 24.8	225 25.0
	京阪神圏	900 100	47 5.2	51 5.7	25 2.8	38 4.2	59 6.6	152 16.9	114 12.7	203 22.6	211 23.4
年代	20代	300 100	6 2.0	16 5.3	11 3.7	14 4.7	17 5.7	38 12.7	27 9.0	74 24.7	97 32.3
	30代	300 100	6 2.0	17 5.7	6 2.0	11 3.7	13 4.3	55 18.3	36 12.0	69 23.0	87 29.0
	40代	300 100	11 3.7	13 4.3	7 2.3	8 2.7	23 7.7	54 18.0	36 12.0	79 26.3	69 23.0
	50代	300 100	15 5.0	19 6.3	6 2.0	10 3.3	17 5.7	54 18.0	38 12.7	74 24.7	67 22.3
	60代	300 100	24 8.0	12 4.0	7 2.3	14 4.7	27 9.0	56 18.7	35 11.7	62 20.7	63 21.0
	70代以上	300 100	29 9.7	15 5.0	9 3.0	10 3.3	20 6.7	58 19.3	38 12.7	68 22.7	53 17.7

Q18 牛肉について伺います。下記の原産地の牛肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 国産和牛】

		度数横%		他の産地と同程度の価格ならば購入したい	安ければ購入したい	購入したくない	わからない
		全体	割高でも購入したい				
全体		1800 100	521 28.9	502 27.9	579 32.2	56 3.1	142 7.9
地域	首都圏	900 100	261 29.0	249 27.7	278 30.9	32 3.6	80 8.9
	京阪神圏	900 100	260 28.9	253 28.1	301 33.4	24 2.7	62 6.9
年代	20代	300 100	71 23.7	87 29.0	87 29.0	21 7.0	34 11.3
	30代	300 100	84 28.0	74 24.7	100 33.3	7 2.3	35 11.7
	40代	300 100	85 28.3	82 27.3	101 33.7	7 2.3	25 8.3
	50代	300 100	81 27.0	81 27.0	112 37.3	10 3.3	16 5.3
	60代	300 100	99 33.0	85 28.3	90 30.0	8 2.7	18 6.0
	70代以上	300 100	101 33.7	93 31.0	89 29.7	3 1.0	14 4.7

【2. 和牛以外の国産牛肉】

		度数横%		他の産地と同程度の価格ならば購入したい	安ければ購入したい	購入したくない	わからない
		全体	割高でも購入したい				
全体		1800 100	167 9.3	668 37.1	706 39.2	93 5.2	166 9.2
地域	首都圏	900 100	87 9.7	334 37.1	343 38.1	42 4.7	94 10.4
	京阪神圏	900 100	80 8.9	334 37.1	363 40.3	51 5.7	72 8.0
年代	20代	300 100	35 11.7	105 35.0	109 36.3	15 5.0	36 12.0
	30代	300 100	34 11.3	104 34.7	105 35.0	17 5.7	40 13.3
	40代	300 100	23 7.7	108 36.0	121 40.3	18 6.0	30 10.0
	50代	300 100	27 9.0	107 35.7	128 42.7	18 6.0	20 6.7
	60代	300 100	30 10.0	122 40.7	115 38.3	14 4.7	19 6.3
	70代以上	300 100	18 6.0	122 40.7	128 42.7	11 3.7	21 7.0

【3. アメリカ産牛肉】

		度数横%		他の産地と同程度の価格ならば購入したい	安ければ購入したい	購入したくない	わからない
		全体	割高でも購入したい				
全体		1800 100	17 0.9	197 10.9	918 51.0	416 23.1	252 14.0
地域	首都圏	900 100	9 1.0	104 11.6	470 52.2	187 20.8	130 14.4
	京阪神圏	900 100	8 0.9	93 10.3	448 49.8	229 25.4	122 13.6
年代	20代	300 100	9 3.0	40 13.3	146 48.7	56 18.7	49 16.3
	30代	300 100	2 0.7	37 12.3	167 55.7	42 14.0	52 17.3
	40代	300 100	1 0.3	30 10.0	166 55.3	60 20.0	43 14.3
	50代	300 100	3 1.0	31 10.3	154 51.3	73 24.3	39 13.0
	60代	300 100	1 0.3	36 12.0	142 47.3	83 27.7	38 12.7
	70代以上	300 100	1 0.3	23 7.7	143 47.7	102 34.0	31 10.3

【4. オーストラリア産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	14 0.8	219 12.2	998 55.4	324 18.0	245 13.6
地域	首都圏	900 100	5 0.6	117 13.0	504 56.0	143 15.9	131 14.6
	京阪神圏	900 100	9 1.0	102 11.3	494 54.9	181 20.1	114 12.7
年代	20代	300 100	6 2.0	43 14.3	154 51.3	49 16.3	48 16.0
	30代	300 100	4 1.3	42 14.0	165 55.0	38 12.7	51 17.0
	40代	300 100	0 0.0	35 11.7	177 59.0	44 14.7	44 14.7
	50代	300 100	2 0.7	32 10.7	163 54.3	65 21.7	38 12.7
	60代	300 100	2 0.7	38 12.7	174 58.0	52 17.3	34 11.3
	70代以上	300 100	0 0.0	29 9.7	165 55.0	76 25.3	30 10.0

【5. カナダ産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	21 1.2	173 9.6	849 47.2	393 21.8	364 20.2
地域	首都圏	900 100	9 1.0	89 9.9	445 49.4	174 19.3	183 20.3
	京阪神圏	900 100	12 1.3	84 9.3	404 44.9	219 24.3	181 20.1
年代	20代	300 100	11 3.7	30 10.0	135 45.0	64 21.3	60 20.0
	30代	300 100	4 1.3	39 13.0	137 45.7	52 17.3	68 22.7
	40代	300 100	3 1.0	32 10.7	142 47.3	58 19.3	65 21.7
	50代	300 100	2 0.7	26 8.7	148 49.3	70 23.3	54 18.0
	60代	300 100	1 0.3	26 8.7	150 50.0	71 23.7	52 17.3
	70代以上	300 100	0 0.0	20 6.7	137 45.7	78 26.0	65 21.7

【6. ニュージーランド産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	19 1.1	200 11.1	837 46.5	383 21.3	361 20.1
地域	首都圏	900 100	7 0.8	100 11.1	433 48.1	170 18.9	190 21.1
	京阪神圏	900 100	12 1.3	100 11.1	404 44.9	213 23.7	171 19.0
年代	20代	300 100	9 3.0	44 14.7	118 39.3	68 22.7	61 20.3
	30代	300 100	5 1.7	37 12.3	133 44.3	53 17.7	72 24.0
	40代	300 100	2 0.7	30 10.0	152 50.7	53 17.7	63 21.0
	50代	300 100	2 0.7	31 10.3	146 48.7	67 22.3	54 18.0
	60代	300 100	1 0.3	33 11.0	154 51.3	60 20.0	52 17.3
	70代以上	300 100	0 0.0	25 8.3	134 44.7	82 27.3	59 19.7

【7. メキシコ産牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	14 0.8	100 5.6	487 27.1	691 38.4	508 28.2
地域	首都圏		900 100	8 0.9	50 5.6	246 27.3	333 37.0	263 29.2
	京阪神圏		900 100	6 0.7	50 5.6	241 26.8	358 39.8	245 27.2
年代	20代		300 100	6 2.0	34 11.3	98 32.7	86 28.7	76 25.3
	30代		300 100	2 0.7	19 6.3	82 27.3	99 33.0	98 32.7
	40代		300 100	1 0.3	15 5.0	81 27.0	112 37.3	91 30.3
	50代		300 100	4 1.3	12 4.0	75 25.0	129 43.0	80 26.7
	60代		300 100	1 0.3	11 3.7	85 28.3	125 41.7	78 26.0
	70代以上		300 100	0 0.0	9 3.0	66 22.0	140 46.7	85 28.3

【8. ウルグアイ産牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	14 0.8	98 5.4	467 25.9	689 38.3	532 29.6
地域	首都圏		900 100	7 0.8	52 5.8	248 27.6	322 35.8	271 30.1
	京阪神圏		900 100	7 0.8	46 5.1	219 24.3	367 40.8	261 29.0
年代	20代		300 100	8 2.7	32 10.7	86 28.7	92 30.7	82 27.3
	30代		300 100	3 1.0	16 5.3	79 26.3	102 34.0	100 33.3
	40代		300 100	1 0.3	14 4.7	77 25.7	115 38.3	93 31.0
	50代		300 100	1 0.3	12 4.0	78 26.0	127 42.3	82 27.3
	60代		300 100	1 0.3	12 4.0	83 27.7	121 40.3	83 27.7
	70代以上		300 100	0 0.0	12 4.0	64 21.3	132 44.0	92 30.7

【9. アルゼンチン産牛肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	20 1.1	104 5.8	472 26.2	673 37.4	531 29.5
地域	首都圏		900 100	9 1.0	50 5.6	247 27.4	317 35.2	277 30.8
	京阪神圏		900 100	11 1.2	54 6.0	225 25.0	356 39.6	254 28.2
年代	20代		300 100	11 3.7	36 12.0	86 28.7	87 29.0	80 26.7
	30代		300 100	6 2.0	17 5.7	78 26.0	98 32.7	101 33.7
	40代		300 100	0 0.0	16 5.3	79 26.3	110 36.7	95 31.7
	50代		300 100	1 0.3	14 4.7	77 25.7	125 41.7	83 27.7
	60代		300 100	1 0.3	11 3.7	87 29.0	120 40.0	81 27.0
	70代以上		300 100	1 0.3	10 3.3	65 21.7	133 44.3	91 30.3

Q19 豚肉について伺います。下記の原産地の豚肉を購入したいと思いませんか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	457 25.4	667 37.1	515 28.6	33 1.8	128 7.1
地域	首都圏	900 100	231 25.7	319 35.4	260 28.9	14 1.6	76 8.4
	京阪神圏	900 100	226 25.1	348 38.7	255 28.3	19 2.1	52 5.8
年代	20代	300 100	52 17.3	115 38.3	91 30.3	8 2.7	34 11.3
	30代	300 100	65 21.7	105 35.0	93 31.0	5 1.7	32 10.7
	40代	300 100	77 25.7	102 34.0	99 33.0	4 1.3	18 6.0
	50代	300 100	81 27.0	97 32.3	95 31.7	6 2.0	21 7.0
	60代	300 100	89 29.7	121 40.3	70 23.3	5 1.7	15 5.0
	70代以上	300 100	93 31.0	127 42.3	67 22.3	5 1.7	8 2.7

【2. アメリカ産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	19 1.1	268 14.9	817 45.4	438 24.3	258 14.3
地域	首都圏	900 100	7 0.8	147 16.3	422 46.9	203 22.6	121 13.4
	京阪神圏	900 100	12 1.3	121 13.4	395 43.9	235 26.1	137 15.2
年代	20代	300 100	11 3.7	55 18.3	134 44.7	48 16.0	52 17.3
	30代	300 100	2 0.7	54 18.0	149 49.7	46 15.3	49 16.3
	40代	300 100	2 0.7	47 15.7	139 46.3	72 24.0	40 13.3
	50代	300 100	2 0.7	45 15.0	138 46.0	75 25.0	40 13.3
	60代	300 100	1 0.3	44 14.7	124 41.3	88 29.3	43 14.3
	70代以上	300 100	1 0.3	23 7.7	133 44.3	109 36.3	34 11.3

【3. カナダ産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	10 0.6	226 12.6	839 46.6	408 22.7	317 17.6
地域	首都圏	900 100	5 0.6	121 13.4	437 48.6	180 20.0	157 17.4
	京阪神圏	900 100	5 0.6	105 11.7	402 44.7	228 25.3	160 17.8
年代	20代	300 100	5 1.7	49 16.3	131 43.7	53 17.7	62 20.7
	30代	300 100	2 0.7	55 18.3	134 44.7	52 17.3	57 19.0
	40代	300 100	0 0.0	33 11.0	150 50.0	66 22.0	51 17.0
	50代	300 100	2 0.7	31 10.3	143 47.7	77 25.7	47 15.7
	60代	300 100	0 0.0	36 12.0	142 47.3	76 25.3	46 15.3
	70代以上	300 100	1 0.3	22 7.3	139 46.3	84 28.0	54 18.0

【4. スペイン産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	21 1.2	184 10.2	645 35.8	531 29.5	419 23.3
地域	首都圏		900 100	9 1.0	98 10.9	332 36.9	250 27.8	211 23.4
	京阪神圏		900 100	12 1.3	86 9.6	313 34.8	281 31.2	208 23.1
年代	20代		300 100	7 2.3	44 14.7	116 38.7	69 23.0	64 21.3
	30代		300 100	4 1.3	36 12.0	113 37.7	74 24.7	73 24.3
	40代		300 100	4 1.3	30 10.0	118 39.3	81 27.0	67 22.3
	50代		300 100	3 1.0	27 9.0	103 34.3	95 31.7	72 24.0
	60代		300 100	2 0.7	29 9.7	106 35.3	94 31.3	69 23.0
	70代以上		300 100	1 0.3	18 6.0	89 29.7	118 39.3	74 24.7

【5. メキシコ産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	8 0.4	116 6.4	524 29.1	669 37.2	483 26.8
地域	首都圏		900 100	4 0.4	57 6.3	270 30.0	316 35.1	253 28.1
	京阪神圏		900 100	4 0.4	59 6.6	254 28.2	353 39.2	230 25.6
年代	20代		300 100	6 2.0	34 11.3	105 35.0	79 26.3	76 25.3
	30代		300 100	0 0.0	34 11.3	81 27.0	101 33.7	84 28.0
	40代		300 100	1 0.3	16 5.3	87 29.0	117 39.0	79 26.3
	50代		300 100	1 0.3	10 3.3	88 29.3	120 40.0	81 27.0
	60代		300 100	0 0.0	11 3.7	92 30.7	118 39.3	79 26.3
	70代以上		300 100	0 0.0	11 3.7	71 23.7	134 44.7	84 28.0

【6. チリ産豚肉】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	9 0.5	113 6.3	493 27.4	673 37.4	512 28.4
地域	首都圏		900 100	5 0.6	57 6.3	258 28.7	316 35.1	264 29.3
	京阪神圏		900 100	4 0.4	56 6.2	235 26.1	357 39.7	248 27.6
年代	20代		300 100	5 1.7	36 12.0	100 33.3	80 26.7	79 26.3
	30代		300 100	1 0.3	25 8.3	80 26.7	99 33.0	95 31.7
	40代		300 100	2 0.7	15 5.0	79 26.3	118 39.3	86 28.7
	50代		300 100	1 0.3	13 4.3	80 26.7	125 41.7	81 27.0
	60代		300 100	0 0.0	13 4.3	88 29.3	116 38.7	83 27.7
	70代以上		300 100	0 0.0	11 3.7	66 22.0	135 45.0	88 29.3

【7. デンマーク産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	16 0.9	157 8.7	569 31.6	565 31.4	493 27.4
地域	首都圏	900 100	7 0.8	77 8.6	307 34.1	257 28.6	252 28.0
	京阪神圏	900 100	9 1.0	80 8.9	262 29.1	308 34.2	241 26.8
年代	20代	300 100	12 4.0	38 12.7	97 32.3	77 25.7	76 25.3
	30代	300 100	1 0.3	32 10.7	91 30.3	85 28.3	91 30.3
	40代	300 100	1 0.3	25 8.3	88 29.3	101 33.7	85 28.3
	50代	300 100	1 0.3	19 6.3	98 32.7	100 33.3	82 27.3
	60代	300 100	1 0.3	23 7.7	102 34.0	98 32.7	76 25.3
	70代以上	300 100	0 0.0	20 6.7	93 31.0	104 34.7	83 27.7

Q20 鶏肉について伺います。下記の原産地の鶏肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	498 27.7	640 35.6	497 27.6	35 1.9	130 7.2
地域	首都圏	900 100	248 27.6	313 34.8	250 27.8	15 1.7	74 8.2
	京阪神圏	900 100	250 27.8	327 36.3	247 27.4	20 2.2	56 6.2
年代	20代	300 100	60 20.0	105 35.0	99 33.0	6 2.0	30 10.0
	30代	300 100	73 24.3	97 32.3	95 31.7	3 1.0	32 10.7
	40代	300 100	83 27.7	106 35.3	87 29.0	4 1.3	20 6.7
	50代	300 100	91 30.3	99 33.0	84 28.0	6 2.0	20 6.7
	60代	300 100	86 28.7	115 38.3	72 24.0	10 3.3	17 5.7
	70代以上	300 100	105 35.0	118 39.3	60 20.0	6 2.0	11 3.7

【2. アメリカ産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	17 0.9	183 10.2	670 37.2	590 32.8	340 18.9
地域	首都圏	900 100	10 1.1	89 9.9	352 39.1	281 31.2	168 18.7
	京阪神圏	900 100	7 0.8	94 10.4	318 35.3	309 34.3	172 19.1
年代	20代	300 100	8 2.7	46 15.3	120 40.0	68 22.7	58 19.3
	30代	300 100	4 1.3	35 11.7	131 43.7	69 23.0	61 20.3
	40代	300 100	2 0.7	27 9.0	118 39.3	98 32.7	55 18.3
	50代	300 100	1 0.3	28 9.3	107 35.7	109 36.3	55 18.3
	60代	300 100	1 0.3	26 8.7	102 34.0	111 37.0	60 20.0
	70代以上	300 100	1 0.3	21 7.0	92 30.7	135 45.0	51 17.0

【3. ブラジル産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	13 0.7	122 6.8	604 33.6	701 38.9	360 20.0
地域	首都圏	900 100	6 0.7	61 6.8	314 34.9	336 37.3	183 20.3
	京阪神圏	900 100	7 0.8	61 6.8	290 32.2	365 40.6	177 19.7
年代	20代	300 100	6 2.0	34 11.3	122 40.7	77 25.7	61 20.3
	30代	300 100	3 1.0	26 8.7	104 34.7	102 34.0	65 21.7
	40代	300 100	1 0.3	19 6.3	104 34.7	121 40.3	55 18.3
	50代	300 100	3 1.0	11 3.7	91 30.3	129 43.0	66 22.0
	60代	300 100	0 0.0	17 5.7	98 32.7	128 42.7	57 19.0
	70代以上	300 100	0 0.0	15 5.0	85 28.3	144 48.0	56 18.7

【4. タイ産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	10 0.6	113 6.3	513 28.5	727 40.4	437 24.3
地域	首都圏	900 100	5 0.6	49 5.4	272 30.2	357 39.7	217 24.1
	京阪神圏	900 100	5 0.6	64 7.1	241 26.8	370 41.1	220 24.4
年代	20代	300 100	7 2.3	32 10.7	103 34.3	92 30.7	66 22.0
	30代	300 100	3 1.0	24 8.0	81 27.0	110 36.7	82 27.3
	40代	300 100	0 0.0	19 6.3	90 30.0	120 40.0	71 23.7
	50代	300 100	0 0.0	10 3.3	80 26.7	132 44.0	78 26.0
	60代	300 100	0 0.0	15 5.0	84 28.0	131 43.7	70 23.3
	70代以上	300 100	0 0.0	13 4.3	75 25.0	142 47.3	70 23.3

Q21 あなたは下記の各食品の安全性について不安を感じますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 米】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	43 2.4	125 6.9	484 26.9	530 29.4	618 34.3
地域	首都圏		900 100	23 2.6	62 6.9	249 27.7	270 30.0	296 32.9
	京阪神圏		900 100	20 2.2	63 7.0	235 26.1	260 28.9	322 35.8
年代	20代		300 100	9 3.0	25 8.3	79 26.3	73 24.3	114 38.0
	30代		300 100	8 2.7	20 6.7	87 29.0	66 22.0	119 39.7
	40代		300 100	6 2.0	29 9.7	89 29.7	86 28.7	90 30.0
	50代		300 100	8 2.7	17 5.7	91 30.3	97 32.3	87 29.0
	60代		300 100	4 1.3	13 4.3	86 28.7	99 33.0	98 32.7
	70代以上		300 100	8 2.7	21 7.0	52 17.3	109 36.3	110 36.7

【2. パン】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	49 2.7	175 9.7	569 31.6	503 27.9	504 28.0
地域	首都圏		900 100	24 2.7	86 9.6	290 32.2	255 28.3	245 27.2
	京阪神圏		900 100	25 2.8	89 9.9	279 31.0	248 27.6	259 28.8
年代	20代		300 100	8 2.7	38 12.7	86 28.7	70 23.3	98 32.7
	30代		300 100	8 2.7	28 9.3	97 32.3	65 21.7	102 34.0
	40代		300 100	12 4.0	35 11.7	104 34.7	83 27.7	66 22.0
	50代		300 100	9 3.0	28 9.3	107 35.7	87 29.0	69 23.0
	60代		300 100	6 2.0	19 6.3	106 35.3	90 30.0	79 26.3
	70代以上		300 100	6 2.0	27 9.0	69 23.0	108 36.0	90 30.0

【3. 野菜】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	48 2.7	202 11.2	646 35.9	499 27.7	405 22.5
地域	首都圏		900 100	26 2.9	94 10.4	331 36.8	252 28.0	197 21.9
	京阪神圏		900 100	22 2.4	108 12.0	315 35.0	247 27.4	208 23.1
年代	20代		300 100	13 4.3	39 13.0	104 34.7	65 21.7	79 26.3
	30代		300 100	7 2.3	44 14.7	102 34.0	67 22.3	80 26.7
	40代		300 100	8 2.7	46 15.3	115 38.3	76 25.3	55 18.3
	50代		300 100	10 3.3	28 9.3	124 41.3	76 25.3	62 20.7
	60代		300 100	4 1.3	24 8.0	106 35.3	101 33.7	65 21.7
	70代以上		300 100	6 2.0	21 7.0	95 31.7	114 38.0	64 21.3

【4. 果物】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	44 2.4	167 9.3	646 35.9	511 28.4	432 24.0
地域	首都圏		900 100	27 3.0	81 9.0	332 36.9	248 27.6	212 23.6
	京阪神圏		900 100	17 1.9	86 9.6	314 34.9	263 29.2	220 24.4
年代	20代		300 100	11 3.7	32 10.7	100 33.3	65 21.7	92 30.7
	30代		300 100	8 2.7	34 11.3	107 35.7	70 23.3	81 27.0
	40代		300 100	9 3.0	32 10.7	122 40.7	80 26.7	57 19.0
	50代		300 100	8 2.7	28 9.3	124 41.3	77 25.7	63 21.0
	60代		300 100	3 1.0	22 7.3	107 35.7	102 34.0	66 22.0
	70代以上		300 100	5 1.7	19 6.3	86 28.7	117 39.0	73 24.3

【5. 魚介】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	72 4.0	297 16.5	630 35.0	463 25.7	338 18.8
地域	首都圏		900 100	43 4.8	141 15.7	322 35.8	234 26.0	160 17.8
	京阪神圏		900 100	29 3.2	156 17.3	308 34.2	229 25.4	178 19.8
年代	20代		300 100	15 5.0	66 22.0	97 32.3	61 20.3	61 20.3
	30代		300 100	19 6.3	60 20.0	102 34.0	55 18.3	64 21.3
	40代		300 100	12 4.0	55 18.3	119 39.7	77 25.7	37 12.3
	50代		300 100	14 4.7	41 13.7	112 37.3	79 26.3	54 18.0
	60代		300 100	5 1.7	33 11.0	111 37.0	95 31.7	56 18.7
	70代以上		300 100	7 2.3	42 14.0	89 29.7	96 32.0	66 22.0

【6. 牛肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	65 3.6	278 15.4	654 36.3	475 26.4	328 18.2
地域	首都圏		900 100	32 3.6	139 15.4	333 37.0	234 26.0	162 18.0
	京阪神圏		900 100	33 3.7	139 15.4	321 35.7	241 26.8	166 18.4
年代	20代		300 100	16 5.3	67 22.3	95 31.7	59 19.7	63 21.0
	30代		300 100	13 4.3	57 19.0	111 37.0	59 19.7	60 20.0
	40代		300 100	9 3.0	52 17.3	116 38.7	79 26.3	44 14.7
	50代		300 100	10 3.3	40 13.3	120 40.0	76 25.3	54 18.0
	60代		300 100	6 2.0	33 11.0	113 37.7	94 31.3	54 18.0
	70代以上		300 100	11 3.7	29 9.7	99 33.0	108 36.0	53 17.7

【7. 豚肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	58 3.2	260 14.4	673 37.4	481 26.7	328 18.2
地域	首都圏		900 100	28 3.1	124 13.8	352 39.1	234 26.0	162 18.0
	京阪神圏		900 100	30 3.3	136 15.1	321 35.7	247 27.4	166 18.4
年代	20代		300 100	17 5.7	70 23.3	92 30.7	64 21.3	57 19.0
	30代		300 100	10 3.3	57 19.0	106 35.3	66 22.0	61 20.3
	40代		300 100	8 2.7	40 13.3	130 43.3	78 26.0	44 14.7
	50代		300 100	7 2.3	37 12.3	123 41.0	76 25.3	57 19.0
	60代		300 100	5 1.7	28 9.3	116 38.7	97 32.3	54 18.0
	70代以上		300 100	11 3.7	28 9.3	106 35.3	100 33.3	55 18.3

【8. 鶏肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	61 3.4	263 14.6	671 37.3	468 26.0	337 18.7
地域	首都圏		900 100	32 3.6	124 13.8	354 39.3	226 25.1	164 18.2
	京阪神圏		900 100	29 3.2	139 15.4	317 35.2	242 26.9	173 19.2
年代	20代		300 100	16 5.3	66 22.0	96 32.0	60 20.0	62 20.7
	30代		300 100	12 4.0	54 18.0	107 35.7	64 21.3	63 21.0
	40代		300 100	6 2.0	46 15.3	128 42.7	77 25.7	43 14.3
	50代		300 100	8 2.7	37 12.3	120 40.0	76 25.3	59 19.7
	60代		300 100	7 2.3	31 10.3	112 37.3	93 31.0	57 19.0
	70代以上		300 100	12 4.0	29 9.7	108 36.0	98 32.7	53 17.7

【9. 卵】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	38 2.1	197 10.9	586 32.6	533 29.6	446 24.8
地域	首都圏		900 100	20 2.2	101 11.2	307 34.1	255 28.3	217 24.1
	京阪神圏		900 100	18 2.0	96 10.7	279 31.0	278 30.9	229 25.4
年代	20代		300 100	8 2.7	53 17.7	95 31.7	70 23.3	74 24.7
	30代		300 100	10 3.3	38 12.7	96 32.0	71 23.7	85 28.3
	40代		300 100	5 1.7	39 13.0	109 36.3	87 29.0	60 20.0
	50代		300 100	4 1.3	27 9.0	117 39.0	83 27.7	69 23.0
	60代		300 100	5 1.7	18 6.0	94 31.3	103 34.3	80 26.7
	70代以上		300 100	6 2.0	22 7.3	75 25.0	119 39.7	78 26.0

【10. 牛乳】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	41 2.3	161 8.9	610 33.9	532 29.6	456 25.3
地域	首都圏		900 100	20 2.2	75 8.3	329 36.6	258 28.7	218 24.2
	京阪神圏		900 100	21 2.3	86 9.6	281 31.2	274 30.4	238 26.4
年代	20代		300 100	9 3.0	37 12.3	102 34.0	72 24.0	80 26.7
	30代		300 100	7 2.3	32 10.7	107 35.7	68 22.7	86 28.7
	40代		300 100	7 2.3	32 10.7	110 36.7	88 29.3	63 21.0
	50代		300 100	6 2.0	22 7.3	123 41.0	84 28.0	65 21.7
	60代		300 100	6 2.0	18 6.0	91 30.3	105 35.0	80 26.7
	70代以上		300 100	6 2.0	20 6.7	77 25.7	115 38.3	82 27.3

【11. 食肉加工品】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	109 6.1	368 20.4	652 36.2	360 20.0	311 17.3
地域	首都圏		900 100	56 6.2	176 19.6	339 37.7	175 19.4	154 17.1
	京阪神圏		900 100	53 5.9	192 21.3	313 34.8	185 20.6	157 17.4
年代	20代		300 100	22 7.3	56 18.7	106 35.3	52 17.3	64 21.3
	30代		300 100	18 6.0	69 23.0	100 33.3	43 14.3	70 23.3
	40代		300 100	23 7.7	69 23.0	119 39.7	52 17.3	37 12.3
	50代		300 100	18 6.0	56 18.7	127 42.3	54 18.0	45 15.0
	60代		300 100	14 4.7	57 19.0	107 35.7	72 24.0	50 16.7
	70代以上		300 100	14 4.7	61 20.3	93 31.0	87 29.0	45 15.0

【12. 乳製品】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	40 2.2	176 9.8	660 36.7	495 27.5	429 23.8
地域	首都圏		900 100	24 2.7	76 8.4	347 38.6	248 27.6	205 22.8
	京阪神圏		900 100	16 1.8	100 11.1	313 34.8	247 27.4	224 24.9
年代	20代		300 100	12 4.0	33 11.0	105 35.0	65 21.7	85 28.3
	30代		300 100	8 2.7	36 12.0	111 37.0	57 19.0	88 29.3
	40代		300 100	6 2.0	32 10.7	125 41.7	81 27.0	56 18.7
	50代		300 100	7 2.3	26 8.7	127 42.3	79 26.3	61 20.3
	60代		300 100	4 1.3	23 7.7	102 34.0	102 34.0	69 23.0
	70代以上		300 100	3 1.0	26 8.7	90 30.0	111 37.0	70 23.3

【13. 冷凍食品】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	72 4.0	262 14.6	661 36.7	435 24.2	370 20.6
地域	首都圏		900 100	40 4.4	117 13.0	336 37.3	224 24.9	183 20.3
	京阪神圏		900 100	32 3.6	145 16.1	325 36.1	211 23.4	187 20.8
年代	20代		300 100	13 4.3	46 15.3	101 33.7	64 21.3	76 25.3
	30代		300 100	18 6.0	41 13.7	103 34.3	58 19.3	80 26.7
	40代		300 100	14 4.7	51 17.0	121 40.3	70 23.3	44 14.7
	50代		300 100	10 3.3	41 13.7	134 44.7	61 20.3	54 18.0
	60代		300 100	8 2.7	44 14.7	106 35.3	82 27.3	60 20.0
	70代以上		300 100	9 3.0	39 13.0	96 32.0	100 33.3	56 18.7

【14. インスタント麺（カップ麺・袋麺等）】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	108 6.0	324 18.0	648 36.0	377 20.9	343 19.1
地域	首都圏		900 100	56 6.2	147 16.3	344 38.2	186 20.7	167 18.6
	京阪神圏		900 100	52 5.8	177 19.7	304 33.8	191 21.2	176 19.6
年代	20代		300 100	15 5.0	59 19.7	101 33.7	53 17.7	72 24.0
	30代		300 100	26 8.7	52 17.3	95 31.7	52 17.3	75 25.0
	40代		300 100	24 8.0	53 17.7	116 38.7	67 22.3	40 13.3
	50代		300 100	17 5.7	58 19.3	125 41.7	49 16.3	51 17.0
	60代		300 100	12 4.0	52 17.3	108 36.0	72 24.0	56 18.7
	70代以上		300 100	14 4.7	50 16.7	103 34.3	84 28.0	49 16.3

【15. 弁当・惣菜類】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	109 6.1	329 18.3	712 39.6	379 21.1	271 15.1
地域	首都圏		900 100	54 6.0	144 16.0	382 42.4	193 21.4	127 14.1
	京阪神圏		900 100	55 6.1	185 20.6	330 36.7	186 20.7	144 16.0
年代	20代		300 100	18 6.0	58 19.3	109 36.3	59 19.7	56 18.7
	30代		300 100	26 8.7	52 17.3	103 34.3	56 18.7	63 21.0
	40代		300 100	23 7.7	55 18.3	129 43.0	57 19.0	36 12.0
	50代		300 100	13 4.3	59 19.7	138 46.0	51 17.0	39 13.0
	60代		300 100	13 4.3	55 18.3	114 38.0	79 26.3	39 13.0
	70代以上		300 100	16 5.3	50 16.7	119 39.7	77 25.7	38 12.7

【16. ファストフード】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	142 7.9	410 22.8	655 36.4	333 18.5	260 14.4
地域	首都圏		900 100	76 8.4	184 20.4	350 38.9	163 18.1	127 14.1
	京阪神圏		900 100	66 7.3	226 25.1	305 33.9	170 18.9	133 14.8
年代	20代		300 100	20 6.7	55 18.3	112 37.3	52 17.3	61 20.3
	30代		300 100	28 9.3	66 22.0	103 34.3	42 14.0	61 20.3
	40代		300 100	29 9.7	76 25.3	113 37.7	54 18.0	28 9.3
	50代		300 100	24 8.0	71 23.7	120 40.0	50 16.7	35 11.7
	60代		300 100	14 4.7	73 24.3	106 35.3	64 21.3	43 14.3
	70代以上		300 100	27 9.0	69 23.0	101 33.7	71 23.7	32 10.7

【17. 菓子類】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	71 3.9	233 12.9	732 40.7	402 22.3	362 20.1
地域	首都圏		900 100	36 4.0	103 11.4	375 41.7	217 24.1	169 18.8
	京阪神圏		900 100	35 3.9	130 14.4	357 39.7	185 20.6	193 21.4
年代	20代		300 100	15 5.0	41 13.7	109 36.3	56 18.7	79 26.3
	30代		300 100	16 5.3	43 14.3	107 35.7	48 16.0	86 28.7
	40代		300 100	13 4.3	50 16.7	123 41.0	76 25.3	38 12.7
	50代		300 100	12 4.0	40 13.3	142 47.3	58 19.3	48 16.0
	60代		300 100	7 2.3	27 9.0	131 43.7	78 26.0	57 19.0
	70代以上		300 100	8 2.7	32 10.7	120 40.0	86 28.7	54 18.0

Q23 次にあげる食肉の安全性の問題について、あなたはどの程度関心がありますか。それぞれの事項について、最もあてはまるものを1つお選びください。

【1. 食肉中の残留抗生物質】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	248 13.8	599 33.3	534 29.7	256 14.2	163 9.1
地域	首都圏		900 100	117 13.0	303 33.7	284 31.6	120 13.3	76 8.4
	京阪神圏		900 100	131 14.6	296 32.9	250 27.8	136 15.1	87 9.7
年代	20代		300 100	19 6.3	92 30.7	88 29.3	42 14.0	59 19.7
	30代		300 100	28 9.3	91 30.3	79 26.3	57 19.0	45 15.0
	40代		300 100	30 10.0	89 29.7	111 37.0	45 15.0	25 8.3
	50代		300 100	40 13.3	106 35.3	98 32.7	33 11.0	23 7.7
	60代		300 100	43 14.3	114 38.0	90 30.0	42 14.0	11 3.7
	70代以上		300 100	88 29.3	107 35.7	68 22.7	37 12.3	0 0.0

【2. 食肉中の残留動物薬】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	252 14.0	592 32.9	546 30.3	257 14.3	153 8.5
地域	首都圏		900 100	120 13.3	293 32.6	297 33.0	118 13.1	72 8.0
	京阪神圏		900 100	132 14.7	299 33.2	249 27.7	139 15.4	81 9.0
年代	20代		300 100	20 6.7	86 28.7	92 30.7	45 15.0	57 19.0
	30代		300 100	26 8.7	84 28.0	91 30.3	59 19.7	40 13.3
	40代		300 100	30 10.0	90 30.0	112 37.3	43 14.3	25 8.3
	50代		300 100	42 14.0	105 35.0	97 32.3	35 11.7	21 7.0
	60代		300 100	48 16.0	114 38.0	90 30.0	38 12.7	10 3.3
	70代以上		300 100	86 28.7	113 37.7	64 21.3	37 12.3	0 0.0

【3. 遺伝子組換え飼料を用いた食肉】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	287 15.9	583 32.4	543 30.2	239 13.3	148 8.2
地域	首都圏		900 100	147 16.3	281 31.2	297 33.0	106 11.8	69 7.7
	京阪神圏		900 100	140 15.6	302 33.6	246 27.3	133 14.8	79 8.8
年代	20代		300 100	22 7.3	81 27.0	102 34.0	40 13.3	55 18.3
	30代		300 100	31 10.3	83 27.7	90 30.0	59 19.7	37 12.3
	40代		300 100	37 12.3	92 30.7	108 36.0	40 13.3	23 7.7
	50代		300 100	48 16.0	105 35.0	91 30.3	34 11.3	22 7.3
	60代		300 100	51 17.0	119 39.7	87 29.0	34 11.3	9 3.0
	70代以上		300 100	98 32.7	103 34.3	65 21.7	32 10.7	2 0.7

【4. ゲノム編集飼料を用いた食肉】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	248 13.8	553 30.7	579 32.2	252 14.0	168 9.3
地域	首都圏		900 100	119 13.2	272 30.2	318 35.3	115 12.8	76 8.4
	京阪神圏		900 100	129 14.3	281 31.2	261 29.0	137 15.2	92 10.2
年代	20代		300 100	16 5.3	79 26.3	94 31.3	48 16.0	63 21.0
	30代		300 100	24 8.0	82 27.3	92 30.7	63 21.0	39 13.0
	40代		300 100	32 10.7	85 28.3	114 38.0	40 13.3	29 9.7
	50代		300 100	34 11.3	99 33.0	107 35.7	35 11.7	25 8.3
	60代		300 100	50 16.7	108 36.0	96 32.0	36 12.0	10 3.3
	70代以上		300 100	92 30.7	100 33.3	76 25.3	30 10.0	2 0.7

【5. 牛のBSE（牛海綿状脳症）】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	399 22.2	570 31.7	480 26.7	199 11.1	152 8.4
地域	首都圏		900 100	198 22.0	281 31.2	256 28.4	94 10.4	71 7.9
	京阪神圏		900 100	201 22.3	289 32.1	224 24.9	105 11.7	81 9.0
年代	20代		300 100	25 8.3	74 24.7	91 30.3	47 15.7	63 21.0
	30代		300 100	43 14.3	81 27.0	88 29.3	50 16.7	38 12.7
	40代		300 100	44 14.7	109 36.3	92 30.7	32 10.7	23 7.7
	50代		300 100	59 19.7	114 38.0	84 28.0	26 8.7	17 5.7
	60代		300 100	90 30.0	101 33.7	79 26.3	22 7.3	8 2.7
	70代以上		300 100	138 46.0	91 30.3	46 15.3	22 7.3	3 1.0

【6. 成形肉（インジェクション）】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	276 15.3	511 28.4	628 34.9	220 12.2	165 9.2
地域	首都圏		900 100	130 14.4	248 27.6	345 38.3	97 10.8	80 8.9
	京阪神圏		900 100	146 16.2	263 29.2	283 31.4	123 13.7	85 9.4
年代	20代		300 100	17 5.7	67 22.3	112 37.3	40 13.3	64 21.3
	30代		300 100	34 11.3	69 23.0	103 34.3	57 19.0	37 12.3
	40代		300 100	38 12.7	79 26.3	121 40.3	36 12.0	26 8.7
	50代		300 100	47 15.7	89 29.7	109 36.3	35 11.7	20 6.7
	60代		300 100	57 19.0	95 31.7	109 36.3	29 9.7	10 3.3
	70代以上		300 100	83 27.7	112 37.3	74 24.7	23 7.7	8 2.7

【7. 食肉の放射能汚染】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	348 19.3	543 30.2	559 31.1	202 11.2	148 8.2
地域	首都圏		900 100	179 19.9	265 29.4	300 33.3	88 9.8	68 7.6
	京阪神圏		900 100	169 18.8	278 30.9	259 28.8	114 12.7	80 8.9
年代	20代		300 100	30 10.0	73 24.3	98 32.7	43 14.3	56 18.7
	30代		300 100	40 13.3	81 27.0	94 31.3	46 15.3	39 13.0
	40代		300 100	48 16.0	84 28.0	111 37.0	35 11.7	22 7.3
	50代		300 100	50 16.7	100 33.3	102 34.0	28 9.3	20 6.7
	60代		300 100	65 21.7	113 37.7	89 29.7	25 8.3	8 2.7
	70代以上		300 100	115 38.3	92 30.7	65 21.7	25 8.3	3 1.0

【8. クローン家畜由来の食肉】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	337 18.7	543 30.2	544 30.2	215 11.9	161 8.9
地域	首都圏		900 100	165 18.3	268 29.8	300 33.3	93 10.3	74 8.2
	京阪神圏		900 100	172 19.1	275 30.6	244 27.1	122 13.6	87 9.7
年代	20代		300 100	23 7.7	67 22.3	97 32.3	49 16.3	64 21.3
	30代		300 100	41 13.7	75 25.0	86 28.7	58 19.3	40 13.3
	40代		300 100	42 14.0	88 29.3	115 38.3	30 10.0	25 8.3
	50代		300 100	45 15.0	108 36.0	99 33.0	28 9.3	20 6.7
	60代		300 100	77 25.7	103 34.3	85 28.3	27 9.0	8 2.7
	70代以上		300 100	109 36.3	102 34.0	62 20.7	23 7.7	4 1.3

【9. 牛・豚の口蹄疫】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	368 20.4	529 29.4	546 30.3	200 11.1	157 8.7
地域	首都圏		900 100	187 20.8	259 28.8	292 32.4	83 9.2	79 8.8
	京阪神圏		900 100	181 20.1	270 30.0	254 28.2	117 13.0	78 8.7
年代	20代		300 100	19 6.3	68 22.7	108 36.0	48 16.0	57 19.0
	30代		300 100	33 11.0	72 24.0	100 33.3	54 18.0	41 13.7
	40代		300 100	45 15.0	82 27.3	113 37.7	35 11.7	25 8.3
	50代		300 100	52 17.3	107 35.7	96 32.0	20 6.7	25 8.3
	60代		300 100	82 27.3	110 36.7	78 26.0	22 7.3	8 2.7
	70代以上		300 100	137 45.7	90 30.0	51 17.0	21 7.0	1 0.3

【10. 豚熱】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	328 18.2	502 27.9	611 33.9	205 11.4	154 8.6
地域	首都圏		900 100	166 18.4	248 27.6	322 35.8	92 10.2	72 8.0
	京阪神圏		900 100	162 18.0	254 28.2	289 32.1	113 12.6	82 9.1
年代	20代		300 100	22 7.3	68 22.7	105 35.0	48 16.0	57 19.0
	30代		300 100	31 10.3	77 25.7	102 34.0	52 17.3	38 12.7
	40代		300 100	43 14.3	69 23.0	127 42.3	34 11.3	27 9.0
	50代		300 100	43 14.3	93 31.0	120 40.0	25 8.3	19 6.3
	60代		300 100	67 22.3	104 34.7	97 32.3	22 7.3	10 3.3
	70代以上		300 100	122 40.7	91 30.3	60 20.0	24 8.0	3 1.0

【11. アフリカ豚熱】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	343 19.1	493 27.4	595 33.1	201 11.2	168 9.3
地域	首都圏		900 100	169 18.8	247 27.4	316 35.1	88 9.8	80 8.9
	京阪神圏		900 100	174 19.3	246 27.3	279 31.0	113 12.6	88 9.8
年代	20代		300 100	23 7.7	70 23.3	102 34.0	45 15.0	60 20.0
	30代		300 100	32 10.7	75 25.0	99 33.0	50 16.7	44 14.7
	40代		300 100	45 15.0	72 24.0	121 40.3	34 11.3	28 9.3
	50代		300 100	50 16.7	85 28.3	117 39.0	26 8.7	22 7.3
	60代		300 100	68 22.7	105 35.0	95 31.7	22 7.3	10 3.3
	70代以上		300 100	125 41.7	86 28.7	61 20.3	24 8.0	4 1.3

【12. 豚インフルエンザ】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	408 22.7	603 33.5	504 28.0	155 8.6	130 7.2
地域	首都圏		900 100	207 23.0	296 32.9	260 28.9	75 8.3	62 6.9
	京阪神圏		900 100	201 22.3	307 34.1	244 27.1	80 8.9	68 7.6
年代	20代		300 100	32 10.7	90 30.0	93 31.0	37 12.3	48 16.0
	30代		300 100	46 15.3	93 31.0	88 29.3	37 12.3	36 12.0
	40代		300 100	51 17.0	94 31.3	115 38.3	21 7.0	19 6.3
	50代		300 100	54 18.0	122 40.7	81 27.0	24 8.0	19 6.3
	60代		300 100	90 30.0	112 37.3	72 24.0	18 6.0	8 2.7
	70代以上		300 100	135 45.0	92 30.7	55 18.3	18 6.0	0 0.0

【13. 鳥インフルエンザ】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	441 24.5	622 34.6	474 26.3	136 7.6	127 7.1
地域	首都圏		900 100	217 24.1	310 34.4	252 28.0	60 6.7	61 6.8
	京阪神圏		900 100	224 24.9	312 34.7	222 24.7	76 8.4	66 7.3
年代	20代		300 100	31 10.3	99 33.0	94 31.3	32 10.7	44 14.7
	30代		300 100	50 16.7	92 30.7	88 29.3	33 11.0	37 12.3
	40代		300 100	56 18.7	107 35.7	99 33.0	19 6.3	19 6.3
	50代		300 100	62 20.7	121 40.3	80 26.7	20 6.7	17 5.7
	60代		300 100	100 33.3	109 36.3	68 22.7	15 5.0	8 2.7
	70代以上		300 100	142 47.3	94 31.3	45 15.0	17 5.7	2 0.7

【14. 食肉中の食中毒菌

(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など) の汚染】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	489 27.2	591 32.8	462 25.7	130 7.2	128 7.1
地域	首都圏		900 100	241 26.8	299 33.2	247 27.4	54 6.0	59 6.6
	京阪神圏		900 100	248 27.6	292 32.4	215 23.9	76 8.4	69 7.7
年代	20代		300 100	49 16.3	90 30.0	84 28.0	30 10.0	47 15.7
	30代		300 100	58 19.3	98 32.7	81 27.0	31 10.3	32 10.7
	40代		300 100	67 22.3	92 30.7	97 32.3	20 6.7	24 8.0
	50代		300 100	66 22.0	123 41.0	76 25.3	19 6.3	16 5.3
	60代		300 100	98 32.7	107 35.7	74 24.7	14 4.7	7 2.3
	70代以上		300 100	151 50.3	81 27.0	50 16.7	16 5.3	2 0.7

【15. 食肉の生食】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	383 21.3	522 29.0	525 29.2	190 10.6	180 10.0
地域	首都圏		900 100	199 22.1	254 28.2	279 31.0	84 9.3	84 9.3
	京阪神圏		900 100	184 20.4	268 29.8	246 27.3	106 11.8	96 10.7
年代	20代		300 100	47 15.7	76 25.3	89 29.7	30 10.0	58 19.3
	30代		300 100	44 14.7	94 31.3	87 29.0	41 13.7	34 11.3
	40代		300 100	55 18.3	75 25.0	115 38.3	32 10.7	23 7.7
	50代		300 100	48 16.0	103 34.3	90 30.0	31 10.3	28 9.3
	60代		300 100	74 24.7	91 30.3	87 29.0	29 9.7	19 6.3
	70代以上		300 100	115 38.3	83 27.7	57 19.0	27 9.0	18 6.0

【16. 食肉の産地偽装】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	462 25.7	582 32.3	479 26.6	148 8.2	129 7.2
地域	首都圏		900 100	232 25.8	298 33.1	248 27.6	66 7.3	56 6.2
	京阪神圏		900 100	230 25.6	284 31.6	231 25.7	82 9.1	73 8.1
年代	20代		300 100	36 12.0	79 26.3	93 31.0	39 13.0	53 17.7
	30代		300 100	44 14.7	100 33.3	82 27.3	43 14.3	31 10.3
	40代		300 100	69 23.0	80 26.7	110 36.7	21 7.0	20 6.7
	50代		300 100	68 22.7	122 40.7	79 26.3	15 5.0	16 5.3
	60代		300 100	102 34.0	103 34.3	70 23.3	17 5.7	8 2.7
	70代以上		300 100	143 47.7	98 32.7	45 15.0	13 4.3	1 0.3

【17. 食肉の消費期限改ざん】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	485 26.9	611 33.9	434 24.1	142 7.9	128 7.1
地域	首都圏		900 100	248 27.6	306 34.0	230 25.6	60 6.7	56 6.2
	京阪神圏		900 100	237 26.3	305 33.9	204 22.7	82 9.1	72 8.0
年代	20代		300 100	48 16.0	79 26.3	84 28.0	40 13.3	49 16.3
	30代		300 100	51 17.0	96 32.0	83 27.7	33 11.0	37 12.3
	40代		300 100	74 24.7	88 29.3	94 31.3	23 7.7	21 7.0
	50代		300 100	61 20.3	134 44.7	75 25.0	16 5.3	14 4.7
	60代		300 100	102 34.0	115 38.3	60 20.0	17 5.7	6 2.0
	70代以上		300 100	149 49.7	99 33.0	38 12.7	13 4.3	1 0.3

【18. 牛肉・豚肉の発がん性】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	445 24.7	556 30.9	494 27.4	173 9.6	132 7.3
地域	首都圏		900 100	219 24.3	285 31.7	261 29.0	73 8.1	62 6.9
	京阪神圏		900 100	226 25.1	271 30.1	233 25.9	100 11.1	70 7.8
年代	20代		300 100	37 12.3	83 27.7	88 29.3	40 13.3	52 17.3
	30代		300 100	50 16.7	83 27.7	90 30.0	41 13.7	36 12.0
	40代		300 100	63 21.0	81 27.0	109 36.3	26 8.7	21 7.0
	50代		300 100	56 18.7	118 39.3	81 27.0	29 9.7	16 5.3
	60代		300 100	99 33.0	99 33.0	76 25.3	20 6.7	6 2.0
	70代以上		300 100	140 46.7	92 30.7	50 16.7	17 5.7	1 0.3

【19. 豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性】

		度数					
		横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない
全 体		1800	442	590	488	149	131
		100	24.6	32.8	27.1	8.3	7.3
地域	首都圏	900	227	293	258	62	60
		100	25.2	32.6	28.7	6.9	6.7
	京阪神圏	900	215	297	230	87	71
		100	23.9	33.0	25.6	9.7	7.9
年代	20代	300	44	77	89	40	50
		100	14.7	25.7	29.7	13.3	16.7
	30代	300	54	88	87	35	36
		100	18.0	29.3	29.0	11.7	12.0
	40代	300	59	97	102	21	21
		100	19.7	32.3	34.0	7.0	7.0
	50代	300	55	125	86	17	17
	100	18.3	41.7	28.7	5.7	5.7	
	60代	300	90	109	76	18	7
		100	30.0	36.3	25.3	6.0	2.3
	70代以上	300	140	94	48	18	0
		100	46.7	31.3	16.0	6.0	0.0

Q24 では、次にあげる食肉の安全性の問題について、あなたはどの程度不安を感じますか。不安を感じるものを3つまでお選びください。

	度数 横%	全 体	食肉中の 残留抗生物質	食肉中の 残留動物薬	遺伝子組換え飼 料を用いた食肉	ゲノム編集飼料を 用いた食肉	牛のBSE (牛海綿状脳症)	成形肉 (インジェクション)	食肉の 放射能汚染
全 体		1800 100	371 20.6	265 14.7	276 15.3	130 7.2	404 22.4	108 6.0	225 12.5
地域	首都圏	900 100	182 20.2	133 14.8	148 16.4	70 7.8	180 20.0	49 5.4	113 12.6
	京阪神圏	900 100	189 21.0	132 14.7	128 14.2	60 6.7	224 24.9	59 6.6	112 12.4
年代	20代	300 100	33 11.0	28 9.3	29 9.7	19 6.3	36 12.0	12 4.0	23 7.7
	30代	300 100	47 15.7	34 11.3	29 9.7	14 4.7	45 15.0	22 7.3	29 9.7
	40代	300 100	54 18.0	40 13.3	51 17.0	29 9.7	56 18.7	20 6.7	37 12.3
	50代	300 100	65 21.7	48 16.0	50 16.7	26 8.7	71 23.7	24 8.0	34 11.3
	60代	300 100	73 24.3	52 17.3	52 17.3	25 8.3	91 30.3	13 4.3	49 16.3
	70代以上	300 100	99 33.0	63 21.0	65 21.7	17 5.7	105 35.0	17 5.7	53 17.7

	度数 横%	全 体	クローン家畜 由来の食肉	牛・豚の口蹄疫	豚熱	アフリカ豚熱	豚インフルエンザ	鳥インフルエンザ	食肉中の食中毒 菌の汚染*
全 体		1800 100	185 10.3	142 7.9	41 2.3	53 2.9	229 12.7	357 19.8	404 22.4
地域	首都圏	900 100	85 9.4	65 7.2	20 2.2	21 2.3	114 12.7	175 19.4	199 22.1
	京阪神圏	900 100	100 11.1	77 8.6	21 2.3	32 3.6	115 12.8	182 20.2	205 22.8
年代	20代	300 100	20 6.7	13 4.3	12 4.0	10 3.3	53 17.7	78 26.0	77 25.7
	30代	300 100	23 7.7	11 3.7	4 1.3	8 2.7	32 10.7	49 16.3	71 23.7
	40代	300 100	37 12.3	10 3.3	7 2.3	9 3.0	34 11.3	49 16.3	55 18.3
	50代	300 100	30 10.0	19 6.3	3 1.0	6 2.0	45 15.0	63 21.0	68 22.7
	60代	300 100	37 12.3	43 14.3	4 1.3	12 4.0	38 12.7	67 22.3	59 19.7
	70代以上	300 100	38 12.7	46 15.3	11 3.7	8 2.7	27 9.0	51 17.0	74 24.7

	度数 横%	全 体	食肉の生食	食肉の産地偽装	食肉の消費 期限改ざん	牛肉・豚肉の 発がん性	豚肉加工品 (ハム・ソーセージ) の発がん性	不安に感じる ものはない
全 体		1800 100	150 8.3	188 10.4	236 13.1	193 10.7	291 16.2	259 14.4
地域	首都圏	900 100	78 8.7	95 10.6	128 14.2	95 10.6	155 17.2	139 15.4
	京阪神圏	900 100	72 8.0	93 10.3	108 12.0	98 10.9	136 15.1	120 13.3
年代	20代	300 100	31 10.3	26 8.7	53 17.7	33 11.0	35 11.7	64 21.3
	30代	300 100	30 10.0	33 11.0	47 15.7	39 13.0	64 21.3	58 19.3
	40代	300 100	22 7.3	33 11.0	47 15.7	37 12.3	61 20.3	46 15.3
	50代	300 100	19 6.3	39 13.0	29 9.7	24 8.0	50 16.7	40 13.3
	60代	300 100	26 8.7	23 7.7	32 10.7	35 11.7	44 14.7	29 9.7
	70代以上	300 100	22 7.3	34 11.3	28 9.3	25 8.3	37 12.3	22 7.3

*食肉中の食中毒菌(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など)の汚染

Q25 鳥インフルエンザについて知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「鳥インフルエンザ」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いいため、法律によって、これらの病原体に触れたか触れた恐れがある家畜を直ちに殺処分することとされています。

		全 体	これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない	鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない	市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている	その他	知っているものはない
度数横%							
全 体		1800 100	535 29.7	419 23.3	384 21.3	0 0.0	878 48.8
地域	首都圏	900 100	264 29.3	190 21.1	189 21.0	0 0.0	444 49.3
	京阪神圏	900 100	271 30.1	229 25.4	195 21.7	0 0.0	434 48.2
年代	20代	300 100	66 22.0	46 15.3	59 19.7	0 0.0	168 56.0
	30代	300 100	88 29.3	56 18.7	57 19.0	0 0.0	154 51.3
	40代	300 100	101 33.7	79 26.3	46 15.3	0 0.0	145 48.3
	50代	300 100	84 28.0	83 27.7	62 20.7	0 0.0	141 47.0
	60代	300 100	98 32.7	84 28.0	72 24.0	0 0.0	136 45.3
	70代以上	300 100	98 32.7	71 23.7	88 29.3	0 0.0	134 44.7

Q26 豚熱について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「豚熱」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いいため、法律によって、これらの病原体に触れたか触れた恐れがある家畜を直ちに殺処分することとされています。

		全 体	豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない	豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない	仮に豚熱に罹った豚の肉等を食べても人体に影響はない	豚熱のワクチンを接種した豚の肉等を食べても人体に影響はない	豚熱の予防ワクチンはあるが、有効な治療法は今のところない	その他	知っているものはない
度数横%									
全 体		1800 100	361 20.1	290 16.1	208 11.6	141 7.8	142 7.9	0 0.0	1141 63.4
地域	首都圏	900 100	174 19.3	150 16.7	102 11.3	68 7.6	71 7.9	0 0.0	572 63.6
	京阪神圏	900 100	187 20.8	140 15.6	106 11.8	73 8.1	71 7.9	0 0.0	569 63.2
年代	20代	300 100	47 15.7	37 12.3	19 6.3	20 6.7	22 7.3	0 0.0	194 64.7
	30代	300 100	51 17.0	44 14.7	35 11.7	22 7.3	19 6.3	0 0.0	193 64.3
	40代	300 100	62 20.7	48 16.0	46 15.3	17 5.7	14 4.7	0 0.0	191 63.7
	50代	300 100	60 20.0	44 14.7	39 13.0	26 8.7	17 5.7	0 0.0	199 66.3
	60代	300 100	73 24.3	50 16.7	35 11.7	28 9.3	30 10.0	0 0.0	186 62.0
	70代以上	300 100	68 22.7	67 22.3	34 11.3	28 9.3	40 13.3	0 0.0	178 59.3

Q27 アフリカ豚熱について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「アフリカ豚熱」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いとため、法律によって、これらの病原体に触れたか触れた恐れがある家畜を直ちに殺処分することとされています。

		度数 横%	全 体	アフリカ豚熱 は、豚やイノシシの病気で あり、人に感染する ことはない	アフリカ豚熱 は、日本ではこ れまで発生が 確認されていな い	仮にアフリカ豚 熱に罹った豚の 肉等を食べても 人体に影響は ない	アフリカ豚熱 は、豚熱とは全 く別の病気であ る	アフリカ豚熱に 有効なワクチン や治療法は今 のところない	その他	知っている ものはない
全 体		1800 100	206 11.4	214 11.9	122 6.8	112 6.2	93 5.2	0 0.0	1340 74.4	
地域	首都圏	900 100	100 11.1	96 10.7	52 5.8	53 5.9	53 5.9	0 0.0	681 75.7	
	京阪神圏	900 100	106 11.8	118 13.1	70 7.8	59 6.6	40 4.4	0 0.0	659 73.2	
年代	20代	300 100	34 11.3	28 9.3	17 5.7	21 7.0	20 6.7	0 0.0	214 71.3	
	30代	300 100	36 12.0	38 12.7	18 6.0	17 5.7	7 2.3	0 0.0	224 74.7	
	40代	300 100	29 9.7	37 12.3	24 8.0	13 4.3	9 3.0	0 0.0	230 76.7	
	50代	300 100	29 9.7	36 12.0	27 9.0	18 6.0	15 5.0	0 0.0	234 78.0	
	60代	300 100	40 13.3	37 12.3	20 6.7	25 8.3	17 5.7	0 0.0	218 72.7	
	70代以上	300 100	38 12.7	38 12.7	16 5.3	18 6.0	25 8.3	0 0.0	220 73.3	

Q28 口蹄疫について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「口蹄疫」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いとため、法律によって、これらの病原体に触れたか触れた恐れがある家畜を直ちに殺処分することとされています。

		度数 横%	全 体	口蹄疫は、牛 や豚などの病気 であり、感染す ることはない	口蹄疫は、防 疫措置が講じ られているので 感染牛・豚の 肉が市場に出 回ることはない	日本では、この 10年間は、口 蹄疫が発生し ていない	アジアなど日本 の周辺国では、 口蹄疫が引き 続き発生してい る	仮に口蹄疫に 罹った牛や豚の 肉等を食べても 人体に影響は ない	その他	知っている ものはない
全 体		1800 100	349 19.4	301 16.7	229 12.7	179 9.9	75 4.2	2 0.1	1100 61.1	
地域	首都圏	900 100	174 19.3	153 17.0	105 11.7	90 10.0	35 3.9	2 0.2	547 60.8	
	京阪神圏	900 100	175 19.4	148 16.4	124 13.8	89 9.9	40 4.4	0 0.0	553 61.4	
年代	20代	300 100	31 10.3	30 10.0	34 11.3	25 8.3	9 3.0	0 0.0	207 69.0	
	30代	300 100	50 16.7	36 12.0	39 13.0	22 7.3	10 3.3	0 0.0	196 65.3	
	40代	300 100	55 18.3	42 14.0	35 11.7	28 9.3	10 3.3	0 0.0	194 64.7	
	50代	300 100	66 22.0	56 18.7	30 10.0	31 10.3	15 5.0	0 0.0	182 60.7	
	60代	300 100	79 26.3	64 21.3	44 14.7	36 12.0	19 6.3	1 0.3	157 52.3	
	70代以上	300 100	68 22.7	73 24.3	47 15.7	37 12.3	12 4.0	1 0.3	164 54.7	

Q29 あなたは、個々の問題はあるにしても全体的にみれば、食肉の安全性は高まっていると思いますか、低下していると思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

度数 横%		全 体	高まっている	どちらかといえば 高まっている	わからない	どちらかといえば 低下している	低下している
全 体		1800 100	123 6.8	471 26.2	1010 56.1	138 7.7	58 3.2
地域	首都圏	900 100	56 6.2	244 27.1	498 55.3	69 7.7	33 3.7
	京阪神圏	900 100	67 7.4	227 25.2	512 56.9	69 7.7	25 2.8
年代	20代	300 100	25 8.3	91 30.3	148 49.3	27 9.0	9 3.0
	30代	300 100	21 7.0	83 27.7	156 52.0	24 8.0	16 5.3
	40代	300 100	20 6.7	79 26.3	166 55.3	23 7.7	12 4.0
	50代	300 100	12 4.0	60 20.0	199 66.3	19 6.3	10 3.3
	60代	300 100	16 5.3	83 27.7	172 57.3	21 7.0	8 2.7
	70代以上	300 100	29 9.7	75 25.0	169 56.3	24 8.0	3 1.0

Q31 現在、あなたが食肉の情報を得るために用いている主な情報源（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

度数 横%		全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
全 体		1800 100	1400 77.8	578 32.1	54 3.0	387 21.5	42 2.3	558 31.0
地域	首都圏	900 100	699 77.7	290 32.2	31 3.4	182 20.2	17 1.9	278 30.9
	京阪神圏	900 100	701 77.9	288 32.0	23 2.6	205 22.8	25 2.8	280 31.1
年代	20代	300 100	210 70.0	81 27.0	10 3.3	23 7.7	8 2.7	83 27.7
	30代	300 100	213 71.0	97 32.3	2 0.7	25 8.3	5 1.7	101 33.7
	40代	300 100	225 75.0	91 30.3	13 4.3	34 11.3	5 1.7	103 34.3
	50代	300 100	244 81.3	96 32.0	9 3.0	60 20.0	7 2.3	85 28.3
	60代	300 100	246 82.0	104 34.7	8 2.7	94 31.3	10 3.3	104 34.7
	70代以上	300 100	262 87.3	109 36.3	12 4.0	151 50.3	7 2.3	82 27.3

度数 横%		全 体	インターネット上の コミュニティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政（国、 地方自治体）	公的な研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・小売店
全 体		1800 100	112 6.2	31 1.7	89 4.9	43 2.4	60 3.3	156 8.7
地域	首都圏	900 100	57 6.3	16 1.8	39 4.3	21 2.3	27 3.0	82 9.1
	京阪神圏	900 100	55 6.1	15 1.7	50 5.6	22 2.4	33 3.7	74 8.2
年代	20代	300 100	49 16.3	11 3.7	9 3.0	5 1.7	15 5.0	34 11.3
	30代	300 100	22 7.3	7 2.3	4 1.3	6 2.0	7 2.3	28 9.3
	40代	300 100	13 4.3	6 2.0	9 3.0	9 3.0	12 4.0	24 8.0
	50代	300 100	13 4.3	4 1.3	14 4.7	4 1.3	12 4.0	32 10.7
	60代	300 100	7 2.3	2 0.7	17 5.7	9 3.0	9 3.0	25 8.3
	70代以上	300 100	8 2.7	1 0.3	36 12.0	10 3.3	5 1.7	13 4.3

度数 横%		全 体	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他
全 体		1800 100	63 3.5	8 0.4	27 1.5	135 7.5	19 1.1
地域	首都圏	900 100	33 3.7	4 0.4	10 1.1	68 7.6	10 1.1
	京阪神圏	900 100	30 3.3	4 0.4	17 1.9	67 7.4	9 1.0
年代	20代	300 100	6 2.0	3 1.0	2 0.7	23 7.7	5 1.7
	30代	300 100	5 1.7	3 1.0	4 1.3	22 7.3	7 2.3
	40代	300 100	11 3.7	2 0.7	2 0.7	28 9.3	3 1.0
	50代	300 100	7 2.3	0 0.0	6 2.0	24 8.0	1 0.3
	60代	300 100	14 4.7	0 0.0	4 1.3	20 6.7	1 0.3
	70代以上	300 100	20 6.7	0 0.0	9 3.0	18 6.0	2 0.7

(2) 食肉の栄養や機能について

	度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
全 体		1800 100	1106 61.4	549 30.5	37 2.1	313 17.4	55 3.1	484 26.9
地域	首都圏	900 100	542 60.2	271 30.1	24 2.7	152 16.9	29 3.2	233 25.9
	京阪神圏	900 100	564 62.7	278 30.9	13 1.4	161 17.9	26 2.9	251 27.9
年代	20代	300 100	168 56.0	83 27.7	8 2.7	20 6.7	9 3.0	73 24.3
	30代	300 100	182 60.7	80 26.7	4 1.3	19 6.3	6 2.0	97 32.3
	40代	300 100	181 60.3	86 28.7	7 2.3	26 8.7	7 2.3	90 30.0
	50代	300 100	188 62.7	94 31.3	8 2.7	51 17.0	9 3.0	78 26.0
	60代	300 100	191 63.7	105 35.0	6 2.0	72 24.0	16 5.3	80 26.7
	70代以上	300 100	196 65.3	101 33.7	4 1.3	125 41.7	8 2.7	66 22.0

	度数 横%	全 体	インターネット上の コミュニティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政(国、 地方自治体)	公的な研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・小売店
全 体		1800 100	119 6.6	39 2.2	64 3.6	54 3.0	93 5.2	171 9.5
地域	首都圏	900 100	57 6.3	20 2.2	27 3.0	27 3.0	47 5.2	91 10.1
	京阪神圏	900 100	62 6.9	19 2.1	37 4.1	27 3.0	46 5.1	80 8.9
年代	20代	300 100	48 16.0	13 4.3	8 2.7	8 2.7	16 5.3	33 11.0
	30代	300 100	21 7.0	7 2.3	4 1.3	4 1.3	8 2.7	37 12.3
	40代	300 100	20 6.7	7 2.3	8 2.7	6 2.0	12 4.0	26 8.7
	50代	300 100	10 3.3	8 2.7	10 3.3	12 4.0	17 5.7	32 10.7
	60代	300 100	12 4.0	3 1.0	11 3.7	8 2.7	17 5.7	23 7.7
	70代以上	300 100	8 2.7	1 0.3	23 7.7	16 5.3	23 7.7	20 6.7

	度数 横%	全 体	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他
全 体		1800 100	54 3.0	15 0.8	33 1.8	143 7.9	20 1.1
地域	首都圏	900 100	22 2.4	6 0.7	17 1.9	75 8.3	10 1.1
	京阪神圏	900 100	32 3.6	9 1.0	16 1.8	68 7.6	10 1.1
年代	20代	300 100	6 2.0	5 1.7	5 1.7	27 9.0	5 1.7
	30代	300 100	3 1.0	2 0.7	5 1.7	25 8.3	7 2.3
	40代	300 100	10 3.3	3 1.0	2 0.7	23 7.7	3 1.0
	50代	300 100	7 2.3	0 0.0	6 2.0	23 7.7	1 0.3
	60代	300 100	10 3.3	0 0.0	5 1.7	26 8.7	1 0.3
	70代以上	300 100	18 6.0	5 1.7	10 3.3	19 6.3	3 1.0

Q32 では、あなたが信頼できる情報源（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

		度数横%						
		全 体	テレビのニュース・報道番組	テレビのワイドショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上のニュースサイト
全 体		1800 100	1173 65.2	453 25.2	62 3.4	396 22.0	44 2.4	375 20.8
地域	首都圏	900 100	584 64.9	222 24.7	31 3.4	189 21.0	20 2.2	189 21.0
	京阪神圏	900 100	589 65.4	231 25.7	31 3.4	207 23.0	24 2.7	186 20.7
年代	20代	300 100	163 54.3	64 21.3	13 4.3	31 10.3	14 4.7	53 17.7
	30代	300 100	174 58.0	74 24.7	5 1.7	28 9.3	6 2.0	67 22.3
	40代	300 100	193 64.3	66 22.0	10 3.3	44 14.7	6 2.0	68 22.7
	50代	300 100	207 69.0	85 28.3	10 3.3	57 19.0	3 1.0	60 20.0
	60代	300 100	218 72.7	80 26.7	10 3.3	95 31.7	9 3.0	70 23.3
	70代以上	300 100	218 72.7	84 28.0	14 4.7	141 47.0	6 2.0	57 19.0

		度数横%						
		全 体	インターネット上のコミュニティサイト(SNS等)	個人のブログ	行政(国、地方自治体)	公的な研究機関(大学等)	生産者・食品会社	スーパー・小売店
全 体		1800 100	91 5.1	34 1.9	215 11.9	212 11.8	88 4.9	103 5.7
地域	首都圏	900 100	42 4.7	19 2.1	96 10.7	102 11.3	48 5.3	54 6.0
	京阪神圏	900 100	49 5.4	15 1.7	119 13.2	110 12.2	40 4.4	49 5.4
年代	20代	300 100	33 11.0	12 4.0	31 10.3	28 9.3	25 8.3	28 9.3
	30代	300 100	17 5.7	7 2.3	28 9.3	36 12.0	14 4.7	14 4.7
	40代	300 100	14 4.7	6 2.0	28 9.3	35 11.7	17 5.7	21 7.0
	50代	300 100	12 4.0	5 1.7	30 10.0	32 10.7	11 3.7	18 6.0
	60代	300 100	9 3.0	3 1.0	38 12.7	39 13.0	9 3.0	11 3.7
	70代以上	300 100	6 2.0	1 0.3	60 20.0	42 14.0	12 4.0	11 3.7

		度数横%						
		全 体	生協などの協同組合	学校・病院	NPO・消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に信頼できる情報源はない
全 体		1800 100	73 4.1	27 1.5	64 3.6	111 6.2	3 0.2	148 8.2
地域	首都圏	900 100	35 3.9	17 1.9	29 3.2	58 6.4	1 0.1	77 8.6
	京阪神圏	900 100	38 4.2	10 1.1	35 3.9	53 5.9	2 0.2	71 7.9
年代	20代	300 100	7 2.3	8 2.7	7 2.3	19 6.3	1 0.3	28 9.3
	30代	300 100	2 0.7	5 1.7	8 2.7	20 6.7	1 0.3	31 10.3
	40代	300 100	8 2.7	4 1.3	10 3.3	22 7.3	0 0.0	26 8.7
	50代	300 100	13 4.3	3 1.0	6 2.0	20 6.7	0 0.0	22 7.3
	60代	300 100	19 6.3	5 1.7	15 5.0	15 5.0	0 0.0	22 7.3
	70代以上	300 100	24 8.0	2 0.7	18 6.0	15 5.0	1 0.3	19 6.3

(2) 食肉の栄養や機能について

	度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
全 体		1800 100	1006 55.9	433 24.1	42 2.3	342 19.0	48 2.7	335 18.6
地域	首都圏	900 100	505 56.1	213 23.7	24 2.7	159 17.7	24 2.7	166 18.4
	京阪神圏	900 100	501 55.7	220 24.4	18 2.0	183 20.3	24 2.7	169 18.8
年代	20代	300 100	142 47.3	62 20.7	9 3.0	22 7.3	12 4.0	52 17.3
	30代	300 100	154 51.3	65 21.7	2 0.7	21 7.0	9 3.0	54 18.0
	40代	300 100	164 54.7	65 21.7	9 3.0	37 12.3	8 2.7	65 21.7
	50代	300 100	183 61.0	85 28.3	8 2.7	52 17.3	4 1.3	55 18.3
	60代	300 100	184 61.3	75 25.0	7 2.3	83 27.7	9 3.0	61 20.3
	70代以上	300 100	179 59.7	81 27.0	7 2.3	127 42.3	6 2.0	48 16.0

	度数 横%	全 体	インターネット上の コミュニティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政(国、 地方自治体)	公的な研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・小売店
全 体		1800 100	87 4.8	35 1.9	187 10.4	221 12.3	108 6.0	105 5.8
地域	首都圏	900 100	42 4.7	24 2.7	86 9.6	106 11.8	50 5.6	57 6.3
	京阪神圏	900 100	45 5.0	11 1.2	101 11.2	115 12.8	58 6.4	48 5.3
年代	20代	300 100	36 12.0	14 4.7	33 11.0	26 8.7	25 8.3	27 9.0
	30代	300 100	15 5.0	7 2.3	23 7.7	38 12.7	16 5.3	19 6.3
	40代	300 100	11 3.7	6 2.0	27 9.0	34 11.3	19 6.3	20 6.7
	50代	300 100	9 3.0	6 2.0	26 8.7	30 10.0	14 4.7	15 5.0
	60代	300 100	9 3.0	2 0.7	31 10.3	42 14.0	17 5.7	11 3.7
	70代以上	300 100	7 2.3	0 0.0	47 15.7	51 17.0	17 5.7	13 4.3

	度数 横%	全 体	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に信頼で きる情報源はない
全 体		1800 100	65 3.6	27 1.5	66 3.7	122 6.8	3 0.2	161 8.9
地域	首都圏	900 100	35 3.9	15 1.7	31 3.4	65 7.2	1 0.1	83 9.2
	京阪神圏	900 100	30 3.3	12 1.3	35 3.9	57 6.3	2 0.2	78 8.7
年代	20代	300 100	7 2.3	7 2.3	7 2.3	21 7.0	1 0.3	29 9.7
	30代	300 100	4 1.3	4 1.3	8 2.7	19 6.3	1 0.3	33 11.0
	40代	300 100	7 2.3	3 1.0	4 1.3	22 7.3	0 0.0	28 9.3
	50代	300 100	12 4.0	3 1.0	8 2.7	18 6.0	0 0.0	23 7.7
	60代	300 100	16 5.3	8 2.7	17 5.7	18 6.0	0 0.0	26 8.7
	70代以上	300 100	19 6.3	2 0.7	22 7.3	24 8.0	1 0.3	22 7.3

Q33 あなたは、次の各機関や事業者などが行っている食肉の安全性を確保するために
行っている取組についてどの程度信頼できますか。それぞれの事項について、あなた
の考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 農林水産省】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	175 9.7	595 33.1	556 30.9	134 7.4	106 5.9	234 13.0
地域	首都圏	900 100	82 9.1	304 33.8	285 31.7	66 7.3	54 6.0	109 12.1
	京阪神圏	900 100	93 10.3	291 32.3	271 30.1	68 7.6	52 5.8	125 13.9
年代	20代	300 100	51 17.0	74 24.7	86 28.7	21 7.0	14 4.7	54 18.0
	30代	300 100	38 12.7	101 33.7	84 28.0	13 4.3	13 4.3	51 17.0
	40代	300 100	19 6.3	95 31.7	105 35.0	21 7.0	21 7.0	39 13.0
	50代	300 100	19 6.3	108 36.0	95 31.7	26 8.7	20 6.7	32 10.7
	60代	300 100	17 5.7	111 37.0	95 31.7	29 9.7	17 5.7	31 10.3
	70代以上	300 100	31 10.3	106 35.3	91 30.3	24 8.0	21 7.0	27 9.0

【2. 厚生労働省】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	129 7.2	545 30.3	608 33.8	155 8.6	117 6.5	246 13.7
地域	首都圏	900 100	59 6.6	273 30.3	319 35.4	71 7.9	64 7.1	114 12.7
	京阪神圏	900 100	70 7.8	272 30.2	289 32.1	84 9.3	53 5.9	132 14.7
年代	20代	300 100	36 12.0	76 25.3	95 31.7	21 7.0	14 4.7	58 19.3
	30代	300 100	25 8.3	100 33.3	89 29.7	19 6.3	17 5.7	50 16.7
	40代	300 100	15 5.0	77 25.7	120 40.0	25 8.3	23 7.7	40 13.3
	50代	300 100	17 5.7	95 31.7	108 36.0	30 10.0	17 5.7	33 11.0
	60代	300 100	13 4.3	97 32.3	105 35.0	32 10.7	20 6.7	33 11.0
	70代以上	300 100	23 7.7	100 33.3	91 30.3	28 9.3	26 8.7	32 10.7

【3. 地方自治体】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	112 6.2	556 30.9	662 36.8	137 7.6	75 4.2	258 14.3
地域	首都圏	900 100	56 6.2	274 30.4	340 37.8	67 7.4	41 4.6	122 13.6
	京阪神圏	900 100	56 6.2	282 31.3	322 35.8	70 7.8	34 3.8	136 15.1
年代	20代	300 100	28 9.3	70 23.3	102 34.0	21 7.0	19 6.3	60 20.0
	30代	300 100	24 8.0	92 30.7	102 34.0	22 7.3	8 2.7	52 17.3
	40代	300 100	17 5.7	86 28.7	117 39.0	24 8.0	13 4.3	43 14.3
	50代	300 100	13 4.3	93 31.0	117 39.0	26 8.7	12 4.0	39 13.0
	60代	300 100	13 4.3	104 34.7	115 38.3	24 8.0	12 4.0	32 10.7
	70代以上	300 100	17 5.7	111 37.0	109 36.3	20 6.7	11 3.7	32 10.7

【4. 畜産農家】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	123 6.8	560 31.1	721 40.1	112 6.2	56 3.1	228 12.7
地域	首都圏	900 100	69 7.7	271 30.1	375 41.7	51 5.7	30 3.3	104 11.6
	京阪神圏	900 100	54 6.0	289 32.1	346 38.4	61 6.8	26 2.9	124 13.8
年代	20代	300 100	33 11.0	86 28.7	89 29.7	24 8.0	10 3.3	58 19.3
	30代	300 100	32 10.7	93 31.0	102 34.0	20 6.7	7 2.3	46 15.3
	40代	300 100	20 6.7	90 30.0	127 42.3	16 5.3	14 4.7	33 11.0
	50代	300 100	14 4.7	92 30.7	129 43.0	23 7.7	10 3.3	32 10.7
	60代	300 100	13 4.3	101 33.7	136 45.3	12 4.0	8 2.7	30 10.0
	70代以上	300 100	11 3.7	98 32.7	138 46.0	17 5.7	7 2.3	29 9.7

【5. 食肉卸売業者】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	63 3.5	315 17.5	830 46.1	261 14.5	98 5.4	233 12.9
地域	首都圏	900 100	31 3.4	170 18.9	422 46.9	125 13.9	42 4.7	110 12.2
	京阪神圏	900 100	32 3.6	145 16.1	408 45.3	136 15.1	56 6.2	123 13.7
年代	20代	300 100	17 5.7	60 20.0	118 39.3	37 12.3	12 4.0	56 18.7
	30代	300 100	24 8.0	60 20.0	121 40.3	38 12.7	15 5.0	42 14.0
	40代	300 100	10 3.3	49 16.3	145 48.3	42 14.0	17 5.7	37 12.3
	50代	300 100	3 1.0	48 16.0	156 52.0	42 14.0	18 6.0	33 11.0
	60代	300 100	5 1.7	49 16.3	146 48.7	48 16.0	20 6.7	32 10.7
	70代以上	300 100	4 1.3	49 16.3	144 48.0	54 18.0	16 5.3	33 11.0

【6. 食肉小売業者】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	62 3.4	300 16.7	861 47.8	246 13.7	93 5.2	238 13.2
地域	首都圏	900 100	29 3.2	164 18.2	432 48.0	122 13.6	39 4.3	114 12.7
	京阪神圏	900 100	33 3.7	136 15.1	429 47.7	124 13.8	54 6.0	124 13.8
年代	20代	300 100	21 7.0	56 18.7	117 39.0	37 12.3	12 4.0	57 19.0
	30代	300 100	21 7.0	55 18.3	129 43.0	34 11.3	16 5.3	45 15.0
		40代	300 100	9 3.0	45 15.0	149 49.7	43 14.3	16 5.3
	50代	300 100	3 1.0	50 16.7	161 53.7	39 13.0	15 5.0	32 10.7
	60代	300 100	5 1.7	50 16.7	149 49.7	44 14.7	19 6.3	33 11.0
	70代以上	300 100	3 1.0	44 14.7	156 52.0	49 16.3	15 5.0	33 11.0

【7. 食肉を扱う外食店】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	50 2.8	260 14.4	860 47.8	278 15.4	110 6.1	242 13.4
地域	首都圏	900 100	26 2.9	129 14.3	442 49.1	129 14.3	55 6.1	119 13.2
	京阪神圏	900 100	24 2.7	131 14.6	418 46.4	149 16.6	55 6.1	123 13.7
年代	20代	300 100	20 6.7	44 14.7	115 38.3	48 16.0	15 5.0	58 19.3
	30代	300 100	16 5.3	49 16.3	130 43.3	41 13.7	19 6.3	45 15.0
		40代	300 100	4 1.3	47 15.7	157 52.3	37 12.3	20 6.7
	50代	300 100	4 1.3	45 15.0	161 53.7	42 14.0	13 4.3	35 11.7
	60代	300 100	3 1.0	42 14.0	147 49.0	51 17.0	24 8.0	33 11.0
	70代以上	300 100	3 1.0	33 11.0	150 50.0	59 19.7	19 6.3	36 12.0

Q34 情報提供において、あなたが行政に期待すること（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

度数横%		全 体	正確な情報の提供	迅速な情報の提供	わかりやすい情報の提供	科学的根拠に基づいた情報の提供	ネガティブな(マイナスの、あるいは都合の悪い)情報も包み隠さず開示	中立・公平な立場での見解	食品表示制度の改善	情報へのアクセスのしやすさ
全 体		1800 100	1457 80.9	595 33.1	642 35.7	416 23.1	419 23.3	303 16.8	127 7.1	84 4.7
地域	首都圏	900 100	716 79.6	316 35.1	300 33.3	214 23.8	214 23.8	154 17.1	56 6.2	42 4.7
	京阪神圏	900 100	741 82.3	279 31.0	342 38.0	202 22.4	205 22.8	149 16.6	71 7.9	42 4.7
年代	20代	300 100	217 72.3	68 22.7	93 31.0	59 19.7	69 23.0	35 11.7	20 6.7	21 7.0
	30代	300 100	218 72.7	83 27.7	100 33.3	67 22.3	69 23.0	45 15.0	15 5.0	16 5.3
	40代	300 100	237 79.0	91 30.3	99 33.0	55 18.3	82 27.3	46 15.3	17 5.7	5 1.7
	50代	300 100	256 85.3	118 39.3	106 35.3	59 19.7	72 24.0	57 19.0	21 7.0	13 4.3
	60代	300 100	264 88.0	111 37.0	124 41.3	78 26.0	59 19.7	61 20.3	22 7.3	22 7.3
	70代以上	300 100	265 88.3	124 41.3	120 40.0	98 32.7	68 22.7	59 19.7	32 10.7	7 2.3

度数横%		全 体	ウェブサイトの充実	メールマガジンの発信	パンフレット・広報誌の充実	消費者の相談を受ける窓口の設置	説明会などの開催	意見交換会など双方向型のコミュニケーションの場の設置	その他
全 体		1800 100	42 2.3	13 0.7	37 2.1	85 4.7	17 0.9	53 2.9	11 0.6
地域	首都圏	900 100	24 2.7	6 0.7	17 1.9	43 4.8	11 1.2	28 3.1	4 0.4
	京阪神圏	900 100	18 2.0	7 0.8	20 2.2	42 4.7	6 0.7	25 2.8	7 0.8
年代	20代	300 100	9 3.0	1 0.3	6 2.0	18 6.0	4 1.3	15 5.0	0 0.0
	30代	300 100	7 2.3	3 1.0	7 2.3	12 4.0	2 0.7	15 5.0	4 1.3
	40代	300 100	8 2.7	6 2.0	7 2.3	11 3.7	2 0.7	5 1.7	3 1.0
	50代	300 100	5 1.7	1 0.3	4 1.3	12 4.0	2 0.7	3 1.0	2 0.7
	60代	300 100	8 2.7	1 0.3	5 1.7	12 4.0	3 1.0	10 3.3	1 0.3
	70代以上	300 100	5 1.7	1 0.3	8 2.7	20 6.7	4 1.3	5 1.7	1 0.3

(2) 食肉の栄養や機能について

度数 横%		全 体	正確な情報 の提供	迅速な情報 の提供	わかりやすい 情報の提供	科学的根拠 に基づいた 情報の提供	ネガティブな(マ イナスの、ある いは都合の悪い)情報も包 み隠さず開示	中立・公平な 立場での見解	食品表示制 度の改善	情報へのアクセ スのしやすさ
全 体		1800 100	1265 70.3	415 23.1	667 37.1	428 23.8	336 18.7	283 15.7	161 8.9	93 5.2
地域	首都圏	900 100	619 68.8	206 22.9	321 35.7	215 23.9	173 19.2	148 16.4	76 8.4	53 5.9
	京阪神圏	900 100	646 71.8	209 23.2	346 38.4	213 23.7	163 18.1	135 15.0	85 9.4	40 4.4
年代	20代	300 100	186 62.0	56 18.7	97 32.3	58 19.3	57 19.0	29 9.7	23 7.7	19 6.3
	30代	300 100	197 65.7	66 22.0	96 32.0	74 24.7	57 19.0	42 14.0	21 7.0	19 6.3
	40代	300 100	215 71.7	59 19.7	99 33.0	58 19.3	63 21.0	47 15.7	19 6.3	13 4.3
	50代	300 100	214 71.3	82 27.3	117 39.0	56 18.7	55 18.3	50 16.7	19 6.3	15 5.0
	60代	300 100	234 78.0	80 26.7	134 44.7	82 27.3	49 16.3	55 18.3	32 10.7	17 5.7
	70代以上	300 100	219 73.0	72 24.0	124 41.3	100 33.3	55 18.3	60 20.0	47 15.7	10 3.3

度数 横%		全 体	ウェブサイトの 充実	メールマガジ ンの発信	パンフレット・ 広報誌の 充実	消費者の 相談を受ける 窓口の設置	説明会などの 開催	意見交換会 など双方向型 のコミュニケ ーションの場 の設置	その他
全 体		1800 100	69 3.8	24 1.3	55 3.1	83 4.6	20 1.1	49 2.7	10 0.6
地域	首都圏	900 100	35 3.9	10 1.1	24 2.7	44 4.9	13 1.4	26 2.9	3 0.3
	京阪神圏	900 100	34 3.8	14 1.6	31 3.4	39 4.3	7 0.8	23 2.6	7 0.8
年代	20代	300 100	13 4.3	4 1.3	11 3.7	16 5.3	7 2.3	13 4.3	0 0.0
	30代	300 100	7 2.3	4 1.3	5 1.7	11 3.7	1 0.3	16 5.3	4 1.3
	40代	300 100	14 4.7	6 2.0	5 1.7	9 3.0	2 0.7	6 2.0	3 1.0
	50代	300 100	13 4.3	1 0.3	9 3.0	9 3.0	2 0.7	4 1.3	1 0.3
	60代	300 100	13 4.3	6 2.0	8 2.7	17 5.7	3 1.0	7 2.3	1 0.3
	70代以上	300 100	9 3.0	3 1.0	17 5.7	21 7.0	5 1.7	3 1.0	1 0.3

Q35 以下の説明をお読みいただき、ご回答ください。

このロゴマークは、「JGAP畜産物使用ロゴマーク」といい、第三者機関である日本GAP協会の審査により、食品安全、環境保全、労働安全、人権と福祉、アニマルウェルフェアに配慮した農業生産工程管理を行っていることが確認された畜産農場の認証家畜・畜産物（JGAP家畜・畜産物）を原料として使用した商品であることを表すマークです。

JGAP家畜・畜産物の認証取得は、2021年に開催される東京2020オリンピック・パラリンピックの会場等で、選手団、スタッフ、プレス、観客に提供する飲食で使用される畜産食材に適用される調達基準の要件を満たすことを示す方法のひとつとされています。

※アニマルウェルフェアとは、家畜を快適性に配慮した環境下で飼養することをいいます。



あなたは、「JGAP家畜・畜産物」の認証を受けていることが、「東京2020オリンピック・パラリンピックの会場等で、選手団、スタッフ、プレス、観客に提供する飲食で使用される畜産食材に適用される調達基準の要件を満たすことを示す方法のひとつとされていること」をご存知ですか。

		度数 横%	知っています				
			全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	知らない
全 体			1800	24	126	319	1331
			100	1.3	7.0	17.7	73.9
地域	首都圏		900	12	63	157	668
			100	1.3	7.0	17.4	74.2
	京阪神圏		900	12	63	162	663
			100	1.3	7.0	18.0	73.7
年代	20代		300	13	27	66	194
			100	4.3	9.0	22.0	64.7
	30代		300	6	34	54	206
			100	2.0	11.3	18.0	68.7
	40代		300	2	21	48	229
			100	0.7	7.0	16.0	76.3
	50代		300	2	11	40	247
		100	0.7	3.7	13.3	82.3	
	60代		300	0	17	47	236
			100	0.0	5.7	15.7	78.7
	70代以上		300	1	16	64	219
			100	0.3	5.3	21.3	73.0

Q36 以下の説明をお読みいただき、ご回答ください。

このロゴマークは、「JGAP畜産物使用ロゴマーク」といい、第三者機関である日本GAP協会の審査により、食品安全、環境保全、労働安全、人権と福祉、アニマルウェルフェアに配慮した農業生産工程管理を行っていることが確認された畜産農場の認証家畜・畜産物（JGAP家畜・畜産物）を原料として使用した商品であることを表すマークです。

JGAP家畜・畜産物の認証取得は、2021年に開催される東京2020オリンピック・パラリンピックの会場等で、選手団、スタッフ、プレス、観客に提供する飲食で使用される畜産食材に適用される調達基準の要件を満たすことを示す方法のひとつとされています。

※アニマルウェルフェアとは、家畜を快適性に配慮した環境下で飼養することをいいます。



あなたは、一般のお店やレストランで、「JGAP畜産物使用ロゴマーク」がついている商品を積極的に購入したい・食べたいと思いますか。

		全 体	割高でも 購入したい・ 食べたい	ロゴマークがついて いない商品と、同 程度の価格なら購 入したい・食べたい	安ければ 購入したい・ 食べたい	購入したくない・ 食べたくない	わからない
度数 横%							
全 体		1800 100	159 8.8	588 32.7	484 26.9	49 2.7	520 28.9
地域	首都圏	900 100	82 9.1	307 34.1	238 26.4	22 2.4	251 27.9
	京阪神圏	900 100	77 8.6	281 31.2	246 27.3	27 3.0	269 29.9
年代	20代	300 100	27 9.0	77 25.7	92 30.7	13 4.3	91 30.3
	30代	300 100	22 7.3	83 27.7	89 29.7	8 2.7	98 32.7
	40代	300 100	22 7.3	101 33.7	79 26.3	8 2.7	90 30.0
	50代	300 100	19 6.3	93 31.0	81 27.0	9 3.0	98 32.7
	60代	300 100	34 11.3	111 37.0	78 26.0	6 2.0	71 23.7
	70代以上	300 100	35 11.7	123 41.0	65 21.7	5 1.7	72 24.0

Q37 以下の説明をお読みいただき、ご回答ください。

ジビエとは、狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味する言葉(フランス語)で、ヨーロッパでは、貴族の伝統料理とし古くから発展してきた食文化です。

日本で有名なジビエは、シカやイノシシがあげられます。他にも、狩猟の対象となっている野生鳥獣の肉(野ウサギ、山鳩、鴨、キジ等)は全てジビエとして定義されます。

あなたは、このこと(ジビエについての上記の説明)をご存知ですか。

度数 横%		全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまりよく 知らない	知らない	全く知らない
全 体		1800 100	62 3.4	433 24.1	521 28.9	250 13.9	193 10.7	341 18.9
地域	首都圏	900 100	26 2.9	216 24.0	264 29.3	134 14.9	93 10.3	167 18.6
	京阪神圏	900 100	36 4.0	217 24.1	257 28.6	116 12.9	100 11.1	174 19.3
年代	20代	300 100	16 5.3	53 17.7	66 22.0	44 14.7	36 12.0	85 28.3
	30代	300 100	14 4.7	71 23.7	84 28.0	38 12.7	20 6.7	73 24.3
	40代	300 100	5 1.7	67 22.3	97 32.3	40 13.3	30 10.0	61 20.3
	50代	300 100	10 3.3	62 20.7	86 28.7	58 19.3	34 11.3	50 16.7
	60代	300 100	9 3.0	87 29.0	95 31.7	38 12.7	31 10.3	40 13.3
	70代以上	300 100	8 2.7	93 31.0	93 31.0	32 10.7	42 14.0	32 10.7

Q38 あなたはジビエ（主にシカとイノシシ）を食べますか。あなたが、ジビエ（主にシカとイノシシ）を食べる頻度をお答えください。

度数横%		全 体	週に 1日程度	月に 2～3日程度	月に 1日程度	2～3ヶ月に 1日程度	半年に 1日程度
全 体		1800 100	9 0.5	14 0.8	25 1.4	38 2.1	69 3.8
地域	首都圏	900 100	4 0.4	9 1.0	14 1.6	17 1.9	29 3.2
	京阪神圏	900 100	5 0.6	5 0.6	11 1.2	21 2.3	40 4.4
年代	20代	300 100	3 1.0	5 1.7	9 3.0	12 4.0	13 4.3
	30代	300 100	5 1.7	2 0.7	5 1.7	10 3.3	14 4.7
	40代	300 100	0 0.0	3 1.0	6 2.0	3 1.0	11 3.7
	50代	300 100	0 0.0	2 0.7	1 0.3	4 1.3	10 3.3
	60代	300 100	0 0.0	1 0.3	3 1.0	1 0.3	17 5.7
	70代以上	300 100	1 0.3	1 0.3	1 0.3	8 2.7	4 1.3

度数横%		全 体	年に 1日程度	2～3年に 1日程度	それ以下	食べたことがない が、今後食べてみ たい	食べたことがなく、 今後も食べたいと 思わない
全 体		1800 100	115 6.4	91 5.1	389 21.6	413 22.9	637 35.4
地域	首都圏	900 100	48 5.3	40 4.4	183 20.3	206 22.9	350 38.9
	京阪神圏	900 100	67 7.4	51 5.7	206 22.9	207 23.0	287 31.9
年代	20代	300 100	17 5.7	13 4.3	47 15.7	78 26.0	103 34.3
	30代	300 100	23 7.7	18 6.0	58 19.3	81 27.0	84 28.0
	40代	300 100	21 7.0	13 4.3	65 21.7	82 27.3	96 32.0
	50代	300 100	21 7.0	12 4.0	67 22.3	67 22.3	116 38.7
	60代	300 100	13 4.3	18 6.0	80 26.7	50 16.7	117 39.0
	70代以上	300 100	20 6.7	17 5.7	72 24.0	55 18.3	121 40.3

Q39 (1) ジビエ（主にシカとイノシシ）について、知っている事柄が下記の中にあります。あてはまるものを全てお選びください。

	全 体	ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる	ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するので、季節感が感じられる	鹿肉バーガー、ジビエカレー、ジビエ丼など、手軽に食べられる	自治体ごとに、独自にジビエの衛生・品質管理基準を定めている	野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている	増えすぎて捕獲されたジビエを給食に出すことで、子どもたちに命の尊さを伝え、食育としても注目されている	ジビエの活用は、地域の活性化や地域振興に役立っている	国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている	その他	いずれもあてはまらない	
全 体	1800 100	518 28.8	370 20.6	326 18.1	132 7.3	392 21.8	272 15.1	266 14.8	124 6.9	1 0.1	822 45.7	
地域	首都圏	900 100	262 29.1	170 18.9	155 17.2	57 6.3	198 22.0	135 15.0	136 15.1	59 6.6	1 0.1	419 46.6
	京阪神圏	900 100	256 28.4	200 22.2	171 19.0	75 8.3	194 21.6	137 15.2	130 14.4	65 7.2	0 0.0	403 44.8
年代	20代	300 100	76 25.3	42 14.0	52 17.3	28 9.3	30 10.0	28 9.3	26 8.7	13 4.3	0 0.0	146 48.7
	30代	300 100	100 33.3	52 17.3	69 23.0	29 9.7	54 18.0	36 12.0	36 12.0	21 7.0	0 0.0	124 41.3
	40代	300 100	83 27.7	65 21.7	59 19.7	20 6.7	64 21.3	42 14.0	29 9.7	11 3.7	0 0.0	145 48.3
	50代	300 100	99 33.0	65 21.7	59 19.7	16 5.3	58 19.3	39 13.0	41 13.7	20 6.7	1 0.3	138 46.0
	60代	300 100	75 25.0	69 23.0	47 15.7	17 5.7	92 30.7	57 19.0	62 20.7	21 7.0	0 0.0	135 45.0
	70代以上	300 100	85 28.3	77 25.7	40 13.3	22 7.3	94 31.3	70 23.3	72 24.0	38 12.7	0 0.0	134 44.7

Q39 (2) ジビエ（主にシカとイノシシ）について、あなたが魅力に感じる事柄がありますか。あてはまるものを全てお選びください。

	全 体	ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる	ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するので、季節感が感じられる	鹿肉バーガー、ジビエカレー、ジビエ丼など、手軽に食べられる	自治体ごとに、独自にジビエの衛生・品質管理基準を定めている	野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている	増えすぎて捕獲されたジビエを給食に出すことで、子どもたちに命の尊さを伝え、食育としても注目されている	ジビエの活用は、地域の活性化や地域振興に役立っている	国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている	その他	いずれもあてはまらない	
全 体	1800 100	374 20.8	215 11.9	215 11.9	103 5.7	261 14.5	197 10.9	178 9.9	92 5.1	0 0.0	886 49.2	
地域	首都圏	900 100	197 21.9	107 11.9	114 12.7	49 5.4	125 13.9	96 10.7	93 10.3	44 4.9	0 0.0	459 51.0
	京阪神圏	900 100	177 19.7	108 12.0	101 11.2	54 6.0	136 15.1	101 11.2	85 9.4	48 5.3	0 0.0	427 47.4
年代	20代	300 100	63 21.0	35 11.7	39 13.0	19 6.3	22 7.3	25 8.3	23 7.7	10 3.3	0 0.0	146 48.7
	30代	300 100	75 25.0	36 12.0	50 16.7	17 5.7	31 10.3	35 11.7	29 9.7	14 4.7	0 0.0	131 43.7
	40代	300 100	60 20.0	36 12.0	40 13.3	18 6.0	55 18.3	37 12.3	27 9.0	13 4.3	0 0.0	151 50.3
	50代	300 100	59 19.7	44 14.7	32 10.7	18 6.0	38 12.7	29 9.7	26 8.7	16 5.3	0 0.0	162 54.0
	60代	300 100	59 19.7	27 9.0	34 11.3	14 4.7	65 21.7	38 12.7	41 13.7	15 5.0	0 0.0	149 49.7
	70代以上	300 100	58 19.3	37 12.3	20 6.7	17 5.7	50 16.7	33 11.0	32 10.7	24 8.0	0 0.0	147 49.0

Q40 以下の説明をお読みいただき、ご回答ください。

日本では、近年、野生鳥獣による農作物被害が深刻化しているため、増え過ぎた野生動物の捕獲を積極的に実施しており、効果的に進めていくために、野生動物の有効利用(食肉化・ジビエ)が考えられるようになりました。

自治体ごとに、独自にジビエ(主にシカとイノシシ)の衛生・品質管理基準を定めており、食用に適すると認証した肉には下記のようなマークを与えています。



なお、農林水産省は平成30年度に「国産ジビエ認証制度」を制定しました。認証事業者が認証を受けた食肉処理施設で生産したジビエ製品には、下記の認証マークを表示することができます。



あなたは、食用に適すると認証したジビエ（主にシカ肉・イノシシ肉）に与えられる、このような「マーク」を見たことがありますか。

		度数 横%	全 体	確かに見た ことがある	見たことがある ような気がする	「マーク」があることは 知っているが、 見たことはない	「マーク」があることは 知らない
全 体			1800 100	37 2.1	143 7.9	159 8.8	1461 81.2
地域	首都圏		900 100	17 1.9	76 8.4	73 8.1	734 81.6
	京阪神圏		900 100	20 2.2	67 7.4	86 9.6	727 80.8
年代	20代		300 100	12 4.0	42 14.0	29 9.7	217 72.3
	30代		300 100	10 3.3	29 9.7	21 7.0	240 80.0
	40代		300 100	4 1.3	16 5.3	28 9.3	252 84.0
	50代		300 100	5 1.7	13 4.3	18 6.0	264 88.0
	60代		300 100	4 1.3	25 8.3	18 6.0	253 84.3
	70代以上		300 100	2 0.7	18 6.0	45 15.0	235 78.3

Q41 本物の肉に似た味や食感を有する「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」についてお伺いします。

「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」は、大豆などの植物タンパク質由来の原料を使って、食肉の風味と食感を持たせた製品（大豆ハンバーグ、大豆ソーセージ、大豆バーガー、大豆ミートなど）で、国内外で製造・販売され、小売店頭で見かけることが増えてきています。

「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」が世界的に急速に拡大している背景には、以下のようなことがあります。

- ・世界的な人口増加により、食肉需要が急増しています。それに伴う家畜の飼育による環境負荷（肉食増大に伴う土地・水の利用増大、温暖化ガスの排出増加）、動物肉を媒介とする感染症リスクが高まっています。また、環境問題意識や動物愛護の高まりもあります。

- ・人々の健康志向（肥満の軽減、生活習慣病の抑制）、持続可能な食糧生産への配慮などもあります。また、代替肉の味が改良されて食味が向上しています。

「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」について、あなたはどの程度ご存じですか。最も近いものを1つだけお選びください。

度数 横%		全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまりよく 知らない	知らない	全く知らない
全 体		1800 100	44 2.4	294 16.3	498 27.7	339 18.8	207 11.5	418 23.2
地域	首都圏	900 100	21 2.3	175 19.4	259 28.8	137 15.2	92 10.2	216 24.0
	京阪神圏	900 100	23 2.6	119 13.2	239 26.6	202 22.4	115 12.8	202 22.4
年代	20代	300 100	18 6.0	39 13.0	75 25.0	48 16.0	32 10.7	88 29.3
	30代	300 100	10 3.3	46 15.3	74 24.7	49 16.3	26 8.7	95 31.7
	40代	300 100	4 1.3	55 18.3	69 23.0	66 22.0	26 8.7	80 26.7
	50代	300 100	5 1.7	38 12.7	82 27.3	62 20.7	44 14.7	69 23.0
	60代	300 100	4 1.3	48 16.0	102 34.0	54 18.0	41 13.7	51 17.0
	70代以上	300 100	3 1.0	68 22.7	96 32.0	60 20.0	38 12.7	35 11.7

Q42 本物の肉に似た味や食感を有する「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」についてお伺いします。

「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」は、大豆などの植物タンパク質由来の原料を使って、食肉の風味と食感を持たせた製品（大豆ハンバーグ、大豆ソーセージ、大豆バーガー、大豆ミートなど）で、国内外で製造・販売され、小売店頭で見かけることが増えてきています。

「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」が世界的に急速に拡大している背景には、以下のようなことがあります。

- ・世界的な人口増加により、食肉需要が急増しています。それに伴う家畜の飼育による環境負荷（肉食増大に伴う土地・水の利用増大、温暖化ガスの排出増加）、動物肉を媒介とする感染症リスクが高まっています。また、環境問題意識や動物愛護の高まりもあります。

- ・人々の健康志向（肥満の軽減、生活習慣病の抑制）、持続可能な食糧生産への配慮などもあります。また、代替肉の味が改良されて食味が向上しています。

あなたは、「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」を食べたことがありますか。

度数 横%		全 体	3ヵ月以内に 食べたことがある	半年以内に 食べたことがある	1年以内に 食べたことがある	それ以前に 食べたことがある	店頭で見たことは あるが、食べたこ とはない	店頭で見たことも なく、食べたことも ない
全 体		1800 100	109 6.1	90 5.0	108 6.0	206 11.4	362 20.1	925 51.4
地域	首都圏	900 100	64 7.1	50 5.6	60 6.7	106 11.8	173 19.2	447 49.7
	京阪神圏	900 100	45 5.0	40 4.4	48 5.3	100 11.1	189 21.0	478 53.1
年代	20代	300 100	21 7.0	24 8.0	25 8.3	31 10.3	72 24.0	127 42.3
	30代	300 100	26 8.7	18 6.0	17 5.7	28 9.3	63 21.0	148 49.3
	40代	300 100	17 5.7	15 5.0	22 7.3	33 11.0	59 19.7	154 51.3
	50代	300 100	16 5.3	8 2.7	17 5.7	35 11.7	58 19.3	166 55.3
	60代	300 100	16 5.3	12 4.0	14 4.7	40 13.3	57 19.0	161 53.7
	70代以上	300 100	13 4.3	13 4.3	13 4.3	39 13.0	53 17.7	169 56.3

Q43 本物の肉に似た味や食感を有する「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」についてお伺いします。

「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」は、大豆などの植物タンパク質由来の原料を使って、食肉の風味と食感を持たせた製品（大豆ハンバーグ、大豆ソーセージ、大豆バーガー、大豆ミートなど）で、国内外で製造・販売され、小売店頭で見かけることが増えてきています。

「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」が世界的に急速に拡大している背景には、以下のようなことがあります。

- ・世界的な人口増加により、食肉需要が急増しています。それに伴う家畜の飼育による環境負荷（肉食増大に伴う土地・水の利用増大、温暖化ガスの排出増加）、動物肉を媒介とする感染症リスクが高まっています。また、環境問題意識や動物愛護の高まりもあります。

- ・人々の健康志向（肥満の軽減、生活習慣病の抑制）、持続可能な食糧生産への配慮などもあります。また、代替肉の味が改良されて食味が向上しています。

あなたは、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）より、「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」を積極的に購入したい・食べたいと思いますか。

度数 横%		全 体	食肉より<植物肉> >が割高でも、購入 したい・食べたい	食肉と<植物肉> が同程度の価格な ら、購入したい・食 べたい	食肉より<植物肉> >が安ければ、購入 したい・食べたい	<植物肉>を購入 したくない・食べたく ない	わからない
全 体		1800 100	54 3.0	252 14.0	558 31.0	335 18.6	601 33.4
地域	首都圏	900 100	32 3.6	137 15.2	266 29.6	165 18.3	300 33.3
	京阪神圏	900 100	22 2.4	115 12.8	292 32.4	170 18.9	301 33.4
年代	20代	300 100	15 5.0	53 17.7	100 33.3	43 14.3	89 29.7
	30代	300 100	9 3.0	46 15.3	85 28.3	60 20.0	100 33.3
	40代	300 100	6 2.0	43 14.3	112 37.3	59 19.7	80 26.7
	50代	300 100	9 3.0	34 11.3	80 26.7	62 20.7	115 38.3
	60代	300 100	7 2.3	37 12.3	94 31.3	57 19.0	105 35.0
	70代以上	300 100	8 2.7	39 13.0	87 29.0	54 18.0	112 37.3

Q45 本物の肉に似た味や食感を有する「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」についてお伺いします。

「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」は、大豆などの植物タンパク質由来の原料を使って、食肉の風味と食感を持たせた製品（大豆ハンバーグ、大豆ソーセージ、大豆バーガー、大豆ミートなど）で、国内外で製造・販売され、小売店頭で見かけることが増えてきています。

「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」が世界的に急速に拡大している背景には、以下のようなことがあります。

- ・世界的な人口増加により、食肉需要が急増しています。それに伴う家畜の飼育による環境負荷（肉食増大に伴う土地・水の利用増大、温暖化ガスの排出増加）、動物肉を媒介とする感染症リスクが高まっています。また、環境問題意識や動物愛護の高まりもあります。

- ・人々の健康志向（肥満の軽減、生活習慣病の抑制）、持続可能な食糧生産への配慮などもあります。また、代替肉の味が改良されて食味が向上しています。

「大豆など植物由来の代替肉<植物肉>」について、あなたのお考えは、次のA、Bのどちらに近いですか。それぞれの項目について1つずつお選びください。

【1. A：健康に良い／B：健康に良くない】

		度数 横%	全 体	Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い
全 体			1800 100	403 22.4	699 38.8	603 33.5	65 3.6	30 1.7
地域	首都圏		900 100	218 24.2	337 37.4	295 32.8	35 3.9	15 1.7
	京阪神圏		900 100	185 20.6	362 40.2	308 34.2	30 3.3	15 1.7
年代	20代		300 100	69 23.0	119 39.7	93 31.0	14 4.7	5 1.7
	30代		300 100	82 27.3	102 34.0	98 32.7	13 4.3	5 1.7
	40代		300 100	64 21.3	113 37.7	100 33.3	19 6.3	4 1.3
	50代		300 100	56 18.7	125 41.7	99 33.0	11 3.7	9 3.0
	60代		300 100	55 18.3	127 42.3	111 37.0	4 1.3	3 1.0
	70代以上		300 100	77 25.7	113 37.7	102 34.0	4 1.3	4 1.3

【2. A：自然／B：人工的】

		度数 横%	全 体	Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い
全 体			1800 100	200 11.1	454 25.2	614 34.1	355 19.7	177 9.8
地域	首都圏		900 100	100 11.1	210 23.3	318 35.3	172 19.1	100 11.1
	京阪神圏		900 100	100 11.1	244 27.1	296 32.9	183 20.3	77 8.6
年代	20代		300 100	43 14.3	86 28.7	100 33.3	44 14.7	27 9.0
	30代		300 100	31 10.3	86 28.7	107 35.7	53 17.7	23 7.7
	40代		300 100	31 10.3	77 25.7	97 32.3	61 20.3	34 11.3
	50代		300 100	30 10.0	68 22.7	105 35.0	64 21.3	33 11.0
	60代		300 100	27 9.0	71 23.7	109 36.3	59 19.7	34 11.3
	70代以上		300 100	38 12.7	66 22.0	96 32.0	74 24.7	26 8.7

【3. A：環境に良い／B：環境に良くない】

		度数 横%	全 体	Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い
全 体			1800 100	232 12.9	597 33.2	865 48.1	86 4.8	20 1.1
地域	首都圏		900 100	125 13.9	286 31.8	432 48.0	43 4.8	14 1.6
	京阪神圏		900 100	107 11.9	311 34.6	433 48.1	43 4.8	6 0.7
年代	20代		300 100	45 15.0	98 32.7	135 45.0	16 5.3	6 2.0
	30代		300 100	48 16.0	92 30.7	136 45.3	20 6.7	4 1.3
	40代		300 100	31 10.3	92 30.7	158 52.7	17 5.7	2 0.7
	50代		300 100	34 11.3	93 31.0	159 53.0	10 3.3	4 1.3
	60代		300 100	34 11.3	109 36.3	147 49.0	7 2.3	3 1.0
	70代以上		300 100	40 13.3	113 37.7	130 43.3	16 5.3	1 0.3

【4. A：人、社会、環境、地域、動物に配慮している／
B：人、社会、環境、地域、動物に配慮していない】

		度数 横%	全 体	Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い
全 体			1800 100	220 12.2	592 32.9	876 48.7	93 5.2	19 1.1
地域	首都圏		900 100	113 12.6	297 33.0	431 47.9	47 5.2	12 1.3
	京阪神圏		900 100	107 11.9	295 32.8	445 49.4	46 5.1	7 0.8
年代	20代		300 100	47 15.7	96 32.0	135 45.0	16 5.3	6 2.0
	30代		300 100	50 16.7	87 29.0	143 47.7	19 6.3	1 0.3
	40代		300 100	30 10.0	89 29.7	157 52.3	20 6.7	4 1.3
	50代		300 100	32 10.7	97 32.3	153 51.0	14 4.7	4 1.3
	60代		300 100	28 9.3	116 38.7	140 46.7	13 4.3	3 1.0
	70代以上		300 100	33 11.0	107 35.7	148 49.3	11 3.7	1 0.3

【5. A：魅力的である／B：魅力的でない】

		度数 横%	全 体	Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い
全 体			1800 100	148 8.2	444 24.7	884 49.1	229 12.7	95 5.3
地域	首都圏		900 100	77 8.6	227 25.2	427 47.4	116 12.9	53 5.9
	京阪神圏		900 100	71 7.9	217 24.1	457 50.8	113 12.6	42 4.7
年代	20代		300 100	37 12.3	73 24.3	143 47.7	37 12.3	10 3.3
	30代		300 100	25 8.3	81 27.0	139 46.3	37 12.3	18 6.0
	40代		300 100	14 4.7	76 25.3	152 50.7	37 12.3	21 7.0
	50代		300 100	24 8.0	70 23.3	147 49.0	38 12.7	21 7.0
	60代		300 100	16 5.3	79 26.3	152 50.7	40 13.3	13 4.3
	70代以上		300 100	32 10.7	65 21.7	151 50.3	40 13.3	12 4.0

【6. A：美味しい／B：美味しくない】

		度数 横%	全 体	Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い
全 体			1800 100	88 4.9	255 14.2	982 54.6	344 19.1	131 7.3
地域	首都圏		900 100	41 4.6	128 14.2	487 54.1	175 19.4	69 7.7
	京阪神圏		900 100	47 5.2	127 14.1	495 55.0	169 18.8	62 6.9
年代	20代		300 100	17 5.7	49 16.3	154 51.3	60 20.0	20 6.7
	30代		300 100	20 6.7	36 12.0	156 52.0	63 21.0	25 8.3
	40代		300 100	9 3.0	48 16.0	166 55.3	51 17.0	26 8.7
	50代		300 100	15 5.0	45 15.0	161 53.7	53 17.7	26 8.7
	60代		300 100	9 3.0	41 13.7	164 54.7	66 22.0	20 6.7
	70代以上		300 100	18 6.0	36 12.0	181 60.3	51 17.0	14 4.7

【7. A：安全である／B：安全でない】

		度数 横%	全 体	Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い
全 体			1800 100	188 10.4	514 28.6	947 52.6	127 7.1	24 1.3
地域	首都圏		900 100	100 11.1	266 29.6	467 51.9	56 6.2	11 1.2
	京阪神圏		900 100	88 9.8	248 27.6	480 53.3	71 7.9	13 1.4
年代	20代		300 100	38 12.7	82 27.3	152 50.7	22 7.3	6 2.0
	30代		300 100	42 14.0	77 25.7	155 51.7	25 8.3	1 0.3
	40代		300 100	21 7.0	76 25.3	171 57.0	27 9.0	5 1.7
	50代		300 100	26 8.7	81 27.0	171 57.0	16 5.3	6 2.0
	60代		300 100	29 9.7	93 31.0	155 51.7	20 6.7	3 1.0
	70代以上		300 100	32 10.7	105 35.0	143 47.7	17 5.7	3 1.0

【8. A：手頃／B：高価】

		度数 横%	全 体	Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い
全 体			1800 100	103 5.7	448 24.9	938 52.1	235 13.1	76 4.2
地域	首都圏		900 100	51 5.7	214 23.8	473 52.6	118 13.1	44 4.9
	京阪神圏		900 100	52 5.8	234 26.0	465 51.7	117 13.0	32 3.6
年代	20代		300 100	21 7.0	67 22.3	135 45.0	61 20.3	16 5.3
	30代		300 100	16 5.3	58 19.3	157 52.3	49 16.3	20 6.7
	40代		300 100	10 3.3	66 22.0	165 55.0	40 13.3	19 6.3
	50代		300 100	17 5.7	74 24.7	154 51.3	40 13.3	15 5.0
	60代		300 100	18 6.0	95 31.7	162 54.0	22 7.3	3 1.0
	70代以上		300 100	21 7.0	88 29.3	165 55.0	23 7.7	3 1.0

【9. A：動物にとって良い／B：動物にとって悪い】

		度数 横%	全 体	Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い
全 体			1800 100	190 10.6	465 25.8	1028 57.1	98 5.4	19 1.1
地域	首都圏		900 100	101 11.2	221 24.6	522 58.0	43 4.8	13 1.4
	京阪神圏		900 100	89 9.9	244 27.1	506 56.2	55 6.1	6 0.7
年代	20代		300 100	42 14.0	91 30.3	144 48.0	21 7.0	2 0.7
	30代		300 100	46 15.3	69 23.0	156 52.0	24 8.0	5 1.7
	40代		300 100	29 9.7	60 20.0	190 63.3	17 5.7	4 1.3
	50代		300 100	26 8.7	73 24.3	186 62.0	13 4.3	2 0.7
	60代		300 100	21 7.0	84 28.0	180 60.0	11 3.7	4 1.3
	70代以上		300 100	26 8.7	88 29.3	172 57.3	12 4.0	2 0.7

【10. A：長期的な食料供給源として持続可能である
／B：長期的な食料供給源として持続可能でない】

		度数 横%	全 体	Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い
全 体			1800 100	205 11.4	591 32.8	874 48.6	99 5.5	31 1.7
地域	首都圏		900 100	107 11.9	291 32.3	438 48.7	47 5.2	17 1.9
	京阪神圏		900 100	98 10.9	300 33.3	436 48.4	52 5.8	14 1.6
年代	20代		300 100	38 12.7	86 28.7	139 46.3	30 10.0	7 2.3
	30代		300 100	45 15.0	80 26.7	149 49.7	20 6.7	6 2.0
	40代		300 100	21 7.0	95 31.7	156 52.0	21 7.0	7 2.3
	50代		300 100	29 9.7	95 31.7	163 54.3	7 2.3	6 2.0
	60代		300 100	31 10.3	111 37.0	146 48.7	9 3.0	3 1.0
	70代以上		300 100	41 13.7	124 41.3	121 40.3	12 4.0	2 0.7

【11. A：便利／B：不便】

		度数 横%	全 体	Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い
全 体			1800 100	128 7.1	435 24.2	1080 60.0	124 6.9	33 1.8
地域	首都圏		900 100	73 8.1	224 24.9	522 58.0	62 6.9	19 2.1
	京阪神圏		900 100	55 6.1	211 23.4	558 62.0	62 6.9	14 1.6
年代	20代		300 100	30 10.0	71 23.7	166 55.3	25 8.3	8 2.7
	30代		300 100	25 8.3	66 22.0	173 57.7	30 10.0	6 2.0
	40代		300 100	13 4.3	60 20.0	195 65.0	22 7.3	10 3.3
	50代		300 100	21 7.0	68 22.7	182 60.7	24 8.0	5 1.7
	60代		300 100	20 6.7	76 25.3	192 64.0	11 3.7	1 0.3
	70代以上		300 100	19 6.3	94 31.3	172 57.3	12 4.0	3 1.0

【12. A：新規性・新しさを感じる／B：新規性・新しさを感じない】

		度数 横%	全 体	Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い
全 体			1800 100	209 11.6	583 32.4	871 48.4	107 5.9	30 1.7
地域	首都圏		900 100	116 12.9	290 32.2	422 46.9	55 6.1	17 1.9
	京阪神圏		900 100	93 10.3	293 32.6	449 49.9	52 5.8	13 1.4
年代	20代		300 100	56 18.7	85 28.3	132 44.0	23 7.7	4 1.3
	30代		300 100	45 15.0	88 29.3	138 46.0	20 6.7	9 3.0
	40代		300 100	30 10.0	98 32.7	149 49.7	18 6.0	5 1.7
	50代		300 100	23 7.7	108 36.0	149 49.7	11 3.7	9 3.0
	60代		300 100	23 7.7	103 34.3	161 53.7	11 3.7	2 0.7
	70代以上		300 100	32 10.7	101 33.7	142 47.3	24 8.0	1 0.3

【13. A：栄養価が高い／B：栄養価が低い】

		度数 横%	全 体	Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い
全 体			1800 100	165 9.2	504 28.0	995 55.3	105 5.8	31 1.7
地域	首都圏		900 100	84 9.3	239 26.6	506 56.2	57 6.3	14 1.6
	京阪神圏		900 100	81 9.0	265 29.4	489 54.3	48 5.3	17 1.9
年代	20代		300 100	38 12.7	95 31.7	132 44.0	24 8.0	11 3.7
	30代		300 100	37 12.3	87 29.0	152 50.7	17 5.7	7 2.3
	40代		300 100	23 7.7	81 27.0	167 55.7	24 8.0	5 1.7
	50代		300 100	26 8.7	81 27.0	179 59.7	11 3.7	3 1.0
	60代		300 100	21 7.0	80 26.7	187 62.3	11 3.7	1 0.3
	70代以上		300 100	20 6.7	80 26.7	178 59.3	18 6.0	4 1.3

【14. A：必要である／B：必要でない】

		度数 横%	全 体	Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い
全 体			1800 100	134 7.4	435 24.2	1003 55.7	160 8.9	68 3.8
地域	首都圏		900 100	69 7.7	211 23.4	511 56.8	74 8.2	35 3.9
	京阪神圏		900 100	65 7.2	224 24.9	492 54.7	86 9.6	33 3.7
年代	20代		300 100	25 8.3	70 23.3	166 55.3	28 9.3	11 3.7
	30代		300 100	21 7.0	74 24.7	163 54.3	25 8.3	17 5.7
	40代		300 100	17 5.7	59 19.7	178 59.3	33 11.0	13 4.3
	50代		300 100	23 7.7	67 22.3	174 58.0	21 7.0	15 5.0
	60代		300 100	20 6.7	82 27.3	168 56.0	26 8.7	4 1.3
	70代以上		300 100	28 9.3	83 27.7	154 51.3	27 9.0	8 2.7

【15. A：そこそこいける／B：まずい】

		度数 横%	全 体	Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い
全 体			1800 100	89 4.9	359 19.9	1057 58.7	223 12.4	72 4.0
地域	首都圏		900 100	49 5.4	192 21.3	516 57.3	108 12.0	35 3.9
	京阪神圏		900 100	40 4.4	167 18.6	541 60.1	115 12.8	37 4.1
年代	20代		300 100	21 7.0	55 18.3	168 56.0	46 15.3	10 3.3
	30代		300 100	16 5.3	64 21.3	162 54.0	41 13.7	17 5.7
	40代		300 100	13 4.3	62 20.7	176 58.7	31 10.3	18 6.0
	50代		300 100	16 5.3	56 18.7	182 60.7	34 11.3	12 4.0
	60代		300 100	8 2.7	67 22.3	176 58.7	41 13.7	8 2.7
	70代以上		300 100	15 5.0	55 18.3	193 64.3	30 10.0	7 2.3

【16. A：気持ちが悪い／B：気持ちが悪くない】

		度数 横%	全 体	Aに近い	Aにやや近い	どちらともいえない	Bにやや近い	Bに近い
全 体			1800 100	53 2.9	173 9.6	998 55.4	323 17.9	253 14.1
地域	首都圏		900 100	28 3.1	80 8.9	489 54.3	166 18.4	137 15.2
	京阪神圏		900 100	25 2.8	93 10.3	509 56.6	157 17.4	116 12.9
年代	20代		300 100	11 3.7	38 12.7	164 54.7	52 17.3	35 11.7
	30代		300 100	11 3.7	35 11.7	167 55.7	53 17.7	34 11.3
	40代		300 100	7 2.3	34 11.3	164 54.7	42 14.0	53 17.7
	50代		300 100	11 3.7	17 5.7	175 58.3	59 19.7	38 12.7
	60代		300 100	4 1.3	25 8.3	168 56.0	61 20.3	42 14.0
	70代以上		300 100	9 3.0	24 8.0	160 53.3	56 18.7	51 17.0

Q46 あなたは、食肉の喫食により得られるカロリーについて、どのような意識をお持ちですか。

度数 横%		全 体	食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている	食肉を喫食する際にカロリーを意識していない	食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている
全 体		1800 100	600 33.3	909 50.5	291 16.2
地域	首都圏	900 100	303 33.7	449 49.9	148 16.4
	京阪神圏	900 100	297 33.0	460 51.1	143 15.9
年代	20代	300 100	74 24.7	156 52.0	70 23.3
	30代	300 100	89 29.7	156 52.0	55 18.3
	40代	300 100	94 31.3	159 53.0	47 15.7
	50代	300 100	103 34.3	156 52.0	41 13.7
	60代	300 100	112 37.3	147 49.0	41 13.7
	70代以上	300 100	128 42.7	135 45.0	37 12.3

Q47 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）中の「コレステロール」について、あなたのお考えにあてはまるものを全てお選びください。

度数 横%		全 体	コレステロールが気かりで、食肉の摂取を控えている	コレステロールを気にして、食肉摂取を控えるということはない	コレステロール値の高低と食肉摂取量とは無関係である	コレステロールは、細胞膜の構成物質となるなど重要な働きをしており、食肉を積極的に摂取している	いずれもあてはまらない
全 体		1800 100	109 6.1	90 5.0	108 6.0	206 11.4	362 20.1
地域	首都圏	900 100	64 7.1	50 5.6	60 6.7	106 11.8	173 19.2
	京阪神圏	900 100	45 5.0	40 4.4	48 5.3	100 11.1	189 21.0
年代	20代	300 100	21 7.0	24 8.0	25 8.3	31 10.3	72 24.0
	30代	300 100	26 8.7	18 6.0	17 5.7	28 9.3	63 21.0
	40代	300 100	17 5.7	15 5.0	22 7.3	33 11.0	59 19.7
	50代	300 100	16 5.3	8 2.7	17 5.7	35 11.7	58 19.3
	60代	300 100	16 5.3	12 4.0	14 4.7	40 13.3	57 19.0
	70代以上	300 100	13 4.3	13 4.3	13 4.3	39 13.0	53 17.7

Q48 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）中の「脂肪」について、あなたのお考えにあてはまるものを全てお選びください。

度数 横%		全 体	食肉中の脂肪は、肥満や生活習慣病の原因となりかねないので、摂取を控えている	体内で合成できない必須脂肪酸を補うため、これを含む食肉を積極的に摂取している	肥満を含め健康面から食肉による脂肪摂取の増減を考えたことはない	食肉中の脂肪は、食肉のおいしさに影響を及ぼす重要な成分である	脂肪分の少ない赤身肉を食べるようにしている	霜降り肉を食べることを控えている	いずれもあてはまらない
全 体		1800 100	255 14.2	144 8.0	297 16.5	308 17.1	388 21.6	110 6.1	646 35.9
地域	首都圏	900 100	123 13.7	78 8.7	142 15.8	150 16.7	188 20.9	55 6.1	340 37.8
	京阪神圏	900 100	132 14.7	66 7.3	155 17.2	158 17.6	200 22.2	55 6.1	306 34.0
年代	20代	300 100	33 11.0	31 10.3	45 15.0	34 11.3	48 16.0	8 2.7	135 45.0
	30代	300 100	38 12.7	30 10.0	37 12.3	44 14.7	48 16.0	19 6.3	126 42.0
	40代	300 100	29 9.7	23 7.7	67 22.3	45 15.0	57 19.0	14 4.7	111 37.0
	50代	300 100	42 14.0	18 6.0	45 15.0	52 17.3	62 20.7	21 7.0	119 39.7
	60代	300 100	52 17.3	12 4.0	50 16.7	56 18.7	71 23.7	20 6.7	94 31.3
	70代以上	300 100	61 20.3	30 10.0	53 17.7	77 25.7	102 34.0	28 9.3	61 20.3

Q49 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）中の「タンパク質」について、あなたのお考えにあてはまるものを全てお選びください。

度数 横%		全 体	タンパク質不足とならないよう、食肉を積極的に摂取している	タンパク質摂取には、食肉より魚肉の方が健康的である	タンパク質摂取には、動物性より植物性の方が健康的である	タンパク質を構成するアミノ酸の種類とバランスに優れた食肉は、栄養的価値の高い食品である	老化を予防するため、タンパク質の豊富な食肉摂取を心がけている	いずれもあてはまらない
全 体		1800 100	408 22.7	367 20.4	270 15.0	351 19.5	299 16.6	629 34.9
地域	首都圏	900 100	216 24.0	177 19.7	134 14.9	173 19.2	142 15.8	309 34.3
	京阪神圏	900 100	192 21.3	190 21.1	136 15.1	178 19.8	157 17.4	320 35.6
年代	20代	300 100	70 23.3	36 12.0	33 11.0	41 13.7	30 10.0	133 44.3
	30代	300 100	77 25.7	51 17.0	48 16.0	41 13.7	43 14.3	113 37.7
	40代	300 100	60 20.0	56 18.7	35 11.7	69 23.0	39 13.0	115 38.3
	50代	300 100	55 18.3	55 18.3	48 16.0	56 18.7	43 14.3	120 40.0
	60代	300 100	67 22.3	67 22.3	44 14.7	61 20.3	68 22.7	86 28.7
	70代以上	300 100	79 26.3	102 34.0	62 20.7	83 27.7	76 25.3	62 20.7

Q50 あなたは「新型コロナウイルス感染症」やそれに伴うことがらについて不安を感じますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 自分の感染】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	564 31.3	700 38.9	367 20.4	128 7.1	41 2.3
地域	首都圏		900 100	301 33.4	345 38.3	179 19.9	55 6.1	20 2.2
	京阪神圏		900 100	263 29.2	355 39.4	188 20.9	73 8.1	21 2.3
年代	20代		300 100	106 35.3	100 33.3	64 21.3	19 6.3	11 3.7
	30代		300 100	96 32.0	116 38.7	64 21.3	17 5.7	7 2.3
	40代		300 100	89 29.7	116 38.7	61 20.3	25 8.3	9 3.0
	50代		300 100	94 31.3	116 38.7	62 20.7	17 5.7	11 3.7
	60代		300 100	81 27.0	132 44.0	58 19.3	27 9.0	2 0.7
	70代以上		300 100	98 32.7	120 40.0	58 19.3	23 7.7	1 0.3

【2. 家族の感染】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	621 34.5	639 35.5	400 22.2	93 5.2	47 2.6
地域	首都圏		900 100	325 36.1	311 34.6	196 21.8	43 4.8	25 2.8
	京阪神圏		900 100	296 32.9	328 36.4	204 22.7	50 5.6	22 2.4
年代	20代		300 100	128 42.7	83 27.7	68 22.7	12 4.0	9 3.0
	30代		300 100	108 36.0	101 33.7	64 21.3	22 7.3	5 1.7
	40代		300 100	107 35.7	99 33.0	65 21.7	18 6.0	11 3.7
	50代		300 100	93 31.0	119 39.7	64 21.3	9 3.0	15 5.0
	60代		300 100	87 29.0	118 39.3	77 25.7	14 4.7	4 1.3
	70代以上		300 100	98 32.7	119 39.7	62 20.7	18 6.0	3 1.0

【3. 友人・知人・同僚など身近な人の感染】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	404 22.4	711 39.5	538 29.9	102 5.7	45 2.5
地域	首都圏		900 100	211 23.4	356 39.6	270 30.0	39 4.3	24 2.7
	京阪神圏		900 100	193 21.4	355 39.4	268 29.8	63 7.0	21 2.3
年代	20代		300 100	94 31.3	104 34.7	77 25.7	12 4.0	13 4.3
	30代		300 100	74 24.7	101 33.7	94 31.3	24 8.0	7 2.3
	40代		300 100	59 19.7	118 39.3	93 31.0	20 6.7	10 3.3
	50代		300 100	63 21.0	118 39.3	89 29.7	18 6.0	12 4.0
	60代		300 100	50 16.7	132 44.0	101 33.7	15 5.0	2 0.7
	70代以上		300 100	64 21.3	138 46.0	84 28.0	13 4.3	1 0.3

【4. 医療提供体制の逼迫】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	440 24.4	695 38.6	537 29.8	85 4.7	43 2.4
地域	首都圏		900 100	234 26.0	347 38.6	257 28.6	43 4.8	19 2.1
	京阪神圏		900 100	206 22.9	348 38.7	280 31.1	42 4.7	24 2.7
年代	20代		300 100	75 25.0	99 33.0	96 32.0	12 4.0	18 6.0
	30代		300 100	69 23.0	99 33.0	99 33.0	25 8.3	8 2.7
	40代		300 100	66 22.0	120 40.0	95 31.7	12 4.0	7 2.3
	50代		300 100	78 26.0	117 39.0	90 30.0	7 2.3	8 2.7
	60代		300 100	61 20.3	133 44.3	91 30.3	13 4.3	2 0.7
	70代以上		300 100	91 30.3	127 42.3	66 22.0	16 5.3	0 0.0

【5. 収入の減少や雇用の不安】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	478 26.6	544 30.2	534 29.7	156 8.7	88 4.9
地域	首都圏		900 100	249 27.7	269 29.9	269 29.9	71 7.9	42 4.7
	京阪神圏		900 100	229 25.4	275 30.6	265 29.4	85 9.4	46 5.1
年代	20代		300 100	105 35.0	84 28.0	68 22.7	27 9.0	16 5.3
	30代		300 100	77 25.7	85 28.3	95 31.7	24 8.0	19 6.3
	40代		300 100	88 29.3	108 36.0	75 25.0	20 6.7	9 3.0
	50代		300 100	90 30.0	97 32.3	88 29.3	11 3.7	14 4.7
	60代		300 100	62 20.7	91 30.3	105 35.0	33 11.0	9 3.0
	70代以上		300 100	56 18.7	79 26.3	103 34.3	41 13.7	21 7.0

【6. 外食・外出・旅行・娯楽など行動の制限】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	440 24.4	679 37.7	520 28.9	112 6.2	49 2.7
地域	首都圏		900 100	240 26.7	325 36.1	262 29.1	54 6.0	19 2.1
	京阪神圏		900 100	200 22.2	354 39.3	258 28.7	58 6.4	30 3.3
年代	20代		300 100	89 29.7	89 29.7	81 27.0	23 7.7	18 6.0
	30代		300 100	66 22.0	108 36.0	95 31.7	23 7.7	8 2.7
	40代		300 100	76 25.3	97 32.3	98 32.7	18 6.0	11 3.7
	50代		300 100	71 23.7	117 39.0	93 31.0	10 3.3	9 3.0
	60代		300 100	57 19.0	140 46.7	82 27.3	19 6.3	2 0.7
	70代以上		300 100	81 27.0	128 42.7	71 23.7	19 6.3	1 0.3

【7. 友人・知人・同僚などとのコミュニケーション不足・人間関係】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	331 18.4	650 36.1	602 33.4	142 7.9	75 4.2
地域	首都圏		900 100	175 19.4	326 36.2	295 32.8	65 7.2	39 4.3
	京阪神圏		900 100	156 17.3	324 36.0	307 34.1	77 8.6	36 4.0
年代	20代		300 100	70 23.3	92 30.7	90 30.0	24 8.0	24 8.0
	30代		300 100	42 14.0	99 33.0	113 37.7	27 9.0	19 6.3
	40代		300 100	55 18.3	96 32.0	108 36.0	28 9.3	13 4.3
	50代		300 100	50 16.7	107 35.7	113 37.7	17 5.7	13 4.3
	60代		300 100	48 16.0	126 42.0	91 30.3	31 10.3	4 1.3
	70代以上		300 100	66 22.0	130 43.3	87 29.0	15 5.0	2 0.7

Q51 あなたは「新型コロナウイルス感染症」の流行により、今年の今頃と 比べ、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）の購入や調理、中食や外食など食生活について変化がありますか。あてはまるものを全てお選びください。

	度数 横%	全 体							
		購入/ 食肉の購入回数を減 らして、まとめて購入 するようになった	食肉の購入回数を増 やして、少量を購入 するようになった	食肉をネットスーパ ーで購入するようにな った・購入が増えた	冷凍の食肉を購入す るようになった・購入 が増えた	店頭で高級な食肉を 購入するようになった・ 購入が増えた	インターネットや通販 で高級な食肉を購入 するようになった・購入 が増えた	食肉加工品(ハム・ ソーセージなど) を購入するようにな った・購入が増えた	
全 体	1800 100	495 27.5	102 5.7	100 5.6	114 6.3	58 3.2	51 2.8	110 6.1	
地域									
首都圏	900 100	232 25.8	47 5.2	54 6.0	59 6.6	28 3.1	29 3.2	59 6.6	
京阪神圏	900 100	263 29.2	55 6.1	46 5.1	55 6.1	30 3.3	22 2.4	51 5.7	
年代									
20代	300 100	104 34.7	24 8.0	22 7.3	27 9.0	17 5.7	16 5.3	25 8.3	
30代	300 100	74 24.7	23 7.7	16 5.3	21 7.0	8 2.7	7 2.3	20 6.7	
40代	300 100	76 25.3	21 7.0	16 5.3	17 5.7	8 2.7	5 1.7	15 5.0	
50代	300 100	71 23.7	7 2.3	18 6.0	17 5.7	6 2.0	5 1.7	15 5.0	
60代	300 100	69 23.0	13 4.3	13 4.3	10 3.3	4 1.3	5 1.7	13 4.3	
70代以上	300 100	101 33.7	14 4.7	15 5.0	22 7.3	15 5.0	13 4.3	22 7.3	

	度数 横%	全 体							
		購入/ 味付け肉を購入する ようになった・購入が 増えた	ミールキットの食肉 (カット済みの肉・野菜・ 調味料などの材料とレシ ピが同梱)を購入するよ うになった・購入が増 えた	調理/ 普段作らなかった肉 料理を作るようにな った	料理本・レシピサイト などをみて、普段作ら なかった肉料理を作る ようになった	手間や時間がかかる 肉料理を作るようにな った	簡単・時短の肉料理 を作るようになった	作り置きできる肉料 理を作るようになった	
全 体	1800 100	34 1.9	26 1.4	142 7.9	146 8.1	101 5.6	215 11.9	144 8.0	
地域									
首都圏	900 100	21 2.3	16 1.8	76 8.4	77 8.6	53 5.9	104 11.6	62 6.9	
京阪神圏	900 100	13 1.4	10 1.1	66 7.3	69 7.7	48 5.3	111 12.3	82 9.1	
年代									
20代	300 100	9 3.0	2 0.7	48 16.0	41 13.7	26 8.7	35 11.7	31 10.3	
30代	300 100	9 3.0	5 1.7	29 9.7	27 9.0	12 4.0	40 13.3	24 8.0	
40代	300 100	5 1.7	2 0.7	21 7.0	25 8.3	16 5.3	30 10.0	20 6.7	
50代	300 100	4 1.3	7 2.3	16 5.3	20 6.7	13 4.3	35 11.7	24 8.0	
60代	300 100	3 1.0	6 2.0	12 4.0	11 3.7	12 4.0	35 11.7	17 5.7	
70代以上	300 100	4 1.3	4 1.3	16 5.3	22 7.3	22 7.3	40 13.3	28 9.3	

	度数 横%	全 体							
		調理/ 冷凍保存できる肉料 理を作るようになった	肉料理をあまり作ら なくなった	中食・外食/ 外食の機会が減った	外食の機会が増えた	惣菜や調理済み食 品の購入が増えた	弁当の購入が増えた	持ち帰り・テイクアウト の利用が増えた	
全 体	1800 100	97 5.4	38 2.1	777 43.2	32 1.8	128 7.1	113 6.3	207 11.5	
地域									
首都圏	900 100	56 6.2	19 2.1	404 44.9	16 1.8	62 6.9	61 6.8	106 11.8	
京阪神圏	900 100	41 4.6	19 2.1	373 41.4	16 1.8	66 7.3	52 5.8	101 11.2	
年代									
20代	300 100	14 4.7	5 1.7	112 37.3	13 4.3	19 6.3	21 7.0	44 14.7	
30代	300 100	23 7.7	4 1.3	116 38.7	5 1.7	23 7.7	22 7.3	42 14.0	
40代	300 100	12 4.0	7 2.3	137 45.7	4 1.3	21 7.0	17 5.7	37 12.3	
50代	300 100	16 5.3	5 1.7	131 43.7	3 1.0	28 9.3	16 5.3	31 10.3	
60代	300 100	17 5.7	11 3.7	132 44.0	5 1.7	20 6.7	20 6.7	30 10.0	
70代以上	300 100	15 5.0	6 2.0	149 49.7	2 0.7	17 5.7	17 5.7	23 7.7	

度数 横%	全 体	中食・外食/ 出前・デリバリー・宅 配の利用が増えた	食生活/ 自宅で食事する機会 が増えた	家族そろって食事する 機会が増えた	大皿料理を作らな くなった・食べなくなった	焼き肉・鍋・しゃぶしゃ ぶなどを作らなくなっ た・食べなくなった	食事をする時にしゃべ らなくなった・会話をし ないようになった	食事をひとりとするよ うになった
全 体	1800 100	91 5.1	637 35.4	270 15.0	98 5.4	80 4.4	70 3.9	44 2.4
地域	首都圏	900 100	47 5.2	323 35.9	147 16.3	46 5.1	37 4.1	32 3.6
	京阪神圏	900 100	44 4.9	314 34.9	123 13.7	52 5.8	43 4.8	38 4.2
年代	20代	300 100	33 11.0	110 36.7	41 13.7	12 4.0	8 2.7	14 4.7
	30代	300 100	17 5.7	104 34.7	53 17.7	13 4.3	14 4.7	8 2.7
	40代	300 100	17 5.7	100 33.3	39 13.0	21 7.0	12 4.0	9 3.0
	50代	300 100	10 3.3	97 32.3	47 15.7	15 5.0	10 3.3	15 5.0
	60代	300 100	6 2.0	96 32.0	42 14.0	17 5.7	10 3.3	8 2.7
	70代以上	300 100	8 2.7	130 43.3	48 16.0	20 6.7	26 8.7	16 5.3

度数 横%	全 体	その他	特にない
全 体	1800 100	5 0.3	560 31.1
地域	首都圏	900 100	3 0.3
	京阪神圏	900 100	2 0.2
年代	20代	300 100	0 0.0
	30代	300 100	0 0.0
	40代	300 100	1 0.3
	50代	300 100	1 0.3
	60代	300 100	1 0.3
	70代以上	300 100	2 0.7